

令和 6 年度
(2 0 2 4 年度)

農作物病害虫発生予察事業年報

Annual Report of Plant Protection

Kumamoto Prefecture

熊 本 県

目 次

第1 事業運営状況

1 関係機関の設置状況 -----	1
2 病害虫発生予察員の設置状況 -----	1
3 病害虫防除員の設置及び活動状況 -----	2
4 病害虫発生予察事業の体系図 -----	4
5 主な対象病害虫 -----	5
6 発生予察調査地点 -----	7

第2 事業等内容

1 病害虫の発生及び防除状況 -----	9
(1) 発生経過、発生原因及び防除の概要 -----	9
(2) 農作物有害動植物の発生面積及び防除面積 -----	19
(3) 普通作病害虫発生予察事業（大豆・イグサを含む）-----	
ア 病害虫防除所における調査 -----	22
(ア) 巡回調査 -----	22
(イ) 予察灯における水稻害虫調査 -----	24
(ウ) ネットトラップにおける水稻害虫調査 -----	25
(エ) フェロモントラップによるコブノメイガ調査 -----	26
(オ) 無防除田におけるウンカ類の調査 -----	27
(カ) イグサシンムシガ予察灯誘殺数 -----	28
(キ) イグサシンムシガ越冬調査結果 -----	29
イ 県予察ほ場における調査 -----	
(ア) 水稻害虫 -----	30
(4) 果樹等病害虫発生予察事業（茶を含む）-----	
ア 病害虫防除所における調査 -----	31
(ア) 巡回調査 -----	31
(イ) 果樹カメムシ類の発生状況（フェロモントラップ、予察灯）-----	33
(ウ) 茶害虫のトラップ調査による誘殺状況 -----	41
イ 県予察ほ場における調査 -----	
(ア) 果樹病害虫 -----	45
(イ) 茶害虫 -----	53
ウ 地区予察ほ場における調査 -----	
(ア) 果樹病害虫 -----	56
(5) 野菜・花き病害虫発生予察事業 -----	
ア 病害虫防除所における調査 -----	
(ア) 巡回調査 -----	57
(イ) 野菜害虫のフェロモントラップによる誘殺状況 -----	65
(ウ) 野外におけるコナジラミ類の捕獲状況 -----	77
(エ) トマト黄化葉巻ウイルス保毒状況調査 -----	78
2 発生予察情報の提供 -----	
(1) 警報、注意報、特殊報、技術情報 -----	79
(2) 発生予報 -----	157
(3) ホームページ掲載内容 -----	203
3 侵入調査事業（34種類） -----	204

第3 その他

1 病害虫診断 -----	216
2 気象概要 -----	218

第1 事業運営状況

1 関係機関の設置状況

2 病害虫発生予察員の設置状況

3 病害虫防除員の設置及び活動状況

4 病害虫発生予察事業の体系図

5 主な対象病害虫

6 発生予察調査地点

1 関係機関の設置状況

機 関 名	所 在 地	県予察 ほ 場	地区予察 ほ 場
病害虫防除所 (農業研究センター生産環境研究所 予察指導室)	合志市栄 3801		○
農業研究センター生産環境研究所	合志市栄 3801	○	
農業研究センター果樹研究所	宇城市松橋町豊福 2566	○	
農業研究センター茶業研究所	上益城郡御船町滝尾 5450	○	
農業研究センターアグリシステム 総合研究所	八代市鏡町鏡村 363		○
農業研究センター高原農業研究所	阿蘇市一の宮町宮地 5896-2		○
農業研究センター球磨農業研究所	球磨郡あさぎり町上 2248-16		○
農業研究センタ一天草農業研究所	天草市本渡町本戸馬場 2315		○

2 病害虫発生予察員の設置状況

(1) 病害虫防除所勤務職員

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所 予察指導室)

職 名	氏 名	勤務年月日	担 当
所 長	古家 忠	R 6. 4. 1 ~	総括
副 所 長	江口 武志	R 4. 4. 1 ~	総括補佐
主任技師	福岡 美里	R 4. 4. 1 ~	野菜病害虫、花き病害虫
主任技師	清永 徹	R 4. 4. 1 ~	果樹病害虫、茶病害虫
技 師	守田 大樹	R 5. 4. 1 ~	普通作病害虫
技 師	肥後 綾佑	R 6. 4. 1 ~	野菜病害虫

(2) 農業研究センター 生産環境研究所 病害虫研究室

職 名	氏 名	勤務年月日	担 当
室 長	杉浦 直幸	R 5. 4. 1 ~	総括 (普通作・野菜虫害)
研究主任	舛本 将明	R 2. 4. 1 ~	普通作・野菜病害
研究主任	春山 靖成	R 4. 4. 1 ~	普通作・野菜虫害
研究員	川本 牧葉	R 6. 4. 1 ~	普通作・野菜虫害
研究員	久保 一真	R 5. 4. 1 ~	普通作・野菜病害

(3) 農業研究センター 果樹研究所 病虫化学研究室勤務職員

職名	氏名	勤務年月日	担当
研究参事 研究員	中村 桂介 後藤 聖士郎	R 4. 4. 1 ~ R 4. 4. 1 ~	果樹病害 果樹虫害

(4) 農業研究センター茶業研究所勤務職員

職名	氏名	勤務年月日	担当
研究員	中野 聰美	R 6. 4. 1 ~	茶病害虫

3 病害虫防除員の設置及び活動状況

(1) 設置状況

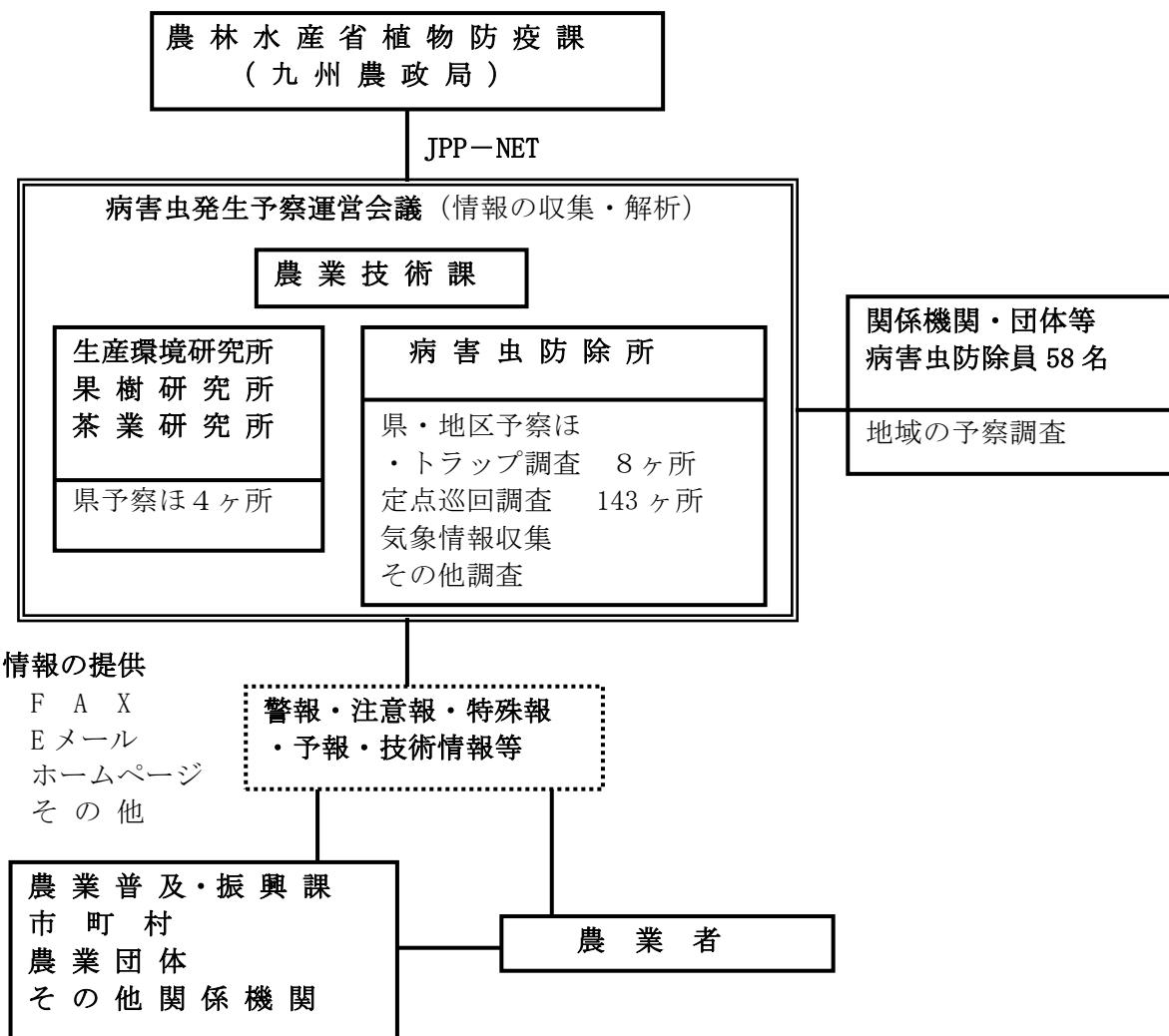
地区名	防除員数	作物別内訳※				
		普通作	果樹	野菜	花き	特産
熊本	7	2	1	5	0	0
宇城	4	1	2	1	0	1
玉名	5	1	2	2	0	0
鹿本	4	1	0	2	1	1
菊池	5	1	1	1	0	1
阿蘇	7	2	0	5	0	0
上益城	4	2	0	2	0	1
八代	9	2	1	5	0	3
芦北	3	1	2	0	0	0
球磨	4	1	1	1	0	1
天草	6	2	2	2	0	0
計	58	16	12	26	1	8

※兼任者がいるため、内訳の合計は防除員数の合計とは一致しない

(2) 活動状況

No.	病害虫発生状況調査		防除指導		農薬安全使用指導		講習会・協議会		関係機関との打ち合わせ		その他		計		
	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	
熊本	1	10	24	0	0	0	0	2	4	4	6	2	2	18	36
	2	8	16	12	15	0	0	0	0	5	5	0	0	25	36
	3	13	12	13	13	0	0	3	3	11	8	0	0	40	36
	4	15	15	18	18	1	1	2	2	0	0	0	0	36	36
	5	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	36
	6	12	12	15	15	0	0	9	9	0	0	0	0	36	36
	7	2	4	16	16	13	13	1	2	1	1	0	0	33	36
宇城	8	12	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	36
	9	11	17	12	18	0	0	0	0	1	2	0	0	24	36
	10	5	9	6	7	5	6	4	7	5	7	0	0	25	36
	11	10	10	11	11	11	11	1	1	3	3	0	0	36	36
玉名	12	9	11	11	15	2	2	3	3	2	2	0	0	27	33
	13	10	6	13	14	2	2	4	4	5	10	0	0	34	36
	14	12	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	36
	15	11	21	5	2	0	0	10	10	0	0	0	0	26	33
	16	12	15	8	8	0	0	8	9	4	4	0	0	32	36
鹿本	17	16	16	19	19	1	1	0	0	0	0	0	0	36	36
	18	9	27	4	6	1	3	0	0	0	0	0	0	14	36
	19	7	9	24	24	0	0	0	0	1	3	0	0	32	36
	20	13	13	5	5	0	0	0	0	16	18	0	0	34	36
	21	9	21	8	10	1	1	0	0	3	3	1	1	22	36
菊池	22	6	18	3	8	3	5	0	0	2	5	0	0	14	36
	23	12	26	5	3	0	0	0	0	9	8	0	0	26	36
	24	9	27	4	8	0	0	1	1	0	0	0	0	14	36
	25	11	21	3	3	0	0	2	5	3	7	0	0	19	36
阿蘇	26	7	6	4	4	6	6	3	3	17	17	0	0	37	36
	27	28	18	23	9	15	3	3	0	5	5	0	0	74	36
	28	8	15	2	2	1	1	0	0	6	6	6	9	23	33
	29	22	16	19	9	6	2	5	4	3	4	1	1	56	36
	30	8	24	0	0	0	0	0	0	4	12	0	0	12	36
	31	12	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	36
	32	8	10	13	11	10	9	1	2	3	4	0	0	35	36
上益城	33	11	13	11	6	2	2	3	6	6	9	0	0	33	36
	34	15	12	15	9	9	3	0	0	2	3	10	9	51	36
	35	16	11	35	15	17	1	4	7	1	2	0	0	73	36
	36	12	15	6	6	1	1	4	5	8	8	1	1	32	36
八代	37	46	12	35	10	13	4	3	3	8	8	0	0	105	36
	38	4	4	6	6	2	2	1	2	20	22	0	0	33	36
	39	5	15	2	6	0	0	2	5	5	10	0	0	14	36
	40	22	13	28	15	1	1	6	6	0	0	1	1	58	36
	41	5	13	3	15	0	1	5	6	1	0	2	1	16	36
	42	4	4	9	11	0	0	5	8	10	13	0	0	28	36
	43	8	12	22	14	0	0	2	3	5	5	3	3	40	36
	44	22	12	153	10	60	6	7	6	7	4	0	0	249	36
芦北	45	10	12	8	14	1	1	0	0	0	0	0	0	19	27
	46	7	5	8	5	4	4	5	5	10	9	3	3	37	30
	47	20	15	36	13	5	2	15	7	0	0	0	0	76	36
球磨	48	5	7	9	7	0	0	5	5	0	0	18	17	37	36
	49	7	8	9	10	2	2	8	8	8	8	0	0	34	36
	50	17	16	5	3	1	1	7	5	8	8	0	0	38	33
	51	9	27	2	6	0	0	1	3	0	0	0	0	12	36
天草	52	9	25	7	7	0	0	2	4	0	0	0	0	18	36
	53	4	4	0	0	8	8	9	9	16	15	0	0	37	36
	54	11	25	7	7	2	2	1	2	0	0	0	0	21	36
	55	11	13	6	6	2	2	1	2	7	10	3	3	30	36
	56	9	24	2	4	0	0	3	3	1	2	0	0	15	33
	57	16	17	12	9	2	2	4	5	1	1	4	3	39	36
	58	6	7	8	7	9	9	10	12	1	1	0	0	34	36
	合計	684	921	720	493	219	119	175	194	238	276	55	54	2,091	2,058
	平均/人	13.2	17.7	13.8	9.5	4.2	2.3	3.4	3.7	4.6	5.3	1.1	1.0	40.2	39.6

4 病害虫発生予察事業の体系図



5 主な対象病害虫

作物名	国指定/ 指定外	有害動植物名
水 稲	国指定	イネドロオイムシ、イネミズヅウムシ、コブノメイガ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイ、トビイロウンカ、斑点米カメムシ類、ヒメトビウンカ、稻こうじ病、いもち病、縞葉枯病、白葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、紋枯病
麦	国指定	赤かび病、うどんこ病、さび病類
大豆	国指定	吸実性カメムシ類、フタスジヒメハムシ、マメシンクイガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジョトウ、ヨトウガ、オオタバコガ、紫斑病
ばれいしょ	国指定	アブラムシ類、疫病
いぐさ	指定外	イグサシンムシガ
かんきつ	国指定	アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類、果樹カメムシ類、かいよう病、黒点病、そうか病
	指定外	カイガラムシ類、灰色かび病
なし	国指定	アブラムシ類、カイガラムシ類、シンクイムシ類、ハダニ類、ハマキムシ類、果樹カメムシ類、赤星病、黒星病、黒斑病
かき	国指定	アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、果樹カメムシ類、炭疽病
茶	国指定	アザミウマ類、カイガラムシ類、チャノホソガ、チャノミドリヒメヨコバイ、ハダニ類、ハマキムシ類、炭疽病
	指定外	ツマグロアオカスミカメ
トマト	国指定	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、うどんこ病、疫病、黄化葉巻病、すすかび病、灰色かび病、葉かび病
なす	国指定	アザミウマ類、ア布拉ムシ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、うどんこ病、すすかび病、灰色かび病
	指定外	コナジラミ類、すす斑病
ピーマン	国指定	ア布拉ムシ類、うどんこ病
きゅうり	国指定	アザミウマ類、ア布拉ムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、うどんこ病、褐斑病、炭疽病、灰色かび病、斑点細菌病、べと病
	指定外	黄化えそ病、退緑黄化病
すいか	国指定	ア布拉ムシ類
	指定外	アザミウマ類、コナジラミ類、つる枯病、菌核病、退緑えそ病
メロン	指定外	コナジラミ類、退緑黄化病
キャベツ	国指定	ア布拉ムシ類、モンシロチョウ、コナガ、オオタバコガ、菌核病、黒腐病

作物名	国指定/ 指定外	有害動植物名
レタス	国指定	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、菌核病、灰色かび病
いちご	国指定	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、シロイチモジョトウ、ヨトウガ、オオタバコガ、うどんこ病、炭疽病、灰色かび病
アスパラガス	国指定	アザミウマ類、ハスモンヨトウ
ほうれんそう	国指定	アブラムシ類
だいこん	国指定	アブラムシ類、コナガ
はくさい	国指定	アブラムシ類、コナガ
かんしょ	国指定	ナガシロシタバ
さといも	国指定	アブラムシ類、ハスモンヨトウ
きく	国指定	アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、白さび病

6 発生予察調査地点

(1) 県予察ほ場、地区予察ほ場、トラップ調査

ほ場名	箇所数	普通作物	果樹	茶	野菜・花
県予察 ほ場	4	1 生産環境研	1 果樹研	1 茶研	1 生産環境研
地区予察 ほ場・ トラップ 調査	8	〈イグサ〉 2 アグリ総研 八代市千丁町	2 天草農研 球磨農研	1 防除所	3 アグリ総研 高原農研 山都町鶴ヶ田

(2) 巡回調査地点

地域名	普通作物			果樹・茶			野 菜					計
	水稲	麦	大豆	かん きつ	なし	茶	トマ ト	なす	きゅ うり	いち ご	アス パラ ガス	
熊 本	6	2	4	4				5	3			24
宇 城					8					3		11
玉 名	2	2	2	4	2		3			6		18
鹿 本	2	2										4
菊 池	4	6	2			4						16
阿 蘇	4		2				3				3	12
上益城	4	2	2				3					11
八 代	2	2			2		4			6		16
芦 北	2			6								8
球 磨	4	2	2		2	4						14
天 草	6											9
計	36	18	14	22	6	8	13	5	6	12	3	143

第2 事業等内容

1 病害虫の発生及び防除状況

- (1) 発生経過、発生原因及び防除の概要
- (2) 農作物有害動植物の発生面積及び防除面積
- (3) 普通作病害虫発生予察事業（大豆・イグサを含む）
- (4) 果樹等病害虫発生予察事業（茶を含む）
- (5) 野菜・花き病害虫発生予察事業

2 発生予察情報の提供

- (1) 警報、注意報、特殊報、技術情報
- (2) 発生予報

<u>4月</u>	<u>5月</u>	<u>6月</u>	<u>7月</u>	<u>8月</u>	<u>9月</u>
<u>10月</u>	<u>11月</u>	<u>12月</u>	<u>1月</u>	<u>2月</u>	<u>3月</u>

- (3) ホームページ掲載内容

3 侵入調査事業

1 病害虫の発生及び防除の実施状況

(1) 発生経過、発生原因及び防除の概要

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
早期水稻	葉いもち	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	全体的には平年比やや少の発生であったが、一部多発ほ場がみられた。	気温が高く推移したこと、感染好適条件日が平年より少なく、いもち病の感染には不適な気象条件であった。	箱施用剤 本田防除
	穂いもち	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	全体的には平年比やや少の発生であったが、一部多発ほ場がみられた。	葉いもちの発生が平年より少なかった。	本田防除
	紋枯病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	7月から発生がみられ、平年比やや多の発生であった。	気温が高く推移したこと、本病の発生に好適な気象条件であった。	箱施用剤 本田防除
	白葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		箱施用剤 本田防除
	セジロウンカ	平年：早 前年：早	平年：多 前年：多	4月上旬から飛来が確認され、ほ場では調査を開始した5月から発生が確認された。6月は平年比多の発生であったが、その後は平年並～平年より少なく推移した。	予察灯調査では、6月から7月末までの累計誘殺数は5444頭(平年436頭)と平年比多であった。気温が高く推移し、本種の増殖に好適な気象条件が続いたが、主な飛来は箱施用剤の残効期間内である6月第6半旬に集中しており、箱施用剤を適切に使用したほ場での発生は少なかったと考えられる。	箱施用剤 本田防除(7月上旬～8月下旬の間に1回～2回)
	トビイロウンカ	平年：やや遅 前年：並	平年：やや少 前年：並	6月22日に初飛来を確認し、ほ場では7月に発生が確認された。作付期間を通じて、平年比やや少の発生であった。	6月から7月末までの累計誘殺数は130頭(平年111頭)と平年比少であった。	箱施用剤 本田防除(7月上旬～8月下旬の間に1回～2回、9月に1回)
	ヒメトビウンカ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	調査を開始した5月から発生ほ場が確認された。作付期間を通じて、平年比やや多の発生であった。	気温が高く推移し、本種の増殖に好適な気象条件であった。	箱施用剤 セジロウンカ、トビイロウンカとの同時防除。
	ツマグロヨコバイ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	作付期間を通じて、平年比やや多の発生であった。	気温が高く推移し、本種の増殖に好適な気象条件であった。	セジロウンカ、トビイロウンカとの同時防除。
	斑点米 カメムシ類	平年：早 前年：早	平年：やや多 前年：多	6月調査で初確認され、発生量は7月調査の平年より多かった。7月調査では、平年並の発生であった。	気温が高く推移し、本種の増殖に好適な気象条件であった。6月に注意報を発令し、防除が徹底された。	早期では出穗期と穗揃い期、他の作期では穗揃い期に防除が行われた。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
早期水稻	コブノメイガ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	早期・早植えのほ場調査では平年比やや少の発生であったが、調査ほ場を増やした特別調査(早植えのみ)では平年比多の発生であり、地域差がみられた。	飛来量は平年より少なかったが、夏季は高温乾燥で推移し、本種の増殖に好適な気象条件であった。また、箱施用剤(クロラントラニリプロール)の効果が低下している可能性がある。	箱施薬剤および本田防除。
	イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付け期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		箱施用剤
普通期 水稻	葉いもち	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	作付け期間を通じて、平年比少の発生であった。	7～9月は非常に高温で推移し、降水量はまとまった降雨はあったものの、全体的には少なかったことで、感染好適条件が平年より少なく、いもち病の感染には不適な気象条件が続いた。	箱施用剤 本田防除
	穂いもち	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	平年比少の発生であった。	葉いもちの発生が平年より少なかった。	出穂期または穗揃い期に混合剤で他の病害虫(ウンカ、カメムシ等)と同時に防除されている。
	紋枯病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：やや多	8月から発生を確認。9月には一部ほ場で多発し、平年比多の発生であった。	気温が高く推移したことで、感染が拡大した。	7月下旬～9月上旬に混合剤による防除が行われた。また、箱施用剤に紋枯病剤を含んだ混合剤の使用。
	白葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		箱施用剤
	ばか苗病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		種子消毒の実施
	縞葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		ヒメトビウンカに対して効果のある箱施用剤の使用。
	セジロウンカ	平年：早 前年：早	平年：やや少 前年：やや多	ほ場では調査を開始した7月から発生が確認された。作付期間を通じて、平年比やや少の発生であった。	予察灯調査では、6月から7月末までの累計誘殺数は5444頭(平年436頭)と平年比多であったが、飛来は普通期の移植直後である6月第6半旬に集中しており、箱施用剤の残効期間内であったことから、箱施用剤を適切に使用したほ場での発生は少なかつたと考えられる。	箱施用剤 本田防除(7月下旬～8月中旬の間に1～3回)

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
普通期 水稻	トビイロウンカ	平年：やや遅 前年：並	平年：少 前年：やや少	6月22日に初飛来を確認した。ほ場では9月まで発生は確認されず、作付け期間を通じて平年比少の発生であった。9月下旬頃には、ほ場単位の坪枯れが確認されたが、いずれも部分的な発生であった。	6月から7月末までの累計誘殺数は130頭(平年111頭)と平年比少であった。気温が高く推移したことと本種の増殖に好適な気象条件であったが、本年度の飛来は普通期の移植直後に集中しており、箱施用剤の残効期間内であったことから、箱施用剤を適切に使用したほ場での発生は少なかつた。坪枯れの発生は、無農薬栽培や箱施用剤未処理の生産者のほ場を中心であり、管理の影響が大きい。	箱施用剤 本田防除(7月下旬～9月下旬の間に1回～3回)
	ヒメトビウンカ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	作付期間を通じて、平年比やや少の発生であった。	気温が高く推移し、本種の増殖に好適な気象条件であったが、トビイロウンカを対象とした箱施用剤と本田防除により、本種の増殖が抑えられた。	箱施用剤
	ツマグロヨコバイ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	作付期間を通じて、平年比やや多の発生であった。	気温が高く推移し、本種の増殖に好適な気象条件であった。	セジロウンカ、トビイロウンカとの同時防除
	斑点米 カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、平年並の発生であった。	暖冬により越冬量が多かった。また、気温が高く推移し、本種の増殖に好適な条件であったが、ウンカ類の発生が少なく、一部地域ではカメムシ類の防除適期に合わせた防除が実施された。	穂揃い期の防除。
	コブノメイガ	平年：並 前年：並	平年：多 前年：やや多	作付期間を通じて、平年比多の発生であった。	飛来量は平年より少なかったが、気温が高く増殖に好適な環境であった。また、箱施用剤(クロントラニフロール)の効果が低下している可能性がある。	箱施薬剤および本田防除。
	イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		箱施用剤
麦	さび病類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	平年比やや多の発生であった。	降雨が多かったことで、本病の発生に好適な気象条件であった。	
	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	平年比やや多の発生であった。	4月の気候が高温多湿で推移したことと、本病の発生に好適な気象条件であった。	
	赤かび病	平年：早 前年：早	平年：多 前年：多	4月中旬から発生が見られ、小麦大麦とともに、発生ほ場率、发病穂率、発病度の全ての項目で平年より高かった。	4月の気候が高温多湿で推移し、小麦と二条大麦の多発条件が平年より多く発生。本病の発生に好適な気象条件であった。	小麦は、開花最盛期とその7～10日後、大麦は、穂揃い期10日後とその7日後の防除を実施。
大豆	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	8月から被害が認められ、作付期間を通じた発生量は平年比やや多であった。	暖冬により越冬量が多かった。また、夏季の高温乾燥により活動に好適な気象条件であった。	8月中旬から若齢幼虫を中心に2～3回程度の防除を実施。
	吸実性 カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	8月から発生が認められ、作付期間を通じた発生量は平年比やや多であった。	暖冬により越冬量が多かった。また、気温が高く推移し、本種の増殖に好適な気象条件であった。	子実肥大期を中心に防除を実施。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
カンキツ	そうか病	(春葉) 平年:早 前年:早 (果実) 平年:早 前年:やや早	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査では春葉、果実ともに平年比やや多の発生であった。宇城市(果樹研究所)における無防除区「興津早生」の春葉の初発日は、4月8日(平年4月16日)、果実は5月7日(平年5月14日)と平年よりやや早かった。	発生時期が早く、3月下旬～4月下旬の降雨が多かったため、発生量は平年より多かったと考えられる。	伝染源となる発病した葉や枝のせん除と幼芽期のジチアノン剤による防除。開花期は、灰色かび病との同時防除。落弁期は、黒点病と灰色かび病との同時防除。
	黒点病	平年:やや早 前年:早	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査では、中晩柑を中心 に8月から発病果が増加した。また、宇城市的無防除区「興津早生」では、果実の初発確認日が5月20日(平年6月2日)で発生時期は平年より早かった。	5月～7月中旬までの降水量は平年よりやや多かったが、その後少雨傾向であったことから、発生が抑制されたと考えられる。	伝染源となる枯れ枝剪除および摘果による発病果の除去。薬剤による防除は、落弁期以降、降雨日数や累積降水量に基づき、マンゼブ水和剤、QoI剤等が散布されている。
	かいよう病	(春葉) 平年:並 前年:並 (果実) 平年:遅 前年:遅	平年:やや少 前年:やや少	巡回調査では、春葉での発生はやや多かったが、果実の発生は少なかった。宇城市(果樹研究所)無防除区「川野なつだいだい」では、春葉の初発は5月8日(平年5月7日)で、果実は7月2日(平年6月9日)と平年より遅かった。	昨年から多発傾向にある園では、感染源が多いことから発生量も多くなったが、7月以降の少雨傾向により果実の発病が少なくなったと考えられる。	伝染源となる発病葉、枝のせん除と、発芽直前、花弁落下直後、梅雨時期、および台風襲来直前の無機銅剤による防除。
	ミカンハダニ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:並	巡回調査では、越冬個体が多く春から夏にかけて発生が多かったが、8月以降は平年並に推移した。	前年秋の発生が多かったため、越冬ダニが多かったと考えられる。7月下旬頃から高温乾燥が続いたが、発生は減少傾向であった。	①冬期～春先のマシン油乳剤散布による初期密度の抑制。 ②5～6月のマシン油乳剤散布による夏ダニの発生予防。 ③8月下旬～9月上旬の密度が低い時期のダニ剤散布による初期防除。
	チャノキイロアザミウマ	平年:やや早 前年:やや早	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査では、6月～8月の発生は概ね平年並であったが、9月から被害果が増加した。	有効積算温度による各世代の発生ピークは、春季で14日早く、夏季では10日早かったことから、加害時期が早かつたため、被害が増えたものと考えられる。	有効積算温度による各世代の羽化最盛期予測に基づいた薬剤防除(5月上旬～10月上旬)。
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		新梢伸長期にネオニコチノイド系薬剤やカーバメート系薬剤で防除が行われた。
ナシ	黒星病	平年:遅 前年:遅	平年:やや少 前年:やや少	期間を通して平年比やや少の発生であった。宇城市(果樹研究所)における幸水での初発日は5月13日(平年4月20日)と平年より遅かった。	前年秋季の発生量が平年より少なく、越冬した感染源が少なかったと考えられ、3月と4月に降雨は多かったが、平年より高温に推移したため、感染が少なかったと考えられる。	罹病芽鱗片の除去と落葉の処分。発病した葉・果実の園外処分。開花初期のイプフルフェノキシ散布および梅雨期のDMI剤等の散布。
	赤星病	平年:早 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	調査期間を通して概ね平年比やや少であった。宇城市(果樹研究所)における幸水での初発日は4月5日(平年4月16日)と平年より早かった。		黒星病との同時防除。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
ナシ	ナシヒメシンクイ	平年:やや早 前年:やや早	平年:やや多 前年:やや多	フェロモントラップ調査で4月1半旬にピークが見られ、平年より早かった。 園地では、5月から被害の報告があり、調査期間を通じて平年比やや多の発生であった。	春先の気温が高く、発生が早かったことに加え、7月下旬以降高温乾燥に経過したため、被害が増えたと考えられる。	フェロモン剤(交信攪乱剤)の使用。他害虫との同時防除。
	ハマキムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		他害虫との同時防除。
	ハダニ類	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査では8月に多発した園が見られ、平年比やや多の発生であった。	7月下旬以降高温乾燥に経過したため、被害が増えたと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
	カイガラムシ類	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	春から発生が見られ、平年より多かった。		①各種カイガラムシ幼虫の防除適期における薬剤散布 ②冬期の粗皮削りやマシン油散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	一部で多発した園が見られたが、全体的には平年並の発生であった。		新梢発生期から展葉期(4月下旬～5月中旬)にかけて重点的に防除。
カキ	炭疽病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部の園地で発生が確認されたが、平年並の発生であった。		冬期の発病枝のせん除と園外処分。 発病した果実、徒長枝のせん除と園外処分。 開花期から果実肥大期の予防防除。特に5月中旬～梅雨時期、8月中旬～9月の秋雨時期を重点防除。
	カキノヘタムシガ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	5月の発生が多く、その後も平年比やや多の発生で推移した。	3月～4月の気温が平年より高く、発生が早かったことから、被害が増加した。	冬期の粗皮削りや第1世代幼虫(5月下旬～6月上旬)および第2世代幼虫期(7月下旬～8月中旬)の防除。
	カイガラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		第1世代(6月中下旬)および第2世代(8月中旬下旬)の防除。 バンド誘殺や粗皮削り。
	チャノキイロアザミウマ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		加害期の予防散布。 摘果時の被害果のせん除。
果樹共通	カメムシ類	(越冬世代) 平年:早 前年:やや早 (当年世代) 平年:並 前年:並	(越冬世代) 平年:多 前年:多 (当年世代) 平年:少 前年:少	チャバネアオカメムシの越冬虫数は過去10年で2番目に多く、予察灯・フェロモントラップの7月までの誘殺数も平年より多かった。8月以降の当年世代は少なく、ヒノキ球果からの離脱を示す予察灯への飛来は確認されなかった。	ヒノキ球果の着果量は平年並であったが、越冬世代の数が多かったため、当年世代が育つための養分が足りず、台風10号の風雨による幼虫の落下も加わり、新成虫の発生が少なくなったと思われる。	飛来が認められた園や地域での薬剤防除。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
チャ	炭疽病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	巡回調査では、5月の発生は見られたが、6月以降は発生が少なかった。	3月～4月の降雨が多く、発生を助長したが、梅雨入りが平年より13日遅かったことや、7月以降の高温乾燥により、発生量が抑制されたと考えられる。	二番茶、三番茶の生育初期の防除。 秋芽生育期の防除。 適宜せん枝の実施による感染源の除去。
	チャノコカクモンハマキ	平年：やや早 前年：やや早	平年：やや多 前年：やや多	巡回調査では7月までの発生は少なかったが、8月に被害が急増した。フェロモントラップ調査では、初発が早く、その後の発生も10日程度早く推移した。	3月～4月の気温が平年より高く推移したことから、初発が早く、その後の発生も平年より多かった。	一、二番茶摘採後及び秋芽生育期に防除を実施。 発蛾最盛日から7～10日後に防除実施。
	チャハマキ	平年：やや早 前年：やや早	平年：やや少 前年：やや少	巡回調査では調査期間を通して概ね平年比やや少の発生であった。フェロモントラップ調査では、初発が早く、その後の発生も10日程度早く推移した。	3月～4月の気温が平年より高く推移したことから、初発は早く、その後の発生は平年より少なく推移した。	チャノコカクモンハマキとの同時防除。
	チャノホソガ	平年：やや早 前年：やや早	平年：やや少 前年：やや少	巡回調査では調査期間を通して概ね平年比やや少の発生であった。フェロモントラップ調査では、初発が早く、その後の発生も10日程度早く推移した。	3月～4月の気温が平年より高く推移したことから、初発は早く、その後の発生は平年より少なく推移した。	二、三番茶期、秋芽生育期にチャノミトリヒメコハイ、チャノキイロアザミウマとの同時防除。
	チャノミトリヒメコハイ	平年：やや早 前年：並	平年：多 前年：やや少	巡回調査では4月～6月に寄生頭数・被害葉数ともに多く、8月以降も発生量が増加した。	3月～4月の気温が高く、発生が早まり、梅雨入りが平年より13日遅かったことや、7月以降の高温乾燥により、発生量が増加したと考えられる。	チャノキイロアザミウマ、チャノホソガと同時防除。
	カンサワダニ	平年：早 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	巡回調査では春からの発生が少なく、8月に一時増加したが、その後も発生は少なかった。	3月～4月に降雨が多かった影響で5月までは平年より少なく推移した。7月の梅雨明け以降は高温・少雨で経過し、8月は一時増加したが、深耕り更新や計画的な防除により発生は減少した。	越冬ダニの産卵開始時期と一番茶摘採後、秋芽生育期に防除。
	チャノキイロアザミウマ	平年：早 前年：やや早	平年：やや多 前年：やや多	調査期間を通して平年比やや多の発生であった。	3月～4月の気温が高く、発生が早まり、梅雨入りが平年より13日遅かったことや、7月以降の高温乾燥により、発生量が増加したと考えられる。	チャノミトリヒメコハイ、チャノホソガと同時防除。
	ツマグロアオカスミカメ	平年：やや早 前年：やや早	平年：やや多 前年：やや多	調査期間を通して平年比やや多の発生であった。	3月～4月の気温が高く、発生が早まり、梅雨入りが平年より13日遅かったことや、7月以降の高温乾燥により、発生量が増加したと考えられる。	萌芽期～1葉期の防除を実施。
クワシロカイカラムシ	平年：やや早 前年：やや早	平年：少 前年：やや少	巡回調査では、5月～6月に寄生株が確認されたが、全体の発生は平年比少の発生であった。	薬剤防除に加え深耕り等の耕種的防除が徹底したことや、4月下旬頃の幼虫孵化最盛期に降雨が多く、発生が減少したと考えられる。	有効積算温度による防除適期の予測。各世代の幼虫ふ化最盛期における薬剤防除及び中切り、深耕り等耕種的防除を実施。	

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
冬春 トマト R5. 10～ R6. 4	アザミウマ類	平年：一 前年：並	平年：一 前年：並	栽培期間を通して発生は確認されなかつた(前年からの新規調査であるため平年比なし)。		防虫ネット被覆、薬剤散布。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		防虫ネット被覆、薬剤散布。
	コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	ほ場における発生は、10月は平年よりやや多かったが、11月以降は平年並で推移した。	10月は、気温が平年より高くハウス内が温暖になったため増加し、その後は防除の徹底により発生量が抑えられたと考えられる。	防虫ネット被覆、薬剤散布。
	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		防虫ネット被覆、薬剤散布。
	オオタバコガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		防虫ネット被覆、薬剤散布。
	ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	疫病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		発生初期の薬剤防除、被害株の抜き取り、ほ場の排水対策。
	黄化葉巻病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	9～1月は平年より低く推移し、2～4月は平年比やや多の発生であった。	コナジラミの発生量は平年並であったが、ハウス内への飛び込みが遅かつたことや、冬季に草勢が落ちたことが考えられる。	コナジラミ類の防除。
	すすかび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	11月までは平年比並で推移し、その後はやや少で推移した。	冬期の降水量が平年より少なく推移し、多湿条件が少なかったことで発生も少なくなったと考えられる。	薬剤散布、通風換気、排水対策。
	葉かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	巡回調査では栽培期間を通して発生は確認されず平年比やや少の発生であった。	冬期の降水量が平年より少なかったため、発生も少なくなったと考えられる。 また、殺菌剤による初期防除が定着している。	発生初期の薬剤散布。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
夏秋 トマト R6. 6~. 9	アザミウマ類	平年：一 前年：並	平年：一 前年：並	栽培期間を通して発生は確認されなかった(前年からの新規調査であるため平年比なし)。		薬剤散布。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	6月は平年並みの発生であったが、その後は栽培期間を通して平年比多の発生であった。	栽培期間を通して、平年より気温が高く推移したため、増殖を助長したと考えられる。	薬剤散布。
	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	6月から8月は平年並の発生で推移したが、9月の発生は平年よりやや少なかった。	8月以降の降水量が平年より多く、多湿により胞子拡散を抑制したと考えられる。	薬剤散布。
	疫病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		発生初期の薬剤防除、被害株の抜き取り、ほ場の排水対策。
	すすかび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	6月は平年比やや多の発生であったが、その後は平年比やや少の発生であった。	5月は平年より降水量が多く推移したため、発生が助長されたと考えられるが、その後は8月下旬に台風が通過したものの平年より少雨であったため、発生が抑制されたと考えられる。	薬剤散布、通風換気、排水対策。
	葉かび病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	栽培期間を通して平年より少ない発生であった。	平年より高い気温で推移したものの、防除の徹底により発生が抑えられたと考えられる。	発生初期の薬剤散布。
冬春ナス R5. 10~ R6. 4	アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	10月は平年比多の発生となつたが、その後は2月の平年比やや多を除き、平年並みの発生となった。	10月は、気温が平年より高くハウス内が温暖になったため増加し、その後は防除の徹底により発生量が概ね抑えられたと考えられる。	薬剤散布、天敵利用。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	オオタバコガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	栽培期間を通して平年よりやや少ない発生であった。		薬剤散布。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
冬春ナス	すすかび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	栽培期間を通して平年よりやや少なく推移した。	平年より降水量が少なく、発生量が抑えられたと考えられる。	発生初期の薬剤散布。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	1月以降は平年より少なく推移した。	平年より降水量が少なく、発生量が抑えられたと考えられる。	薬剤散布、通風換気、排水対策。
冬春 キュウリ R5.11～ R6.5	アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	コナジラミ類	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：やや少 前年：やや少	3月まで平年より少なく推移し、4月に平年よりやや多い発生があったものの、5月は平年よりやや少なく推移した。	11月はコナジラミの発生が少なかつた。また、ハウス内への飛び込みが少ないまま気温が低下したことで、12月以降の発生量も低く推移したと考えられる。	薬剤散布。
	ハダニ類	平年：一 前年：一	平年：一 前年：一	栽培期間を通して発生は確認されなかった（当年からの新規調査であるため平年比、前年比なし）。		薬剤散布。
	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	3月まで平年並の発生であったが、4月以降発病株が急増した。	4月に雨天、曇天が続き、ハウス内が結露したことによって、胞子形成が助長されたためと考えられる。	薬剤散布。
	褐斑病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		抵抗性品種の利用、薬剤散布。
	炭疽病	平年：一 前年：一	平年：一 前年：一	栽培期間を通して発生は確認されなかった（当年からの新規調査であるため平年比、前年比なし）。		薬剤散布。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	3月まで平年並で推移したが、4月に発病株が急増した。	4月に雨天、曇天が続き、ハウス内が結露したことによって、発生が助長されたためと考えられる。	施設内換気。薬剤散布。
	斑点細菌病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して発生が確認されず、平年並であった。		薬剤散布。
	べと病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	2月までは平年並で推移したが、3月から発病株が増加し、4月の発病株率は平年を大きく上回った。	3、4月は雨天、曇天が続き、ハウス内が結露したことによって、発生が助長されたためと考えられる。	薬剤散布。
黄化えそ病	黄化えそ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して発生が確認されず、平年並であった。		アザミウマ類の防除。
	退緑黄化病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	3、4月は平年並の発生であったが、他の月は平年よりやや少なく推移した。	11月はコナジラミの発生が少なく、それに伴い発病株も少なかった。また、ハウス内への飛び込み量が少ないまま気温が低下したことで12月以降の発病株率も低く推移したと考えられる。	コナジラミ類の防除。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
冬春 イチゴ R5. 10～ R6. 4	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して目立った発生は確認されず、平年並であつた。		老化、被害葉の除去、薬剤散布。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して目立った発生は確認されず、平年並であつた。		薬剤散布、通風換気、排水対策。
	炭疽病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して目立った発生は確認されず、平年並であつた。	健全苗の選抜や発病株の早期持ち出しが徹底されたことで、発生が抑制されたと考えられる。	健全親株、無病苗確保。 高設雨よけ育苗、薬剤散布。
	ハダニ類	平年：早 前年：早	平年：多 前年：多	10月からすでに平年より多く発生しており、1月にはさらに増加し、栽培終了まで多発生が続いた。	昨年9月の時点で寄生葉率が高く、本ぼへ持ち込まれたため、10月は発生量平年比多となつたと考えられる。また、1月は極端に降水量が少なく乾燥状態が続いたことが、急激な発生量増加につながつたと考えられる。	下葉の除去、薬剤散布、天敵利用。
	アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	栽培期間を通して平年並からやや少なく推移した。	今冬は平均気温が高く、暖冬であったが、各場での防除徹底により12月以降の発生がやや少なく推移したと考えられる。	薬剤散布。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	栽培期間を通して平年並からやや多く推移した。特に11月から12月にかけて発生がやや多かった。	秋期は日照時間が長く、アブラムシの増殖に好適な条件であったため、11月の発生量が増加したと考えられる。	薬剤散布。
	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。

(2) 農作物有害動植物の発生面積及び防除面積

(*は同時防除)

作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
水稻 (早期・早植え)	6, 262	作付面積					-		
		葉いもち			70	300	370	6, 200	6, 200
		穂いもち			40	270	310	6, 200	6, 200
		紋枯病				600	600	3, 500	3, 500
		白葉枯病				50	50	2, 500	2, 500
		*セジロウンカ				1, 300	1, 300	6, 200	17, 500
		トビイロウンカ			50	1, 500	1, 550	6, 200	17, 500
		*ヒメトビウンカ				2, 500	2, 500	6, 200	17, 500
		*ツマグロヨコバイ				1, 000	1, 000	6, 200	17, 500
		*斑点米カメムシ類			50	400	450	6, 200	17, 500
水稻 (普通期)	23, 559	コブノメイガ			800	1, 000	1, 800	1, 000	1, 000
		葉いもち		30	2, 000	3, 000	5, 030	23, 000	23, 000
		穂いもち			30	2, 000	2, 030	23, 000	23, 000
		紋枯病	50	100	600	9, 000	9, 750	23, 000	23, 000
		白葉枯病				200	200	1, 000	1, 000
		*ばか苗病				100	100	23, 000	23, 000
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)					-	23, 000	23, 000
		もみ枯細菌病		50	200	1, 000	1, 250	23, 000	23, 000
		縞葉枯病				100	100	23, 000	69, 000
		*セジロウンカ				3, 000	3, 000	23, 000	69, 000
		トビイロウンカ			50	1, 500	1, 550	23, 000	69, 000
		*ヒメトビウンカ				3, 000	3, 000	23, 000	69, 000
		*ツマグロヨコバイ			300	3, 500	3, 800	23, 000	69, 000
		*斑点米カメムシ類			400	2, 000	2, 400	23, 000	69, 000
麦	8, 280	さび病類			30	450	480		
		うどんこ病			50	450	500		
		赤かび病	50	400	900	5, 000	6, 350	7, 900	9, 500
大豆	2, 730	ハスモンヨトウ	30	200	500	1, 800	2, 530	2, 600	2, 600
		吸実性カメムシ類				700	700	850	850
かんきつ	5, 161	そうか病			200	500	700	3, 000	9, 000
		黒点病		100	300	1, 500	1, 900	5, 000	15, 000
		かいよう病			50	500	550	2, 000	6, 000
		ミカンハダニ	10	30	500	1, 500	2, 040	5, 000	15, 000
		チャノキイロアザミウマ		10	140	850	1, 000	5, 000	20, 000
		アブラムシ類			100	200	300	1, 000	1, 000
なし	387	黒斑病					-		
		黒星病			20	80	100	350	2, 100

作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
なし	387	*赤星病				30	30	350	1,050
		ナシヒメシンクイ			20	200	220	350	1,050
		*ハマキムシ類				50	50	350	1,050
		ハダニ類		10	30	100	140	350	1,050
		カイガラムシ類			10	70	80	100	200
		アブラムシ類				100	100	350	700
かき	350	炭そ病			10	50	60	350	700
		カキノヘタムシガ		5	30	65	100	350	700
		カイガラムシ類			20	80	100	200	400
		チャノキイロアザミウマ			20	50	70	350	700
果樹共通	5,868	カメムシ類	50	400	2,000	2,000	4,450	5,000	15,000
茶	1,130	炭そ病			50	200	250	800	1,600
		チャノコカクモン ハマキ		20	80	250	350	1,000	3,000
		*チャハマキ			20	200	220	1,000	3,000
		チャノホソガ			20	130	150	1,000	1,000
		*チャノミドリヒメ ヨコバイ	20	80	200	500	800	1,000	3,000
		カンザワハダニ			50	400	450	1,000	3,000
		*チャノキイロアザ ミウマ		10	70	300	380	1,000	3,000
		ツマグロアオカス ミカメ	5	25	100	350	480	500	500
		クワシロカイガラ ムシ			80	300	380	1,000	2,000
		夏秋トマト R6.6~9	395	疫病			20	20	395
冬春トマト R5.10~ R6.4	855	灰色かび病		5	50	150	155	395	1,975
		葉かび病		5	20	100	125	395	1,975
		輪紋病					-	411	411
		うどんこ病		5	20	100	125	395	1,975
		すすかび病	5	30	100	120	255	395	1,975
		オオタバコガ				40	40	395	1,975
		コナジラミ類	5	10	80	280	375	395	1,975
		アブラムシ類				20	20	395	1,975
		ハスモンヨトウ				60	60	395	1,975

作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
冬春トマト R5.10～R6.4		オオタバコガ				40	40	855	7,695
		コナジラミ類			100	350	450	855	7,695
		アブラムシ類			20	20	855	7,695	2,535
		ハスモンヨトウ				40	40	855	7,695
冬春なす R5.10～R6.4	170	うどんこ病				35	35	170	1,360
		灰色かび病		5	15	60	80	170	1,360
		すすかび病			20	55	75	170	1,360
		アザミウマ類		1	5	30	36	170	1,360
		コナジラミ類		5	10	130	145	170	1,360
		オオタバコガ				10	10	170	1,360
		アブラムシ類				15	15	170	1,360
		ハダニ類				15	15	170	1,360
		ハスモンヨトウ				10	10	170	1,360
冬春きゅうり R5.11～R6.5	79	ベと病	1	4	13	29	46	79	553
		炭そ病				1	1	79	553
		うどんこ病	1	2	9	36	47	79	553
		斑点細菌病				1	1	79	553
		灰色かび病	1	4	10	20	36	79	553
		褐斑病			4	23	27	79	553
		菌核病				9	9	75	900
		黄化えそ病				5	5	75	553
		退緑黄化病			10	41	51	75	553
		アザミウマ類				13	13	79	553
		アブラムシ類				2	2	79	553
		コナジラミ類				14	14	79	553
いちご R5.10～R6.4	298	灰色かび病				15	15	298	2,086
		うどんこ病				15	15	298	2,086
		炭そ病				15	15	298	2,086
		アブラムシ類	4	8	3	54	69	298	2,086
		アザミウマ類			30	133	163	298	2,086
		ハダニ類	34	19	42	60	154	298	2,086
		ハスモンヨトウ			14	29	43	298	2,086
		灰色かび病				15	15	298	2,086

(3) 普通作病害虫発生予察事業（大豆・イグサを含む）

ア 病害虫防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名「水稻 早期・早植」

調査月	対象病害虫	葉いもち		穂いもち		紋枯病		縞葉枯病	白葉枯病	ばか苗病
		調査項目	発病株率	発病度	発病穂率	発病度	発病株率			
4	本年値	0.00	0.00	—	—	—	—	—	—	—
	平年値	0.15	0.04	—	—	—	—	—	—	—
5	本年値	0.00	0.00	—	—	—	—	0.00	—	0.00
	平年値	0.60	0.15	—	—	—	—	0.00	—	0.00
6	本年値	2.29	0.64	—	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
	平年値	2.65	0.74	—	—	0.05	—	0.04	0.00	0.00
7	本年値	8.25	2.06	0.16	0.05	2.50	0.72	0.00	0.00	0.00
	平年値	13.31	3.61	0.06	0.02	0.45	0.12	0.03	0.00	0.00
8	本年値	7.20	1.80	0.23	0.11	0.80	0.30	0.00	0.00	—
	平年値	19.36	4.91	0.36	0.15	2.33	0.71	0.04	0.00	—

調査月	対象病害虫	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ	斑点米カムシ類	イネミズゾウムシ	
		調査項目	頭／株	頭／株	頭／株	頭／株	葉巻数／株	頭／25株	被害度
4	本年値	—	—	—	—	—	—	0.00	0.00
	平年値	—	—	—	—	—	—	0.11	0.16
5	本年値	0.00	0.02	0.04	0.00	0.00	—	6.30	1.30
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	9.88	1.23
6	本年値	1.44	2.44	1.35	0.00	0.00	1.29	6.71	0.71
	平年値	0.11	0.24	0.11	0.00	0.00	—	6.10	0.55
7	本年値	1.63	1.20	0.68	0.08	0.19	0.25	—	—
	平年値	0.65	0.58	0.97	0.13	0.23	0.11	—	—
8	本年値	0.59	0.42	0.14	0.92	0.05	0.40	—	—
	平年値	0.68	0.40	0.39	9.04	0.13	0.22	—	—

調査月	対象病害虫	イネドロオイムシ (早植えのみ)			
		調査項目	被害度	卵塊数／25株	頭／25株
4	本年値	—	—	—	—
	平年値	—	—	—	—
5	本年値	—	—	—	—
	平年値	—	—	—	—
6	本年値	1.75	0.00	0.00	—
	平年値	—	—	—	—
7	本年値	—	—	—	—
	平年値	—	—	—	—
8	本年値	—	—	—	—
	平年値	—	—	—	—

作物名「水稻 普通期」

調査月	対象病害虫	葉いもち		穂いもち		紋枯病		縞葉枯病	白葉枯病	ばか苗病
		調査項目	発病株率	発病度	発病穗率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病株率
6	本年値	0.00	0.00	—	—	—	—	—	—	—
	平年値	0.05	0.01	—	—	—	—	—	—	—
7	本年値	0.00	0.00	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.26	0.07	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	本年値	3.20	0.80	—	—	1.20	0.30	0.00	0.00	0.00
	平年値	4.43	1.13	—	—	0.95	0.24	0.06	0.00	0.00
9	本年値	0.60	0.15	0.05	0.01	8.50	4.05	0.00	0.00	—
	平年値	4.54	1.14	0.25	0.10	3.34	1.13	0.08	0.00	—

調査月	対象病害虫	ツマグロ ヨコバイ	ヒメトビ ウンカ	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	コブノ メイガ	斑点米カ メムシ類	イネミズゾウムシ	
		調査項目	頭／株	頭／株	頭／株	頭／株	葉巻数 ／株	頭／25株	被害度
6	本年値	—	—	—	—	—	—	0.00	0.00
	平年値	—	—	—	—	—	—	0.08	0.00
7	本年値	0.34	0.04	0.04	0.00	0.04	—	—	—
	平年値	0.06	0.07	0.16	0.01	0.02	—	—	—
8	本年値	0.89	0.21	0.15	0.00	0.73	0.00	—	—
	平年値	0.38	0.78	0.44	0.09	0.13	0.02	—	—
9	本年値	1.37	0.39	0.23	0.18	2.22	0.40	—	—
	平年値	0.41	0.63	0.15	1.95	0.23	0.08	—	—

作物名「麦類」

調査月	対象病害虫	赤かび病		うどんこ病		さび病類	
		調査項目	発病穗率	発病度	発病茎率	発病度	発病茎率
5	本年値	13.72	3.18	2.89	0.72	0.89	0.22
	平年値	1.15	0.26	0.05	0.01	0.27	0.04

作物名「大豆」

調査月	対象病害虫	フタスジヒ メハムシ	マメシンク イガ	吸実性カメ ムシ類	ヨトウムシ類			ハスモン ヨトウ
		調査項目	頭／10株	食害莢率	頭／10株	食害株率	食害度	頭／10株
8	本年値	0.09	—	0.06	20.57	5.64	4.91	4.07
	平年値	—	—	0.16	22.78	6.48	1.85	2.40
9	本年値	0.34	0.00	0.20	63.43	20.64	26.17	—
	平年値	—	—	0.51	40.57	11.46	4.26	—
10	本年値	1.31	0.03	2.60	51.71	17.93	0.09	—
	平年値	—	—	1.47	32.73	9.94	0.72	—

(イ) 予察灯による水稻害虫調査（合志市）

①セジロウンカ

月	半旬	R6年	平年
4	1	0	0.0
	2	1	0.0
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.1
	6	0	0.1
5	1	0	0.0
	2	0	0.0
	3	0	0.0
	4	0	0.2
	5	0	0.0
	6	1	0.1
6	1	0	0.1
	2	3	0.7
	3	7	1.1
	4	4	1.4
	5	466	18.9
	6	2,599	28.4
7	1	614	96.6
	2	49	105.4
	3	1,405	90.5
	4	273	51.3
	5	19	17.0
	6	5	24.6
8	1	27	13.1
	2	10	9.9
	3	32	39.8
	4	15	51.9
	5	5	37.7
	6	2	18.9
9	1	10	119.7
	2	3	46.2
	3	0	42.7
	4	3	21.6
	5	1	86.5
	6	0	12.5
10	1	4	6.8
	2	3	3.4
	3	1	0.5
	4	8	3.1
	5	1	1.1
	6	0	0.6
合計		5,571	952.4

②トビイロウンカ

月	半旬	R6年	平年
4	1	0	0.0
	2	0	0.0
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.0
	6	0	0.0
5	1	0	0.1
	2	0	0.1
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.1
	6	0	0.0
6	1	0	0.0
	2	0	0.7
	3	0	0.1
	4	0	0.0
	5	17	0.6
	6	1	1.3
7	1	106	29.5
	2	0	41.8
	3	0	22.8
	4	3	9.3
	5	1	1.9
	6	2	2.6
8	1	0	4.3
	2	0	9.1
	3	2	4.9
	4	3	4.4
	5	5	3.8
	6	1	6.1
9	1	1	220.1
	2	2	88.2
	3	2	96.8
	4	2	18.1
	5	12	18.6
	6	4	346.7
10	1	22	175.3
	2	23	54.7
	3	2	24.5
	4	100	84.1
	5	27	33.0
	6	19	7.4
合計		357	1,311.1

③ヒメトビウンカ

月	半旬	R6年	平年
4	1	0	0.0
	2	0	0.0
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.0
	6	0	0.0
5	1	0	0.0
	2	0	0.0
	3	0	0.0
	4	0	0.1
	5	0	0.1
	6	2	0.7
6	1	0	0.5
	2	1	0.3
	3	0	0.2
	4	1	0.3
	5	11	0.5
	6	8	4.8
7	1	63	20.2
	2	7	21.3
	3	15	18.1
	4	34	19.4
	5	55	9.5
	6	18	12.3
8	1	64	15.1
	2	14	9.8
	3	14	5.8
	4	4	3.0
	5	11	2.8
	6	0	1.1
9	1	4	11.1
	2	2	7.2
	3	6	6.3
	4	1	3.8
	5	0	1.0
	6	2	0.9
10	1	3	1.2
	2	0	0.8
	3	0	0.7
	4	3	0.2
	5	0	0.0
	6	1	0.2
合計		344	179.3

④ツマグロヨコバイ

月	半旬	R6年	平年
4	1	0	0.0
	2	0	0.0
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.0
	6	0	0.0
5	1	0	0.0
	2	0	0.0
	3	0	0.1
	4	0	0.3
	5	2	1.1
	6	2	2.6
6	1	2	3.9
	2	2	7.9
	3	4	2.7
	4	6	4.2
	5	1	1.7
	6	1	2.7
7	1	108	8.0
	2	35	7.8
	3	15	14.8
	4	54	27.5
	5	33	14.2
	6	22	21.9
8	1	374	23.8
	2	357	22.9
	3	164	11.3
	4	326	20.2
	5	17	9.8
	6	4	6.1
9	1	25	22.4
	2	10	18.3
	3	9	13.8
	4	16	25.3
	5	3	11.7
	6	7	6.8
10	1	4	6.2
	2	6	3.3
	3	0	0.8
	4	1	0.2
	5	0	0.0
	6	0	0.0
合計		1,610	324.4

平年値は過去10年の平均

(ウ) ネットトラップによる水稻害虫調査（合志市）

①セジロウンカ

月	半旬	R6年	平年
4	1	0	0.1
	2	0	0.0
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.0
	6	0	0.0
5	1	1	0.0
	2	0	0.2
	3	0	0.3
	4	0	0.4
	5	2	0.3
	6	1	0.2
6	1	1	4.2
	2	0	1.0
	3	0	1.2
	4	0	1.4
	5	27	2.5
	6	8	7.7
7	1	0	3.6
	2	0	4.0
	3	7	2.2
	4	3	1.5
	5	1	2.2
	6	2	3.1
8	1	0	4.3
	2	0	1.2
	3	0	1.2
	4	0	1.3
	5	0	2.4
	6	0	7.7
9	1	0	3.6
	2	1	3.9
	3	0	2.2
	4	0	1.5
	5	1	2.2
	6	1	3.3
10	1	0	2.0
	2	1	1.0
	3	0	2.7
	4	0	1.2
	5	0	0.3
	6	0	1.0
合計		57	79.1

②トビイロウンカ

月	半旬	R6年	平年
4	1	0	0.0
	2	0	0.0
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.0
	6	0	0.0
5	1	0	0.0
	2	0	0.0
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.0
	6	0	0.0
6	1	0	0.0
	2	0	0.1
	3	0	0.1
	4	0	0.0
	5	0	0.3
	6	0	1.8
7	1	1	0.2
	2	0	1.2
	3	0	0.6
	4	0	1.8
	5	0	2.8
	6	0	2.8
8	1	0	0.0
	2	0	0.1
	3	0	0.1
	4	0	0.0
	5	0	0.3
	6	0	1.8
9	1	0	0.2
	2	0	1.2
	3	0	0.6
	4	0	2.0
	5	1	3.6
	6	0	2.9
10	1	1	4.4
	2	0	24.6
	3	0	45.8
	4	2	19.8
	5	0	17.7
	6	0	27.7
合計		5	164.5

③ヒメトビウンカ

月	半旬	R6年	平年
4	1	1	0.9
	2	0	0.5
	3	0	2.0
	4	0	0.6
	5	0	0.5
	6	0	0.1
5	1	0	2.0
	2	0	1.9
	3	9	0.2
	4	13	0.4
	5	22	0.6
	6	3	1.0
6	1	7	3.1
	2	0	2.0
	3	0	0.9
	4	0	1.9
	5	14	3.0
	6	11	2.5
7	1	4	6.4
	2	5	8.4
	3	2	10.1
	4	0	4.1
	5	0	2.0
	6	21	2.5
8	1	0	2.0
	2	1	1.9
	3	0	0.2
	4	0	0.4
	5	0	0.6
	6	0	1.0
9	1	0	3.1
	2	1	2.0
	3	5	0.9
	4	1	1.9
	5	3	3.0
	6	4	2.5
10	1	0	3.1
	2	1	2.0
	3	1	1.9
	4	0	4.1
	5	0	2.0
	6	0	2.5
合計		5	110.6

④ツマグロヨコバイ

月	半旬	R6年	平年
4	1	1	0.0
	2	0	0.0
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.1
	6	0	0.0
5	1	0	0.3
	2	1	0.0
	3	0	0.8
	4	1	0.5
	5	0	0.3
	6	0	0.1
6	1	0	0.2
	2	0	0.2
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.3
	6	0	0.2
7	1	0	0.2
	2	0	0.1
	3	0	0.2
	4	0	0.1
	5	0	0.0
	6	0	0.0
8	1	0	0.2
	2	0	0.0
	3	0	0.8
	4	0	0.5
	5	0	0.3
	6	2	0.1
9	1	0	0.2
	2	0	0.2
	3	0	0.0
	4	0	0.0
	5	0	0.3
	6	0	0.2
10	1	0	0.2
	2	0	0.1
	3	0	0.2
	4	0	0.1
	5	0	0.0
	6	0	0.0
合計		6	7.1

平年値は過去10年の平均

(エ) フェロモントラップによるコブノメイガ調査（合志市）

コブノメイガのフェロモントラップへの誘殺数（コーントラップ2か所の合計）

月	半旬	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値 (H26～R5)
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	2	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0		1
	3	0	0	0	0	6	16	0	0	0	0		2
	4	1	0	0	0	51	7	0	0	0	0		6
	5	0	0	0	0	383	2	0	0	0	4		43
	6	4	0	3	1	47	0	1	5	20	26	0	10
7	1	8	5	4	2	36	5	3	8	3	23	0	9
	2	1	2	1	0	44	7	0	9	8	37	0	11
	3	1	0	0	8	63	5	2	3	6	9	0	10
	4	0	0	0	1	108	19	1	4	0	15	0	15
	5	6	0	0	0	70	1	2	3	4	35	0	12
	6	5	0	1	0	60	7	0	6	13	14	0	10
8	1	0	0	1	0	23	5	0	11	35	13	0	9
	2	1	0	0	3	0	1	0	3	5	3	0	2
	3	2	1	3	0	18	10	0	4	15	2	0	5
	4	106	0	1	0	75	19	0	0	19		0	13
	5	136	0	6	0	55	23	0	3	19		0	12
	6	5	9	1	0	4	44	1	2	24		0	9
計		276	17	21	15	1,044	177	10	61	171	181	0	178

平年値は過去10年の平均(6月第1～5半旬及び8月第4～6半旬は9年の平均)

(オ) 無防除田におけるウンカ類の調査

- 1 調査場所 合志市生産環境研究所ほ場 ほ場面積 4 a
- 2 耕種概要 1) 品種 くまさんの輝き
2) 移植 5月16日
- 3 調査方法 扱い落とし法でウンカ類・ツマグロヨコバイの成幼虫数を調査した。
調査は 25×18cm の粘着板を使用し、60株調査（1株2回叩き）を
6/10, 21、7/1, 10, 22, 30、8/7, 20, 30、9/10, 20 で行った。

4 調査結果

区名		6月10日	6月21日	7月1日	7月10日	7月22日	7月30日	8月7日	8月20日	8月30日	9月10日	9月20日
セジロウンカ	成虫	長翅			2.5		0.7	0.2		0.2		
		短翅			0.3							
	幼虫	老齢		0.7		1.5	0.2		0.2			
		中齢		0.7		8.3	0.2	0.2	1.0		0.3	0.2
		若齢	0.7		1.8	9.0	0.3	7.8	5.8	2.0	2.5	3.2
	合計		0.7	1.3	13.7	18.8	1.3	8.2	7.0	2.2	2.8	3.2
ヒメトビウンカ	成虫	長翅		2.2	7.3	1.8	0.5	0.2	0.7	1.7		0.8
		短翅					1.0	0.7	0.8	0.7		
	幼虫	老齢				1.0	1.5	0.8	1.5	6.2	1.0	2.8
		中齢				7.2	0.7	0.8	6.5	4.5	1.0	2.7
		若齢		0.2	1.7	15.2	1.2	1.3	6.3	2.2	7.7	5.5
	合計			2.3	9.0	25.2	4.8	3.8	15.8	15.2	9.7	11.8
トビイロウンカ	成虫	長翅♂							0.5	1.3	0.3	4.8
		長翅♀			0.2	0.2		0.2		0.2	0.7	4.0
	幼虫	短翅♂								1.7	0.8	0.5
		短翅♀						0.3	0.7	2.8	1.8	1.3
		老齢						0.3	1.5	3.3	2.5	14.2
		中齢					0.2	1.8	3.3	5.5	8.3	37.2
		若齢					0.5	9.0	9.3	18.7	33.5	183.0
	合計				0.2	0.2	0.7	11.7	15.3	33.5	48.0	245.5
ツマグロヨコバイ	成虫		0.7	0.8	1.8	11.2	4.3	1.8	1.3	2.2	2.7	1.2
	幼虫	老齢		7.7	19.2	15.3	6.2	2.5	4.0	4.0	2.7	3.5
		中齢	0.7	9.5	24.0	15.8	6.5	2.2	5.5	5.3	2.5	4.0
		若齢	7.2	29.3	32.5	27.2	3.8	6.8	9.5	3.3	2.2	5.7
	合計			8.5	47.3	86.5	69.5	2.8	13.3	2.3	14.8	1.0
												14.3
												11.3

注：10株あたり頭数

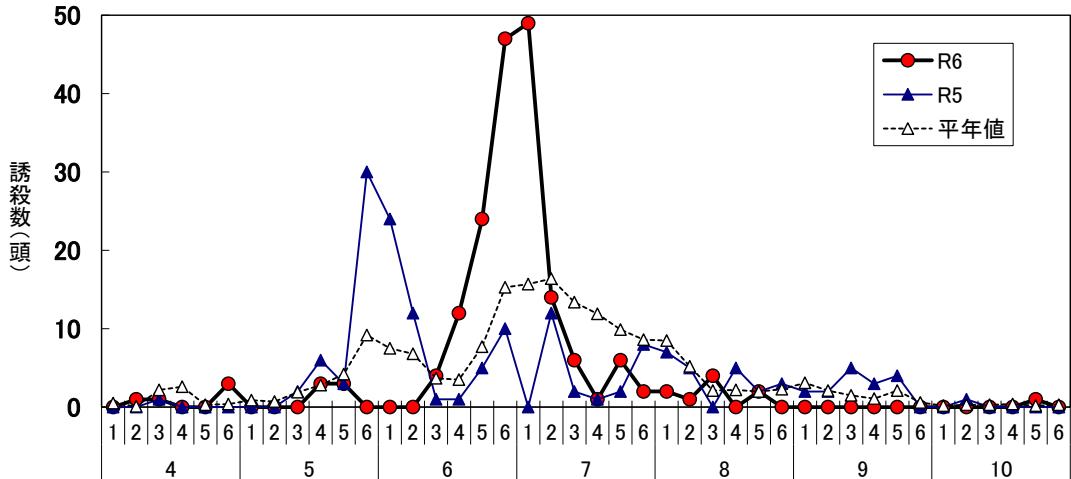
(力) イグサシンムシガ予察灯誘殺数 (60W白熱灯)

アグリシステム総合研究所

月	半旬	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0	0.5
	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.1
	3	1	1	1	0	0	2	3	0	2	13	0	2.2
	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	25	0	2.6
	5	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0.3
	6	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0.4
5	1	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	2	0.9
	2	0	0	3	0	0	0	0	1	2	1	0	0.7
	3	0	2	5	4	1	5	0	1	0	0	1	1.9
	4	3	6	5	3	1	5	2	1	0	4	1	2.8
	5	3	3	14	3	0	1	12	0	5	2	2	4.2
	6	0	30	16	5	7	1	8	0	5	19	1	9.2
6	1	0	24	6	5	8	10	5	0	10	7	0	7.5
	2	0	12	2	1	6	9	10	3	15	10	0	6.8
	3	4	1	4	3	0	3	4	7	2	10	3	3.7
	4	12	1	11	2	1	4	5	0	0	6	5	3.5
	5	24	5	7	9	5	16	19	5	2	5	4	7.7
	6	47	10	58	17	12	9	16	3	0	9	19	15.3
7	1	49	0	47	12	10	35	18	3	17	13	2	15.7
	2	14	12	30	5	4	42	32	5	4	29	1	16.4
	3	6	2	24	8	3	25	15	7	3	30	17	13.4
	4	1	1	6	4	8	12	28	6	13	22	19	11.9
	5	6	2	21	4	7	7	22	5	27	4	0	9.9
	6	2	8	10	2	9	16	14	0	18	9	0	8.6
8	1	2	7	3	3	7	5	9	19	3	29	0	8.5
	2	1	5	4	3	5	5	8	16	0	6	0	5.2
	3	4	0	1	3	5	4	1	7	0	0	0	2.1
	4	0	5	2	0	2	10	1	0	0	1	1	2.2
	5	2	2	3	0	2	1	0	0	3	0	9	2.0
	6	0	3	1	0	2	0	2	0	3	6	0	2.3
9	1	0	2	16	0	0	5	0	1	6	0	1	3.1
	2	0	2	4	3	1	5	0	0	6	0	0	2.1
	3	0	5	2	3	1	3	0	0	1	0	0	1.5
	4	0	3	5	1	2	0	0	0	0	0	0	1.1
	5	0	4	7	2	8	0	0	0	0	0	0	2.1
	6	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0.6
10	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.3
	3	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0.4
	5	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0.2
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0.3
年計		186	159	328	109	115	244	233	99	164	260	96	180.7

平年値は過去 10 年の平均

イグサシンムシガの予察灯への誘殺状況(アグリシステム総合研究所)



(キ) イグサシンムシガ越冬調査結果

(調査日：令和7年3月24日)

No.	市町村名	地点名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹数	合計	頭数／10 m ² (幼虫+蛹)	茎数／株	
1	氷川町	中島	100	7	2	0	2	5.6	93.4	
2		鹿野	100	4	0	0	0	0.0	55.6	
3		網道	100	3	0	0	0	0.0	61.6	
4	八代市	両出	100	6	2	1	3	8.4	65.2	
5		鏡村	100	0	0	0	0	0.0	85.6	
6		北新地	100	3	0	1	1	2.8	78.6	
7	八代市	古閑出	100	0	0	0	0	0.0	49.0	
8		太牟田	100	4	0	0	0	0.0	43.8	
9		吉王丸	100	1	1	0	1	2.8	38.0	
10		松高	100	2	1	2	3	8.4	35.0	
11		金剛	100	0	0	0	0	0.0	32.2	
12		日奈久	100	10	4	6	10	28.0	40.4	
計			1,200	40	10	10	20	4.7	56.5	
平年			1,630	48	12	7	19	3.0	/	

越冬世代の蛹化率および発蛾最盛日

年 次	調査日	蛹化率 (%)	発蛾最盛日予測（実測日）
令和7年	3月24日	31.7	4月11日（12日）
令和6年	3月18日	25.0	4月7日（6日）
平 年	3月25日	37.4	4月11日（12日）

注) 蛹化率：調査区と調査区外の幼虫、蛹数も含めて算出

予測式：調査日の蛹化率と過去10年間の「調査日の蛹化率係数（傾き）」と「調査日から発蛾最盛日までの日数係数（切片）」を用いた予測式

$$\text{発蛾最盛日} = \text{調査日の蛹化率(%)} \times (-0.3028) + (27.31) + \text{調査日}$$

実測日：乾式予察灯（地点：八代市千丁、鏡）で3月～4月に誘殺のピークが見られた日

イ 県予察ほ場における調査

生産環境研究所

(ア) 水稻害虫

1. 目的

水稻主要害虫の発生動態を調査し、適期防除の推進と情報システム化の資料とする。

2. 方法

1) 調査場所 合志市 生産環境研究所ほ場

2) 耕種概要 中苗機械移植 植栽密度 30cm×18cm 調査圃場面積 195 m²

作 期	品 種	移 植	出穂期
普通期	ヒノヒカリ	6月13日	8月26日

3) 調査方法

払い落し調査；25×18cm の粘着板に1区20株、2回叩き3反復で行った。

ウンカ類、ヨコバイ類の発生状況

種類	調査日 移植後日数	7/2 19	7/16 33	7/30 47	8/14 62	8/27 75	9/10 89	9/24 103
トビイロウンカ	♂成虫	1	0	0	1	12	7	92
	♀成虫	0	0	1	1	17	23	78
	老齢幼虫	0	0	0	0	8	8	372
	若中齢幼虫	0	1	15	36	136	849	1177
	合計	1	1	16	38	173	887	1719
セジロウンカ	♂成虫	41	8	1	0	0	0	0
	♀成虫	53	14	4	2	1	0	0
	老齢幼虫	0	36	0	0	0	0	0
	若中齢幼虫	26	150	11	34	0	20	3
	合計	120	208	16	36	1	20	3
ヒメトビウンカ	♂成虫	0	1	2	0	2	0	1
	♀成虫	8	2	7	5	6	1	1
	老齢幼虫	0	0	12	1	0	3	4
	若中齢幼虫	1	35	45	57	10	47	7
	合計	9	38	66	63	18	51	13
ツマグロヨコバイ	♂成虫	1	4	26	19	0	0	0
	♀成虫	2	13	30	48	1	1	1
	老齢幼虫	0	9	121	9	0	1	0
	若中齢幼虫	22	251	361	205	22	7	9
	合計	25	277	538	281	23	9	10

注：粘着板払い落とし虫数の20株調査3反復合計値

3. 結果の概要・要約

- 1) トビイロウンカの水田での発生は、7月2日（移植19日後）に雄成虫が初確認された。その後密度が増加し、9月24日（移植103日後）に成虫2.8頭/株、幼虫25.8頭/株のピークが認められた。
- 2) セジロウンカの水田での発生は、7月2日（移植19日後）から発生が認められた。7月中旬まで密度が増加し、その後は減少した。7月2日（移植19日後）に成虫1.6頭/株、7月16日（移植33日後）に幼虫3.1頭/株のピークが認められた。
- 3) ヒメトビウンカの水田での発生は、7月2日（移植19日後）から発生が認められた。9月下旬まで密度が増加し、その後は減少した。成虫は7月30日（移植47日後）に0.2頭/株、幼虫は8月14日（移植62日後）に1.0頭/株のピークが認められた。
- 4) ツマグロヨコバイの水田での発生は、7月2日（移植19日後）から発生が認められ、7月30日（移植47日後）に成幼虫数が9.0頭/株と最大となった。

(4) 果樹等病害虫発生予察事業（茶を含む）

ア 病害虫防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名「かんきつ」

調査月	調査対象	そうか病		かいよう病		黒点病		ハダニ類		チャノキロアザミウマ類	アブラムシ類
	調査項目	発病葉率	発病果率	発病葉率	発病果率	発病果率	発病度	寄生葉率	頭／10葉	被害果率	寄生新梢率
4	本年値	0.33	—	—	—	—	—	5.67	0.98	—	0.00
	平年値	0.08	—	—	—	—	—	5.11	0.55	—	0.16
5	本年値	0.67	—	0.00	—	—	—	1.91	0.21	—	0.18
	平年値	0.32	—	0.30	—	—	—	5.70	2.84	—	0.61
6	本年値	1.00	0.33	2.60	0.40	0.00	0.00	18.1 8	8.68	0.00	0.27
	平年値	0.12	0.08	1.18	0.12	0.02	0.00	12.23	6.55	0.04	0.50
7	本年値	0.33	0.67	1.60	0.40	0.09	0.02	15.5 5	21.3 6	0.09	0.09
	平年値	0.06	0.43	1.42	0.83	0.74	0.12	6.65	2.27	0.32	0.39
8	本年値	—	—	1.20	0.60	0.91	0.16	2.91	0.61	0.82	—
	平年値	—	—	1.31	1.57	2.28	0.41	2.57	0.74	0.72	—
9	本年値	—	—	0.60	0.40	6.00	0.91	2.00	0.47	1.18	—
	平年値	—	—	0.96	2.19	2.87	0.52	3.33	1.00	0.71	—
10	本年値	—	—	—	—	—	—	8.09	2.95	—	—
	平年値	—	—	—	—	—	—	2.81	0.80	—	—
2	本年値	0.00	—	1.80	—	—	—	8.00	4.70	—	—
	平年値	0.03	0.00	0.73	0.02	—	—	4.43	1.18	—	—
3	本年値	0.50	—	1.40	—	—	—	6.27	4.22	—	—
	平年値	0.15	0.00	0.79	0.03	—	—	4.48	1.50	—	—

作物名「なし」

調査月	調査対象	黒星病	赤星病	黒斑病	ハダニ類	アブラムシ類	シクイムシ類	ハマキムシ類
	調査項目	発病葉率	発病葉率	発病葉率	寄生葉率	寄生梢率	寄生梢率	寄生葉率
4	本年値	0.00	0.00	—	—	0.67	—	—
	平年値	0.00	0.00	—	—	0.43	—	—
5	本年値	0.00	0.00	—	0.00	0.67	0.00	0.00
	平年値	0.97	0.57	—	0.00	1.57	—	—
6	本年値	0.00	0.33	2.33	1.67	6.00	0.00	0.00
	平年値	1.37	1.33	—	0.23	0.83	—	—
7	本年値	0.00	—	2.00	1.33	—	0.00	0.00
	平年値	2.23	—	—	3.27	—	—	—
8	本年値	0.00	—	2.00	3.33	—	0.00	0.00
	平年値	1.33	—	—	8.87	—	—	—

作物名 「茶」

調査月	調査対象	炭疽病	チャノキイロアザミウマ		チャハミドリヒメヨコバエ		
			発病葉数 /m ²	寄生葉率 /10ヶ所	寄生葉率	被害芽数 /m ²	たたき落とし頭数 /10ヶ所
4	本年値	—	0.25	1.50	0.75	7.63	1.00
	平年値	—	0.15	—	0.36	0.85	—
5	本年値	4.13	1.75	8.38	3.00	23.38	31.00
	平年値	2.49	0.38	—	0.63	2.72	—
6	本年値	4.50	0.00	10.88	1.50	9.88	13.25
	平年値	4.11	1.29	—	3.33	3.08	—
7	本年値	0.00	0.00	10.38	0.25	2.00	5.63
	平年値	8.50	0.70	—	1.75	3.64	—
8	本年値	0.00	4.75	117.13	0.00	3.38	5.00
	平年値	4.23	0.90	—	1.00	1.80	—
9	本年値	0.00	2.50	19.50	1.25	2.13	5.50
	平年値	5.05	1.00	—	1.85	2.89	—

調査月	調査対象	ハダニ類		ツマグロアオカスミカメ	チャノホソガ	チャノコカクモンハマキ	チャハマキ	クリシロカイカラムシ
		調査項目	寄生葉率	寄生頭数 /10葉	被害芽数 /m ²	三角巻数 /m ²	葉巻数 /m ²	葉巻数 /m ²
4	本年値	2.25	—	5.00	0.00	0.00	0.00	0.63
	平年値	6.33	—	0.81	0.30	0.61	0.38	10.00
5	本年値	4.50	—	3.13	0.13	0.13	0.38	15.00
	平年値	7.26	—	5.70	0.28	0.60	0.39	6.86
6	本年値	3.50	—	3.75	0.63	0.13	0.00	24.38
	平年値	2.15	—	2.71	0.42	0.70	0.28	18.98
7	本年値	0.00	—	7.63	0.63	0.13	0.25	0.00
	平年値	0.73	—	1.14	1.11	1.30	1.29	6.63
8	本年値	5.00	—	2.25	0.00	5.50	0.63	3.13
	平年値	2.66	—	1.36	0.99	0.91	0.59	6.56
9	本年値	1.75	—	—	0.25	3.50	0.25	2.50
	平年値	3.53	—	—	3.08	0.50	0.79	2.28
10	本年値	2.25	—	—	—	—	—	—
	平年値	1.68	—	—	—	—	—	—
2	本年値	2.00	0.33	—	—	—	—	—
	平年値	2.05	0.46	—	—	—	—	—
3	本年値	1.00	0.35	—	—	—	—	2.50
	平年値	3.58	0.81	—	—	—	—	8.50

(イ) 果樹カメムシ類の誘殺状況

チャバネアオカメムシ（合志市・フェロモントラップ）

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	2	1	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0
	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	3	3	1	1	0	0	0	1	0	2	0	1	1
	4	5	4	0	0	0	0	1	0	0	3	0	1
	5	3	1	1	4	0	4	8	0	0	1	0	2
	6	14	0	4	1	4	1	0	2	1	3	2	2
5	1	26	1	3	0	76	0	25	1	1	2	0	11
	2	17	1	5	4	39	5	1	5	4	16	7	9
	3	22	1	2	8	73	3	30	1	3	12	16	15
	4	25	1	3	2	117	0	159	0	6	10	8	31
	5	68	0	2	1	36	0	11	1	3	1	2	6
	6	55	3	4	3	84	2	22	0	3	13	14	15
6	1	11	5	9	5	180	5	74	3	2	21	87	39
	2	32	4	11	7	287	6	3	0	8	3	47	38
	3	146	12	17	5	82	2	95	4	13	16	10	26
	4	112	5	24	3	168	4	73	6	10	4	15	31
	5	63	7	15	6	199	4	97	1	6	33	27	39
	6	110	5	30	2	294	3	111	9	2	10	12	48
7	1	564	1	31	1	94	1	204	75	7	3	32	45
	2	159	0	39	1	438	1	108	12	2	17	17	63
	3	125	2	22	1	217	0	149	4	0	30	3	43
	4	337	2	5	0	424	0	297	2	0	6	4	74
	5	334	0	7	1	836	0	87	2	1	18	7	96
	6	463	0	11	0	1,526	0	111	1	0	19	3	167
8	1	699	1	15	2	1,441	0	43	3	1	25	5	154
	2	303	0	7	0	138	0	66	1	1	16	2	23
	3	244	1	0	0	458	1	30	2	1	7	9	51
	4	158	2	0	0	188	2	10	1	1	6	10	22
	5	46	4	3	3	22	1	0	2	0	13	2	5
	6	19	3	2	4	23	3	3	2	0	7	3	5
9	1	33	15	0	2	18	8	3	10	1	6	9	7
	2	24	9	1	1	3	16	0	4	3	4	4	4
	3	8	9	1	2	2	22	0	15	0	2	4	6
	4	3	13	0	1	1	18	3	5	0	2	4	5
	5	1	6	0	0	1	2	1	6	0	6	4	3
	6	0	15	1	1	1	34	1	18	1	1	2	7
10	1	1	18	6	8	5	26	2	54	12	0	2	13
	2	1	2	0	4	0	14	1	23	1	0	2	5
	3	1	1	0	6	2	16	1	18	2	1	0	5
	4	2	1	0	1	0	5	0	0	1	1	1	1
	5	0	0	0	0	1	24	0	3	0	2	4	3
	6	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	合計	4,241	155	283	91	7,469	226	1,831	295	99	345	381	1,117

平年値は過去10年間の平均

チャバネアオカメムシ (天草市・フェロモントラップ)

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	5	3		3	0		11					
	2	6	0		0	1		5					
	3	24	0		0	1		64					
	4	72	6		0	1		4	0				
	5	105	3		26	1	45	417	0		2		
	6	788	4		1	10	0	182	0	51	330	31	
5	1	420	0	0	0	788	0	13	24	15	245	5	109
	2	5	1	90	23	243	0	136	0	2	28	3	53
	3	89	3	31	6	346	0	1,961	1	5	148	0	250
	4	367	0	11	3	711	0	1,336	0	4	586	6	266
	5	216	0	34	0	630	0	1,376	5	6	135	6	219
	6	140	0	9	0	337	14	837	6	3	248	5	146
6	1	43	2	10	0	431	17	394	6	2	75	12	95
	2	128	0	24	3	2,091	7	608	2	0	57	12	280
	3	167	0	36	0	250	2	91	13	1	340	5	74
	4	192	1	66	1	430	5	313	8	4	32	4	86
	5	154	0	44	0	1,537	7	1,208	24	8	96	8	293
	6	65	0	292	0	1,764	2	2,974	51	5	466	1	556
7	1	374	0	146	2	405	0	2,553	21	15	256	0	340
	2	186	0	343	0	872	2	1,363	5	5	2,331	0	492
	3	36	0	93	0	358	0	2,982	2	1	1,361	2	480
	4	113	0	76	0	11,839	0	3,361	0	0	809	0	1,609
	5	396	0	57	0	2,612	0	2,806	0	0	1,425	0	690
	6	240	0	44	0	9,723	0	1,833	9	0	9,231	1	2,084
8	1	454	0	109	0	8,401	0	509	0	0	2,122	0	1,114
	2	349	1	370	1	4,456	0	316	0	4	831	1	598
	3	388	1	306	0	2,144	0	230	0	1	416	2	310
	4	138	0	63	0	1,245	1	22	3	8	303	6	165
	5	155	7	358	0	535	1	15	21	9	232	1	118
	6	82	99	120	1	114	0	15	25	0	149	5	53
9	1	216	320	24	4	18	0	1	10	16	83	6	48
	2	173	115	51	8	12	0	1	51	12	23	10	28
	3	81	75	91	1	14	0	3	15	9	8	5	22
	4	120	322	0	0	2	0	5	5	7	8	1	35
	5	7	224	28	4	10	0	0	19	11	11	9	32
	6	17	343	24	12	3	0	1	79	15	7	13	50
10	1	2	721	26	12	5	1	0	6	20	0	16	81
	2	5	20	1	8	1	0	4	130	14	0	14	19
	3	7	36	2	2	2	0	1	55	1	0	1	10
	4	5	6	0	0	0	0	0	0	7	1	4	2
	5	0	1	7	0	1	17	0	2	0	0	2	3
	6	4	1	0	0	2	2	0	7	1	0	3	2
	合計	6,534	2,315	2,986	121	52,346	123	27,951	605	262	22,395	200	10,810

平年値は過去10年間の平均

チャバネアオカメムシ（合志市・予察灯）

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	19	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	4	24	4	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1
	5	2	2	2	0	0	5	19	0	0	0	0	3
	6	178	0	25	0	0	0	1	2	0	5	0	3
5	1	26	2	0	2	35	2	1	4	3	41	4	9
	2	2	0	9	1	27	5	0	10	8	7	2	7
	3	7	0	7	5	99	12	12	5	9	17	17	18
	4	7	4	0	2	134	5	204	3	2	21	14	39
	5	34	0	1	0	71	0	20	3	2	3	21	12
	6	26	3	0	0	46	2	34	6	3	10	31	14
6	1	3	8	7	2	35	5	26	2	0	12	15	11
	2	12	4	6	5	59	0	65	0	6	2	31	18
	3	102	3	10	3	27	0	9	6	9	8	13	9
	4	57	6	29	2	70	1	18	9	6	4	36	18
	5	52	2	23	2	96	5	62	12	12	21	29	26
	6	24	5	52	0	55	3	47	22	2	8	14	21
7	1	117	2	22	3	30	1	56	33	9	9	10	18
	2	29	5	24	1	66	3	46	5	6	5	15	18
	3	31	8	26	5	34	2	96	10	3		6	21
	4	102	6	14	3	83	2	55	3	7	11	10	19
	5	105	2	13	4	99	1	42	5	1	4	21	19
	6	120	8	48	17	220	4	50	2	2	19	56	43
8	1	113	34	18	6	169	19	178	21	1	13	195	65
	2	113	36	20	11	59	17	39	24	7	21	161	40
	3	71	34	16	11	61	47	55	54	33	15	108	43
	4	56	131	24	11	33	48	68	64	25	70	105	58
	5	34	122	16	60	8	131	44	171	40	50	94	74
	6	18	256	11	27	4	140	28	289	33	43	42	87
9	1	24	566	7	9	16	272	18	90	40	36	43	110
	2	24	201	8	6	11	298	9	74	46	20	72	75
	3	17	106	7	11	10	308	12	105	9	14	30	61
	4	8	103	2	12	1	110	22	159	17	5	13	44
	5	2	49	2	6	4	67	6	113	53	34	38	37
	6	2	98	1	2	3	430	0	435	29	6	12	102
10	1	2	21	2	1	31	216	4	125	52	1	3	46
	2	1	1	0	0	2	94	21	181	15	0	10	32
	3	1	1	1	1	2	4	25	2	64	2	0	10
	4	2	0	0	0	0	25	0	3	8	0	1	4
	5	1	0	0	0	0	23	1	0	0	0	1	3
	6	1	1	0	0	0	2	0	9	0	0	0	1
	合計	1,573	1,834	455	232	1,702	2,330	1,372	2,124	501	537	1,276	1,238

平年値は過去10年間の平均

チャバネアオカメムシ (天草市・予察灯)

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	10	1		7	0		0					
	2	6	0		0	0		5					
	3	217	15		0	0		58					
	4	30	43		0	0		4	0				
	5	149	1		3	0	33	650	0		0		
	6	4,465	7	773	0	16	3	46	0	60	221	6	113
5	1	1,619	2	16	1	782	0	100	74	7	650	3	164
	2	56	6	135	37	2,110	2	112	2	4	99	11	252
	3	191	12	87	24	344	9	3,542	23	17	1,026	0	508
	4	136	20	6	9	2,447	18	2,037	1	1	1,443	9	599
	5	393	1	61	4	1,713	6	1,731	11	4	176	4	371
	6	21	20	11	5	687	12	987	3	0	186	10	192
6	1	26	4	25	4	2,714	31	278	7	0	81	16	316
	2	136	4	35	15	865	5	1,032	1	1	81	15	205
	3	404	14	29	5	972	4	88	2	3	253	4	137
	4	91	4	87	1	643	5	755	6	3	36	4	154
	5	282	2	89	2	1,860	6	1,394	45	10	121	10	354
	6	115	25	331	3	4,464	11	2,974	43	1	496	2	835
7	1	418	7	380	5	6,930	3	3,654	69	11	155	2	1,122
	2	118	13	459	2	7,493	2	1,857	21	0	2,259	1	1,211
	3	39	12	186	9	7,373	5	1,880	10	2	1,027	1	1,051
	4	288	22	202	6	30,043	6	2,532	3	1	815	6	3,364
	5	591	24	235	31	21,456	11	3,506	5	1	1,811	9	2,709
	6	796	55	315	66	11,015	9	2,423	9	0	3,073	11	1,698
8	1	1,684	404	2,852	62	5,897	20	1,080	16	4	1,596	16	1,195
	2	3,027	406	3,700	154	2,383	33	579	66	17	943	45	833
	3	2,387	3,828	3,375	167	1,128	47	360	62	45	355	101	947
	4	2,264	2,543	5,949	1,129	608	361	349	287	78	261	210	1,178
	5	2,591	3,812	2,986	1,924	539	697	226	1,310	167	280	635	1,258
	6	2,577	4,981	1,554	1,363	271	1,070	285	2,127	118	109	931	1,281
9	1	4,321	4,811	285	532	125	1,889	87	589	322	62	628	933
	2	2,748	1,306	564	296	82	2,967	61	1,251	168	45	466	721
	3	1,703	1,180	816	137	64	1,561	96	496	79	6	120	456
	4	977	5,795	411	153	23	121	50	1,224	22	13	50	786
	5	132	1,815	211	192	12	147	21	1,279	38	10	129	385
	6	240	3,018	154	253	4	468	3	1,398	30	18	55	540
10	1	97	237	138	61	7	1,326	1	994	136	3	56	296
	2	66	102	4	89	4	951	5	1,131	21	0	27	233
	3	83	42	8	46	12	199	0	368	0	0	3	68
	4	99	22	2	0	0	35	0	6	9	0	0	7
	5	50	2	1	0	0	24	0	2	4	0	7	4
	6	15	0	0	0	5	2	0	9	2	0	3	2
	合計	35,658	34,618	26,472	6,797	115,091	12,099	34,848	12,950	1,386	17,710	3,606	26,476

平年値は過去10年間の平均

ツヤアオカメムシ（合志市・フェロモントラップ）

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
5	1	4	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0
	2	2	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0
	3	2	1	1	0	3	1	1	0	0	0	0	1
	4	3	0	0	0	8	0	3	0	0	2	2	1
	5	7	0	0	0	2	0	2	1	0	1	0	1
	6	0	0	0	0	2	0	3	0	0	1	2	1
6	1	1	0	0	0	4	0	0	1	0	2	3	1
	2	1	0	1	0	8	0	0	0	0	0	3	1
	3	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1
7	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	4	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	5	4	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0
	6	6	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	1
8	1	34	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	1
	2	32	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	3	22	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	1
	4	15	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
	5	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	6	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9	1	9	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	3	3	1	1	0	0	0	1	0	0	2	1	1
	4	3	0	0	0	1	0	1	1	0	2	1	1
	5	2	2	0	0	4	2	1	1	0	5	2	2
	6	1	9	7	0	9	5	2	8	1	4	1	5
10	1	5	26	33	2	10	4	4	37	2	1	4	12
	2	8	4	1	0	4	4	2	28	1	1	4	5
	3	4	3	1	0	4	6	1	10	4	0	2	3
	4	2	1	1	0	0	1	0	0	14	0	0	2
	5	0	0	1	0	0	25	0	5	1	0	3	3
	6	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
	合計	207	47	50	2	109	49	25	92	24	25	30	45

平年値は過去10年間の平均

ツヤアオカメムシ（天草市・フェロモントラップ）

月	半旬	トラップの誘殺数										
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
4	1	1	0		0	0		2				
	2	1	1		0	0		11				
	3	6	0		0	0		2				
	4	10	2		0	0		0	0			
	5	80	1		0	0	1	58	0		0	
	6	212	0		1	1	0	23	0	12	55	5
5	1	81	0	0	0	88	0	5	4	5	59	14
	2	4	0	10	2	81	0	55	0	1	14	6
	3	28	1	23	0	23	0	184	1	0	160	12
	4	112	0	9	0	194	0	98	1	1	192	14
	5	143	0	9	0	112	1	189	10	0	36	9
	6	52	0	3	0	68	1	270	3	0	73	1
6	1	7	0	1	0	166	0	47	1	0	55	0
	2	4	0	0	0	232	0	63	0	0	22	0
	3	5	0	1	0	21	0	0	0	0	13	0
	4	6	0	2	0	8	1	0	0	0	1	0
	5	3	0	0	0	11	0	10	10	0	1	3
	6	2	0	3	0	20	0	15	3	0	4	0
7	1	5	0	2	0	8	0	23	1	0	1	0
	2	1	0	9	0	10	0	17	0	0	11	0
	3	2	0	0	0	51	0	57	0	0	5	0
	4	1	0	0	0	104	0	76	0	0	8	0
	5	7	0	0	0	60	0	45	0	0	27	0
	6	1	0	0	0	50	0	32	0	1	412	0
8	1	1	0	0	0	90	0	9	0	0	42	0
	2	0	0	1	0	31	0	1	0	0	10	0
	3	2	0	5	0	14	0	0	0	0	3	0
	4	5	0	1	0	4	0	2	0	0	7	0
	5	15	1	3	0	3	0	0	0	0	6	0
	6	4	1	4	0	4	0	0	0	0	13	0
9	1	48	22	1	0	0	0	1	0	0	21	0
	2	20	3	7	0	3	0	0	1	0	5	0
	3	22	31	41	0	2	0	0	3	1	4	0
	4	88	128	0	0	0	0	1	3	12	15	0
	5	19	113	30	8	0	0	0	3	21	17	2
	6	28	722	66	3	2	2	0	9	5	3	82
10	1	8	279	25	3	3	4	2	0	18	0	45
	2	34	19	21	4	0	0	2	0	16	1	25
	3	32	14	1	1	0	1	0	1	5	0	0
	4	42	20	36	0	1	1	0	0	12	0	3
	5	7	2	7	0	1	21	0	1	7	0	6
	6	3	1	0	0	0	3	0	9	4	0	7
	合計	1,152	1,361	321	22	1,466	36	1,300	64	121	1,296	160
												597

平年値は過去10年間の平均

ツヤアオカメムシ（合志市・予察灯）

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	26	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	5	27	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	1
	6	518	0	25	0	1	0	0	0	0	3	0	3
5	1	50	4	0	1	15	3	0	5	1	8	1	4
	2	39	7	15	3	33	0	4	0	8	3	9	8
	3	42	1	21	6	27	22	12	4	7	35	30	17
	4	29	3	5	1	92	54	117	2	3	23	39	34
	5	92	2	11	1	46	5	16	2	1	3	59	15
	6	42	6	3	0	20	4	80	6	3	14	27	16
6	1	7	3	16	2	54	36	25	12	4	26	22	20
	2	85	1	18	5	93	32	71	0	16	22	42	30
	3	135	8	15	1	28	2	21	10	7	23	10	13
	4	64	1	22	0	9	3	33	11	0	10	15	10
	5	15	2	10	0	17	3	10	7	1	8	7	7
	6	36	2	55	4	35	2	6	16	1	8	6	14
7	1	79	1	33	0	17	0	30	20	2	1	8	11
	2	36	0	12	0	16	0	25	4	2	24	26	11
	3	10	1	3	2	18	1	33	1	1		7	7
	4	46	1	1	3	27	1	30	4	2	29	4	10
	5	45	2	4	13	36	1	27	1	0	12	9	11
	6	144	5	17	36	35	24	17	13	2	36	84	27
8	1	161	27	28	9	21	47	116	102	3	14	191	56
	2	220	36	7	11	25	102	39	35	3	60	28	35
	3	106	15	6	5	28	163	32	41	10	15	41	36
	4	60	8	4	3	7	23	32	30	3	30	42	18
	5	36	4	7	8	6	8	17	16	10	14	39	13
	6	41	9	7	12	8	13	14	15	7	13	21	12
9	1	37	30	7	12	7	35	31	16	8	60	42	25
	2	47	77	7	7	3	107	3	34	7	61	15	32
	3	41	74	30	11	1	53	69	57	3	71	40	41
	4	20	84	4	12	2	21	41	176	1	72	14	43
	5	12	56	11	7	46	21	12	134	62	105	78	53
	6	24	49	38	18	8	358	10	197	123	35	41	88
10	1	8	32	33	10	14	251	13	95	68	3	23	54
	2	15	20	2	6	10	137	68	124	80	6	43	50
	3	13	15	13	9	7	49	3	32	33	1	4	17
	4	5	4	6	0	1	66	9	10	36	3	11	15
	5	5	0	8	0	4	63	1	6	10	2	5	10
	6	2	1	3	0	0	9	0	1	12	0	0	3
	合計	2,439	595	509	218	817	1,723	1,067	1,240	540	853	1,083	865

平年値は過去10年間の平均

ツヤアオカメムシ（天草市・予察灯）

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	88	1		4	0		6					
	2	52	0		0	0		9					
	3	337	5		0	0		20					
	4	62	52		0	22		1	0				
	5	342	1		1	3	109	204	0		0		
	6	3,647	3	203	1	2	41	14	0	19	250	47	58
5	1	1,539	16	11	0	849	1	234	144	2	139	33	143
	2	164	26	101	9	671	1	286	8	6	173	21	130
	3	385	6	154	2	620	32	728	49	5	1,074	14	268
	4	292	16	20	3	2,668	122	972	10	1	628	145	459
	5	652	3	127	3	778	12	1,043	55	6	102	29	216
	6	143	54	41	0	590	32	926	84	0	296	23	205
6	1	39	15	79	6	1,279	51	355	207	1	109	43	215
	2	103	10	104	5	1,230	11	1,221	21	1	124	41	277
	3	716	28	107	10	873	6	166	47	14	154	15	142
	4	270	6	305	1	200	4	314	8	2	57	12	91
	5	656	7	149	0	312	11	326	41	5	107	11	97
	6	231	13	368	1	544	6	725	73	1	73	8	181
7	1	870	11	241	0	443	3	892	160	4	19	6	178
	2	409	8	243	4	469	2	1,132	61	1	254	4	218
	3	139	14	93	4	537	1	814	8	2	147	4	162
	4	266	40	109	1	348	4	321	10	0	343	3	118
	5	291	88	127	5	73	9	357	9	2	312	12	99
	6	721	157	157	30	83	21	127	14	7	232	42	87
8	1	1,089	257	1,198	29	36	14	100	25	9	39	267	197
	2	1,032	446	841	36	46	11	66	104	12	27	152	174
	3	1,127	749	774	39	30	15	95	75	12	19	272	208
	4	1,335	813	1,146	106	13	55	185	107	14	11	238	269
	5	3,557	1,054	459	146	10	97	48	191	27	12	174	222
	6	1,117	1,046	163	184	16	94	104	182	27	19	240	208
9	1	1,295	1,355	118	127	8	126	33	154	42	34	104	210
	2	520	701	157	97	9	315	14	712	61	35	150	225
	3	464	1,254	303	117	19	312	59	936	62	25	165	325
	4	239	3,302	44	46	6	70	53	2,253	24	69	162	603
	5	89	849	222	58	16	571	30	2,167	119	43	465	454
	6	105	1,495	233	96	3	1,576	5	2,372	51	5	251	609
10	1	108	107	175	23	3	947	9	2,311	72	3	436	409
	2	64	162	18	37	10	712	24	2,178	51	2	221	342
	3	73	38	27	39	4	199	2	1,008	10	0	22	135
	4	63	24	27	2	3	233	2	48	25	0	15	38
	5	71	1	18	2	0	111	0	9	4	0	120	27
	6	40	1	6	3	1	41	0	86	2	1	56	20
	合計	24,802	14,234	8,668	1,277	12,827	5,978	12,022	15,927	703	4,937	4,023	8,016

平年値は過去10年間の平均

(ウ) 茶害虫のトラップ調査による誘殺状況

チャノホソガフェロモントラップ（農大ほ場）

月	半旬	トラップ誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4月	1	0	8	0	0	28	0	1	1	114	35	2	18.9
	2	0	1	0	0	3	1	0	9	22	23	0	5.9
	3	1	0	0	0	1	0	0	0	4	4	1	1.0
	4	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0.4
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.2
	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.2
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	2	0	0	1	22	0	0	0	0	0	0	0	2.3
	3	12	3	8	156	0	0	0	87	50	0	0	30.4
	4	6	25	20	381	8	0	7	2	358	421	0	122.2
	5	5	73	64	123	81	5	6	19	984	270	2	162.7
	6	4	70	26	26	299	34	7	135	705	462	107	187.1
6月	1	5	17	17	5	306	16	10	40	80	77	24	59.2
	2	15	12	23	4	49	14	3	19	21	10	12	16.7
	3	5	10	20	39	10	15	41	11	42	12	5	20.5
	4	20	10	11	111	3	15	34	9	196	20	2	41.1
	5	57	224	43	123	22	12	43	17	398	49	14	94.5
	6	56	229	83	53	32	35	20	48	327	417	38	128.2
7月	1	43	57	28	22	42	126	25	197	152	249	159	105.7
	2	13	23	111	9	65	54	10	233	79	363	133	108.0
	3	6	4	86	14	69	23	7	153	150	44	111	66.1
	4	35	3	52	107	34	110	37	37	349	86	36	85.1
	5	27	0	55	51	64	35	22	22	284	173	52	75.8
	6	8	5	28	68	188	11	17	41	141	334	76	90.9
8月	1	8	2	11	20	106	3	4	38	15	211	123	53.3
	2	4	0	29	4	66	0	5	13	40	55	74	28.6
	3	4	0	26	13	64	1	0	3	27	49	66	24.8
	4	0	2	10	13	32	3	3	1	53	63	56	23.6
	5	7	1	43	7	32	12	0	3	21	26	342	48.7
	6	4	5	8	9	74	6	1	4	3	315	899	132.4
9月	1	1	4	34	18	30	3	0	8	4	348	582	103.1
	2	1	4	89	27	14	4	0	6	4	124	521	79.3
	3	2	1	85	37	32	8	11	22	10	61	68	33.5
	4	2	0	0	37	7	18	10	2	12	97	99	28.2
	5	1	9	26	51	13	3	4	5	5	53	53	22.2
	6	1	11	36	40	16	34	4	7	11	181	88	42.8
10月	1	6	20	91	91	40	17	3	10	6	554	59	89.1
	2	5	10	125	115	16	54	8	25	35	506	302	119.6
	3	3	13	87	109	55	9	11	28	52	289	213	86.6
	4	2	7	129	28	51	5	5	44	91	529	583	147.2
	5	1	11	89	7	42	59	7	16	90	352	450	112.3
	6	4	16	41	7	34	64	11	15	119	445	343	109.5
	合計	371	890	1,635	1,948	2,030	809	378	1,243	5,092	7,357	5,698	2,708.0

平年値は過去10年間の平均

チャハマキフェロモントラップ（農大ほ場）

月	半旬	トラップ誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4月	1	61	11	1	4	9	0	1	3	5	7	5	4.6
	2	44	11	13	6	8	0	0	20	13	18	0	8.9
	3	30	16	29	3	2	0	0	4	14	7	6	8.1
	4	4	11	8	3	11	0	0	5	11	16	9	7.4
	5	7	7	9	0	0	0	0	7	17	9	4	5.3
	6	2	1	3	0	8	0	0	10	6	7	5	4.0
5月	1	12	5	11	6	16	0	0	15	0	7	7	6.7
	2	7	18	7	4	9	0	0	7	25	2	6	7.8
	3	10	6	1	1	4	0	0	2	8	6	6	3.4
	4	0	1	1	1	2	0	0	2	6	1	1	1.5
	5	2	2	0	0	1	0	0	0	2	1	1	0.7
	6	1	1	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0.7
6月	1	15	0	0	1	1	0	0	4	1	0	0	0.7
	2	26	3	2	3	8	1	0	5	4	7	0	3.3
	3	20	5	3	1	12	0	0	4	9	9	0	4.3
	4	7	17	1	2	5	0	0	8	9	15	0	5.7
	5	2	10	0	0	0	0	0	4	5	18	0	3.7
	6	1	11	0	1	2	0	0	5	0	9	0	2.8
7月	1	0	4	1	6	7	0	0	26	6	0	1	5.1
	2	1	4	1	1	1	4	1	12	6	7	0	3.7
	3	2	2	0	1	0	0	0	5	0	4	0	1.2
	4	9	1	0	0	0	0	0	1	2	0	3	0.7
	5	6	0	0	0	0	3	0	1	1	1	1	0.7
	6	0	0	2	0	1	0	0	3	2	0	1	0.9
8月	1	0	7	0	2	2	0	0	13	3	0	2	2.9
	2	0	2	0	0	4	0	0	10	1	1	1	2.0
	3	0	0	0	0	1	1	0	6	1	0	2	1.1
	4	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	0.6
	5	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0.5
	6	0	2	0	2	0	0	0	0	1	2	2	0.9
9月	1	1	2	2	2	3	0	0	3	3	9	1	2.5
	2	4	3	3	3	14	0	0	2	6	4	3	3.8
	3	1	4	5	3	3	0	0	19	11	8	0	5.3
	4	1	5	0	6	4	0	0	2	19	4	2	4.2
	5	0	4	3	11	2	0	0	16	2	1	1	4.0
	6	0	6	2	3	1	0	0	31	22	0	1	6.6
10月	1	3	44	9	30	5	1	1	63	22	13	8	19.6
	2	8	44	12	44	8	3	0	27	17	13	15	18.3
	3	20	33	5	40	7	0	0	22	12	14	11	14.4
	4	16	31	6	18	18	0	8	86	16	12	0	19.5
	5	8	2	0	13	10	2	3	29	12	12	5	8.8
	6	7	13	0	2	4	0	4	30	28	17	0	9.8
	合計	338	349	141	223	197	15	18	521	328	261	112	216.5

平年値は過去10年間の平均

チャノコカクモンハマキフェロモントラップ（農大ほ場）

月	半旬	トラップ誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4月	1	82	21	6	484	7	0	0	3	19	51	0	59.1
	2	22	30	55	38	2	0	0	13	34	40	6	21.8
	3	55	53	104	56	9	0	8	3	41	65	23	36.2
	4	64	34	128	46	24	0	3	19	49	172	21	49.6
	5	10	17	434	52	18	2	1	30	39	25	10	62.8
	6	7	6	100	15	48	0	1	14	29	29	26	26.8
5月	1	6	11	41	0	44	0	2	19	8	20	21	16.6
	2	2	7	51	5	13	1	0	7	22	11	11	12.8
	3	1	4	9	8	4	1	0	4	1	7	2	4.0
	4	0	1	7	8	1	0	0	4	4	6	4	3.5
	5	17	12	2	18	0	0	0	6	9	14	0	6.1
	6	74	7	7	50	6	0	1	4	12	12	0	9.9
6月	1	26	8	38	36	8	0	1	8	16	105	0	22.0
	2	118	37	249	10	63	1	1	4	16	181	9	57.1
	3	76	75	271	3	65	1	0	3	37	99	15	56.9
	4	48	17	235	4	29	2	0	3	33	116	9	44.8
	5	22	23	53	3	24	1	0	3	7	210	20	34.4
	6	5	10	22	4	3	1	0	3	6	83	6	13.8
7月	1	15	4	0	6	4	0	0	15	15	18	11	7.3
	2	98	16	0	2	2	0	0	7	17	33	1	7.8
	3	40	32	14	5	11	0	1	10	32	67	3	17.5
	4	22	49	216	4	271	0	0	24	172	199	11	94.6
	5	55	28	339	0	189	0	0	24	351	72	19	102.2
	6	28	11	65	12	81	1	0	43	51	90	15	36.9
8月	1	5	13	5	2	35	0	0	20	4	45	34	15.8
	2	12	3	3	5	19	1	0	0	4	38	9	8.2
	3	16	6	1	6	9	0	0	2	9	14	10	5.7
	4	13	10	11	10	16	0	0	7	23	32	19	12.8
	5	41	22	109	33	57	0	0	9	13	32	23	29.8
	6	50	24	43	137	69	0	0	28	12	510	23	84.6
9月	1	42	16	216	48	56	0	0	12	0	299	57	70.4
	2	19	20	76	57	1,328	0	0	28	5	254	55	182.3
	3	10	20	35	62	236	0	1	67	10	427	35	89.3
	4	19	10	0	41	41	1	3	4	8	360	135	60.3
	5	48	11	11	157	16	0	4	41	2	78	27	34.7
	6	26	20	16	290	7	1	0	54	16	85	14	50.3
10月	1	74	60	111	292	108	0	3	72	37	27	14	72.4
	2	35	14	349	85	148	3	3	39	80	18	21	76.0
	3	13	22	125	111	182	3	1	31	72	49	20	61.6
	4	31	22	190	90	486	9	5	33	106	26	11	97.8
	5	33	5	321	310	252	13	6	5	25	55	30	102.2
	6	38	10	110	193	946	3	1	94	6	114	5	148.2
	合計	1,415	821	4,178	2,798	4,936	44	46	819	1,452	4,188	785	2,006.7

平年値は過去10年間の平均

チャノキイロアザミウマ黄色粘板（農大ほ場）

月	半旬	トラップ誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4月	1	0	2	0	0	0	3	1	1	34	1	2	4.4
	2	0	0	0	0	0	2	0	27	17	1	0	4.7
	3	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0.6
	4	0	2	0	0	0	1	0	10	0	0	0	1.3
	5	0	0	0	5	0	1	0	2	1	0	0	0.9
	6	1	0	0	15	0	0	1	1	1	3	0	2.1
5月	1	2	4	0	3	2	0	18	0	0	11	0	3.8
	2	1	2	2	5	2	4	11	1	157	7	12	20.3
	3	2	2	0	18	1	2	1	8	16	6	45	9.8
	4	1	2	0	12	1	15	0	15	12	1	30	8.8
	5	1	4	0	8	1	9	1	18	40	4	26	11.1
	6	7	24	1	0	0	12	0	36	90	36	7	20.6
6月	1	2	34	2	11	0	5	1	21	38	86	3	20.1
	2	3	14	19	39	2	6	3	60	52	93	60	34.8
	3	27	4	5	4	15	0	5	62	25	123	56	29.9
	4	11	3	3	1	1	2	3	60	24	127	27	25.1
	5	41	9	3	3	1	18	3	102	6	159	44	34.8
	6	22	23	14	1	16	25	4	179	29	370	47	70.8
7月	1	8	31	36	2	15	144	7	140	33	49	71	52.8
	2	4	4	3	5	10	41	3	63	26	86	53	29.4
	3	8	1	17	3	1	11	0	83	34	41	2	19.3
	4	2	0	33	0	2	59	4	57	16	16	7	19.4
	5	0	0	4	0	0	17	5	19	6	4	6	6.1
	6	1	1	13	3	0	10	15	7	8	5	8	7.0
8月	1	0	0	7	2	0	10	8	0	1	4	10	4.2
	2	1	0	3	2	0	2	26	0	2	6	4	4.5
	3	0	0	8	12	1	1	11	0	4	2	4	4.3
	4	2	1	52	4	2	8	21	7	6	17	12	13.0
	5	5	1	8	0	0	17	0	7	4	16	8	6.1
	6	22	0	31	8	0	57	38	11	6	74	12	23.7
9月	1	50	1	12	12	1	48	54	5	4	11	9	15.7
	2	40	3	10	9	2	5	12	7	2	12	4	6.6
	3	31	9	17	14	5	21	43	9	5	4	1	12.8
	4	27	0	1	21	4	53	60	26	4	6	4	17.9
	5	38	2	12	11	7	10	31	13	6	5	2	9.9
	6	70	3	14	1	0	10	9	12	4	5	2	6.0
10月	1	43	7	58	0	4	1	5	5	10	7	1	9.8
	2	13	8	5	4	1	11	10	1	5	11	6	6.2
	3	8	4	1	1	3	5	2	0	8	8	5	3.7
	4	5	5	1	2	0	5	0	2	3	20	4	4.2
	5	4	2	1	1	1	5	1	0	1	25	3	4.0
	6	3	5	0	0	0	1	2	1	1	10	2	2.2
	合計	505	218	396	241	100	657	419	1,078	746	1,472	599	592.6

平年値は過去10年間の平均

イ 県予察ほ場における調査

果樹研究所

(ア) 果樹病害虫

1 目的

果樹病害虫の発生予察は、昭和35年から実験事業が開始され、昭和40年から植物防疫法の適用をうけて実施している。果樹病害虫の発生予察情報の作成、予察方法の改善、並びに、新しい予察法作成に必要な資料を得るため調査を行う。

2 方 法

所内発生予察ほ場において病害虫の発生推移を調査し、初発日、発病最盛期、発生終期を明らかにし、予察灯およびフェロモントラップにより誘殺消長を把握した。

対象病害虫：カンキツそうか病、カンキツ黒点病、カンキツかいよう病、ミカンハダニ、カムシ類、ナシヒメシンクイ。

そうか病および黒点病は所内無防除「温州ミカン」、かいよう病は所内無防除「甘夏」、ミカンハダニは「温州ミカン」及び「甘夏」で調査した。

3 調査結果

(1) カンキツ病害の初発日

	そうか病		黒点病		かいよう病	
	春葉	果実	果実	春葉	果実	
R6	4月8日	5月7日	5月20日	5月8日	7月2日	
平年*	4月16日	5月14日	6月2日	5月7日	6月9日	

*H26～R5年（10か年）の平均

(2) そうか病

1) 春葉における発生状況の推移

そうか病（春葉）

月 旬	4			5			6		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下
発病 数	無	-	70	58	24	20	19	18	18
	少	-	95	125	81	71	69	68	68
	多	-	11	36	128	141	146	148	148
調査数	-	176	219	233	232	234	234	234	234
発病率(%)	-	60.2	73.5	89.7	91.4	91.9	92.3	92.3	92.3
発病度	-	17.0	27.9	61.9	66.9	68.3	69.1	69.1	69.1

2) 果実における発生状況の推移

そうか病（果実）

月 半旬	5			6			7		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下
発病 数	無	40	11	0	0	0	0	0	0
	少	18	32	24	18	10	10	5	4
	多	2	17	36	42	50	50	55	56
調査数	60	60	60	60	60	60	60	60	60
発病率(%)	33.3	81.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
発病度	9.3	39.0	68.0	76.0	86.7	86.7	93.3	94.7	94.7

(3) 黒点病

月 半旬	5			6			7			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
発病 数	無	-	-	57	51	50	50	27	2	1
	少	-	-	3	9	10	10	32	45	40
	中	-	-	0	0	0	0	1	12	15
	多	-	-	0	0	0	0	0	1	4
	甚	-	-	0	0	0	0	0	0	0
調査数	-	-	60.0	60	60	60	60	60	60	
発病率(%)	-	-	5.0	15.0	16.7	16.7	55.0	96.7	98.3	
発病度	-	-	0.7	2.1	2.4	2.4	8.3	20.5	25.0	

月 半旬	8			9			
	上	中	下	上	中	下	
発病 数	無	0	0	0	0	0	
	少	28	25	25	20	19	17
	中	26	29	29	32	33	34
	多	6	6	6	8	8	9
	甚	0	0	0	0	0	0
調査数	60	60	60	60	60	60	
発病率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
発病度	32.4	33.8	33.8	37.1	37.6	39.0	

(4) かいよう病

1) 春葉における発生状況の推移

月 半旬	5			6			7			8		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
発病 数	無	-	237	237	236	235	235	235	235	235	235	235
	少	-	0	0	1	2	2	2	2	2	2	2
	中	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	多	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	甚	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査数	-	237	237	237	237	237	237	237	237	237	237	237
発病率(%)	-	0.0	0.0	0.4	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
発病度	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

2) 果実における発生状況の推移

月 半旬	6			7			8			9		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
発病 数	無	-	-	56	54	54	53	53	53	53	53	53
	少	-	-	2	3	3	4	3	3	3	3	3
	中	-	-	2	2	1	0	0	0	0	0	0
	多	-	-	0	0	1	2	3	3	0	0	0
	甚	-	-	0	1	1	1	1	1	4	4	4
調査数	-	-	-	60	60	60	60	60	60	60	60	60
発病率(%)	-	-	-	6.7	10.0	10.0	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7
発病度	-	-	-	1.9	3.8	4.3	5.0	6.0	6.0	7.4	7.4	7.4

(5) ミカンハダニ

所内発生予察ほ場におけるミカンハダニ発生状況

100葉当たり虫数

月	半旬	R6 (甘夏)	R6 (温州)	R5 (温州)	平年 (10年間 の平均)
4	1	4	175	263	-
	2	0	122	445	-
	3	0	230	571	-
	4	1	159	511	-
	5	1	57	906	129.8
	6	0	15	597	91.2
5	1	0	19	549	85.0
	2	0	12	399	66.2
	3	0	12	207	40.0
	4	1	9	86	20.9
	5	0	44	49	16.9
	6	0	17	32	11.7
6	1	3	69	92	26.6
	2	5	106	99	31.5
	3	9	167	223	55.7
	4	33	282	90	53.3
	5	43	207	148	56.8
	6	249	80	185	42.3
7	1	322	20	125	28.6
	2	1,163	50	84	21.3
	3	1,322	26	26	11.5
	4	376	7	10	17.4
	5	967	27	1	16.5
	6	321	35	1	22.3
8	1	280	53	3	53.1
	2	104	8	0	39.3
	3	49	4	2	39.9
	4	56	15	5	43.4
	5	34	1	2	24.2
	6	89	2	0	29.2
9	1	48	0	0	32.9
	2	55	1	14	28.7
	3	140	0	10	34.8
	4	116	15	26	20.6
	5	171	8	38	20.3
	6	298	9	37	22.6
10	1	364	3	54	19.9
	2	209	6	50	17.5
	3	229	40	1	14.4
	4	319	38	25	12.8
	5	269	24	39	10.3
	6	180	39	17	8.5

寄生葉率

月	半旬	R6 (甘夏)	R6 (温州)	R5 (温州)	平年 (10年間 の平均)
4	1	4	34	58	-
	2	0	45	76	-
	3	0	67	86	-
	4	1	56	87	-
	5	1	30	90	28.2
	6	0	11	75	26.2
5	1	0	14	80	25.5
	2	0	10	68	22.4
	3	0	10	66	20.4
	4	1	8	42	13.3
	5	0	26	21	10.4
	6	0	11	20	7.8
6	1	2	42	49	17.2
	2	5	46	46	17.8
	3	8	59	63	22.6
	4	22	76	43	22.9
	5	30	61	56	23.6
	6	73	38	61	18.2
7	1	80	18	57	15.5
	2	96	34	31	11.6
	3	92	21	21	9.3
	4	88	6	7	6.9
	5	96	21	1	7.0
	6	72	21	1	8.4
8	1	62	31	2	11.6
	2	32	6	0	9.8
	3	20	3	2	9.5
	4	23	11	5	11.5
	5	14	1	1	8.7
	6	24	1	0	9.7
9	1	16	0	0	10.7
	2	16	1	8	11.2
	3	33	0	7	13.3
	4	31	9	17	11.9
	5	36	7	19	12.6
	6	50	8	18	13.6
10	1	56	3	29	12.9
	2	30	5	27	10.6
	3	68	25	1	9.5
	4	77	26	12	8.6
	5	80	10	23	6.3
	6	70	18	13	5.5

(6) カメムシ類

フェロモントラップおよび予察灯におけるカメムシ類の誘殺消長

チャバネアオカメムシ（宇城・フェロモントラップ）

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	0	8	1	3	0		7					
	2	6	0	0	6	0		9					
	3	71	0	16	0	0	0	0	0			0	
	4	20	3	1	0	1	2	2	48	4		0	
	5	13	3	2	10	1	11	94	0	3	0	7	13
	6	125	0	84	0	0	12	22	10	15	12	1	16
5	1	19	1	49	0	143	0	8	0	8	9	3	22
	2	277	15	6	7	107	10	6	36	9	59	17	27
	3	177	12	60	6	317	53	49	2	4	93	77	67
	4	209	4	48	25	657	43	360	155	15	196	欠測	167
	5	501	2	58	1	634	15	212	34	9	34	36	104
	6	64	7	73	0	262	6	452	28	7	92	71	100
6	1	328	4	1	8	452	21	296	11	0	84	51	93
	2	514	10	1	11	412	29	148	11	3	9	53	69
	3	697	3	1	21	556	41	410	18	10	47	32	114
	4	1,052	5	0	1	1,316	32	62	18	8	0	19	146
	5	1,211	2	0	5	417	58	884	55	19	42	25	151
	6	640	0	0	1	1,806	39	407	45	8	111	28	245
7	1	8,339	1	759	1	392	21	1,094	143	12	24	22	247
	2	2,551	3	187	0	814	6	856	15	10	68	22	198
	3	2,002	0	329	2	3,271	0	708	39	4	359	欠測	524
	4	13,744	0	79	1	883	2	935	12	0	167	7	209
	5	30,415	1	21	1	9,308	0	464	2	0	242	8	1,005
	6	11,480	0	409	0	8,671	2	394	10	3	178	6	967
8	1	1,360	0	110	0	14,055	3	40	14	1	228	8	1,446
	2	452	0	219	2	1,529	0	197	3	1	326	9	229
	3	241	7	85	0	1,313	5	160	35	2	249	6	186
	4	129	1	27	0	1,131	3	53	14	1	161	6	140
	5	99	1	11	3	322	1	14	58	2	147	5	56
	6	5	2	欠測	2	25	14	4	135	1	32	20	26
9	1	13	4	1	1	28	16	4	3	1	15	15	9
	2	10	9	0	4	7	19	1	23	1	48	35	15
	3	3	5	0	1	14	85	3	70	2	5	0	19
	4	0	3	0	0	6	17	6	16	12	1	6	7
	5	0	6	0	14	2	5	23	20	2	0	6	8
	6	0	20	1	1	1	8	21	34	6	1	3	10
10	1	4	24	5	1	0	137	2	157	38	5	0	37
	2	2	9	1	22	2	76	12	6	13	4	2	15
	3	0	5	1	3	1	228	2	274	10	0	0	52
	4	4	4	0	0	0	15	0	42	6	0	4	7
	5	2	1	0	1	0	13	1	0	2	0	0	2
	6	0	0	0	0	0	1	1	0	15	0	0	2
合計		76,779	185	2,646	165	48,856	1,049	8,423	1,596	267	3,048	610	6,745

平年値は「欠測」を除いた過去10年間の平均

ツヤアオカメムシ(宇城・フェロモントラップ)

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	0	0	0	0	0		3					
	2	1	0	0	0	0		35					
	3	28	0	0	0	1	0	0	0			0	
	4	20	1	0	0	0	0	6	7	1		0	
	5	21	0	0	2	3	0	65	0	2	0	1	7
	6	34	0	28	0	1	2	14	2	2	2	0	5
5	1	0	0	94	0	101	0	9	0	0	7	0	21
	2	85	2	11	2	132	10	12	25	9	71	22	30
	3	104	8	49	16	121	44	236	1	12	80	76	64
	4	83	3	49	2	517	37	468	272	15	516	欠測	209
	5	231	4	99	0	379	4	142	51	3	134	306	112
	6	298	0	42	0	121	11	352	50	0	205	383	116
6	1	53	0	1	1	209	3	75	48	0	129	197	66
	2	35	0	1	1	139	1	57	11	0	4	96	31
	3	40	1	1	0	17	5	25	2	0	5	26	8
	4	8	1	0	0	11	2	5	6	0	0	14	4
	5	9	0	0	0	1	0	4	0	0	1	1	1
	6	5	0	0	0	12	0	1	0	0	0	4	2
7	1	6	0	3	0	1	0	1	2	0	0	2	1
	2	11	0	0	0	10	0	2	0	0	2	6	2
	3	2	0	0	0	15	0	0	1	0	7	欠測	3
	4	12	0	0	0	10	0	7	2	0	2	0	2
	5	67	0	0	0	23	0	2	0	0	0	0	3
	6	42	0	0	0	13	0	3	0	0	0	0	2
8	1	20	0	0	0	30	0	0	0	0	4	0	3
	2	11	0	0	0	15	0	0	0	0	11	0	3
	3	1	0	0	0	14	0	0	0	0	5	0	2
	4	1	0	0	0	10	0	0	0	0	5	0	2
	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	1
	6	0	0	欠測	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0	1
	2	0	0	0	0	1	0	1	3	0	32	2	4
	3	0	0	0	0	6	4	0	9	0	8	0	3
	4	0	0	0	0	1	4	0	18	3	6	1	3
	5	0	0	0	5	2	8	2	17	11	26	17	9
	6	0	3	10	1	0	19	9	22	4	11	1	8
10	1	1	14	18	4	10	105	9	148	26	25	10	37
	2	1	0	4	2	31	167	5	9	21	0	1	24
	3	2	11	3	9	1	296	1	476	23	5	0	83
	4	3	1	6	0	1	169	1	51	554	3	0	79
	5	4	2	0	0	0	79	1	0	123	0	13	22
	6	0	0	0	0	0	38	2	0	72	1	0	11
	合計	1,239	51	419	45	1,963	1,008	1,555	1,233	881	1,315	1,179	981

平年値は「欠測」を除いた過去10年間の平均

チャバネアオカメムシ(宇城・予察灯)

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	2	0	0	0	0		0					
	2	2	0	0	0	0		0					
	3	38	0	2	0	0	0	0	0	1		0	
	4	33	0	0	0	0	0	2	0	1		0	
	5	23	0	91	5	0	1	2	0	1	0	0	10
	6	4,735	1	78	0	1	0	0	0	2	1	欠測	9
5	1	1,186	7	13	1	75	2	0	28	7	4	欠測	15
	2	53	6	26	4	124	6	0	3	2	12	欠測	20
	3	202	0	118	19	58	6	欠測	4	17	66	欠測	36
	4	303	3	10	2	527	44	301	4	3	38	欠測	104
	5	795	0	19	4	344	7	52	11	24	10	欠測	52
	6	261	6	17	1	109	2	121	3	5	73	3	34
6	1	73	8	11	1	142	12	33	4	4	26	0	24
	2	133	2	15	25	114	10	370	3	2	3	7	55
	3	625	6	15	6	146	0	11	9	8	23	1	23
	4	262	5	74	4	92	15	53	7	2	17	1	27
	5	804	4	49	1	191	12	98	33	9	46	0	44
	6	460	6	149	2	162	7	220	75	8	62	2	69
7	1	2,804	1	88	8	229	14	253	36	9	16	0	65
	2	742	8	139	3	431	5	134	15	2	337	4	108
	3	671	4	51	3	47	4	106	13	2	237	0	47
	4	5,868	4	73	2	1,260	13	47	9	3	221	5	164
	5	2,752	4	125	14	1,214	18	107	8	3	159	6	166
	6	1,339	5	216	27	2,085	14	197	29	3	429	3	301
8	1	429	42	129	37	964	26	359	36	8	271	31	190
	2	319	86	130	105	781	85	122	181	11	218	21	174
	3	289	205	117	114	476	207	198	525	21	122	156	214
	4	246	610	76	662	170	1,940	216	845	85	277	350	523
	5	193	1,159	59	824	105	1,530	288	2,689	204	130	547	754
	6	157	1,977	107	415	148	4,433	197	4,602	156	182	241	1,246
9	1	98	2,238	51	306	138	3,864	118	565	848	93	199	842
	2	62	460	29	84	68	2,330	41	1,272	309	69	111	477
	3	92	503	28	98	194	2,263	406	922	203	15	238	487
	4	108	1,185	3	348	35	628	300	853	47	79	116	359
	5	39	580	81	148	104	1,757	104	1,799	245	160	629	561
	6	67	863	45	152	25	4,468	30	1,822	152	14	425	800
10	1	19	202	17	41	32	2,330	66	533	272	9	166	367
	2	24	31	1	20	10	804	79	2,852	35	9	56	390
	3	40	17	0	25	16	131	1	707	13	8	1	92
	4	28	6	0	0	2	70	0	10	48	5	7	15
	5	20	0	2	0	2	43	0	2	2	0	4	6
	6	11	0	0	0	0	1	0	7	6	0	0	1
	合計	26,407	10,244	2,254	3,511	10,621	27,102	4,632	20,516	2,783	3,441	3,330	8,870

平年値は「欠測」を除き、「一部欠測」を含む過去10年間の平均

R6年4月第6半旬は、一部重さによる推定値

R4年の5月第5、6半旬は「一部欠測」（各1日間）

R2年の7月第3半旬は「一部欠測」（2日間）

ツヤアオカメムシ(宇城・予察灯)

月	半旬	トラップの誘殺数											
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	平年値
4	1	1	0	0	0	0		0					
	2	12	0	0	0	0		0					
	3	58	1	1	0	0	0	0	0	1		0	
	4	118	7	0	0	0	2	0	5	1		0	
	5	581	0	109	5	1	25	0	5	1	0	1	15
	6	12,579	0	211	1	0	3	0	1	6	1	欠測	25
5	1	1,755	5	40	0	385	28	0	92	7	5	欠測	62
	2	125	7	81	16	357	33	0	43	51	9	欠測	66
	3	1,313	6	349	22	278	257	欠測	66	29	192	欠測	150
	4	732	25	61	10	1,851	514	867	15	2	216	欠測	396
	5	1,105	4	144	0	500	57	185	147	9	104	欠測	128
	6	372	21	103	8	219	71	185	44	8	317	47	102
6	1	147	23	131	20	298	283	179	178	3	215	134	146
	2	999	6	217	28	407	61	894	56	22	131	93	192
	3	1,032	10	58	15	122	40	71	142	31	111	10	61
	4	430	2	206	6	96	39	134	91	2	106	25	71
	5	368	6	48	4	178	5	64	117	4	153	14	59
	6	308	3	134	6	394	48	123	91	6	95	8	91
7	1	1,800	2	97	3	143	30	169	69	5	46	6	57
	2	1,089	13	110	4	179	12	56	42	2	444	9	87
	3	380	3	18	4	15	7	42	12	3	477	3	58
	4	1,421	3	24	2	242	12	58	12	1	475	0	83
	5	789	11	23	11	164	9	59	11	2	141	6	44
	6	781	8	25	42	205	29	68	70	5	345	11	81
8	1	298	25	42	39	42	47	102	58	6	215	48	62
	2	158	33	73	57	133	207	53	200	24	278	25	108
	3	166	59	33	22	93	169	29	337	19	99	37	90
	4	108	51	16	24	42	400	31	233	17	175	144	113
	5	98	48	9	49	22	170	37	319	23	55	145	88
	6	35	52	11	190	41	263	31	378	10	171	33	118
9	1	30	66	11	172	15	653	33	126	15	185	34	131
	2	34	30	11	55	9	1,073	18	626	11	191	34	206
	3	30	131	20	80	27	547	342	637	30	136	332	228
	4	56	332	7	75	21	174	166	937	30	263	181	219
	5	28	213	119	46	69	600	53	1,325	248	403	699	378
	6	91	138	125	141	58	2,222	88	2,424	311	88	245	584
10	1	58	65	73	79	56	2,256	114	682	735	57	493	461
	2	36	91	9	88	11	1,074	69	1,728	163	0	150	338
	3	82	85	27	59	21	301	9	600	58	16	2	118
	4	50	19	7	0	1	256	6	291	306	0	34	92
	5	36	4	15	2	1	418	10	54	73	0	34	61
	6	23	5	1	3	1	47	1	79	14	0	0	15
	合計	29,712	1,613	2,799	1,388	6,697	12,442	4,346	12,343	2,294	5,915	3,037	5,383

平年値は「欠測」を除き、「一部欠測」を含む過去10年間の平均

R6年4月第6半旬は、一部重さによる推定値

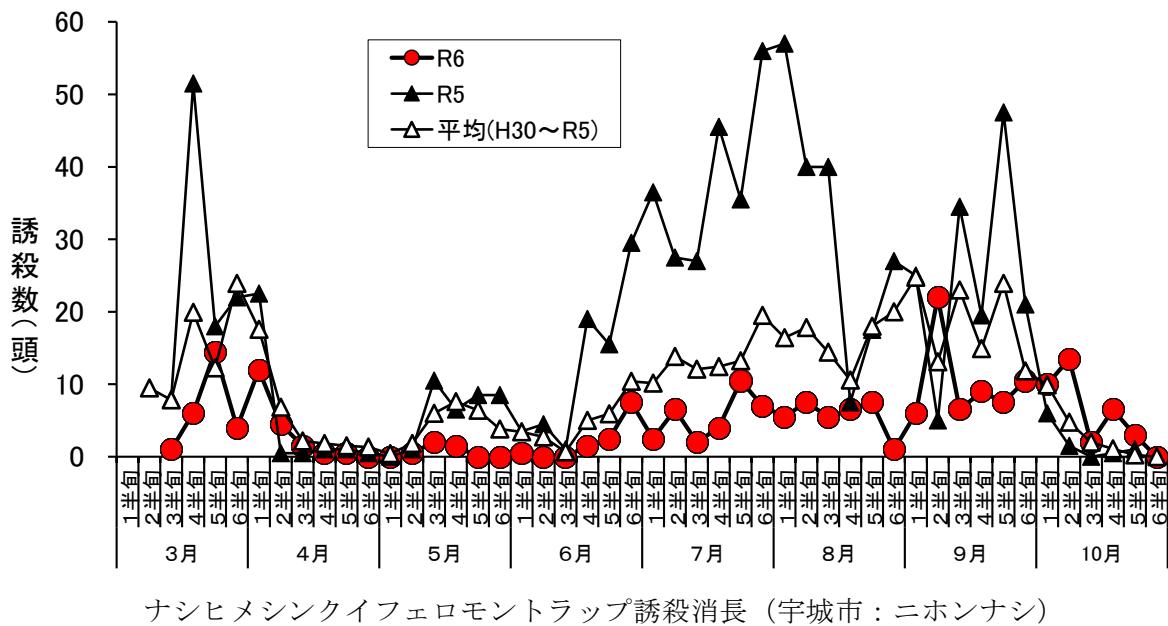
R4年の5月第5、6半旬は「一部欠測」（各1日間）

R2年の7月第3半旬は「一部欠測」（2日間）

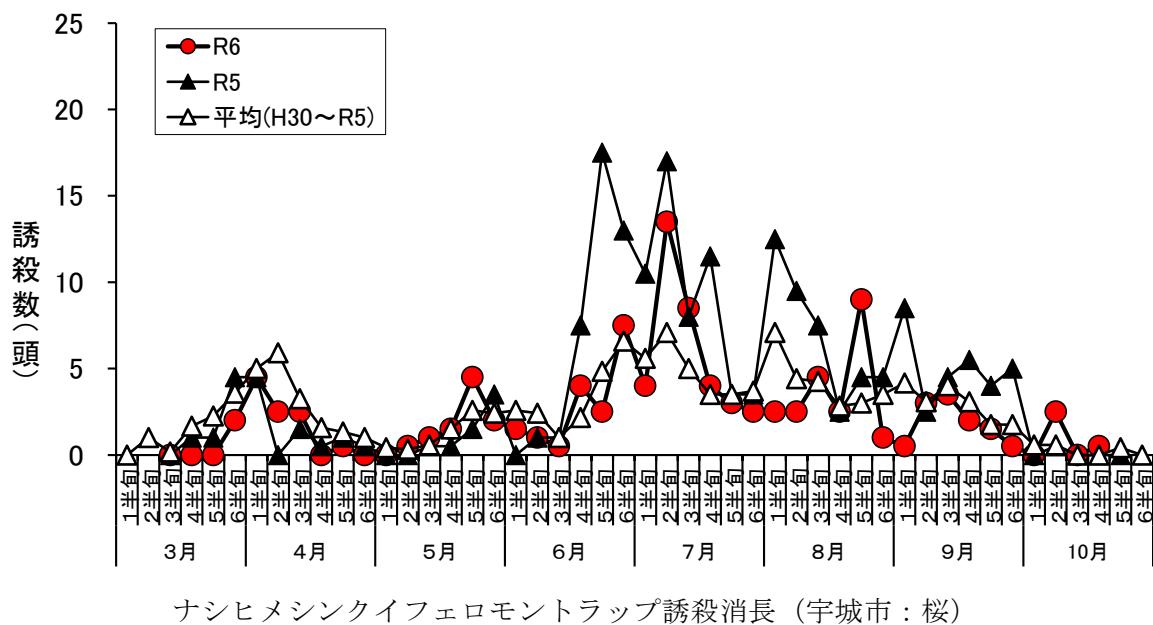
(7) ナシヒメシンクイ

フェロモントラップによるナシヒメシンクイの発生状況

1) 所内ナシ園におけるナシヒメシンクイの誘殺消長



2) 所内サクラにおけるナシヒメシンクイの誘殺消長



(イ) 茶害虫

茶業研究所

1 目的

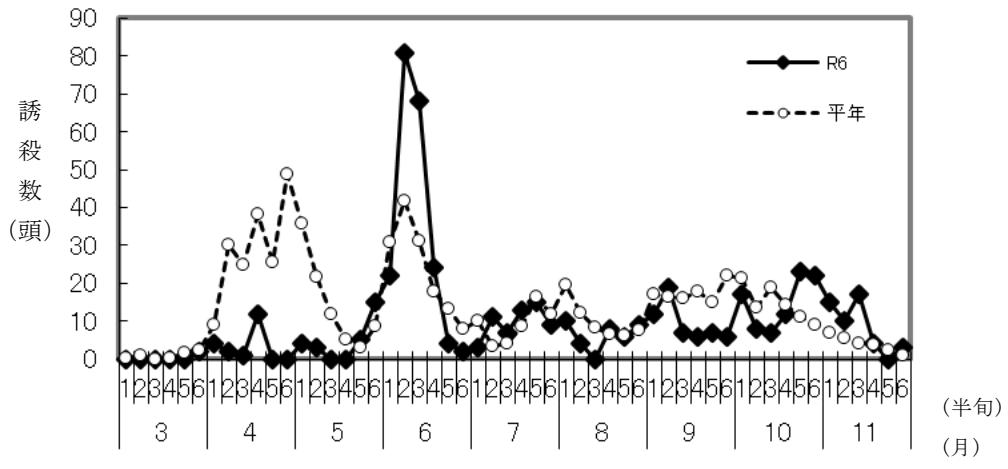
植物防疫法の規定に基づき茶病害虫の発生予察情報調査を行い、適切な情報の提供によって適期防除を推進する。

2 試験方法

- ア 調査場所 茶業研究所内ほ場 ‘やぶきた’
イ 調査期間 3月～11月
ウ 調査方法 性フェロモントラップ、100葉調査、たたき落とし（2回たたき×10ヶ所）
エ 調査対象害虫 チヤノコカクモンハマキ、チャハマキ、チャノホソガ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、カンザワハダニ

3 試験成績

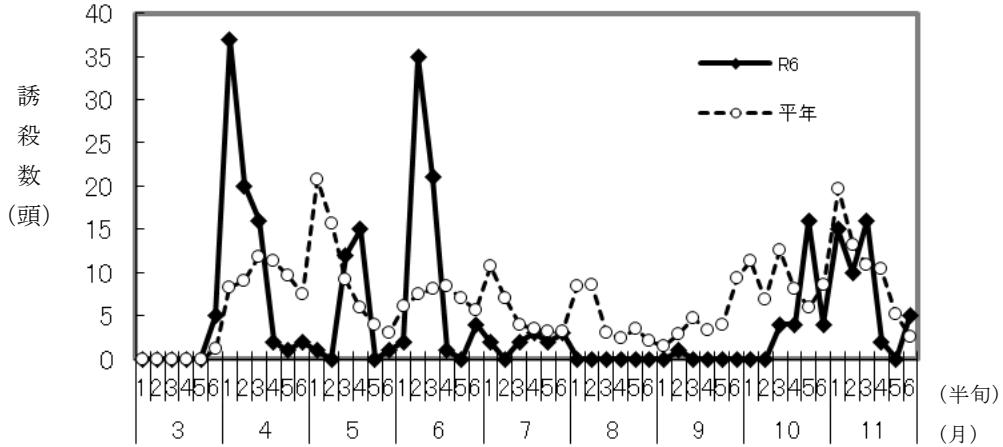
ア チヤノコカクモンハマキ



チャノコカクモンハマキ誘殺数（フェロモントラップ）

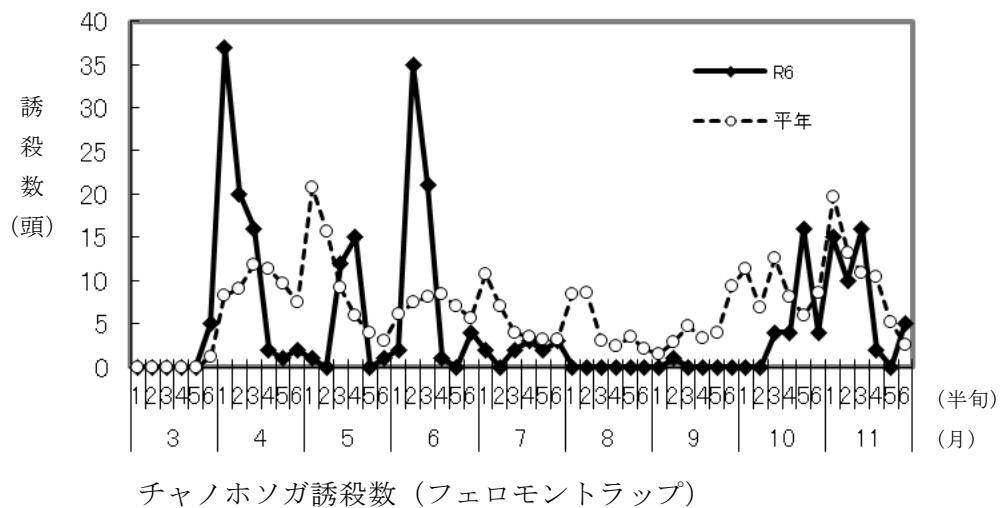
注) 平年値は平成 26 年から令和 5 年の平均である。以下同様。

イ チヤハマキ



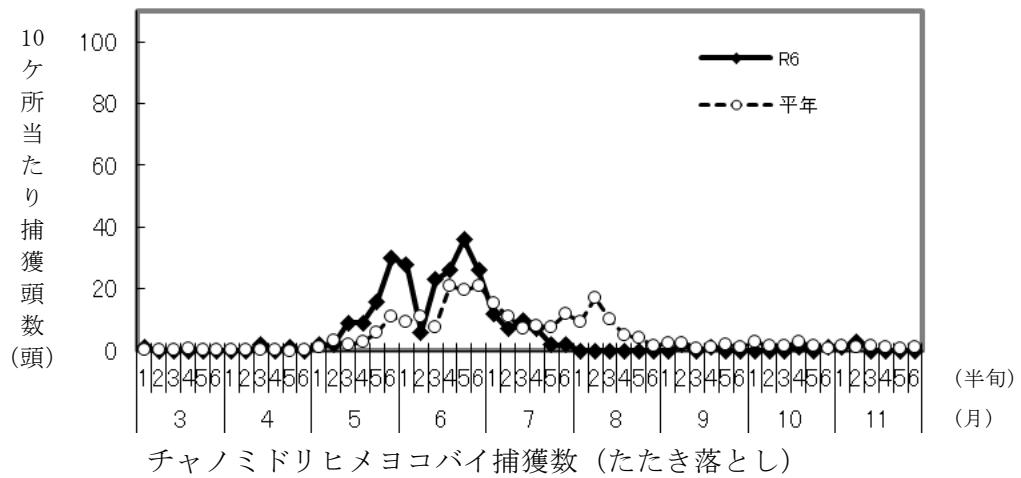
チャハマキ誘殺数（フェロモントラップ）

ウ チャノホソガ



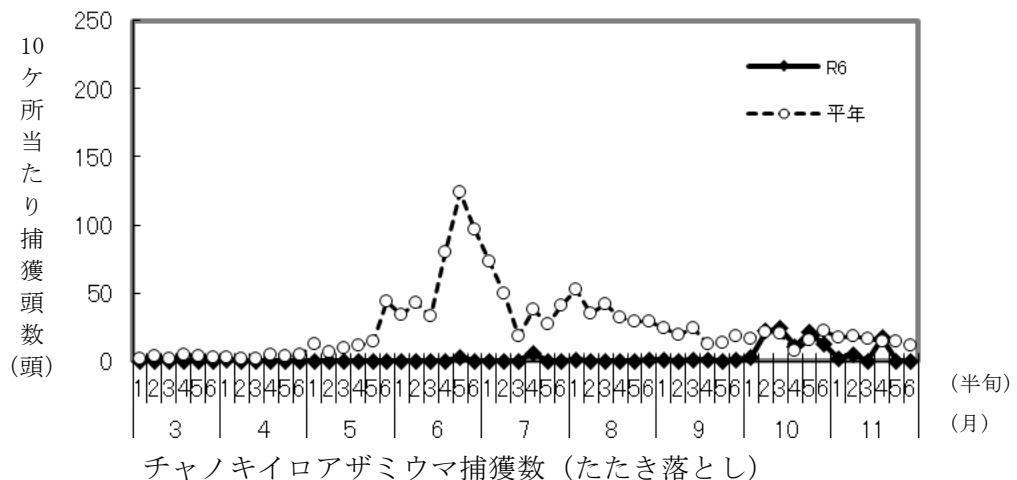
チャノホソガ誘殺数 (フェロモントラップ)

エ チャノミドリヒメヨコバイ

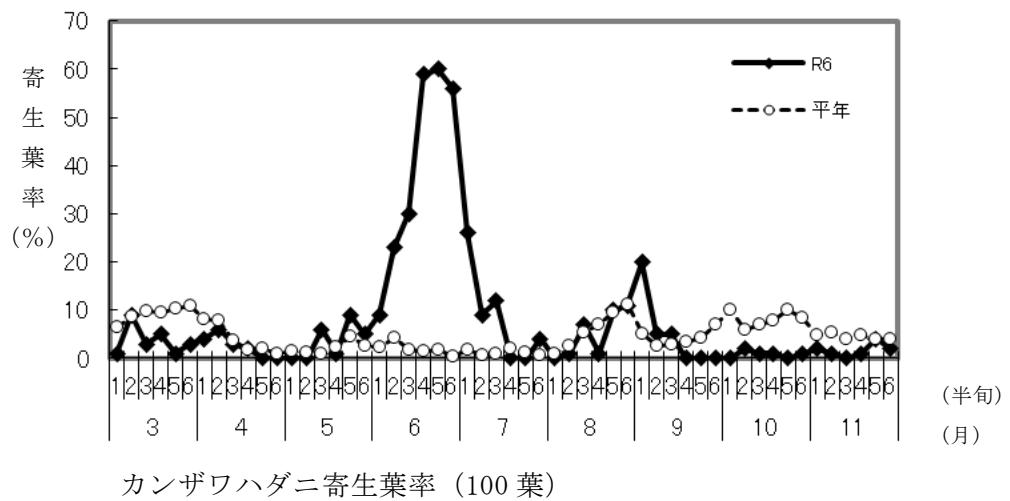


チャノミドリヒメヨコバイ捕獲数 (たたき落とし)

オ チャノキイロアザミウマ



カ カンザワハダニ



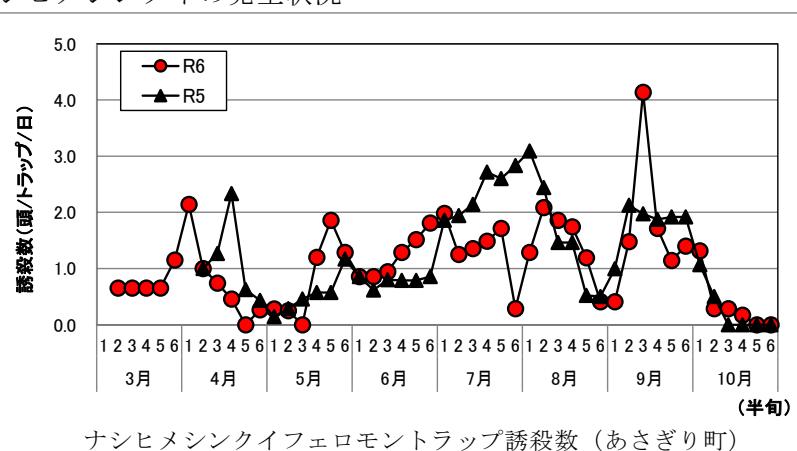
ウ 地区予察ほ場における調査（球磨農業研究所）

(ア) 果樹害虫

1) 球磨農業研究所内におけるナシヒメシンクイの発生状況

月, 半旬	R6	R5	平年値
3月	1	—	—
	2	0.65	—
	3	0.65	—
	4	0.65	—
	5	0.65	—
	6	1.15	—
4月	1	2.14	—
	2	1.00	1.00
	3	0.74	1.27
	4	0.46	2.33
	5	0.00	0.63
	6	0.27	0.43
5月	1	0.28	0.14
	2	0.25	0.29
	3	0.00	0.46
	4	1.20	0.57
	5	1.86	0.57
	6	1.29	1.17
6月	1	0.86	0.86
	2	0.86	0.62
	3	0.94	0.80
	4	1.29	0.79
	5	1.51	0.79
	6	1.81	0.86
7月	1	1.98	1.86
	2	1.25	1.94
	3	1.36	2.14
	4	1.49	2.71
	5	1.71	2.60
	6	0.29	2.83
8月	1	1.29	3.09
	2	2.09	2.44
	3	1.86	1.46
	4	1.74	1.46
	5	1.19	0.52
	6	0.41	0.50
9月	1	0.41	1.00
	2	1.48	2.13
	3	4.14	1.98
	4	1.71	1.88
	5	1.14	1.92
	6	1.40	1.92
10月	1	1.31	1.07
	2	0.29	0.50
	3	0.29	0.00
	4	0.17	0.00
	5	0.00	0.00
	6	0.00	0.00
合 計	49.51	49.50	

調査2年目のため平年値なし



(5) 野菜・花き病害虫発生予察事業

ア 病害虫防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名「冬春トマト」

調査月	調査対象	疫病		灰色かび病 (茎葉)		灰色かび病 (果実)		葉かび病		すすかび病	
		発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度
4	本年値	0.00	0.00	16.00	4.00	2.29	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	12.29	3.17	1.71	0.43	2.06	0.51	0.06	0.01
9	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.13
	平年値	0.00	0.00	0.40	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29	0.07
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.51	0.12
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.71	0.43
	平年値	0.00	0.00	0.17	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	2.97	0.75
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	2.00	0.50	0.00	0.00	0.06	0.01	2.01	0.49
1	本年値	0.00	0.00	0.29	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	2.17	0.54	0.11	0.03	1.14	0.29	1.43	0.36
2	本年値	0.00	0.00	3.43	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.72	0.18	5.26	1.31	0.08	0.02	1.99	0.50	1.19	0.30
3	本年値	0.00	0.00	6.57	1.71	0.29	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	11.26	2.81	2.00	0.50	2.06	0.71	0.06	0.01

調査月	調査対象	うどんこ病		黄化葉巻病		ア布拉ムシ類		コナジラミ類		オオタバコガ	
		発病株率	発病度	発病株率	発病度	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生株率	頭/10葉
4	本年値	0.00	0.00	2.25	1.00	0.00	0.00	2.14	0.21	0.00	0.00
	平年値	1.31	0.33	0.60	1.40	0.00	0.00	1.83	0.16	0.00	0.00
9	本年値	0.00	0.00	-	0.30	0.00	0.00	0.25	0.03	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.13	0.00	0.00	1.73	0.19	0.00	0.00
10	本年値	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	4.71	0.71	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.21	1.87	0.00	0.00	2.65	0.32	0.01	0.00
11	本年値	0.00	0.00	4.50	0.33	0.00	0.00	4.00	0.41	0.00	0.00
	平年値	0.06	0.01	1.22	2.10	0.00	0.00	2.23	0.25	0.00	0.00
12	本年値	0.00	0.00	5.50	0.33	0.00	0.00	2.43	0.27	0.00	0.00
	平年値	1.37	0.34	1.98	2.39	0.00	0.00	2.26	0.27	0.00	0.00
1	本年値	0.00	0.00	9.50	3.75	0.00	0.00	0.43	0.06	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	2.45	2.73	0.00	0.00	0.60	0.07	0.00	0.00
2	本年値	1.14	0.29	11.00	3.67	0.00	0.00	0.29	0.03	0.00	0.00
	平年値	0.06	0.01	1.48	2.46	0.00	0.00	0.37	0.04	0.00	0.00
3	本年値	0.00	0.00	6.50	6.17	0.00	0.00	1.14	0.11	0.00	0.00
	平年値	0.06	0.01	1.23	2.43	0.06	0.01	0.66	0.08	0.00	0.00

(冬春トマト 続き)

調査月	調査対象	ハスモントウ (寄生+食害)			アザミウマ類	
		調査項目	寄生株率	頭/10葉	被害株率	寄生株率
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-
9	本年値	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.40	-	-
10	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.19	0.03	0.32	-	-
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-
1	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-

作物名 「夏秋トマト」

調査月	調査対象	疫病		灰色かび病 (茎葉)		灰色かび病 (果実)		葉かび病		すすかび病	
		調査項目	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率
6	本年値	0.0	0.0	0.3	0.1	0.3	0.1	1.0	0.3	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.7	0.2	0.1	0.0	2.0	0.5	0.9	0.2
7	本年値	0.0	0.0	2.7	0.7	0.0	0.0	0.3	0.1	9.3	2.6
	平年値	0.0	0.0	8.9	2.2	0.8	0.2	6.5	1.7	4.5	1.1
8	本年値	0.0	0.0	8.0	2.0	0.0	0.0	8.7	2.6	40.3	15.3
	平年値	0.0	0.0	18.5	4.7	0.8	0.2	19.3	5.8	46.7	18.1
9	本年値	0.0	0.0	0.7	0.2	0.0	0.0	6.7	1.7	67.7	21.8
	平年値	0.0	0.0	27.0	7.2	0.4	0.1	35.5	14.4	66.7	32.1

調査月	調査対象	うどんこ病		アブラムシ類		コナジラミ類		アザミウマ類	
		調査項目	発病株率	発病度	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生株率
6	本年値	2.3	0.6	0.0	0.0	1.5	0.2	0.0	0.0
	平年値	2.6	0.6	0.0	0.0	1.4	0.2	-	-
7	本年値	13.7	3.6	0.0	0.0	21.3	4.1	0.0	0.0
	平年値	5.3	1.3	0.0	0.0	7.6	1.0	-	-
8	本年値	4.7	1.2	0.0	0.0	27.2	9.6	0.0	0.0
	平年値	9.9	3.1	0.0	0.0	9.6	2.0	-	-
9	本年値	0.0	0.0	0.3	0.0	33.5	7.5	0.0	0.0
	平年値	4.3	1.3	0.0	0.0	13.6	7.3	-	-

(夏秋トマト 続き)

調査月	調査対象	ハスモンヨトウ (寄生+食害)			オオタバコガ	
		寄生株率	頭/10葉	被害株率	寄生株率	頭/10葉
6	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
8	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
9	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.3	0.1	0.8	0.1	0.0

作物名「冬春ナス」

調査月	調査対象	うどんこ病		灰色かび病		すすかび病		すす斑病	
		発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度
4	本年値	0.0	0.0	5.6	1.4	65.2	19.6	48.8	12.3
	平年値	1.8	0.5	2.7	0.7	38.0	10.1	-	-
10	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	3.5	0.9
11	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.2	3.3
	平年値	1.3	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0	19.5	4.9
12	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.4	10.1
	平年値	2.7	0.8	0.2	0.0	3.8	0.9	38.5	9.6
1	本年値	0.0	0.0	0.8	0.2	7.2	1.8	45.2	11.3
	平年値	1.2	0.3	1.4	0.3	20.0	5.2	37.9	9.6
2	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	3.9	43.6	12.8
	平年値	0.2	0.1	2.5	0.6	31.4	9.7	48.1	12.1
3	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	2.7	28.4	7.1
	平年値	1.8	0.4	2.0	0.5	38.2	10.9	41.1	10.3

調査月	調査対象	ハダニ類		アザミウマ類		コナジラミ類		アブラムシ類	
		寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉
4	本年値	0.0	0.0	4.4	0.8	20.0	3.9	0.0	0.0
	平年値	0.1	0.0	0.8	0.1	6.9	0.8	0.1	0.0
10	本年値	0.0	0.0	20.8	4.2	52.0	27.9	0.0	0.0
	平年値	0.1	0.0	8.1	4.1	44.4	12.6	0.6	0.1
11	本年値	0.0	0.0	3.6	0.5	12.4	2.4	0.8	0.1
	平年値	0.0	0.0	5.2	1.7	24.5	5.0	0.2	0.0
12	本年値	0.0	0.0	0.4	0.0	5.6	0.6	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	1.5	0.3	12.2	2.3	0.0	0.0
1	本年値	0.0	0.0	2.8	0.3	10.4	1.4	0.0	0.0
	平年値	0.2	0.0	0.2	0.0	11.3	1.7	0.0	0.0
2	本年値	0.0	0.0	8.8	1.5	1.2	0.2	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.1	0.0	6.4	0.9	0.0	0.0
3	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.2	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.2	0.0	6.0	0.7	0.1	0.0

(冬春ナス 続き)

調査月	調査対象	ハスモンヨトウ		オオタバコガ		ハモグリバエ類	
		調査項目	寄生株率	頭/10葉	寄生株率	頭/10葉	寄生株率
4	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.9
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.2
10	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.6
	平年値	1.0	0.1	0.0	0.0	2.9	0.7
11	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	3.5
	平年値	0.2	0.0	0.0	0.0	9.1	2.3
12	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.9
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0	5.5	1.4
1	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.7
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0	3.5	0.9
2	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	1.5
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.5
3	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.6
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2

作物名「冬春キュウリ」

調査月	調査対象	うどんこ病		灰色かび病		べと病		斑点細菌病	
		調査項目	発病葉率	発病度	発病株率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率
4	本年値	30.67	7.83	31.67	7.92	56.67	15.92	0.00	0.00
	平年値	18.05	4.76	2.59	0.65	25.25	6.84	0.00	0.00
5	本年値	41.50	11.25	28.50	7.13	47.00	14.25	0.00	0.00
	平年値	21.07	5.72	2.60	0.65	25.01	6.39	0.00	0.00
6	本年値	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年値	27.50	7.41	3.25	0.81	11.38	2.88	0.00	0.00
11	本年値	0.67	0.17	0.00	0.00	1.67	0.42	0.00	0.00
	平年値	2.76	0.69	0.00	0.00	1.31	0.33	0.00	0.00
12	本年値	0.67	0.17	2.33	0.58	2.33	0.58	0.00	0.00
	平年値	7.64	1.91	2.16	0.54	6.92	2.17	0.00	0.00
1	本年値	9.33	2.33	3.33	1.00	6.33	1.58	0.00	0.00
	平年値	13.13	3.78	0.93	0.23	5.60	1.40	0.00	0.00
2	本年値	4.00	1.00	1.60	0.40	10.00	2.50	0.00	0.00
	平年値	10.63	2.80	1.20	0.30	7.76	1.99	0.00	0.00
3	本年値	7.67	1.92	5.67	1.42	6.33	1.58	0.00	0.00
	平年値	9.45	2.46	1.52	0.38	14.47	3.72	0.00	0.00

(冬春キュウリ 続き)

調査月	調査対象	菌核病		炭疽病		褐斑病		アブラムシ類	
		調査項目	発病株率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度	寄生葉率
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.17	0.00	0.00
	平年値	0.08	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36	0.12
5	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.13	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.08
6	本年値	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.19
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24	0.06	0.07	0.13
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.17	0.33	0.03
	平年値	1.20	0.30	0.00	0.00	0.33	0.08	0.07	0.01
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00	1.00	0.00	0.00
	平年値	1.60	0.40	0.07	0.02	0.53	0.13	0.07	0.01
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	7.00	1.75	0.00	0.00
	平年値	1.60	0.40	0.00	0.00	0.20	0.05	0.07	0.01

調査月	調査対象	コナジラミ類		アザミウマ類		ハダニ類		黄化えそ病	退緑黄化病
		調査項目	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	発病株率
4	本年値	2.67	0.30	1.67	0.27	0.00	0.00	0.00	8.83
	平年値	1.17	0.14	2.52	0.79	-	-	0.25	11.67
5	本年値	0.50	0.05	2.00	0.55	0.00	0.00	0.00	4.00
	平年値	7.26	1.67	3.63	0.63	-	-	0.72	15.68
6	本年値	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年値	6.38	0.88	2.25	0.40	-	-	0.25	24.19
11	本年値	2.67	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00
	平年値	3.17	0.33	0.00	0.00	-	-	0.03	8.44
12	本年値	2.00	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.67
	平年値	1.17	0.14	0.00	0.00	-	-	0.12	10.72
1	本年値	2.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.00
	平年値	2.07	0.26	0.00	0.00	-	-	0.10	15.43
2	本年値	2.00	0.20	0.80	0.28	0.00	0.00	0.00	19.40
	平年値	4.09	0.84	1.20	0.23	-	-	0.20	16.43
3	本年値	2.67	0.43	0.67	0.13	0.00	0.00	0.00	12.17
	平年値	0.73	0.07	1.60	0.25	-	-	0.04	8.26

作物名 「冬春イチゴ」

調査月	調査対象	炭疽病	灰色かび病 (葉)	灰色かび病 (果実)	うどんこ病 (葉)	うどんこ病 (果実)
	調査項目	発病葉率	発病葉率	発病葉率	発病葉率	発病株率
4	本年値	0.00	0.80	1.60	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.07	0.20	0.00
10	本年値	0.00	0.00	-	0.00	-
	平年値	0.00	0.00	-	0.00	-
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	本年値	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.13	0.00

調査月	調査対象	ハダニ類		アブラムシ類		アザミウマ類		ハスモンヨトウ	
	調査項目	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉
4	本年値	34.80	216.60	0.40	0.04	20.80	5.68	0.00	0.00
	平年値	18.36	39.41	1.27	0.25	32.45	11.75	0.00	0.00
10	本年値	0.00	0.00	6.67	1.43	-	-	2.33	0.23
	平年値	8.47	6.99	1.80	0.25	3.67	0.72	7.53	0.91
11	本年値	0.00	0.00	3.67	0.90	13.67	2.50	0.67	0.17
	平年値	6.87	4.31	1.93	0.71	8.53	1.52	1.67	0.25
12	本年値	0.33	0.27	2.67	0.33	2.67	0.30	0.00	0.00
	平年値	7.47	7.10	1.80	0.64	12.93	2.47	0.27	0.03
1	本年値	1.00	0.97	5.00	2.33	2.67	0.27	0.00	0.00
	平年値	14.00	21.98	2.47	0.73	11.47	2.01	0.20	0.02
2	本年値	4.00	2.50	4.33	0.83	7.33	1.07	0.00	0.00
	平年値	17.87	32.01	1.60	0.21	13.13	2.43	0.00	0.00
3	本年値	8.33	4.67	2.00	0.57	21.33	4.10	4.10	0.00
	平年値	23.80	56.48	1.80	0.29	22.47	7.25	0.00	0.00

(冬春イチゴ 続き)

調査月	調査対象	コナジラミ類		
		調査項目	寄生葉率	頭/10葉
4	本年値	0.00	0.00	
	平年値	0.00	0.00	
10	本年値	0.00	0.00	
	平年値	0.00	0.00	
11	本年値	0.00	0.00	
	平年値	0.08	0.01	
12	本年値	0.00	0.00	
	平年値	0.04	0.00	
1	本年値	0.00	0.00	
	平年値	0.04	0.00	
2	本年値	0.00	0.00	
	平年値	0.00	0.00	
3	本年値	0.00	1.00	
	平年値	0.00	0.00	

作物名 「冬春イチゴ（親株・育苗床）」

調査月	調査対象	炭疽病	うどんこ病	ハダニ類		ア布拉ムシ類		ハスモンヨトウ	
		調査項目	発病葉率	発病株率	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率
5	本年値	0.33	0.00	25.00	22.70	1.00	0.17	0.00	0.00
	平年値	0.00	1.53	14.33	7.57	5.33	1.99	0.00	0.00
6	本年値	0.00	0.00	19.00	11.77	9.00	2.40	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.93	14.07	3.40	1.20	0.23	0.00	0.00
7	本年値	0.00	0.00	38.33	18.07	6.00	2.00	1.00	0.10
	平年値	0.00	0.20	18.67	6.51	3.07	0.59	0.00	0.00
8	本年値	0.00	0.00	32.00	16.83	6.33	1.47	1.67	0.20
	平年値	0.00	0.00	9.93	4.05	5.27	5.65	0.73	0.07
9	本年値	0.00	0.00	10.67	2.80	2.00	0.40	1.67	0.33
	平年値	0.00	0.00	5.87	4.63	2.67	0.43	0.33	0.56

調査月	調査対象	コナジラミ類	
		調査項目	寄生葉率
5	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00
6	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00
7	本年値	0.33	0.03
	平年値	0.08	0.01
8	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.04	0.00
9	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00

作物名 「アスパラガス」

調査月	調査対象	茎枯病	斑点性病害 (斑点病、褐斑病)		アザミウマ類		ハスモンヨトウ	
	調査項目	発病株率	発病株率	発病度	寄生株率	寄生頭数	寄生株率	寄生頭数
4	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-	-
5	本年値	0.0	0.0	0.0	11.7	1.3	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-	-
6	本年値	0.7	3.3	0.8	5.0	0.5	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-	-
7	本年値	0.7	1.3	0.3	13.3	2.0	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-	-
8	本年値	0.0	2.0	0.5	0.0	0.0	2.7	0.3
	平年値	-	-	-	-	-	-	-
9	本年値	0.7	18.0	4.5	1.7	0.2	0.7	0.1
	平年値	-	-	-	-	-	-	-
3	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-	-

調査月	調査対象	ハダニ類		コナジラミ類		アブラムシ類	
	調査項目	寄生株率	寄生頭数	寄生株率	寄生頭数	寄生株率	寄生頭数
4	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-
5	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-
6	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-
7	本年値	0.0	0.0	2.7	0.0	0.7	0.1
	平年値	-	-	-	-	-	-
8	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-
9	本年値	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-
3	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-	-	-

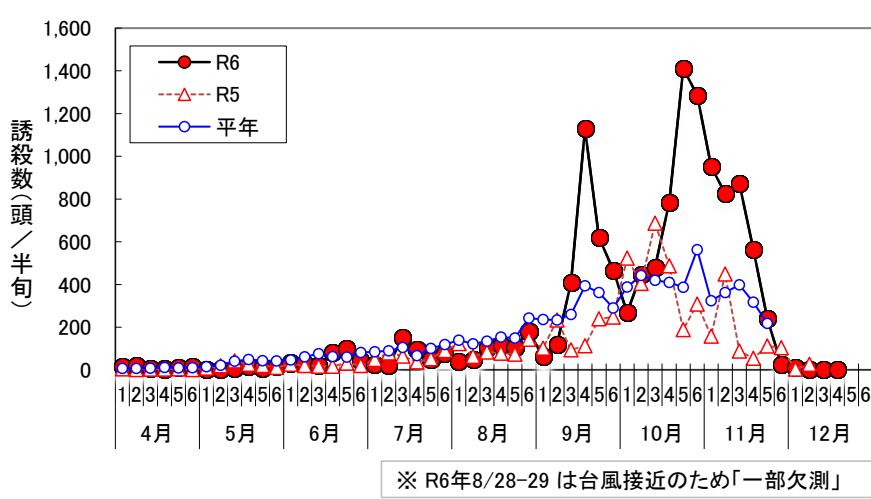
(イ) 野菜害虫のフェロモントラップによる誘殺状況

ハスモンヨトウの誘殺消長（フェロモントラップ）合志市栄

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
4月	1	18.0	7.6	5.0	1.0	4.0	0.0	0.0	0.0	3.0	6.0	50.0	7.0
	2	21.0	7.2	2.0	2.0	5.0	1.3	3.0	0.0	8.0	11.0	38.0	2.0
	3	6.0	8.0	3.7	4.5	4.0	1.6	1.0	1.0	8.0	18.0	29.0	9.0
	4	5.0	11.4	4.3	1.5	2.0	5.9	6.0	0.0	9.0	5.0	31.0	49.0
	5	11.0	9.5	5.0	2.0	12.0	6.6	13.0	1.0	8.0	30.0	4.0	13.0
	6	18.0	10.8	1.3	12.7	5.8	3.3	14.0	0.0	11.0	13.0	15.0	32.0
5月	1	1.6	15.1	8.7	33.3	9.2	11.5	14.0	0.0	11.0	31.0	16.0	16.0
	2	0.4	21.4	20.0	18.0	15.0	20.3	6.0	18.0	10.0	57.0	20.0	30.0
	3	8.0	40.7	42.0	14.0	25.7	37.3	36.0	74.0	29.0	85.0	8.0	56.0
	4	19.0	49.6	27.0	10.7	81.3	23.6	61.0	81.0	22.0	72.0	37.0	80.0
	5	10.0	43.7	21.0	4.3	139.0	17.1	16.0	85.0	32.0	48.0	46.0	29.0
	6	16.0	42.5	12.0	6.0	166.0	15.0	38.6	48.0	40.0	32.0	38.0	29.0
6月	1	33.0	46.8	26.0	11.5	27.0	8.7	30.3	53.0	38.0	64.0	117.0	92.0
	2	29.0	61.3	21.0	50.2	35.0	37.4	138.0	43.0	31.0	71.0	135.0	51.0
	3	22.5	76.6	17.0	29.8	22.0	149.1	145.0	45.0	51.0	61.0	184.0	62.0
	4	82.5	62.2	18.0	10.5	49.0	93.0	75.0	35.0	49.0	129.0	103.0	60.0
	5	102.0	60.1	31.7	49.0	44.7	116.0	63.0	44.0	45.0	103.0	40.0	65.0
	6	44.3	81.4	20.3	20.0	46.3	228.1	92.0	35.0	20.0	90.0	154.0	108.0
7月	1	26.7	85.6	49.5	23.0	17.0	279.1	72.6	169.0	58.0	38.0	79.0	71.0
	2	23.0	89.1	79.5	26.0	95.3	220.0	26.3	100.0	76.0	140.0	62.0	66.0
	3	152.8	105.1	64.8	25.3	81.0	149.0	31.0	26.0	86.0	302.0	110.0	176.0
	4	97.5	67.1	38.3	68.8	68.9	15.5	10.0	43.0	102.0	89.0	142.0	94.0
	5	48.7	100.8	52.0	131.0	45.8	95.3	51.3	197.0	130.0	93.0	136.0	77.0
	6	76.0	119.0	91.0	54.0	193.7	49.2	42.0	278.0	156.0	75.0	86.0	165.0
8月	1	39.0	139.3	123.7	34.3	316.3	56.0	82.5	157.0	118.0	185.0	145.0	175.0
	2	49.6	121.9	63.3	27.2	90.0	83.2	174.5	80.0	98.0	188.0	215.0	200.0
	3	107.4	135.1	84.0	40.5	79.0	82.4	138.3	122.0	221.0	175.0	271.0	138.0
	4	113.0	153.8	78.7	116.7	25.3	162.7	182.0	389.0	158.0	197.0	126.0	103.0
	5	105.0	149.1	73.3	72.8	5.7	233.1	116.0	54.7	175.0	372.0	欠測	239.0
	6	180.0	243.2	144.0	107.5	81.0	264.9	179.7	180.3	414.0	596.0	欠測	221.0
9月	1	61.0	235.7	102.0	109.0	385.0	0.0	188.3	366.0	217.0	欠測	568.0	186.0
	2	120.0	234.2	233.3	154.3	193.0	328.0	87.5	291.0	83.0	289.0	457.0	226.0
	3	410.0	260.1	93.7	227.7	184.0	458.9	308.8	106.0	187.0	335.0	497.0	203.0
	4	1,129.0	394.2	113.0	367.0	134.0	742.0	505.3	393.0	420.0	683.0	347.0	238.0
	5	620.0	362.3	240.0	345.0	65.3	786.0	395.0	630.0	161.0	453.0	271.0	277.0
	6	468.0	290.1	247.0	190.7	113.7	644.0	199.0	320.0	459.0	319.0	160.0	249.0
10月	1	268.7	388.1	523.0	162.3	419.0	303.0	208.1	545.0	767.0	213.0	430.0	311.0
	2	447.3	442.6	405.0	348.0	331.0	850.0	221.5	161.0	166.0	1231.0	332.0	380.0
	3	482.0	419.5	686.7	561.3	256.5	335.0	337.0	483.0	247.0	629.0	355.0	304.0
	4	785.3	409.2	487.3	604.7	394.5	349.0	209.0	307.0	483.0	463.0	352.0	442.0
	5	1,410.7	387.1	189.0	406.0	254.0	198.0	412.3	399.0	354.0	744.0	373.0	542.0
	6	1,286.0	563.2	308.5	640.0	456.0	373.6	1051.7	313.0	266.0	1161.0	520.0	542.0
11月	1	952.0	323.5	157.8	324.7	254.7	119.3	695.0	178.0	254.0	340.0	650.0	262.0
	2	825.8	362.3	448.8	230.3	171.3	178.0	712.0	255.0	163.0	499.0	512.0	454.0
	3	872.8	398.2	89.0	393.0	50.0	154.0	555.7	345.0	299.0	641.0	1258.0	197.0
	4	565.5	317.3	55.0	464.0	96.0	264.0	219.3	98.0	13.0	711.0	1220.0	33.0
	5	241.0	218.1	112.0	300.0	16.0	66.0	200.0	45.0	0.0	431.0	862.0	149.0
	6	26.3		104.0	271.0	17.0	0.0	287.0		10.0	85.0	17.0	227.0
12月	1	13.7		4.0	1.0	0.0	0.0				66.0	0.0	
	2	0.0		26.3	2.0	1.0	0.0				68.0	0.0	
	3	0.0			3.0	0.0	0.0				81.0	1.0	
	4	0.0				1.0	0.0					0.0	
	5					0.0	0.0					0.0	
	6					0.0	0.0					0.0	
合 計		12,451.0	8,170.7	5,853.3	7,113.0	5,585.0	8,615.0	8,650.6	7,594.0	6,766.0	12,603.0	11,833.0	7,738.0

※平年値は「欠測」を除いた過去10年の平均

※R6年8月第6半旬は一部欠測

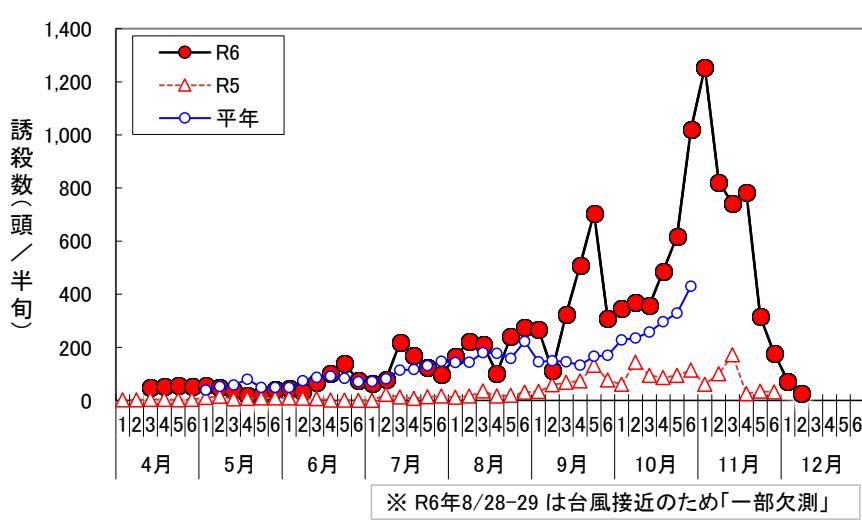


ハスモンヨトウの誘殺消長（フェロモントラップ） 八代市鏡

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
4月	1			1.8									
	2			2.3								56.7	
	3	50.7		3.9								45.0	
	4	53.7		4.4	3.2							29.3	6.0
	5	55.4		2.1	3.2		4.6			12.1		17.7	7.4
	6	54.3		3.8	8.8	30.8	20.0	32.8	27.0	23.1		10.0	7.1
5月	1	58.3	39.6	11.0	12.5	43.8	41.4	41.0	150.3	21.6	45.6	15.0	13.6
	2	50.4	52.6	15.6	12.5	45.3	41.4	52.4	210.4	18.8	80.3	17.5	32.0
	3	37.1	58.6	5.7	4.8	69.4	51.7	61.0	170.0	37.1	96.1	29.5	60.7
	4	18.8	79.5	7.9	2.0	105.0	54.1	65.0	162.4	52.4	122.7	63.0	160.6
	5	22.6	49.3	9.0	0.7	98.6	36.4	63.4	55.0	32.9	62.1	68.1	67.0
	6	41.5	49.5	9.4	22.3	158.9	21.6	72.3	32.0	15.4	38.6	62.1	62.1
6月	1	47.1	49.3	9.3	34.4	102.2	34.4	57.5	38.5	31.4	49.9	81.6	53.7
	2	32.9	74.7	8.4	22.1	34.9	67.6	261.5	34.0	59.3	58.3	138.6	62.9
	3	69.3	87.2	6.6	11.3	47.9	146.4	201.9	47.5	82.7	64.3	209.3	54.3
	4	102.6	91.5	1.4	56.4	22.7	195.0	155.4	69.5	102.1	105.7	130.9	75.6
	5	138.6	83.4	0.9	34.1	23.3	157.1	108.0	53.0	65.0	150.7	130.9	110.7
	6	74.0	71.2	0.7	21.9	33.6	82.1	140.0	50.3	48.6	165.4	110.7	58.6
7月	1	66.7	71.7	0.7	32.1	65.6	175.7	98.0	38.8	37.9	104.3	82.7	80.9
	2	80.0	81.7	22.9	29.3	103.0	133.3	69.1	81.5	77.1	155.1	69.4	76.6
	3	217.9	113.8	12.6	40.0	156.0	108.3	65.5	76.7	128.1	177.0	60.0	313.6
	4	168.6	116.9	7.3	57.1	143.6	121.4	109.5	67.3	181.4	190.7	124.3	166.4
	5	124.7	131.6	13.6	149.3	96.1	175.7	122.1	55.0	258.6	125.7	190.7	129.0
	6	96.9	147.6	16.3	108.9	156.4	159.0	124.5	144.5	183.1	149.3	214.0	220.0
8月	1	165.0	142.8	12.3	70.3	173.4	85.9	104.5	112.5	153.6	160.1	130.0	425.7
	2	224.1	144.0	16.3	83.6	161.4	126.4	177.3	130.3	181.7	152.9	264.3	145.8
	3	210.9	179.6	35.7	0.0	139.3	193.8	221.9	169.0	322.9	240.0	300.3	173.5
	4	102.9	177.7	17.0	0.0	112.7	215.7	156.9	243.0	174.3	264.9	331.4	260.8
	5	240.6	158.6	19.6	7.3	28.3	235.8	256.5	43.0	130.3	314.0	欠測	392.1
	6	276.7	222.8	31.0	43.7	101.1	268.3	244.2	163.2	151.0	533.1	401.3	290.6
9月	1	266.7	145.7	33.6	158.6	84.3	44.7	147.4	193.0	155.0	欠測	295.0	200.0
	2	113.6	149.8	58.7	89.6	78.3	160.3	103.0	181.5	112.7	213.9	250.3	249.3
	3	325.6	146.2	68.4	46.0	69.3	320.7	174.5	103.5	85.3	209.0	162.9	222.1
	4	509.4	132.7	73.6	55.7	40.0	410.0	186.0	41.2	48.0	205.1	116.6	150.9
	5	705.7	166.7	132.1	11.7	50.3	386.3	253.1	279.5	82.1	130.7	125.0	216.0
	6	307.9	169.8	76.9	2.1	111.0	338.4	103.5	203.5	192.7	145.0	65.0	460.0
10月	1	345.1	228.1	60.9	4.3	326.4	288.6	106.3	281.4	238.9	213.6	217.1	543.4
	2	367.9	235.2	144.3	236.4	241.9	266.3	129.0	30.0	128.6	500.7	237.4	437.1
	3	359.3	257.9	94.0	217.1	296.1	247.0	162.0	409.5	260.0	394.9	252.2	246.4
	4	486.7	296.6	86.6	205.1	409.3	226.4	289.0	358.5	319.4	356.0	254.3	461.4
	5	619.1	328.9	94.3	208.6	310.0	322.1	479.0	338.7	359.3	482.9	233.8	460.1
	6	1020.7	430.6	114.0	200.3	367.6	336.9	996.0	474.6	470.6	548.7	329.7	467.4
11月	1	1253.6		61.3	177.4	304.4	208.0	963.0			448.3	337.3	250.0
	2	822.7		100.6	184.0	349.0		990.5			361.6	423.6	424.3
	3	741.9		172.1	160.0	192.1		719.6			25.0	615.6	273.9
	4	782.1		25.7	176.0	175.0		488.5			302.0	525.9	138.9
	5	315.7		34.3	112.5			286.6			409.8	638.6	249.3
	6	177.7		32.0	67.5						69.2	156.7	321.9
12月	1	73.7									120.0	79.9	
	2	25.7									84.9	91.0	
	3										52.3	136.4	
	4										15.7	35.0	
	5												
	6												
合計		12,503.0	5,163.2	1,772.7	3,184.7	5,658.4	6,509.0	9,639.2	5,319.6	5,035.1	8,896.1	8,963.2	9,279.6

※平年値は「欠測」を除いた過去10年の平均

※R6年8月第6半旬は一部欠測

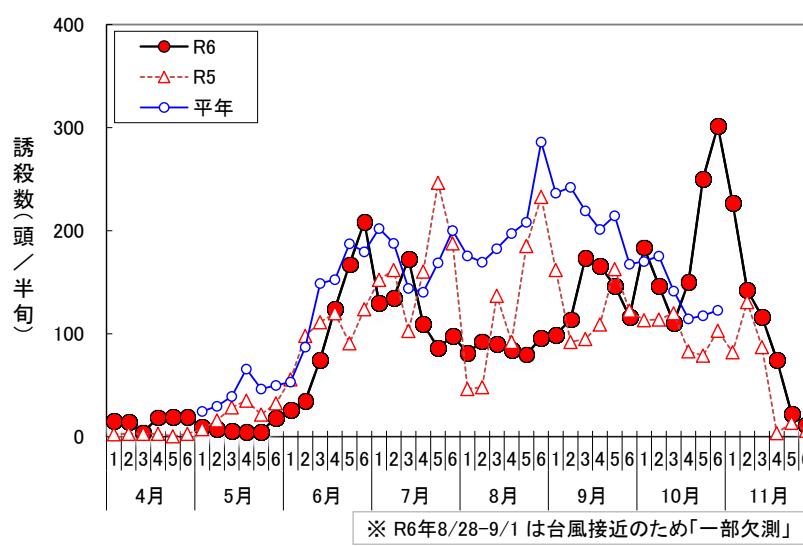


ハスモンヨトウの誘殺消長（フェロモントラップ）阿蘇市一の宮

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
4月	1	15.3		2.4		0.0							
	2	14.5		3.0		0.0	0.0						0.0
	3	4.2		3.0		0.0	0.0						0.0
	4	18.8		3.0	0.8	0.0	0.0			0.0	3.6	12.1	0.0
	5	19.0		0.6	2.0	1.0	0.0			0.0	9.3	2.4	0.0
	6	19.3		3.0	81.5	4.0	0.0	2.8		1.4	15.2	1.3	0.0
5月	1	9.3	24.8	7.5	34.2	0.0	2.8	3.5	160.0	1.4	34.8	3.3	0.0
	2	7.7	29.7	15.9	29.3	2.0	4.2	1.4	188.4	3.9	46.9	4.3	1.0
	3	6.0	39.2	28.6	8.7	24.3	34.5	1.7	147.6	13.6	69.3	50.9	12.7
	4	5.0	65.8	35.0	2.3	229.7	49.5	8.5	170.0	14.7	46.1	73.3	29.3
	5	5.0	46.4	21.7	10.0	179.0	6.1	8.9	126.7	14.8	31.4	40.7	25.0
	6	18.6	49.8	32.6	15.0	203.0	17.0	27.2	67.1	20.5	41.1	49.8	24.7
6月	1	26.4	53.2	55.7	58.0	116.3	17.0	50.4	44.5	23.1	85.7	64.3	17.1
	2	35.0	87.1	97.9	100.0	69.7	67.9	134.0	58.1	74.9	100.3	152.4	16.3
	3	75.0	148.8	111.1	101.0	61.0	301.1	171.5	53.9	81.6	113.3	482.1	11.7
	4	124.3	152.7	120.0	43.0	70.7	592.3	116.3	61.3	72.1	126.4	255.1	69.3
	5	167.4	187.4	90.7	153.5	100.3	671.6	93.6	116.5	117.1	258.3	188.5	84.0
	6	208.6	179.5	123.8	176.5	68.0	485.2	150.0	140.2	103.4	281.2	181.9	85.0
7月	1	129.7	202.1	152.3	194.0	42.0	747.0	120.0	198.2	106.9	240.8	164.3	55.3
	2	135.0	187.9	161.9	164.7	223.5	407.0	102.6	261.5	157.1	257.1	91.9	51.6
	3	172.5	144.1	102.7	102.3	277.8	318.0	106.5	133.5	100.6	194.1	48.1	57.1
	4	109.2	140.3	160.4	190.0	176.7	127.2	156.1	97.2	133.3	141.0	66.4	155.0
	5	86.2	168.8	246.6	325.0	88.6	177.6	206.3	78.4	203.6	96.4	112.1	153.3
	6	97.7	200.2	187.7	210.3	191.9	235.4	261.3	120.0	240.0	176.4	217.3	161.2
8月	1	81.4	175.6	46.4	198.7	291.5	214.1	149.0	115.0	169.3	226.4	244.1	101.4
	2	92.5	169.5	48.2	218.0	304.0	121.0	80.5	134.8	155.1	272.5	266.4	95.0
	3	89.8	182.5	136.8	68.0	279.5	305.2	85.4	160.7	173.7	245.6	293.9	76.6
	4	84.7	197.3	92.1	264.0	127.5	378.8	135.9	211.5	265.6	219.4	188.4	89.4
	5	80.0	208.2	185.3	156.0	128.0	235.0	259.5	178.7	343.7	271.8	133.9	190.0
	6	96.0	286.1	232.7	257.0	214.0	311.0	240.6	268.8	401.2	491.3	258.0	186.3
9月	1	98.9	236.5	161.9	209.0	253.0	250.6	136.2	310.5	200.2	416.7	307.0	120.2
	2	113.8	242.2	92.1	336.0	209.0	339.4	132.8	360.0	154.3	416.5	272.0	109.5
	3	173.3	219.4	94.9	192.0	120.5	486.0	212.0	184.0	242.9	381.9	185.0	95.0
	4	165.7	201.4	109.1	198.0	175.5	375.6	189.8	251.2	172.8	330.0	148.9	63.0
	5	146.6	214.5	162.9	140.0	141.6	232.8	167.0	520.0	109.2	398.0	162.3	111.3
	6	116.4	167.6	122.6	139.0	113.4	100.5	135.0	139.5	163.8	409.3	204.1	148.8
10月	1	184.0	170.2	113.3	132.0	83.0	155.1	144.5	223.8	158.0	424.7	156.3	111.4
	2	146.7	175.3	113.8	83.5	231.3	90.0	116.5	280.0	149.4	520.0	104.0	64.8
	3	110.6	141.4	120.0	142.5	210.7	118.0	74.5	150.0	197.2	309.0	58.6	33.8
	4	150.0	114.5	82.9	103.0	99.0	153.0	109.0	111.6	192.5	195.6	42.9	55.8
	5	250.6	117.6	78.7	105.0	20.0	112.9	145.0	87.8	158.3	236.4	63.6	168.3
	6	301.6	122.7	102.9	77.0	33.3	189.7	184.6	67.6	78.9	297.0	38.8	157.3
11月	1	226.9		82.1	61.3		52.7	63.5			202.0	52.8	
	2	142.5		130.7	34.7						26.3	76.9	
	3	116.5		87.1	101.3						51.4		
	4	75.0		3.6	36.4								
	5	22.5		13.6	26.3								
	6	11.8		5.9	32.0								
12月	1			0.7									
	2			0.7									
	3												
	4												
	5												
	6												
合 計		4,587.3	5,450.4	4,187.9	5,312.8	5,164.3	8,482.8	4,483.9	5,978.6	4,970.0	8,710.4	5,520.4	2,987.4

※平年値は過去10年の平均

※R6年8月第6半旬および9月第1半旬は一部欠測

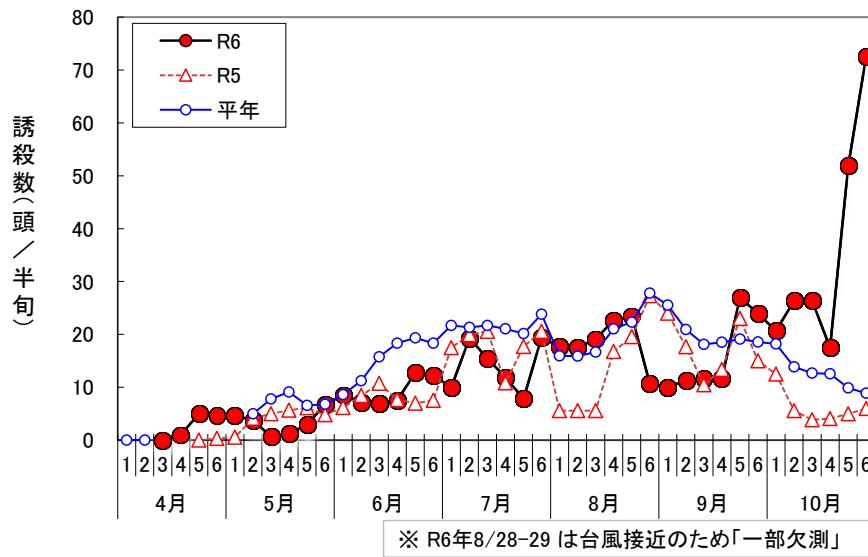


ハスモンヨトウの誘殺消長（フェロモントラップ）山都町鶴ヶ田

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
4月	1												
	2												
	3	0.0											0.0
	4	1.0					0.0					0.0	0.0
	5	5.0		0.0		0.0	0.0		0.0			0.0	0.0
	6	4.7		0.3		0.0	0.0		0.0			0.0	0.0
5月	1	4.6		0.6	2.3	0.0	1.3		13.2	5.3		0.0	0.0
	2	3.8	5.0	4.1	2.9	2.6	2.1	0.0	19.6	6.7	8.0	2.0	1.7
	3	0.6	7.8	5.0	1.9	8.3	3.7	4.5	27.4	5.6	8.0	4.9	8.6
	4	1.3	9.1	5.7	0.4	24.3	5.0	4.5	9.0	5.4	7.6	7.1	22.3
	5	3.0	6.6	6.1	0.4	11.3	2.0	2.1	9.0	5.0	7.3	4.4	18.3
	6	6.7	6.8	4.8	4.8	9.7	3.0	4.6	10.8	6.0	9.7	7.1	7.6
6月	1	8.6	8.6	6.1	7.2	14.3	5.0	5.4	9.0	13.0	11.9	12.2	2.1
	2	7.2	11.2	8.4	8.1	23.6	6.4	7.0	9.0	12.0	14.1	19.3	4.4
	3	7.0	15.8	10.7	0.7	16.3	8.6	11.8	10.2	7.5	15.6	70.0	6.4
	4	7.5	18.3	7.6	7.1	20.6	29.4	15.0	11.0	12.0	7.5	64.3	8.6
	5	12.8	19.4	7.0	12.0	27.1	26.6	17.5	11.0	13.3	18.2	50.3	10.5
	6	12.2	18.3	7.5	14.2	29.2	15.0	17.0	13.0	14.2	34.3	28.3	10.5
7月	1	10.0	21.7	17.5	8.8	29.2	53.7	14.5	13.0	14.2	34.3	10.5	21.3
	2	19.3	21.3	19.9	8.6	25.3	54.4	4.5	13.9	14.8	46.3	10.5	15.1
	3	15.4	21.7	20.6	12.0	19.4	48.5	4.5	17.5	20.6	54.4	12.0	7.6
	4	11.9	21.1	10.8	26.9	16.8	29.6	9.3	19.5	29.0	21.3	33.1	14.4
	5	7.9	20.1	17.7	20.3	16.2	18.8	12.5	22.5	24.5	24.8	32.4	11.7
	6	19.4	23.8	20.6	14.4	20.4	22.7	16.3	41.4	21.3	36.0	36.0	9.0
8月	1	17.6	15.9	5.6	8.1	18.8	13.3	11.5	27.0	14.1	28.5	24.8	7.5
	2	17.5	15.9	5.6	16.4	15.4	11.7	11.5	20.1	13.2	28.2	31.9	5.0
	3	19.2	16.7	5.6	16.4	14.6	12.7	18.3	12.5	13.2	32.7	32.5	8.1
	4	22.6	21.0	16.8	18.4	12.3	17.0	20.0	12.5	21.7	35.8	32.9	23.1
	5	23.5	22.3	19.5	26.4	8.9	24.3	15.5	12.5	34.3	35.8	29.6	16.5
	6	10.7	27.8	27.3	18.1	15.6	27.7	18.0	24.9	41.1	69.8	19.6	15.7
9月	1	10.0	25.5	24.0	14.1	19.3	16.7	27.5	51.7	31.6	39.1	16.3	15.0
	2	11.3	20.9	17.7	15.0	25.7	12.8	33.0	10.5	30.9	39.1	16.7	7.7
	3	11.7	18.1	10.5	15.0	12.9	9.4	36.9	10.7	21.9	39.1	17.1	7.7
	4	11.7	18.5	13.4	13.1	11.6	7.7	39.5	11.5	15.9	43.6	15.0	13.9
	5	27.0	19.1	23.0	17.1	11.2	6.4	32.5	9.1	15.9	43.6	16.5	15.5
	6	23.9	18.6	15.0	23.1	13.3	10.0	12.5	10.3	21.1	49.2	17.5	13.5
10月	1	20.7	18.2	12.5	17.9	11.9	9.5	7.5	13.0	40.1	45.3	11.4	13.0
	2	26.4	13.8	5.6	16.5	12.6	8.5	7.5	13.0	32.5	23.8	11.4	7.0
	3	26.4	12.7	3.8	17.1	13.6	7.5	17.0	15.4	10.0	23.8	12.9	5.5
	4	17.5	12.5	4.1	19.3	13.6	10.6	11.8	15.4	6.9	18.8	18.6	6.2
	5	51.9	9.9	5.0	17.6	11.0	9.7	4.0	9.0	2.3	15.5	17.7	6.9
	6	72.6	8.9	6.0	18.4	8.8	9.1	4.8	1.8	2.8	7.1	21.0	9.0
11月	1				12.6	3.5	10.0	7.5			1.1		
	2				8.6			6.3					
	3				13.7			4.5					
	4				12.3			0.0					
	5				8.1			2.0					
	6				5.0								
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												
合 計		592.0	573.0	402.0	521.3	568.9	570.4	500.6	560.9	600.0	979.2	768.0	377.0

※平年値は過去10年の平均

※R6年8月第6半旬は一部欠測

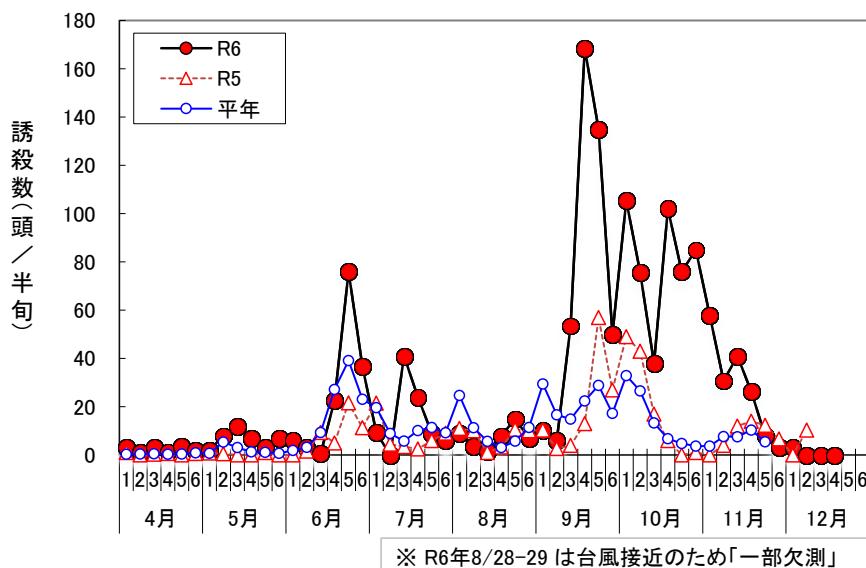


オオタバコガの誘殺消長 (フェロモントラップ) 合志市栄

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
4月	1	3.0	0.4	1.0	0.0	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	1.0	0.5	0.0	0.0	0.6	0.2	1.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	3	3.0	0.6	0.3	1.5	1.0	0.8	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
	4	1.3	0.4	0.7	0.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	3.7	0.5	0.0	0.0	1.6	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
	6	2.0	0.9	0.7	0.5	0.5	2.4	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	1.0
5月	1	2.0	0.7	0.8	2.5	0.0	1.8	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
	2	8.0	5.3	0.5	19.0	9.5	2.4	11.0	0.0	0.0	6.0	2.0	3.0
	3	12.0	3.1	0.0	0.0	4.9	1.8	7.0	1.0	2.0	3.0	6.0	5.0
	4	7.0	1.3	0.0	0.0	1.2	2.6	2.0	1.0	0.0	0.0	3.0	3.0
	5	3.0	1.1	1.0	0.0	2.0	1.0	3.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0
	6	7.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	1.0	2.0	0.0
6月	1	6.0	1.9	0.0	0.0	8.4	0.9	4.0	0.0	0.0	0.0	2.0	4.0
	2	3.0	3.2	1.7	2.3	5.7	1.2	4.0	11.0	1.0	2.0	3.0	0.0
	3	0.5	9.4	9.3	2.7	18.9	11.5	16.2	16.0	0.0	7.0	9.0	3.0
	4	22.5	27.1	5.0	34.0	33.9	12.8	43.6	42.0	0.0	67.0	18.0	15.0
	5	76.0	39.2	21.7	137.0	14.2	5.8	29.0	46.0	34.0	33.0	33.0	38.0
	6	36.7	23.1	11.3	35.0	6.4	11.6	48.0	3.0	33.0	11.0	57.0	15.0
7月	1	9.3	19.6	21.5	7.0	5.6	7.0	61.3	6.0	23.0	4.0	27.0	34.0
	2	0.0	8.9	4.5	2.0	5.3	4.0	8.7	2.0	13.0	7.0	9.0	34.0
	3	41.0	5.8	3.5	15.0	1.6	2.0	7.0	2.0	4.0	6.0	9.0	8.0
	4	24.0	10.2	2.5	80.0	1.1	0.0	5.0	3.0	0.0	6.0	2.0	2.0
	5	9.0	11.5	6.0	63.0	5.5	2.4	8.8	6.0	3.0	11.0	8.0	1.0
	6	6.0	9.3	9.0	7.0	2.1	2.8	17.0	4.0	11.0	15.0	18.0	7.0
8月	1	9.0	24.7	11.0	6.7	28.3	5.8	12.5	9.0	7.0	13.0	39.0	115.0
	2	3.4	11.3	10.0	2.3	8.6	8.1	2.0	5.0	14.0	3.0	18.0	42.0
	3	1.6	5.7	1.0	0.0	2.5	1.0	2.5	5.0	6.0	4.0	25.0	10.0
	4	8.0	3.2	3.3	2.7	1.0	2.5	0.0	7.0	0.0	2.0	7.0	6.0
	5	15.0	5.8	10.7	0.3	4.0	2.5	6.0	12.7	7.0	4.0	欠測	5.0
	6	7.0	11.4	10.0	0.0	11.0	7.0	7.7	16.3	10.0	20.0	欠測	21.0
9月	1	10.0	29.5	10.3	0.3	28.9	0.0	2.5	48.0	14.0	欠測	70.0	91.0
	2	6.0	16.7	2.7	3.3	12.5	12.0	2.5	18.0	18.0	20.0	20.0	58.0
	3	53.5	14.9	4.0	2.3	19.5	3.1	4.0	42.0	11.0	19.0	28.0	16.0
	4	168.5	22.4	13.0	4.0	3.7	8.0	6.3	83.0	27.0	52.0	17.0	10.0
	5	135.0	28.9	57.0	8.0	3.4	28.2	0.0	122.0	22.0	40.0	6.0	2.0
	6	50.0	17.3	27.0	2.0	11.2	47.8	6.0	22.0	25.0	25.0	5.0	2.0
10月	1	105.3	32.9	49.0	8.0	105.1	26.5	24.7	32.0	31.0	36.0	14.0	3.0
	2	75.7	26.6	43.0	10.0	68.1	45.7	4.3	25.0	25.0	35.0	6.0	4.0
	3	38.0	13.3	17.0	6.3	38.8	27.4	0.0	15.0	21.0	6.0	2.0	0.0
	4	102.0	6.8	6.0	2.7	17.8	7.5	12.0	3.0	9.0	1.0	3.0	6.0
	5	76.0	4.8	0.0	0.0	13.1	0.6	5.0	9.0	1.0	3.0	5.0	11.0
	6	85.0	3.7	1.0	1.0	7.4	3.5	6.0	0.0	2.0	3.0	5.0	8.0
11月	1	58.0	3.7	0.0	0.0	8.7	2.0	4.0	2.0	1.0	7.0	5.0	7.0
	2	30.8	7.7	4.0	0.0	16.4	2.4	7.0	10.0	0.0	5.0	23.0	9.0
	3	41.0	7.6	12.0	3.0	3.4	0.6	2.0	16.0	2.0	4.0	32.0	1.0
	4	26.3	10.4	14.0	12.0	1.5	7.3	1.0	9.0	0.0	25.0	34.0	0.0
	5	8.0	5.5	12.3	2.7	1.6	3.9	3.0	2.0	0.0	8.0	16.0	5.0
	6	3.0	6.7	3.3	1.6	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	9.0
12月	1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	0.0	10.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計		1,406.0	499.1	436.3	491.0	549.2	331.8	402.4	660.0	382.0	519.0	591.0	616.0

※平年値は「欠測」を除いた過去10年の平均

※R6年8月第6半旬は一部欠測

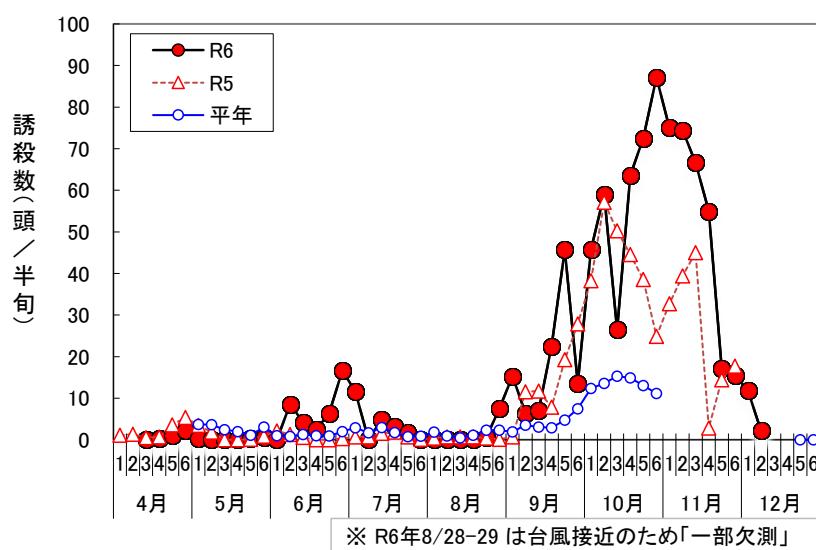


オオタバコガの誘殺消長 (フェロモントラップ) 八代市鏡

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
4月	1			1.1									
	2			1.4								2.2	
	3	0.0		0.5								3.1	
	4	0.4		0.7	12.1							1.4	2.3
	5	1.0		3.6	12.1		4.0			0.7		0.6	2.3
	6	2.1		5.4	11.9	5.3	3.1	1.6	1.8	0.1		0.0	1.4
5月	1	0.4	3.7	3.5	11.8	10.0	0.4	2.0	5.4	0.0	0.0	3.6	0.7
	2	0.0	3.7	1.9	11.8	11.7	0.4	1.7	5.9	0.0	0.8	1.4	1.1
	3	0.0	2.4	0.0	8.1	9.3	1.9	1.5	1.5	0.0	0.2	0.0	1.9
	4	0.0	2.0	0.0	7.7	5.0	2.4	0.3	0.3	0.4	0.0	0.0	3.6
	5	0.3	1.1	0.1	8.6	0.0	0.7	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.7
	6	0.7	3.1	0.9	24.0	4.0	0.1	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.4
6月	1	0.0	1.0	2.1	4.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	2	8.6	0.8	1.3	3.2	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	0.7
	3	4.3	1.3	0.6	5.3	1.4	0.0	0.4	1.1	0.0	2.9	0.7	0.1
	4	2.4	1.0	0.0	5.3	0.3	0.6	0.3	0.5	0.0	1.4	0.3	1.4
	5	6.4	0.9	0.0	3.8	0.0	0.4	0.0	0.0	0.6	1.0	0.0	3.6
	6	16.7	2.0	0.3	4.4	0.0	0.0	6.5	4.8	0.7	1.0	0.0	2.1
7月	1	11.6	2.9	0.7	10.7	0.0	2.1	2.9	6.4	0.7	2.1	1.1	2.1
	2	0.0	1.7	0.7	3.9	4.0	1.3	0.4	1.5	1.4	1.0	0.9	1.7
	3	5.0	2.9	1.6	4.1	8.0	1.1	0.0	0.7	0.6	0.4	0.0	12.9
	4	3.3	1.7	1.9	7.1	0.0	2.9	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	5.1
	5	1.7	0.8	0.7	2.9	0.6	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.6
	6	0.0	0.9	0.1	1.7	0.9	1.7	0.0	2.0	0.0	0.0	1.1	1.4
8月	1	0.0	1.8	0.4	1.6	0.7	0.6	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	14.3
	2	0.0	0.9	0.7	2.9	0.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.4	3.5
	3	0.0	0.5	0.7	1.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	1.3
	4	0.0	1.1	0.7	8.3	0.0	0.3	0.0	1.2	0.0	0.3	0.0	0.0
	5	0.6	2.3	0.4	11.0	0.0	1.7	5.5	0.6	0.0	0.3	欠測	1.4
	6	7.4	2.3	0.1	4.3	0.0	0.9	3.8	2.6	0.0	1.7	3.6	6.3
9月	1	15.3	1.9	0.7	2.1	0.0	0.1	1.8	3.5	0.0	欠測	3.1	6.0
	2	6.4	3.5	11.6	2.6	0.0	0.3	1.5	1.5	0.0	10.0	3.3	4.3
	3	7.0	3.0	11.7	2.7	0.0	0.7	0.0	0.6	0.0	9.7	5.0	0.0
	4	22.6	2.9	7.9	2.1	0.0	5.0	0.3	0.1	0.0	5.7	2.0	5.6
	5	45.7	4.8	19.3	2.7	0.0	5.3	1.0	0.5	5.7	4.0	1.0	8.0
	6	13.6	7.4	27.9	8.0	0.1	5.2	3.0	9.7	10.0	7.6	0.0	2.9
10月	1	45.7	12.4	38.3	15.7	0.7	2.9	5.0	21.8	11.7	13.6	5.0	9.1
	2	59.0	13.6	57.1	2.1	0.1	14.9	4.7	3.7	7.1	27.9	8.0	9.9
	3	26.4	15.3	50.3	25.7	0.0	15.0	3.5	17.0	7.1	16.7	8.9	8.6
	4	63.6	14.9	44.6	39.4	0.0	10.7	4.5	8.9	6.9	8.3	7.1	18.6
	5	72.6	13.1	38.6	31.4	0.0	20.7	6.3	5.7	6.4	4.3	3.8	13.4
	6	87.1	11.2	24.9	22.7	0.0	12.3	9.8	17.4	3.4	3.0	4.8	13.4
11月	1	75.0		32.7	14.3	0.0	4.0	6.5			4.7	7.6	13.6
	2	74.4		39.4	12.4	0.0		2.0			6.6	20.7	13.6
	3	66.6		45.0	10.7	0.0		2.9			7.1	27.0	8.4
	4	55.0		2.9	13.5	0.0					11.2	20.1	4.0
	5	17.1		14.4	15.4						14.0	15.0	6.4
	6	15.4		17.7	16.3						5.0	0.8	5.3
12月	1	11.9									7.1	1.9	
	2	2.1									3.7	3.0	
	3										1.1	4.3	
	4										0.0	0.0	
	5												
	6												
合 計		855.6	146.9	517.0	434.1	67.3	126.0	80.3	130.5	64.3	186.4	175.3	224.9

※平年値は「欠測」を除いた過去10年の平均

※R6年8月第6半旬は一部欠測

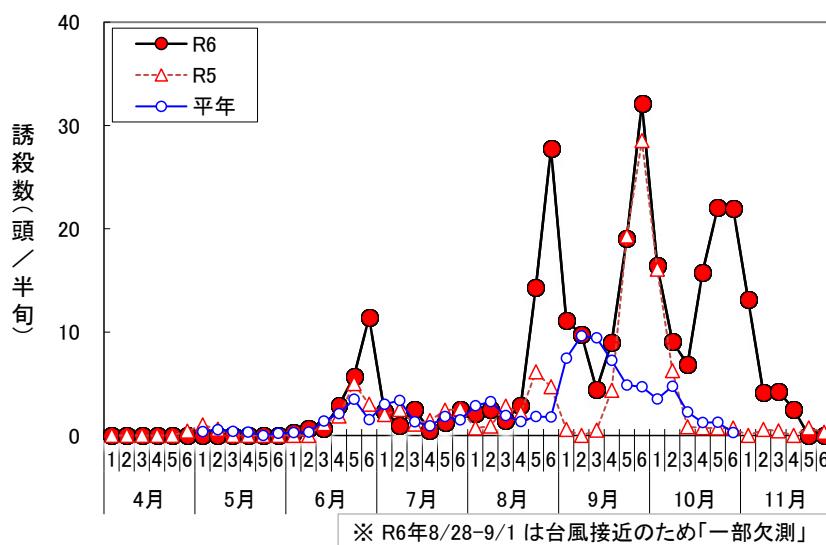


オオタバコガの誘殺消長（フェロモントラップ）阿蘇市一の宮

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
4月	1	0.0		0.0		0.0							
	2	0.0		0.0		0.0	0.0					0.0	
	3	0.0		0.0		0.0	0.0					0.0	
	4	0.0		0.0	0.5	0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0		0.0	2.5	0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0			0.4	2.0	1.0	0.0	0.5		0.0	0.0	0.2
5月	1	0.0	0.4	1.0	0.4	0.0	0.0	0.5	0.4	0.0	0.8	0.6	0.0
	2	0.0	0.5	0.6	0.6	2.0	0.0	0.2	0.4	0.1	1.3	0.2	0.0
	3	0.0	0.4	0.0	1.0	1.3	0.5	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.3
	4	0.0	0.3	0.0	1.0	0.7	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.7
	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.2	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6月	1	0.3	0.3	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	2	0.7	0.3	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.6
	3	0.7	1.4	1.1	7.0	2.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.1	0.0	0.8
	4	2.9	2.1	1.9	7.0	4.0	2.7	0.0	4.0	0.0	0.7	0.0	0.7
	5	5.7	3.5	5.0	18.0	0.0	1.4	0.3	4.0	3.6	2.1	0.0	0.5
	6	11.4	1.5	3.0	3.0	0.0	0.0	1.5	3.1	2.7	2.0	0.0	0.0
7月	1	2.3	3.0	2.0	3.0	3.0	2.0	4.5	2.9	1.7	0.0	0.0	10.9
	2	1.0	3.4	2.5	9.3	1.5	1.0	3.9	3.5	0.0	1.4	0.0	10.7
	3	2.5	1.3	1.1	0.9	0.5	3.0	0.0	0.5	0.0	0.6	0.3	6.4
	4	0.5	0.9	1.4	0.8	1.0	0.0	1.6	1.4	0.9	0.0	1.4	0.6
	5	1.3	1.8	2.4	9.0	0.8	0.0	1.1	1.6	2.1	0.0	0.9	0.4
	6	2.6	1.5	2.6	6.0	0.2	1.0	0.8	0.0	1.7	0.0	1.3	1.4
8月	1	2.1	2.9	0.7	6.5	11.0	0.0	1.5	1.5	1.6	0.8	1.4	3.6
	2	2.5	3.3	0.9	1.5	6.0	1.0	0.5	0.9	2.0	1.3	1.4	17.1
	3	1.5	1.9	2.8	0.0	2.0	0.0	1.0	1.3	1.7	0.0	2.6	7.7
	4	2.9	1.3	2.1	1.0	1.0	0.0	2.4	4.5	0.0	0.0	1.1	1.3
	5	14.4	1.8	6.1	3.0	2.0	0.9	0.0	3.3	1.7	0.5	0.0	0.7
	6	27.8	1.8	4.7	3.0	1.0	0.3	0.0	3.9	2.3	1.5	0.0	1.0
9月	1	11.1	7.5	0.6	36.0	6.0	12.0	0.3	10.9	0.4	3.3	4.6	0.7
	2	9.8	9.6	0.0	19.0	6.0	16.0	0.5	22.0	2.1	23.0	6.0	1.8
	3	4.4	9.5	0.5	13.0	9.0	30.0	0.5	8.0	1.4	19.2	6.4	6.4
	4	9.0	7.3	4.4	3.0	9.8	26.0	0.2	8.4	8.0	6.3	2.8	4.0
	5	19.1	4.9	19.3	1.0	0.3	4.2	0.2	10.0	5.0	3.0	2.6	3.2
	6	32.1	4.7	28.5	0.0	1.0	3.0	1.0	5.5	1.9	1.3	1.7	3.1
10月	1	16.4	3.5	16.1	0.0	1.0	0.0	0.0	9.4	1.9	2.6	0.6	3.6
	2	9.1	4.8	6.3	2.3	6.0	0.0	1.2	12.0	1.9	13.1	0.8	4.1
	3	6.9	2.3	0.8	1.1	4.0	1.0	3.0	1.0	1.7	5.3	0.5	4.4
	4	15.8	1.2	0.7	0.7	3.0	0.0	0.5	0.2	6.2	0.3	0.0	0.8
	5	22.0	1.3	0.7	0.0	3.0	0.0	0.7	0.0	7.4	0.7	0.0	0.2
	6	22.0	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.6	0.7	0.0
11月	1	13.1	0.0				0.0	0.0			0.6	0.3	
	2	4.2	0.6								0.8	0.0	
	3	4.3	0.4								0.0		
	4	2.6	0.0										
	5	0.0	0.7										
	6	0.0	0.3										
12月	1		0.0										
	2		0.0										
	3												
	4												
	5												
	6												
合計		285.0	92.5	123.0	165.0	93.0	106.5	29.2	129.2	61.0	93.0	38.4	98.0

※平年値は過去10年の平均

※R6年8月第6半旬および9月第1半旬は一部欠測

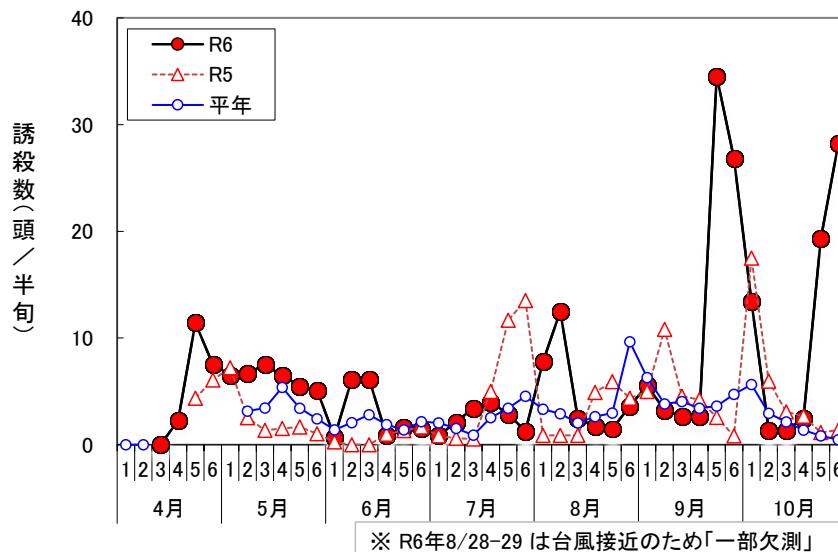


オオタバコガの誘殺消長(フェロモントラップ) 山都町鶴ヶ田

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
4月	1												
	2												
	3	0.0											0.0
	4	2.3					0.0					0.0	2.0
	5	11.4		4.4		1.4	0.0		1.0			4.0	5.0
	6	7.5		6.1		0.6	0.0		2.5			5.2	0.0
5月	1	6.5		7.2	6.0	0.0	7.5		1.7	0.9		5.6	4.3
	2	6.7	3.1	2.5	7.5	0.0	5.5	0.0	1.4	1.1	1.7	5.7	6.0
	3	7.5	3.5	1.4	5.4	0.0	4.9	12.5	1.6	0.6	1.7	5.2	1.4
	4	6.5	5.4	1.5	2.1	0.0	14.3	12.5	4.0	0.6	2.1	4.3	12.3
	5	5.5	3.4	1.7	2.1	0.0	4.4	3.7	4.0	0.8	2.3	4.4	11.0
	6	5.1	2.4	1.0	2.9	0.0	1.7	1.0	4.5	0.9	2.4	4.6	5.3
6月	1	0.7	1.4	0.3	1.8	0.3	0.5	0.7	2.5	1.9	0.6	4.0	1.4
	2	6.1	2.1	0.0	1.3	0.7	1.7	1.5	2.5	2.0	0.6	5.0	5.4
	3	6.2	2.8	0.0	9.3	1.9	3.6	1.8	1.6	1.9	0.6	3.1	4.4
	4	0.8	1.9	1.0	5.9	1.4	1.1	2.0	1.0	1.4	1.3	2.5	1.4
	5	1.7	1.4	1.3	4.9	0.7	0.9	1.0	1.0	1.3	1.0	1.3	0.5
	6	1.5	2.2	1.7	10.0	1.2	0.0	1.4	4.5	1.7	0.7	0.0	0.5
7月	1	0.8	2.0	0.8	2.5	1.2	0.7	5.7	4.5	1.7	0.7	1.5	1.3
	2	2.1	1.5	0.6	1.8	0.7	0.3	0.5	3.9	3.8	1.4	1.5	0.8
	3	3.4	0.9	0.6	1.5	0.0	0.0	0.5	1.5	2.8	1.9	0.0	0.2
	4	4.0	2.5	5.0	4.4	5.2	0.0	0.8	6.5	0.5	1.3	0.6	1.1
	5	2.9	3.4	11.7	2.8	6.5	0.0	1.0	6.9	0.7	3.0	0.9	0.7
	6	1.3	4.5	13.5	1.4	9.0	0.1	1.2	10.2	1.3	6.7	2.0	0.0
8月	1	7.8	3.3	0.9	0.6	9.4	0.7	5.0	10.6	1.4	2.2	2.5	0.0
	2	12.5	2.9	0.9	2.5	4.5	1.6	5.0	10.5	1.5	1.4	0.6	0.5
	3	2.5	2.1	0.9	2.5	3.3	2.2	2.2	4.5	1.5	2.2	0.8	0.6
	4	1.7	2.6	4.9	2.9	2.2	3.3	1.5	4.5	2.9	2.7	0.8	0.6
	5	1.5	3.0	5.9	4.3	0.6	3.6	1.8	4.5	5.0	2.7	1.1	0.3
	6	3.6	9.6	4.4	32.3	0.2	3.4	3.3	9.3	6.0	34.5	2.8	0.3
9月	1	5.6	6.3	5.0	16.4	0.0	1.7	6.5	19.8	3.2	7.5	2.3	0.7
	2	3.2	3.8	10.8	8.6	0.0	1.1	1.5	3.0	2.7	7.5	2.0	0.9
	3	2.7	4.1	4.5	17.5	0.7	1.9	0.9	2.8	2.3	7.5	1.4	0.9
	4	2.7	3.4	4.2	5.0	0.7	1.6	0.5	2.0	2.1	8.2	1.4	8.6
	5	34.5	3.6	2.6	6.0	1.4	0.7	0.0	0.8	2.1	8.2	3.9	10.5
	6	26.9	4.7	0.8	7.5	4.2	2.1	0.4	1.5	2.8	18.6	5.6	3.7
10月	1	13.4	5.6	17.5	7.3	0.0	0.9	0.5	3.0	6.0	17.8	1.4	2.0
	2	1.4	3.0	6.0	7.3	0.1	0.0	0.5	3.0	5.8	4.2	1.4	1.2
	3	1.4	2.1	3.1	6.3	0.4	0.0	2.5	2.1	0.6	4.2	1.1	1.0
	4	2.5	1.4	2.7	2.1	0.4	1.7	1.5	1.4	0.4	3.5	0.0	0.2
	5	19.3	0.8	1.2	0.4	0.1	1.6	0.0	1.0	0.0	3.0	1.0	0.0
	6	28.2	0.5	1.4	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	1.2	1.5	0.0
11月	1					0.0	0.0	0.5			0.0		
	2							0.3					
	3							0.0					
	4							0.0					
	5							0.0					
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												
合計		262.0	107.5	139.9	203.0	59.0	76.0	82.2	151.6	72.0	167.0	93.5	97.0

※平年値は過去10年の平均

※R6年8月第6半旬は一部欠測

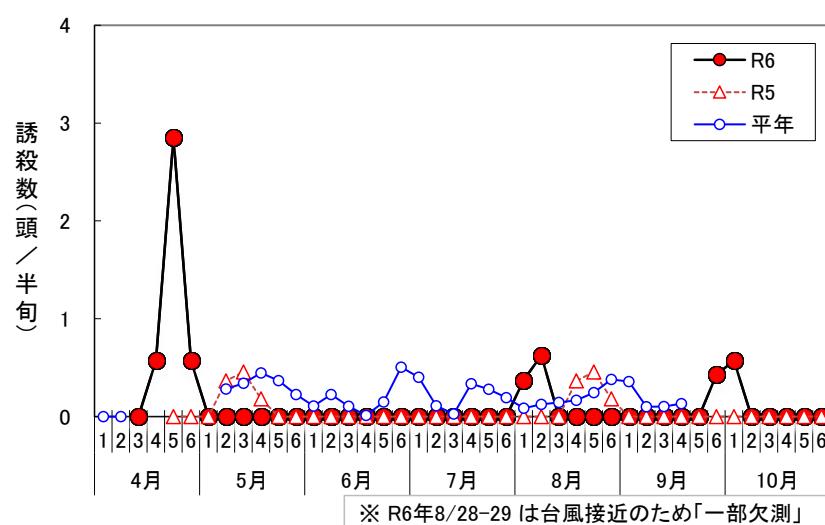


コナガの誘殺消長（フェロモントラップ）山都町鶴ヶ田

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
4月	1												
	2												
	3	0.0											0.0
	4	0.6					0.0					0.0	0.0
	5	2.9		0.0		0.0	0.0		0.0			0.0	0.0
	6	0.6		0.0		0.0	0.0		0.0			0.0	0.0
5月	1	0.0		0.0	0.0	0.0	1.9		0.0	0.0		0.0	0.0
	2	0.0	0.3	0.4	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	3	0.0	0.3	0.5	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0
	4	0.0	0.4	0.2	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0
	5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	2.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0
	6	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0
6月	1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
	2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.4	0.6
	3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.4
	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.5
	6	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	4.1	0.0	0.0	0.5
7月	1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	3.0	0.0	0.0	0.6
	2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.4
	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
	4	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.9	0.6
	5	0.0	0.3	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	0.3
	6	0.0	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0
8月	1	0.4	0.1	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
	2	0.6	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.5
	3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.3	0.5
	4	0.0	0.2	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
	5	0.0	0.2	0.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.1	0.0
	6	0.0	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.4	0.0	2.1	0.8	0.0
9月	1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.6	0.0	0.3	0.7	0.0
	2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0
	3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0
	4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.4
	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.5
	6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.5
10月	1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.5
	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.1
	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0
	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11月	1					0.0	0.0	0.0					
	2							0.0					
	3								0.0				
	4								0.0				
	5								0.0				
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												
合 計		6.0	6.0	2.0	1.0	2.0	7.0	5.0	2.0	10.0	12.1	18.0	7.0

※平年値は過去10年の平均

※R6年8月第6半旬は一部欠測

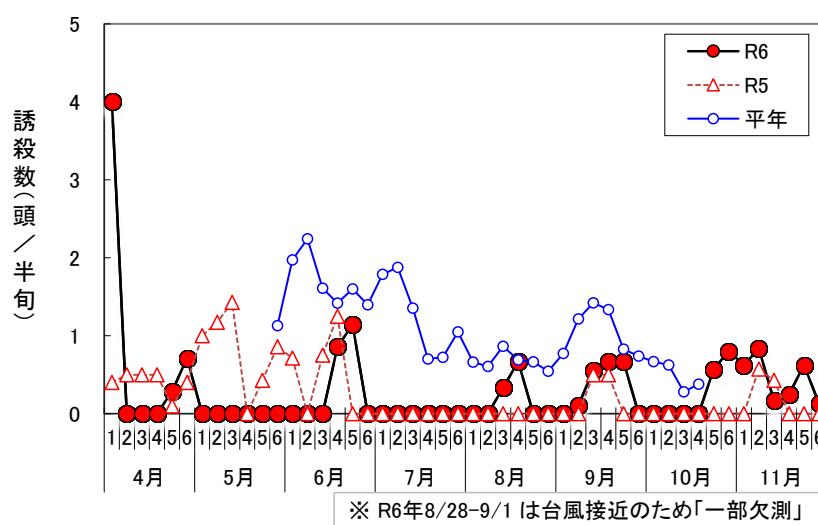


コナガの誘殺消長(フェロモントラップ)阿蘇市一の宮(※R4までは波野)

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	
4月	1	4.0		0.4										
	2	0.0		0.5										
	3	0.0		0.5								1.1	2.5	
	4	0.0		0.5								5.7	1.2	
	5	0.3		0.1								2.3	1.2	
	6	0.7		0.4								3.1	1.4	
5月	1	0.0		1.0		0.4	0.0						5.7	1.7
	2	0.0		1.2		0.5	0.0						2.1	3.2
	3	0.0		1.4	0.0	1.5	0.0			0.0			2.1	3.1
	4	0.0		0.0	0.0	2.0	0.0				1.7		2.0	1.4
	5	0.0		0.4	0.0	1.4	0.0		0.1	1.3			1.4	3.6
	6	0.0	1.1	0.9	2.9	1.7	0.0	1.5	0.5	0.0	0.0	1.4	2.4	
6月	1	0.0	2.0	0.7	3.6	1.9	4.7	1.5	1.5	1.9	0.0	1.9	2.1	
	2	0.0	2.2	0.0	3.6	1.9	3.6	3.0	3.6	1.7	0.9	2.1	2.1	
	3	0.0	1.6	0.8	2.1	0.7	1.3	2.1	4.4	1.4	1.1	2.1	0.0	
	4	0.9	1.4	1.3	2.1	0.1	1.6	1.8	2.0	2.1	0.0	1.0	2.1	
	5	1.1	1.6	0.0	2.0	0.0	2.9	3.0	2.0	2.1	0.0	0.7	3.3	
	6	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	2.1	2.2	3.2	2.1	0.0	0.7	2.1	
7月	1	0.0	1.8	0.0	2.6	2.1	1.7	2.6	5.0	2.1	0.0	0.7	1.0	
	2	0.0	1.9	0.0	2.6	1.3	1.4	3.5	3.5	4.9	0.0	1.1	0.4	
	3	0.0	1.4	0.0	2.1	0.7	1.4	2.0	1.4	4.7	0.0	1.1	0.0	
	4	0.0	0.7	0.0	2.9	0.7	0.9	1.7	0.1	0.8	0.0	0.0	0.0	
	5	0.0	0.7	0.0	2.9	0.1	0.7	1.6	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	
	6	0.0	1.1	0.0	3.4	0.0	0.7	2.4	3.1	0.6	0.0	0.0	0.3	
8月	1	0.0	0.7	0.0	2.9	0.1	0.0	0.5	2.4	0.0	0.0	0.0	0.7	
	2	0.0	0.6	0.0	1.4	0.7	0.6	0.5	2.0	0.0	0.1	0.0	0.7	
	3	0.3	0.9	0.0	1.4	0.1	0.7	0.5	2.0	0.7	0.7	1.7	0.7	
	4	0.7	0.7	0.0	1.3	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3	0.7	1.3	0.6	
	5	0.0	0.7	0.0	0.7	2.9	2.1	0.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	
	6	0.0	0.5	0.0	0.1	0.0	3.7	1.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
9月	1	0.0	0.8	0.0	0.0	1.1	3.6	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	
	2	0.1	1.2	0.0	0.1	0.9	3.6	2.0	1.7	0.0	2.9	0.3	0.8	
	3	0.6	1.4	0.5	0.7	0.0	1.4	4.0	1.8	0.0	4.4	0.7	0.6	
	4	0.7	1.3	0.5	0.1	0.0	1.9	3.5	1.5	0.0	5.7	0.0	0.1	
	5	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0	1.9	2.0	2.0	0.0	2.1	0.0	0.3	
	6	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.7	1.7	0.0	2.6	0.0	0.7	
10月	1	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.8	1.3	0.0	2.7	0.0	0.1	
	2	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	1.6	0.5	0.0	2.1	1.1	0.4	
	3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	1.3	0.9	0.6	
	4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	1.1	0.0	1.4	
	5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0	0.9	
	6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.4	
11月	1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			1.0	0.6	0.0	
	2	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0				1.0	2.9	0.0	
	3	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0				1.4	0.0	0.0	
	4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				2.1			
	5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.9			
	6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
12月	1		0.0											
	2		0.0											
	3													
	4													
	5													
	6													
合 計		14.0	31.2	12.0	43.0	24.0	45.0	53.6	48.9	30.0	39.6	48.1	44.6	

※平年値は過去10年の平均

※R6年8月第6半旬および9月第1半旬は一部欠測

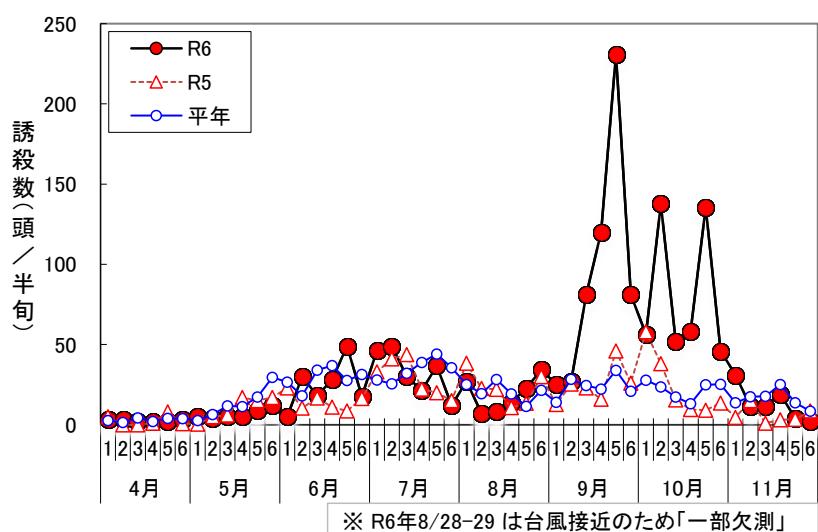


シロイチモジョトウの誘殺消長(フェロモントラップ)合志市栄

月	半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2
4月	1	3.0	2.6	5.0	1.0	3.0	1.4
	2	3.0	1.4	0.0	2.5	1.7	1.4
	3	2.0	4.3	0.0	6.5	6.3	4.4
	4	2.0	2.0	1.0	3.0	4.0	0.0
	5	2.0	3.9	8.0	2.0	5.7	0.0
	6	3.0	3.8	0.7	9.0	5.3	0.0
5月	1	5.0	2.6	0.3	5.3	0.0	4.8
	2	4.0	6.4	5.0	10.8	2.0	7.8
	3	5.0	11.7	6.0	14.0	4.0	22.7
	4	5.0	11.3	17.0	11.0	11.0	6.0
	5	9.0	17.3	15.0	6.0	45.0	3.0
	6	12.0	29.5	17.0	34.0	55.0	12.0
6月	1	5.0	26.5	23.0	36.0	34.0	13.0
	2	30.0	18.1	10.3	21.0	17.0	24.0
	3	18.0	34.0	16.7	29.3	12.0	77.9
	4	28.0	36.9	11.0	58.7	17.4	60.7
	5	49.0	27.7	8.7	25.0	40.6	36.4
	6	17.7	31.3	16.3	5.0	61.0	43.0
7月	1	46.3	27.9	33.0	24.0	19.0	35.6
	2	49.0	25.5	41.0	22.3	14.0	24.6
	3	30.0	32.1	43.8	17.7	42.0	24.9
	4	21.3	38.8	22.3	88.0	32.0	13.1
	5	36.7	44.0	20.0	62.0	79.6	14.4
	6	12.0	35.6	15.0	51.0	58.4	17.8
8月	1	27.0	25.1	38.3	13.0	46.0	3.1
	2	7.0	19.4	22.7	10.0	25.0	20.0
	3	8.0	28.2	22.0	9.0	61.7	20.3
	4	14.0	19.2	10.7	36.3	15.3	14.6
	5	22.7	11.5	13.3	20.7	7.0	4.9
	6	34.3	21.5	30.0	15.0	13.0	28.0
9月	1	25.0	14.0	12.7	22.0	14.3	7.0
	2	27.0	28.3	25.3	14.3	9.7	64.0
	3	81.0	24.4	23.0	5.7	11.0	57.9
	4	120.0	22.2	16.0	22.5	11.5	38.8
	5	231.0	33.9	46.0	32.5	10.8	46.2
	6	81.0	20.9	26.0	8.0	22.7	26.9
10月	1	56.3	27.8	58.0	14.0	24.0	15.0
	2	137.7	23.5	38.0	24.8	12.0	19.3
	3	52.0	17.3	15.5	13.3	32.0	8.6
	4	58.3	13.1	9.5	4.0	38.0	1.0
	5	135.7	24.9	9.0	7.0	71.0	12.6
	6	46.0	25.2	13.5	4.0	71.7	11.7
11月	1	31.0	13.6	4.5	1.3	27.3	21.4
	2	11.5	17.4	15.0	6.7	30.0	18.1
	3	11.5	17.7	1.0	7.0	1.0	61.9
	4	19.0	25.0	3.0	39.5	9.3	48.3
	5	4.0	13.6	3.3	18.5	10.7	22.0
	6	2.0	8.4	8.7	17.0	5.0	3.0
合 計		1,641.0	971.4	802.7	911.0	1,150.0	1,023.5

※平年値はR2～R5の平均

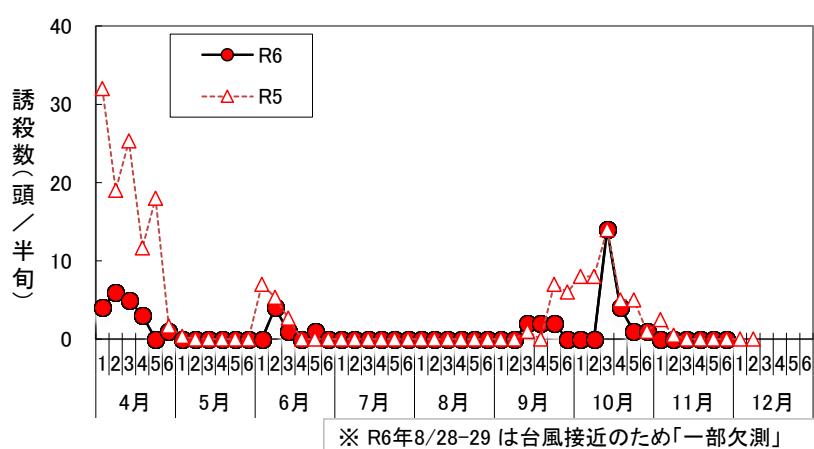
※R6年8月第6半旬は一部欠測



ヨトウガの誘殺消長(フェロモントラップ)合志市栄

月	半旬	R6	平年	R5
4月	1	4.0	—	32.0
	2	6.0	—	19.0
	3	5.0	—	25.3
	4	3.0	—	11.7
	5	0.0	—	18.0
	6	1.0	—	1.7
5月	1	0.0	—	0.3
	2	0.0	—	0.0
	3	0.0	—	0.0
	4	0.0	—	0.0
	5	0.0	—	0.0
	6	0.0	—	0.0
6月	1	0.0	—	7.0
	2	4.0	—	5.3
	3	1.0	—	2.7
	4	0.0	—	0.0
	5	1.0	—	0.0
	6	0.0	—	0.0
7月	1	0.0	—	0.0
	2	0.0	—	0.0
	3	0.0	—	0.0
	4	0.0	—	0.0
	5	0.0	—	0.0
	6	0.0	—	0.0
8月	1	0.0	—	0.0
	2	0.0	—	0.0
	3	0.0	—	0.0
	4	0.0	—	0.0
	5	0.0	—	0.0
	6	0.0	—	0.0
9月	1	0.0	—	0.0
	2	0.0	—	0.0
	3	2.0	—	1.0
	4	2.0	—	0.0
	5	2.0	—	7.0
	6	0.0	—	6.0
10月	1	0.0	—	8.0
	2	0.0	—	8.0
	3	14.0	—	14.0
	4	4.0	—	5.0
	5	1.0	—	5.0
	6	1.0	—	1.0
11月	1	0.0	—	2.5
	2	0.0	—	0.5
	3	0.0	—	0.0
	4	0.0	—	0.0
	5	0.0	—	0.0
	6	0.0	—	0.0
12月	1	—	—	0.0
	2	—	—	0.0
	3	—	—	0
	4	—	—	0
	5	—	—	0
	6	—	—	0
合 計		51.0	—	181.0

※R6年8月第6半旬は一部欠測



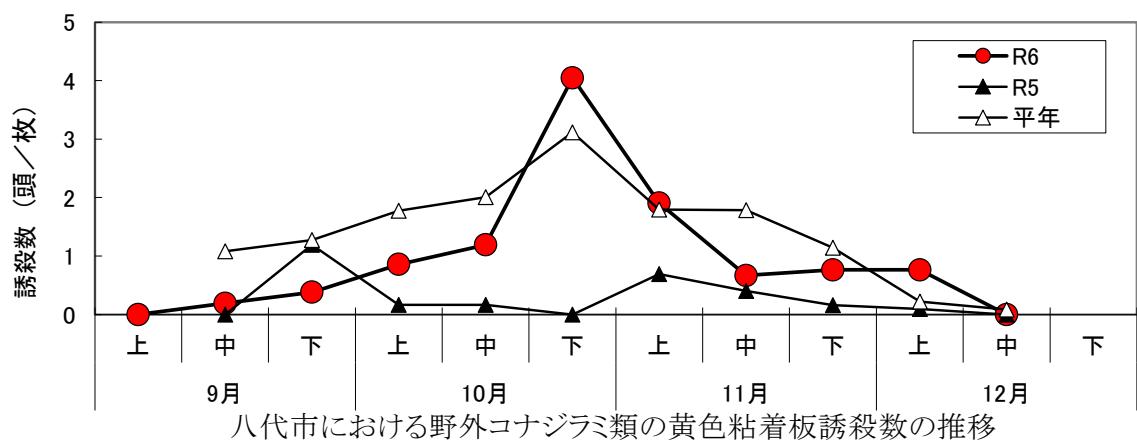
(ウ) 野外におけるコナジラミ類の捕獲状況

八代市における野外コナジラミ黄色粘着板誘殺数(頭/枚)

	9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
R6	0.00	0.19	0.38	0.86	1.19	4.05	1.90	0.67	0.76	0.76	0.00	-
R5	-	0.00	1.19	0.17	0.17	0.00	0.69	0.40	0.16	0.10	0.00	-
平年	-	1.08	1.27	1.78	2.01	3.12	1.79	1.78	1.14	0.22	0.08	-

※黄色粘着板(10cm×10cm)は、1地点あたり5m間隔で3枚設置し、約1週間間隔で調査。

※平年値は、R1～R5 の5ヶ年の平均。



(エ) トマト黄化葉巻ウイルス保毒状況調査

屋外コナジラミ類の捕獲頭数

地域	設置場所	誘殺数（頭／10日／10枚）						
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	平年値
熊本市	学料公民館	13.0	3.7	23.3	8.3	20.0	30.0	17.1
玉名市	J Aたまな横島倉庫	16.7	2.6	246.7	41.7	326.7	162.0	155.9
八代市	J Aやつしろ中央営農センター	0.0	3.7	10.0	0.0	73.3	43.0	26.0
平均値		9.90	3.4	93.3	16.7	140.0	78.3	66.3

※1 黄色粘着板(10cm×10cm)による誘殺数調査。設置期間は9月1～10日。過去5か年も同様に設置期間は9月上旬。

※2 黄色粘着板を1地点あたり3枚設置。

※3 平年値は、R1年からR5年の5か年平均とした。

※4 玉名市の設置場所はR4年からJ Aたまな横島倉庫に変更。

(R1年～R3年 J Aたまな横島イチゴ集荷所)

野外で採集したタバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況

地域	設置場所	保毒虫率(%)						
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	平年値
熊本市	学料公民館	1.7 (60)	1.7 (60)	1.7 (60)	1.7 (60)	3.3 (60)	6.7 (60)	3.0
玉名市	J Aたまな横島倉庫	3.3 (60)	0.0 (60)	6.7 (60)	6.7 (60)	0.0 (60)	1.7 (60)	3.0
八代市	J Aやつしろ中央営農センター	0.0 (14)	12.0 (25)	7.7 (26)	8.3 (60)	5.0 (60)	6.7 (45)	7.9
平均値		1.7	4.6	5.3	5.6	2.8	5.0	4.7

※1 採集期間は熊本市9月1～24日、玉名市9月1～10日、八代市9月1～10月1日。過去5か年の採集期間は、R5年、R4年は9月上～下旬、その他は9月上～中旬（本年は9月前半の誘殺数が非常に少なかったため、調査期間を平年よりも延長した。）

※2 ()内の数値は検定数。

※3 平年値は、R1年からR5年の5か年平均とした。

野外保毒虫数の試算

地域	設置場所	保毒虫数（頭／日／枚）						
		R6	R5	R4	R3	R2	R1	平年値
熊本市	学料公民館	0.2	0.1	0.4	0.1	0.7	2.0	0.7
玉名市	J Aたまな横島倉庫	0.6	0.0	16.4	2.8	0.0	2.8	4.4
八代市	J Aやつしろ中央営農センター	0.0	0.4	0.8	0.0	3.7	2.9	1.6
平均値		0.3	0.2	5.9	1.0	1.4	2.5	2.2

※1 保毒虫数=誘殺数×保毒虫率（誘殺数：表1のとおり、保毒虫率：表2のとおり）

※2 平年値はR1年からR5年の5か年平均とした。

2 発生予察情報の提供

(1) 警報、注意報、特殊報、技術情報

ア 警報

第1号 令和6年11月12日 [ハスモンヨトウ、オオタバコガ（野菜類、花き類）](#)

イ 注意報

第1号 令和6年4月19日 [赤かび病（麦類）](#)
第2号 令和6年4月24日 [灰色かび病、べと病、うどんこ病（キュウリ）](#)
第3号 令和6年4月24日 [灰色かび病、すすかび病（ナス）](#)
第4号 令和6年5月2日 [果樹カメムシ類（果樹全般）](#)
第5号 令和6年5月31日 [チャノミドリヒメヨコバイ（茶）](#)
第6号 令和6年6月25日 [斑点米カメムシ類（早期水稻）](#)
第7号 令和6年7月26日 [果樹カメムシ類（果樹全般）](#)
第8号 令和6年10月2日 [チョウ目害虫（野菜類、花き類、大豆）](#)
第9号 令和7年2月28日 [トマト黄化葉巻病（トマト）](#)

ウ 特殊報

第1号 令和7年3月28日 [チュウゴクアミガサハゴロモ（カンキツ（ミカン科）等）](#)

エ 技術情報

第1号 令和6年4月2日 [麦類赤かび病の防除対策](#)
第2号 令和6年4月2日 [施設野菜における地上病害の発生状況と防除対策](#)
第3号 令和6年5月7日 [麦類赤かび病の発生状況](#)
第4号 令和6年6月20日 [オオタバコガの発生状況と防除対策](#)
第5号 令和6年6月28日 [水稻海外飛来性害虫の飛来状況](#)
第6号 令和6年7月8日 [水稻海外飛来性害虫の飛来状況](#)
第7号 令和6年7月12日 [トマトキバガの発生状況と防除対策](#)
第8号 令和6年7月25日 [水稻海外飛来性害虫の主飛来](#)
第9号 令和6年7月31日 [果樹カメムシ類の果樹園への飛来開始時期](#)
第10号 令和6年8月13日 [トビイロウンカの発生状況](#)
第11号 令和6年9月5日 [タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス保毒状況と防除対策](#)
第12号 令和6年9月19日 [ミナミアオカメムシの発生状況と大豆における防除対策](#)
第13号 令和6年9月27日 [トマトキバガの発生状況と防除対策](#)
第14号 令和6年10月15日 [タバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況と防除対策](#)
第15号 令和6年11月19日 [サカキブチヒメヨコバイの特徴と対策](#)
第16号 令和7年2月5日 [チャバネアオカメムシの越冬量及び本年7月頃までの発生量](#)
第17号 令和7年3月11日 [トビイロウンカの薬剤感受性検定結果](#)
第18号 令和7年3月11日 [ハスモンヨトウ幼虫の薬剤感受性検定の結果](#)
第19号 令和7年3月26日 [イグサシンムシガの越冬調査結果](#)

(2) 発生予報

[4月](#)、[5月](#)、[6月](#)、[7月](#)、[8月](#)、[9月](#)、[10月](#)、[11月](#)、[12月](#)、[1月](#)、[2月](#)、[3月](#)

各関係機関長様

熊本県農林水産部長

病害虫発生予察警報について（送付）

このことについて、令和6年度(2024年度)病害虫発生予察警報第1号を発表しましたので、送付します。

警 報

令和6年度(2024年度)病害虫発生予察警報第1号

農作物名 野菜類、花き類

病害虫名 ハスモンヨトウ、オオタバコガ

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 11月中旬以降

3 発生程度 多

4 警報発表の根拠

(1) 令和6年(2024年)10月2日付け注意報第8号の発表以降、フェロモントラップへの誘殺数がさらに増加している。県内4地点(合志市、八代市、阿蘇市、山都町)を合計した10月の総誘殺数は、ハスモンヨトウ、オオタバコガとも過去10年と比べ最も多かった(図1、図2)。

(2) ハスモンヨトウ、オオタバコガとも10月第4半旬以降に急激に誘殺数が増加した(図3、図4)。11月にはこれらの次世代幼虫による被害の拡大が懸念される。

(3) 福岡管区気象台が11月日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、今後1ヶ月の気温は平年より高い予想である。通常は10月から11月にかけて野外活動が低下する時期ではあるが、引き続き野外での活動が長期化する恐れがある。

5 防除対策

今後しばらくの間は気温が高く、野外でも成虫の活動が継続すると考えられるため、ほ場への侵入に十分注意する。また、いずれの害虫も気温の低下とともに幼虫(被害発生)の期間が長くなる。幼虫が果実、結球、花蕾、茎等に食入すると薬剤がかからず、防除が困難になるため、ほ場を見回り早期発見・早期防除に努める。

(1) ほ場を見回り、葉や果実、花蕾における新しい食害痕や虫糞の早期発見に努め、幼虫を見つけ次第捕殺する。ハスモンヨトウは、卵塊や分散前のふ化幼虫を発見し除去できること効果的である。オオタバコガは、卵塊ではなく1個ずつ葉や花に産卵し、卵や若齢幼虫は見つけにくいため、食害痕の早期発見に努める。

(2) いずれの害虫も、老齢幼虫になると薬剤の効果が劣るため、防除効果の高い若齢幼虫を対象に薬剤防除を行う。特にオオタバコガは、中老齢幼虫になると果実や結球の中に食入するため、食入前の早期防除を徹底する。

(3) 施設栽培では目合い4mm以下の防虫ネットを展張し、成虫の侵入を抑制する。なお、ハスモンヨトウは防虫ネット上にも産卵し、孵化した幼虫が侵入するため、ネット上の卵塊は見つけ次第除去する。

- (4) 摘心、摘花、摘葉した残渣には卵や若齢幼虫が寄生している可能性があるため、直ちに場外へ持ち出す。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。また、薬剤の使用時にはラベルに書いてある登録内容を確認して使用する。
- (6) 熊本県病害虫防除所のホームページに掲載しているフェロモントラップの誘殺状況 (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>) を確認し、防除の参考にする。

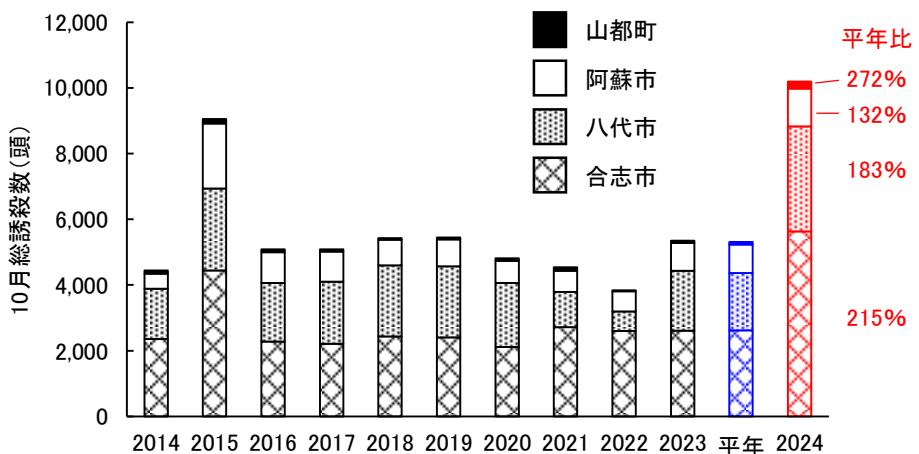


図1 ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数（10月）

注) 平年は過去10年の平均値

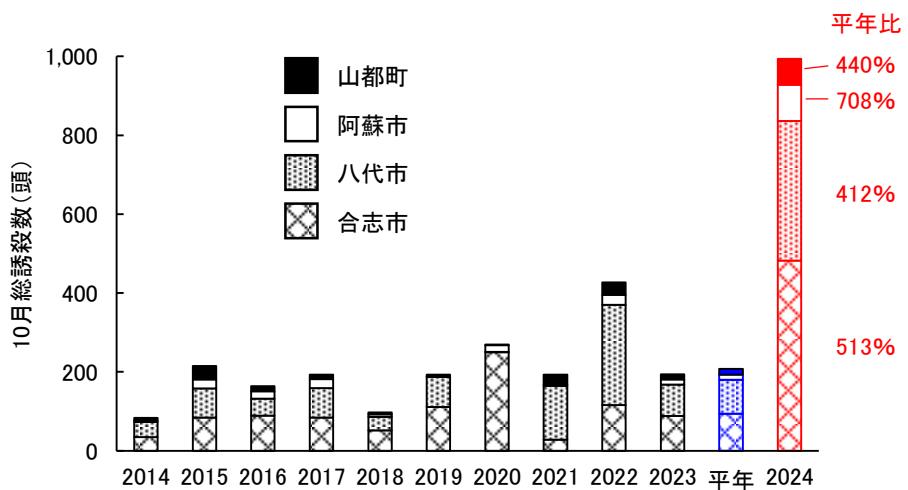


図2 オオタバコガのフェロモントラップ誘殺数（10月）

注) 平年は過去10年の平均値

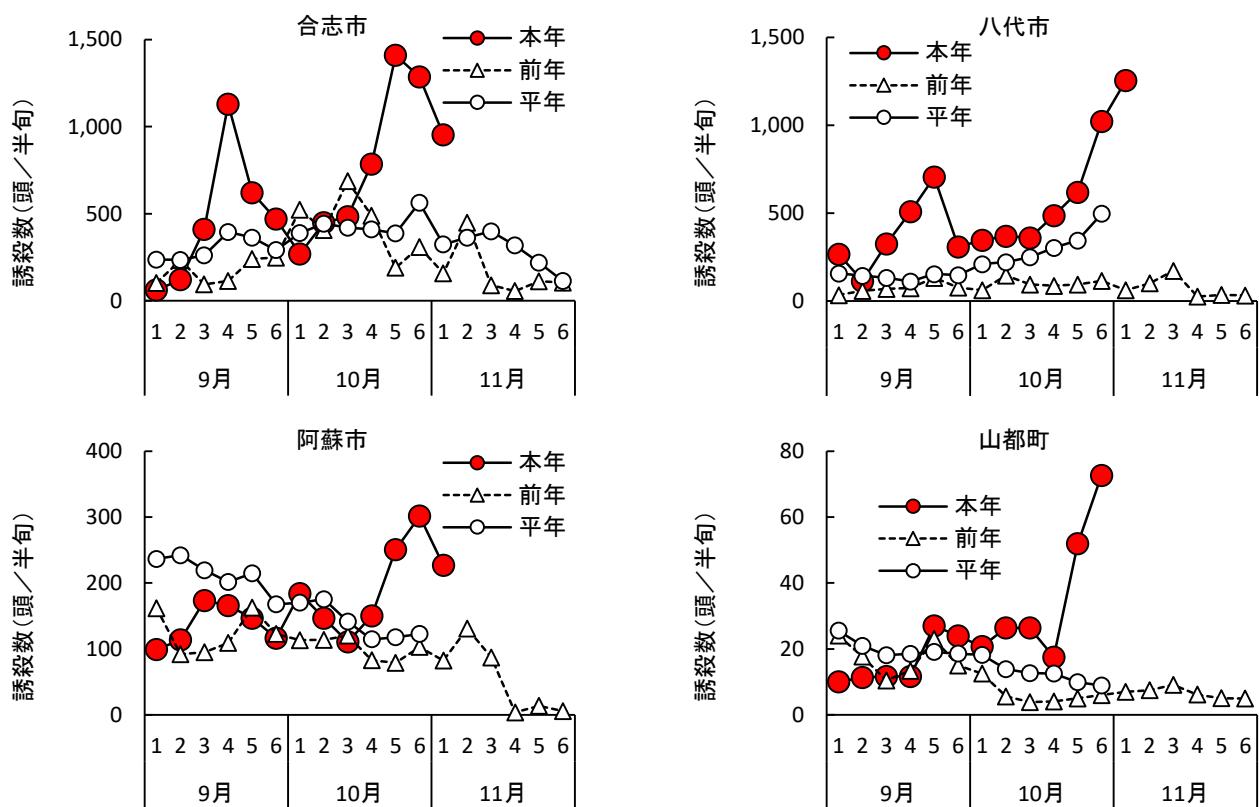


図3 ハスモンヨトウの誘殺消長

注) 平年は過去10年の平均値 (本年と前年は山都町を除き例年10月までの調査を延長)

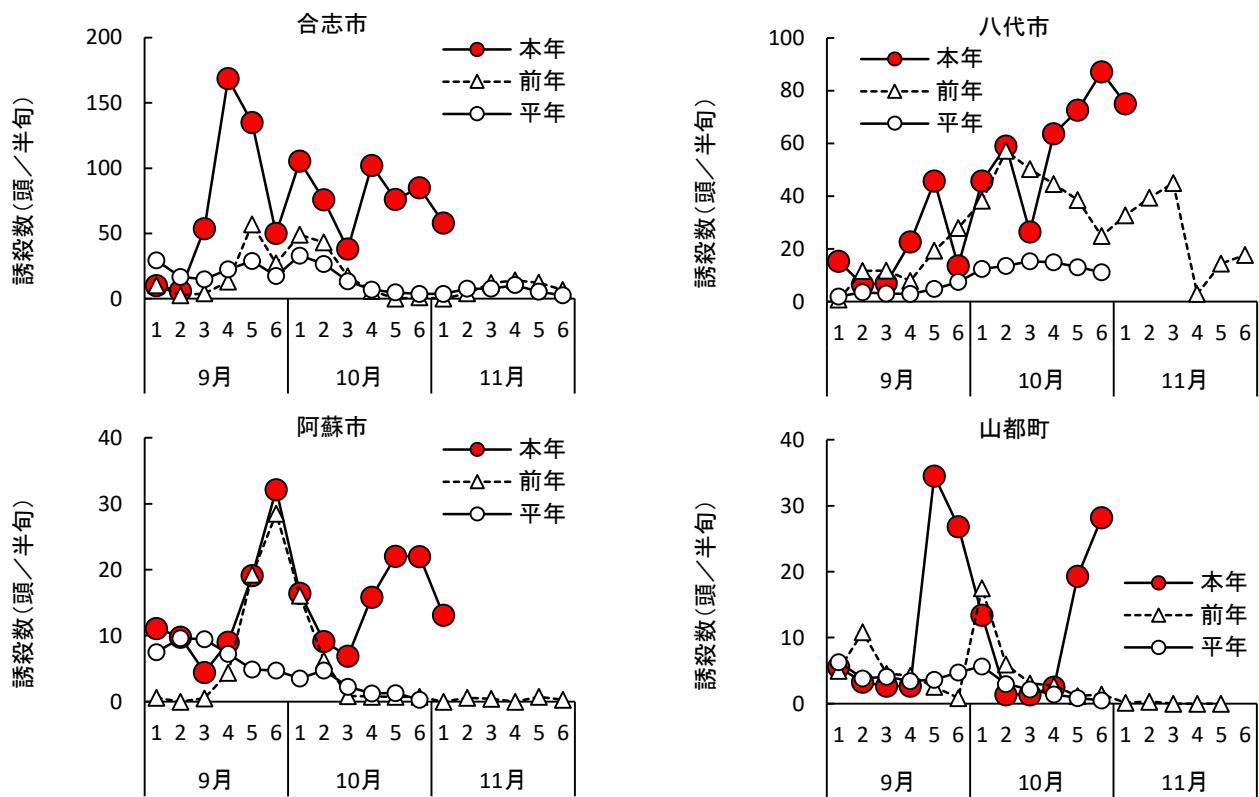


図4 オオタバコガの誘殺消長

注) 平年は過去10年の平均値 (本年と前年は山都町を除き例年10月までの調査を延長)



写真1 ハスモンヨトウによる被害

上段左：イチゴ 上段右：トルコギキョウ 下段左：キャベツ 下段右：ブロッコリー



写真2 オオタバコガによる被害（トマト）

○熊本県農林水産部生産経営局

農業技術課植物防疫・農薬監視班

担当：作本・前原 TEL：096-333-2381

○熊本県病害虫防除所

(熊本県農業研究センター生産環境研究所内)

担当：江口・福岡 TEL：096-248-6490

病防第8号
令和6年（2024年）4月19日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第1号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第1号

農作物名 麦類

病害虫名 赤かび病

1 発生地域 麦類栽培地域

2 発生時期 4月中旬以降

3 発生程度 多

4 注意報発表の根拠

（1）小麦の開花期（合志市）以降17日間（4/18現在まで）で観測された赤かび病多発条件出現日は4日と平年（2日）より多く、過去に発生の多かった1998年（平成10年）と2022年（令和4年）の7日に次ぐ日数となっている（表1）。

（2）二条大麦の薬殻抽出期（合志市）以降15日間（4/18現在まで）で観測された赤かび病多発条件出現日は3日と平年（0.8日）より多く、過去に発生の多かった2022年（令和4年）の4日に次ぐ日数となっている（表2）。

（3）本年は、小麦及び二条大麦の防除適期（「5 防除対策」参照）に雨天が続き、計画的な防除が困難な気象条件であった。

（4）農産園芸研究所作物研究室（合志市）の作況調査では、令和6年産麦（11月21日播種）の生育は平年に比べて早く、出穂期は、シロガネコムギ（小麦）で8日程度、はるしづく（二条大麦）で3日程度早い。現地ほ場の一部では、4月中旬現在、既に赤かび病の発生が確認されている（図1）。

（5）4月18日福岡管区気象台発表の九州北部1ヶ月予報では、向こう1ヶ月の気温は高く、降水量は平年並～多い予想であり、赤かび病の発生に好適な条件が今後も続くと予想される。

表1 小麦の開花期～17日後の赤かび病発生条件出現日 (熊本市：アメダス実測値)

	2024年 (R 6)	2023年 (R 5)	2022年 (R 4) 多発年	2021年 (R 3)	2020年 (R 2)	2019年 (R 1)	1998年 (H 10) 多発年
①多発条件	4	0	7	0	0	3	7
②子のう殻形成 の好適条件	1	2	0	1	1	1	0
③子のう胞子飛 散の好適条件	6	5	4	4	2	3	3
発病穂率 (%) 5月上旬調査	未実施	1.8	3.3	0.1	1.0	1.1	76.1

※開花期：農産園芸研究所作物研究室(合志市)の作況調査におけるシロガネコムギ実測値。

※①多発条件：日平均気温が18°C以上、当日または前日に降雨があった日

②子のう殻形成の好適条件：日平均気温13°C以上、当日または前日に降雨があった日

③子のう胞子飛散の好適条件：日最高気温15°C以上、日最低気温10°C以上、当日または前日に降雨があった日

表2 二条大麦の薬殻抽出期以降～15日後の赤かび病発生条件出現日

(熊本市：アメダス実測値)

	2024年 (R 6)	2023年 (R 5)	2022年 (R 4) 多発年	2021年 (R 3)	2020年 (R 2)	2019年 (R 1)
①多発条件	3	0	4	0	0	0
②子のう殻形成 の好適条件	1	2	0	1	1	1
③子のう胞子飛 散の好適条件	5	6	3	3	0	4
発病穂率 (%) 5月上旬調査	未実施	1.0	2.0	0.0	0.5	1.0

※薬殻抽出期：穂揃い期（全茎の80～90%が出穂した日）の10日後頃。二条大麦では、赤かび病およびかび毒蓄積に対し急激に感受性が高まる時期。

※農産園芸研究所作物研究室(合志市)の作況調査におけるはるしづく出穂期(実測値)から12日後を薬殻抽出期とした。



図1 現地ほ場での発生（2024年4月17日撮影）

5 防除対策

(1) 赤かび病の防除薬剤は予防効果が主体であるため、散布時期が遅れないよう適期に2回の防除を行う。

赤かび病の1回目の薬剤散布適期は、下記のとおり。

- ・小麦 : 開花を始めた時期から開花期（1穂につき数花開花をしているものが、全穂数の40～50%に達した日）までの間
- ・二条大麦 : 薬殻抽出期（穂揃い期の10日後頃）

2回目の薬剤散布適期は、どちらも1回目の薬剤散布の7～10日後である。2回目の防除が遅れている場合は、速やかに薬剤散布する。

(2) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釀倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター生産環境研究所内)
担当：守田
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

病防第9号
令和6年（2024年）4月24日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第2号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第2号

農作物名 キュウリ

病害虫名 灰色かび病、べと病、うどんこ病

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 収穫期（4月以降）

3 発生程度 多

4 注意報発表の根拠

(1) 4月の巡回調査における発病株率は、灰色かび病で31.7%（平年2.6%）、べと病で56.7%（平年25.3%）、うどんこ病で30.7%（平年18.1%）と、いずれの病害も平年比多の発生であり、前月から急増した（図1）。なお、灰色かび病、べと病は、過去10年間の巡回調査のうち最も多発であった（図2）。

(2) 病害虫防除員の報告によると、4月の発生状況は、べと病は平年比やや多～並、灰色かび病、うどんこ病は平年並である。

(3) 福岡管区気象台が4月18日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並から平年より多い予想であり、これらの病害の発生・拡大に適した高温・多湿条件が続くと考えられる。

5 防除対策

現在発生の少ないほ場においても、以下の対策を徹底する。

(1) 過繁茂を避け、通風採光を良くする。降雨後は積極的に換気を図り、多湿を避ける。

(2) 病害が多発してからの防除は困難となるため、天気予報に留意し発生初期から重点的に予防防除を行う。

(3) 曇雨天で薬液が乾きにくい場合は、くん煙剤を選択する。

(4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。なお、長期どり作型等、栽培期間が今後も続くほ場においては、各薬剤の総使用回数に留意する。

(5) 発病葉、発病果や被害残さは伝染源となるので、早期に除去し、ほ場外に持ち出し処分する。また、薬害や生理障害により枯死した葉も伝染源となる恐れがあるため適正に処分する。

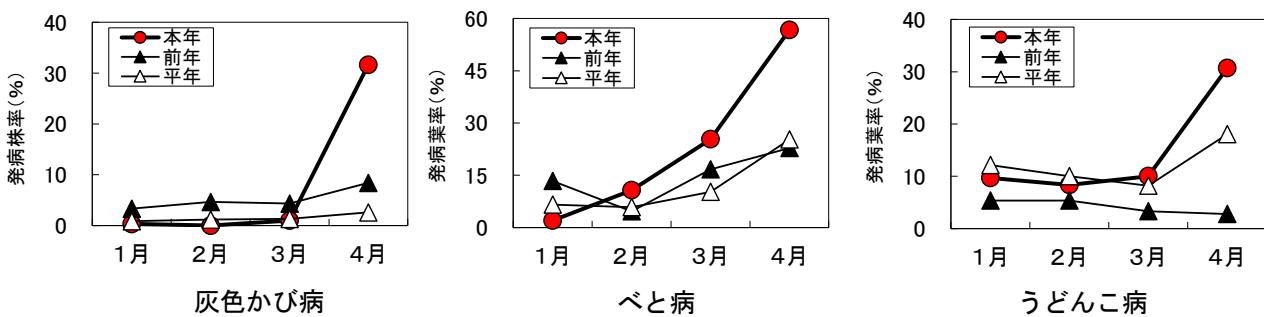


図1 巡回調査における発病株率の推移

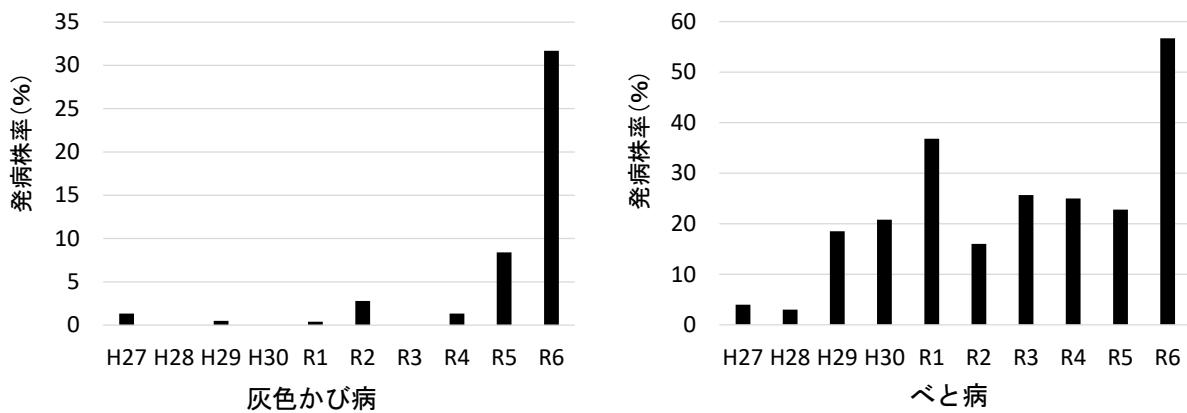


図2 4月の巡回調査における発病株率の年次比較（過去10年）

熊本県病害虫防除所
 (農業研究センター生産環境研究所内)
 担当：福岡、肥後 TEL 096-248-6490

病防第10号
令和6年（2024年）4月24日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第3号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第3号

農作物名 ナス

病害虫名 すすかび病、灰色かび病

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 収穫期（4月以降）

3 発生程度 すすかび病：多、灰色かび病：やや多

4 注意報発表の根拠

(1) 4月の巡回調査における発病株率は、すすかび病で65.2%（平年38.0%）と平年比多、灰色かび病で5.6%（平年2.7%）と平年比やや多の発生であった（図1）。なお、すすかび病の発病度は19.6（平年10.1）であり、過去10年で最も高かった（図2）。

(2) 病害虫防除員の報告によると、4月の発生状況は、灰色かび病、すすかび病とも平年比やや多～並である。

(3) 福岡管区気象台が4月18日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か平年より多い予想であり、これらの病害の発生・拡大に適した高温・多湿条件が続くと考えられる。

5 防除対策

現在発生の少ないほ場においても、以下の対策を徹底する。

(1) 過繁茂を避け、通風採光を良くする。降雨後は積極的に換気を図り、多湿を避ける。

(2) 病害が多発してからの防除は困難となるため、天気予報に留意し発生初期から重点的に予防防除を行う。

(3) 曇雨天で薬液が乾きにくい場合は、くん煙剤を選択する。

(4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。また、長期どり作型等、栽培期間が今後も続くほ場においては、各薬剤の総使用回数に留意する。

(5) 発病葉、発病果や被害残さは伝染源となるので、早期に除去し、ほ場外に持ち出し処分する。また、薬害や生理障害により枯死した葉も伝染源となる恐れがあるため適正に処分する。

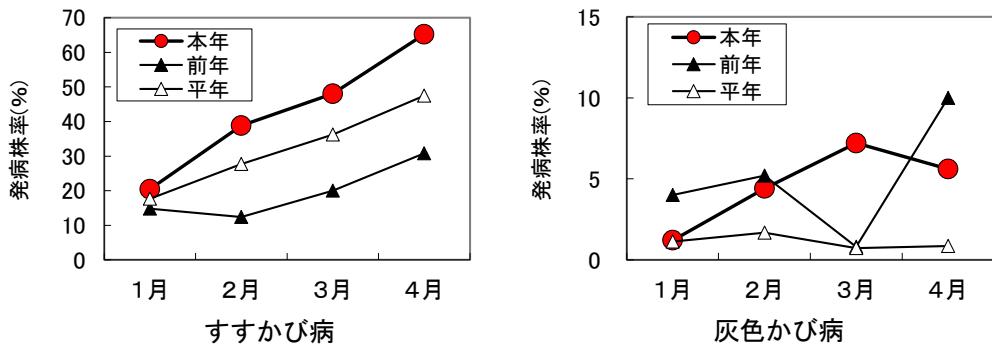


図1 巡回調査における発病株率の推移（平年は過去5年の平均値）

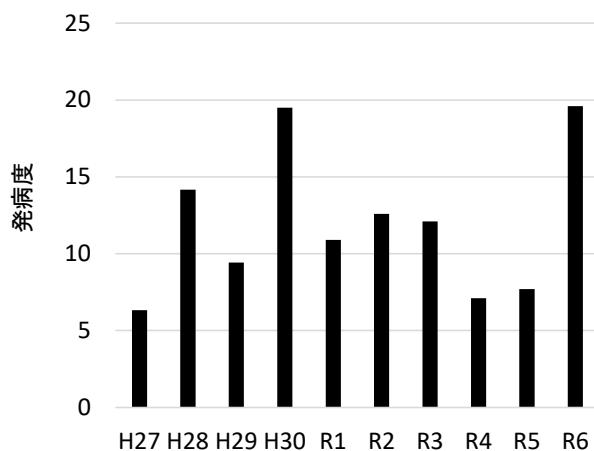


図2 4月の巡回調査におけるすすかび病の発病度の年次比較（過去10年）
※発病度の算出方法

5段階評価（4：葉の発病面積50%以上、3：同25～50%未満、
2：同5～25%未満、1：同5%未満、0：発病なし）で各ほ場50株
調査したうえで、以下の計算式により算出。
 $(50\text{株の発病度の合計値}) \times 100 \div (4 \times \text{調査株数})$

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター生産環境研究所内)
担当：福岡、肥後 TEL 096-248-6490

病防第14号
令和6年（2024年）5月2日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第4号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第4号

農作物名 果樹全般（カンキツ、ナシ、カキ、モモ、スモモ、ウメ等）

病害虫名 果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 5月～7月

3 発生程度 平年比 多

4 注意報発表の根拠

(1) 令和6年のチャバネアオカメムシの越冬成虫数は、過去10年で2番目に多かった（令和6年（2024年）2月22日付病防第55号「チャバネアオカメムシの越冬量及び本年7月頃までの発生量（技術情報第11号）」を参照）。

(2) 合志市、宇城市、天草市に設置している予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数は、4月初めから平年より多い（表1、2、3）。

(3) 現在までに複数地域でカンキツ園への飛来を確認している（図1）。

(4) 福岡管区気象台が4月25日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、向こう1ヶ月の気温は平年より高く、果樹カメムシ類の活動がさらに活発になることが予想される。

5 防除対策

(1) 果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。特に、山間部や山沿いの園地は被害を受けやすいので注意する。

(2) チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップの誘殺状況を病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に掲載しているので、最新の情報を確認し、防除要否の参考にする。

(3) 果樹カメムシ類は日没直後に果樹園に飛来し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。

(4) ピレスロイド系殺虫剤の多用は、天敵等への影響が大きく、ハダニ類の発生を助長するので、最小限の使用に止める。また、開花中の園においてはミツバチに影響が少ない薬剤を選択する。

(5) 薬剤の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守とともに、周辺作物や有用昆虫・魚介類等の環境に影響がないよう農薬飛散（ドリフト）防止に努める。付近にミツバチの巣箱が設置してある園では、事前にその管理者に連絡するなど、農薬による危害防止に努める。

表1 果樹カメムシ類※の予察灯累積誘殺数（生産環境研究所：合志市）

	4月			5月			6月			7月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
本年	9	92	817									
前年	0	8	10	23	31	42	58	76	87	95	111	128
平年	0	2	11	40	147	204	283	333	400	457	515	614
平年比(%)	—	4600	7427									

※ チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの合計。

表2 果樹カメムシ類※の予察灯累積誘殺数（果樹研究所：宇城市）

	4月			5月			6月			7月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
本年	17	264	17,463									
前年	0	8	9	34	68	99	138	161	180	204	218	246
平年	0	3	61	226	911	1,227	1,644	1,826	2,089	2,407	2,758	3,349
平年比(%)	—	8800	28628									

※ チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの合計。

4月下旬は重量計測による頭数換算（暫定）値。

表3 果樹カメムシ類※の予察灯累積誘殺数（天草農業研究所：天草市）

	4月			5月			6月			7月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
本年	156	802	9,405									
前年	2	117	129	179	233	311	344	396	443	482	570	894
平年	8	57	372	1,060	2,895	3,878	4,891	5,416	6,883	9,611	14,305	18,898
平年比(%)	1950	1407	2528									

※ チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの合計。



図1 カンキツ園に飛来した果樹カメムシ類

チャバネアオカメムシ（4月18日撮影）

ツヤアオカメムシ（4月25日撮影）

熊本県病害虫防除所

(農業研究センター 生産環境研究所内)

担当：清永 TEL : 096-248-6490

病防第20号
令和6年（2024年）5月31日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第5号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第5号

農作物名 茶

病害虫名 チャノミドリヒメヨコバイ

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 5月下旬以降

3 発生程度 平年比 多

4 注意報発表の根拠

- (1) 本年5月中旬の巡回調査（県内8園地）では、平均寄生葉率は3.0%（平年0.6%）、平均被害芽数は23.4本／m²（平年2.7本／m²）と平年比多の発生であった（図1、2）。
- (2) 茶業研究所（御船町）の予察ほ場における5月第4半旬のたたき落とし調査の捕獲頭数は、9頭／10ヶ所（平年3頭／10ヶ所）と平年比やや多の発生であった。
- (3) 福岡管区気象台が5月30日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、向こう1ヶ月の降水量は平年並か平年より多い予想であるが、気温は平年並の予想であり、今後も本害虫による被害の発生が続くと考えられる。

5 防除対策

本害虫は成虫、幼虫とも新芽や新梢を吸汁加害する。萌芽期から開葉期に被害を受けると葉の褐変や萎縮が発生し、落葉を引き起こす。更新園や幼木園等、常に新梢がある園地は被害が大きくなりやすく、また増殖場所にもなりやすいため、特に発生に注意し、以下の防除対策を行う。

- (1) 萌芽期から1葉開葉期に薬剤散布による防除を実施する。二番茶を摘採する茶園で多発している場合は、早めに摘採し、不摘採の茶園および幼木園では1回目の防除の約2週間後に異なる系統の薬剤で、新たなる化幼虫を対象とした追加防除を実施する。
- (2) 薬剤散布の際には、すそ部を含め、新芽や新梢にもムラなく薬剤が行き渡るように十分な量を散布する。また、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。
- (3) 農薬を使用する際はラベルをよく確認し、使用基準（収穫前使用日数や希釈倍数等）を遵守する。
- (4) 天敵等有用昆虫への影響を最小限に抑えるため、選択性の高い農薬の選択を心掛ける。近隣のほ場へのドリフト及びミツバチや魚介類等、周辺動植物や環境に影響がないよう、飛散防止を徹底し、危害防止に努める。
- (5) 二番茶摘採後は、剪枝等耕種的防除により、次世代の発生密度の低減に努める。

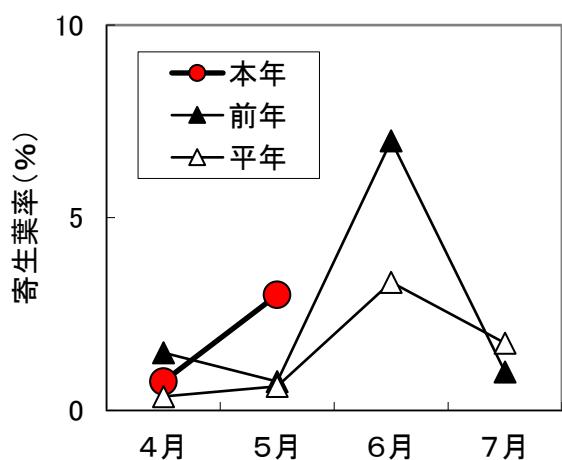


図 1 寄生葉率の推移

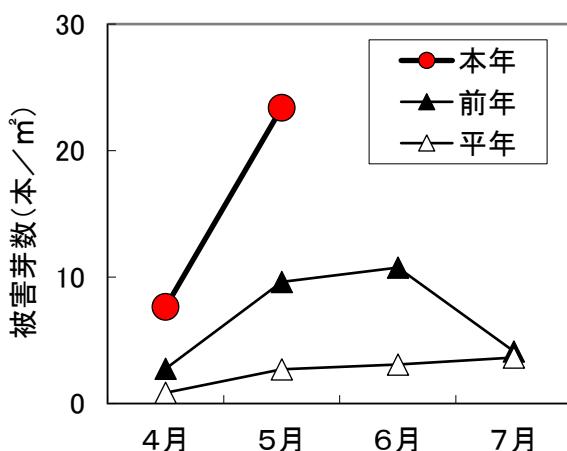


図 2 被害芽数の推移



写真 1 チャノミドリヒメヨコバイ成虫



写真 2 被害（新葉の褐変・落葉）

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：清永 TEL : 096-248-6490

病防第23号
令和6年（2024年）6月25日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第6号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第6号

農作物名 早期水稻

病害虫名 斑点米カメムシ類

1 発生地域 早期水稻栽培地域

2 発生時期 6月下旬以降

3 発生程度 多

4 注意報発表の根拠

（1）天草地域における早期水稻の見取り調査（6月17日実施）では、生育ステージが出穂前（幼穂形成終期～穂ばらみ期）にも関わらず、83.3%のほ場（5筆／6筆）で斑点米カメムシ類が確認された。平均寄生頭数は2.2頭／25株と出穂後である7月中旬調査の平年値0.3頭／25株よりも多かった。種構成としては、クモヘリカメムシ、イネカメムシ、ホソハリカメムシの順で多かった（図1、表1）。

（2）6月18日に実施した早期水稻本田内のすくい取り調査では、捕獲ほ場率が天草地域で54.5%（6筆／11筆）、その他の地域では50.0%（6筆／12筆）であり、クモヘリカメムシやミナミアオカメムシ等の斑点米の産出能力が高い種が多く確認された（表2）。

また、天草市河浦町の調査では、水田内では斑点米カメムシ類は捕獲されなかつたが、畦畔（植生：イネ科雑草）で、多くの斑点米カメムシ類が捕獲された（表3）。

（3）早期水稻栽培地域においては、6月下旬～7月上旬に出穂期となるため、斑点米カメムシ類による被害が予想される。

（4）6月20日福岡管区気象台発表の九州北部1ヶ月予報では、向こう1ヶ月の気温は平年より高い予想であり、本種の発生に好適な条件となる。

表1 天草地域における早期水稻の見取り調査結果（実施日：2024年6月17日）

地区	種別の寄生頭数(25株当たり)		
	クモヘリ カメムシ	イネ カメムシ	ホソハリ カメムシ
松島①	3	0	0
松島②	0	0	1
本渡①	2	0	0
本渡②	0	0	0
河浦①	3	2	1
河浦②	0	1	0
平均	2.2		
(参考)7月調査平年値	0.3		

表2 すくい取り調査結果（実施日：2024年6月18日）

市町村	地区	種別捕獲数(頭/20回振り)					
		クモヘリ カメムシ	ホソハリ カメムシ	ミナミアオ カメムシ	アカスジ カスミカメ	シラホシ カメムシ	イネ カメムシ
上天草市 天草市	松島①	0	1	0	0	0	0
	松島②	0	0	0	0	0	0
	松島③	1	0	0	0	1	0
	松島④	0	0	1	0	0	0
	本渡①	1	0	0	0	0	0
	本渡②	0	0	0	0	0	0
	河浦①	0	0	0	0	0	0
	河浦②	0	0	0	0	0	0
	宮地岳	2	2	0	0	0	0
	有明①	1	0	0	0	0	0
	有明②	0	0	0	0	0	0
平均		0.5	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0
宇城市	三角①	0	0	0	0	0	0
	三角②	0	0	0	0	0	0
氷川町	野津①	0	0	0	0	0	0
	野津②	5	1	1	3	0	0
八代市	鏡町①	0	0	2	0	0	0
	鏡町②	0	0	0	0	1	0
	鏡町③	0	0	1	0	0	0
	群築	0	0	1	0	0	0
	三江湖	0	0	0	0	0	0
玉名市	横島①	0	0	0	0	0	0
	横島②	0	0	0	0	0	0
山鹿市	山鹿	0	0	0	1	0	0
平均		0.4	0.1	0.4	0.3	0.1	0.0

表3 天草市河浦町の本田と畦畔におけるすくい取り調査結果（実施日：2024年6月18日）

ほ場 No.	種別捕獲数(頭/10または20回振り)						備考
	クモヘリ カメムシ	ホソハリ カメムシ	ミナミアオ カメムシ	アカスジ カスミカメ	シラホシ カメムシ	イネ カメムシ	
本田	①	0	0	0	0	0	20回振り
	②	0	0	0	0	0	20回振り
畦畔	①	6	2	0	4	0	2 10回振り
	②	14	3	0	4	0	1 10回振り

※ほ場No.は表2と同じものを再掲。



図1 現地ほ場でのイネカメムシの発生（2024年6月17日撮影）

5 防除対策

- (1) 畦畔など周辺雑草の除草は、本田への飛来を助長するため水稻出穂後には行わない。
- (2) 防除適期は、穂揃い期とその7～10日後（乳熟期）である。2回の防除後に生存虫や新たな侵入が認められる場合は、穂揃い期の14～20日後（糊熟期）に追加防除を行う。地域で一斉防除を行うと効果が高い。
- (3) イネカメムシは他の斑点米カメムシ類と異なり、出穂期から登熟初期に穂を加害するため、本種の発生が多い場合は、穂揃い期以降ではなく出穂期に防除を行う（図1）。
- (4) カメムシの種類によって薬剤の効果が異なるため、発生している種類を確認して、効果の高い薬剤を選定する。ピレスロイド系（IRACコード：3A）はミナミアオカメムシに対して効果が劣る。またネオニコチノイド系（IRACコード：4A）はクモヘリカメムシに対して効果が劣る。
- (5) 薬剤の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物や有用昆虫・魚介類等の環境に影響がないよう農薬飛散（ドリフト）防止に努める。付近にミツバチの巣箱が設置してある園では、事前にその管理者に連絡するなど、農薬による危害防止に努める。

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センタ一生産環境研究所内)
 担当：守田、清永
 TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

病防第32号
令和6年（2024年）7月26日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第7号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第7号

農作物名 果樹全般（カンキツ、ナシ、ブドウ等）

病害虫名 果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ）

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 7月下旬以降

3 発生程度 多

4 注意報発表の根拠

(1) 3地点（合志市、宇城市、天草市）におけるチャバネアオカメムシの予察灯およびフェロモントラップにおける誘殺数は、天草市を除く2地点で平年より非常に多く推移している。特に、宇城市では7月に入ってから急増し、7月から8月にかけて果実への被害が多発した令和2年の誘殺数と比較して約5倍（7月1半旬～4半旬の合計）となっている（図1）。

(2) 現在までにナシ園やカンキツ園で発生が認められており、一部で果実の被害が出始めている。

(3) 福岡管区気象台が7月25日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、向こう1ヶ月の気温は平年より高いと予想されており、今後も果樹カメムシ類の活動が活発な状態が続くと予想され、果樹への加害が懸念される。

5 防除対策

(1) 果樹カメムシ類は、局地的に飛来して被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。特に、山間部や林地沿い園地は被害を受けやすいので注意する。

(2) チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの誘殺データを病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に掲載しているので、最新の誘殺状況を確認し、防除要否や適期防除の参考にする。

(3) 果樹カメムシ類は日没直後に果樹園に飛来し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。

(4) ピレスロイド系殺虫剤は天敵への影響が大きく、多用するとハダニ類の発生を助長す

るので、最小限の使用にとどめる。

(5) 薬剤の使用に当たっては、定められた使用回数・濃度・使用量・使用時期を遵守するとともに、周辺作物への飛散（ドリフト）に注意する。

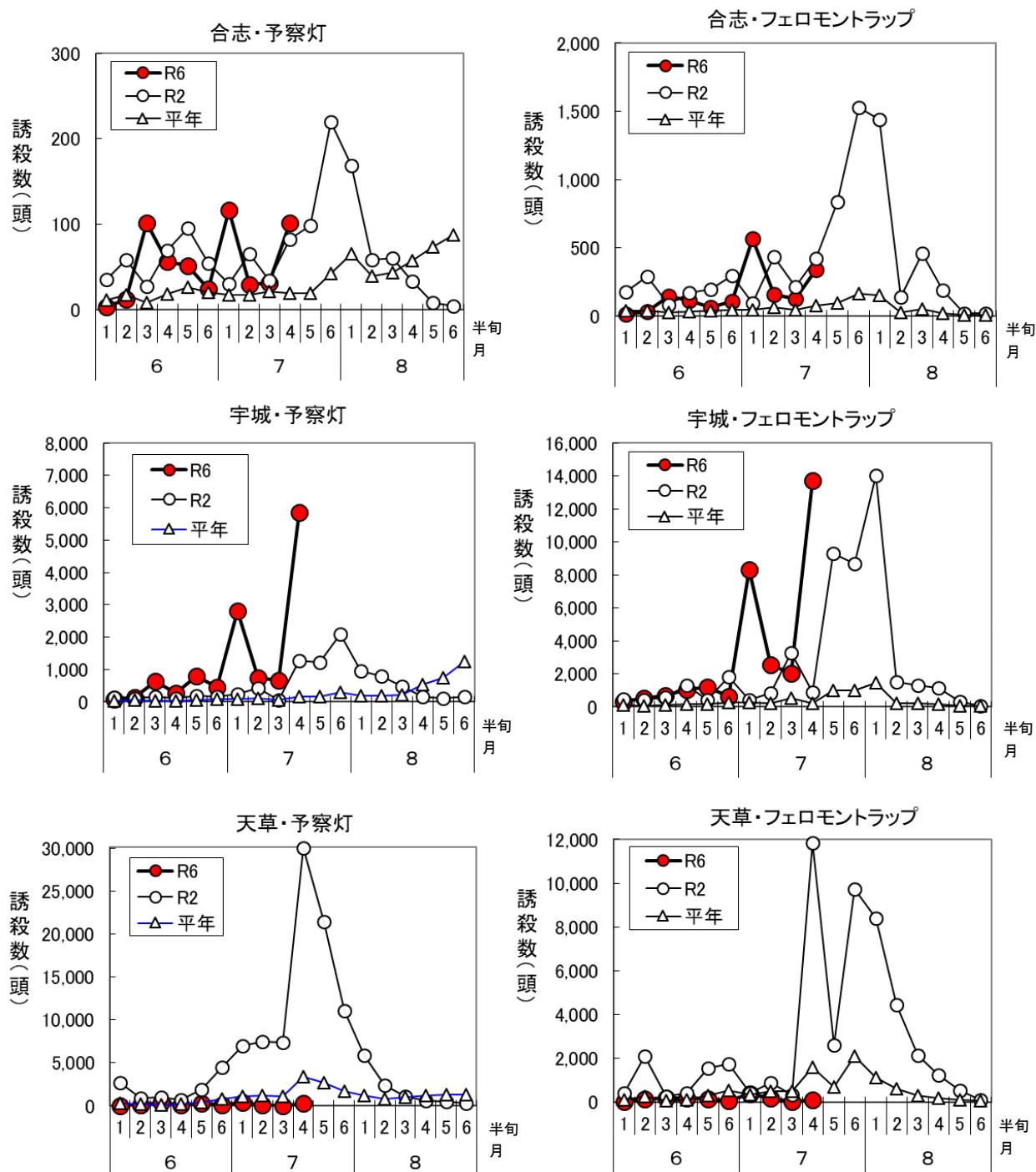


図1 予察灯及びフェロモントラップにおけるチャバネアオカムシ誘殺数の推移

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター生産環境研究所内)
担当：清永 TEL 096-248-6490

病防第43号
令和6年（2024年）10月2日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第8号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第8号

農作物名 野菜類、花き類、大豆

病害虫名 チョウ目害虫（ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ）

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 10月以降

3 発生程度 多

4 注意報発表の根拠

(1) 県内に設置したフェロモントラップにおける9月第1半旬～第6半旬のチョウ目害虫の誘殺数が多い状況であり、ハスモンヨトウは合志市・八代市で平年比多、シロイチモジヨトウは合志市で平年比多、オオタバコガは合志市・八代市・阿蘇市・山都町で平年比多であった（表1）。いずれの害虫も9月第3半旬頃から急激な増加が見られる（図1～7）。

(2) 9月26日福岡管区気象台発表の九州北部1ヶ月予報によると、向こう1ヶ月の気温は平年より高い予想であり、チョウ目害虫の活動に好適な条件が継続する。

5 防除対策

(1) ほ場を見回り、葉や果実、花蕾における新しい食害痕や虫糞の早期発見に努め、幼虫を見つけ次第捕殺する。ハスモンヨトウやシロイチモジヨトウは、卵塊や分散前のふ化幼虫を発見し除去できると効果的である。オオタバコガは、卵塊ではなく1個ずつ葉や花に産卵し、卵や若齢幼虫は見つけにくいため、食害痕の早期発見に努める。

(2) いずれの害虫も、老齢幼虫になると薬剤の効果が劣るため、防除効果の高い若齢幼虫を対象に薬剤防除を行う。特にオオタバコガは、中老齢幼虫になると果実や結球葉菜の中に食入するため、食入前の早期防除を徹底する。

(3) イチゴ等のビニル被覆前の施設栽培では、成虫が施設内に侵入・産卵するおそれがあるため、全面を被覆するまでは特に防除対策を徹底する。

(4) 施設栽培では目合い4mm以下の防虫ネットを展張し、成虫の侵入を抑制する。なお、ハスモンヨトウは防虫ネット上にも産卵し、孵化幼虫が侵入するため、ネット上の卵塊は見つけ次第除去する。

(5) 摘心、摘花、摘葉した残渣には卵や若齢幼虫が寄生している可能性があるため、ほ場外に持ち出す。

(6) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。また、薬剤の使用時にはラベルに書いてある登録内容を確認して使用する。

(7) 熊本県病害虫防除所のホームページに掲載しているフェロモントラップの誘殺状況（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）を確認し、防除の参

考にする。

表1 フェロモントラップでの各地域のチョウ目害虫の誘殺数（9月第1半旬～第6半旬）

対象害虫	市町村名（地域名）	本年（頭）	平年（頭）	平年比（%）
ハスモンヨトウ	合志市（栄）	2808.0	1776.7	158
	八代市（鏡）※第5半旬	1921.0	696.4	276
	阿蘇市（一の宮）	814.7	1281.6	64
	山都町（鶴ヶ田）※第5半旬	71.7	102.2	70
シロイチモジヨトウ	合志市（栄）	565.0	※143.7	393
オオタバコガ	合志市（栄）	423.0	129.6	326
	八代市（鏡）※第5半旬	97.0	16.1	602
	阿蘇市（一の宮）	85.6	43.4	197
	山都町（鶴ヶ田）※第5半旬	48.7	21.2	229

※シロイチモジヨトウの平年値は、令和2～5年の平均値。

その他の害虫の平年値は過去10年の平均値。

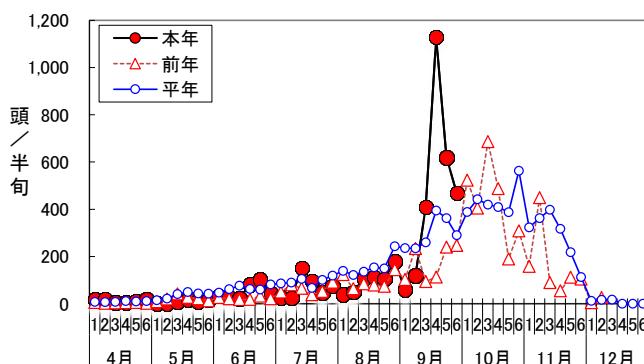


図1 ハスモンヨトウの誘殺消長(合志市)

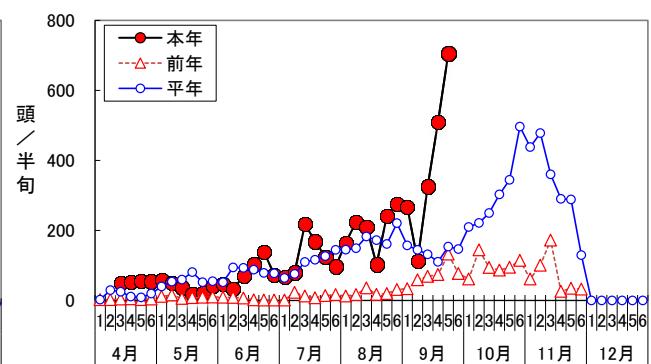


図2 ハスモンヨトウの誘殺消長(八代市)

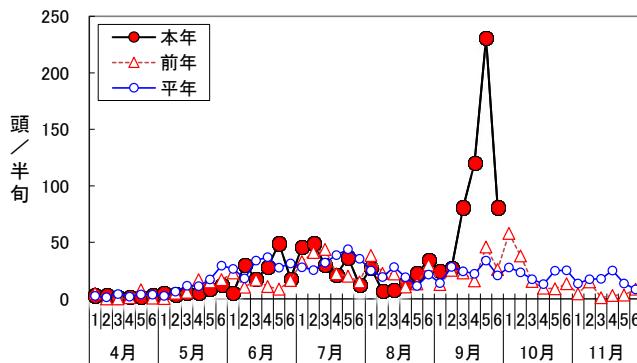


図3 シロイチモジヨトウの誘殺消長(合志市)

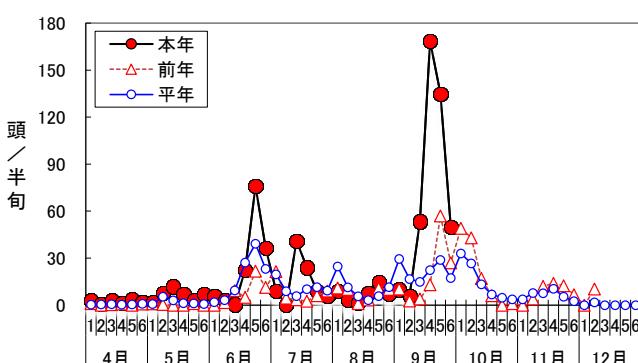


図4 オオタバコガの誘殺消長(合志市)

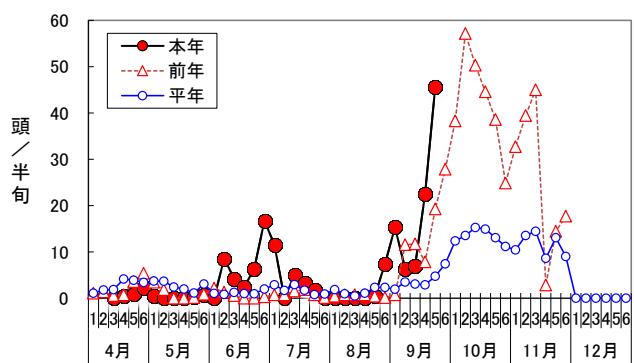


図5 オオタバコガの誘殺消長(八代市)

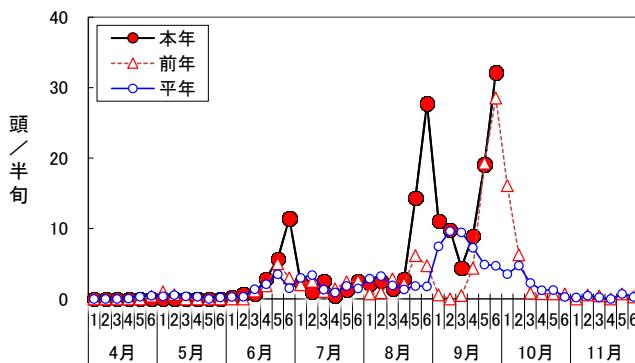


図6 オオタバコガの誘殺消長(阿蘇市)

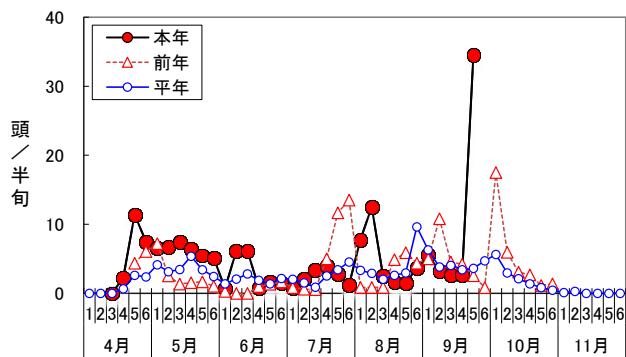


図7 オオタバコガの誘殺消長(山都町)



写真1 ハスモンヨトウ(左:トマト葉上の卵塊、中央:中齢幼虫と大豆の葉の食害
右:ハスモンヨトウ幼虫による大豆の被害(白変葉))



写真2 オオタバコガ(左:キク葉上の若齢幼虫、右:老齢幼虫のトマト果実への食入)

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センタ一生産環境研究所内)
担当: 福岡、肥後
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

病防第59号
令和7年（2025年）2月28日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第9号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和6年度（2024年度）病害虫発生予察注意報第9号

農作物名	トマト
病害虫名	トマト黄化葉巻病
病原ウイルス	トマト黄化葉巻ウイルス
	<i>Tomato yellow leaf curl virus</i> (以下、TYLCVとする)
媒介昆虫	タバココナジラミ

- 1 発生地域 冬春トマト栽培地域
2 発生時期 3月上旬以降
3 発生程度 平年比 多

4 注意報発表の根拠

- (1) 県内の冬春トマト栽培ほ場で実施した巡回調査では、1月以降トマト黄化葉巻病の発病株が大きく増加している。2月のトマト黄化葉巻病の発病株率は、4.7%（平年1.8%）で平年比やや多の発生であった（図1）。過去15年の2月の巡回調査結果と比較すると、黄化葉巻病が多発した令和3年度（2021年度）に次いで2番目に多かった（図2）。
- (2) 病害虫防除員の報告によると、2月の発生は平年比やや多～並であった。
- (3) 県内の冬春トマト栽培ほ場で実施した2月の巡回調査では、タバココナジラミの寄生葉率0.3%（平年0.4%）と平年並の発生であった（図3）。
- (4) 今後、気温の上昇に伴い、TYLCV媒介虫であるタバココナジラミの活動・増殖に好適な条件となる。また、福岡管区気象台が2月27日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、気温は平年より高いか平年並の予想である。

5 防除対策

施設内でのウイルス病の感染拡大を防ぐため、タバココナジラミの防除と発病株の適切な処分が重要である。また、施設内での感染拡大を抑えることで、栽培終了後に保毒虫が野外へ飛び出す危険性を減らすことにもつながる。

- (1) 施設内に黄色粘着トラップを設置し、害虫の早期発見、初期防除を徹底する。既にコナジラミ類の発生がみられるほ場では、継続した防除を行う。
- (2) 薬剤防除を行う場合、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う。なお、天敵や交配用のハチを導入しているほ場では、薬剤の選定に留意する。
- (3) 発病株は重要な伝染源となる。TYLCV抵抗性品種であってもウイルスを保毒し、伝染源となる。

- (4) 栽培後期にかけては、地域（野外）に保毒虫が拡散して次作へ持ち越すことを防ぐため、以下の保毒虫を施設外に「出さない」対策を徹底する。
- ア 定期的に施設周辺を見回り、ハウスビニルや防虫ネットに破れが無いか点検し、破損部は修繕を行う。
 - イ 成虫に効果の高い薬剤を主体とした薬剤防除を行う。
 - ウ コナジラミの施設外への飛び出しを防ぐため、栽培終了後は必ずハウスを密閉してから一斉に植物を枯らす。
 - エ 悪天候などで作物の枯死に時間がかかると予想される場合には、古株枯死に使用できる薬剤の併用も検討する。なお、使用にあたっては、必ずラベルなどで使用方法を確認し、遵守する。
 - オ 地域で取り決めた密閉処理期間を遵守し、微小害虫及びウイルスを完全に死滅させる。
 - カ 施設内の片付けは、密閉処理が終了してから行う。

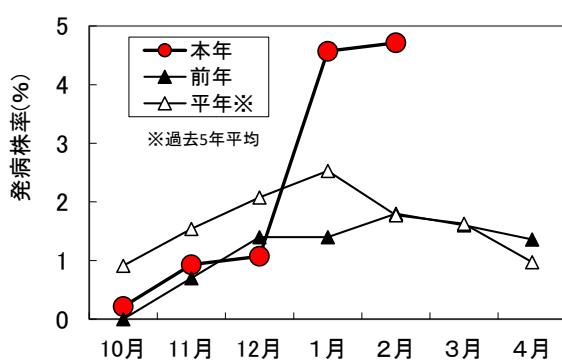


図1 黄化葉巻病の発病株率の推移
(冬春トマト7号場平均)

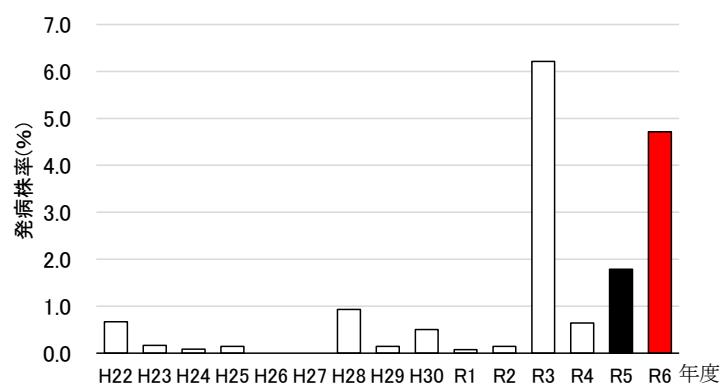


図2 過去15年の2月の巡回調査における
黄化葉巻病の発病株率
※各年7~8号場の平均。抵抗性品種と
感受性品種の比は年により異なる。

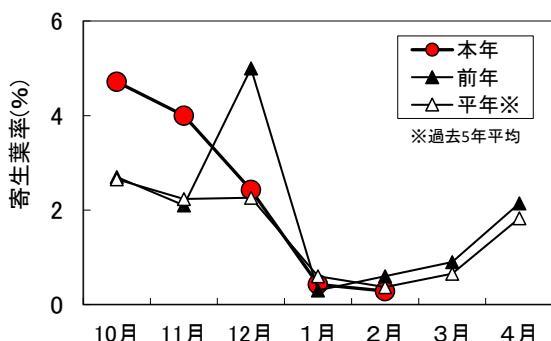


図3 コナジラミ類の寄生葉率の推移
(冬春トマト7号場平均)



写真1 黄化葉巻病発病株
(令和7年1月撮影・感受性品種)

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター生産環境研究所内)
担当：福岡、肥後 TEL：096-248-6490

病防第64号
令和7年（2025年）3月28日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第1号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和6年度（2024年度）発生予察特殊報第1号

令和7年（2025年）3月28日
熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 チュウゴクアミガサハゴロモ
2 学 名 *Ricania shantungensis* (Chou & Lu, 1977)
3 発生作物 カンキツ（ミカン科）等

4 発生確認の経過

令和6年（2024年）9月に、一部のカンキツ園で在来のアミガサハゴロモとやや形態の異なるハゴロモ類が発生し、産卵された枝の伸長抑制（写真1）や、すす病による果実の被害（写真2）が見られた。カンキツに寄生していた成虫を農林水産省門司植物防疫所に送付し、同定を依頼した結果、県内未確認のチュウゴクアミガサハゴロモ（写真3）であることが判明した。

5 国内の発生状況

本種は中国原産で、国外では、2010年以降に韓国、トルコ、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、オランダへの侵入が確認されている。国内では、平成29年（2017年）に大阪府で初めて発生が確認されて以来、関東以西から九州までの各地で発生が確認されており、農作物への被害については、神奈川県、埼玉県、福岡県、山梨県、東京都、群馬県から特殊報が発表されている。本県では、これまでにチャやカンキツ、カキ、花木類で、当害虫と思われる目撃情報が寄せられており、数年前から発生していた疑いがあるが、現在のところ被害が確認されたのはカンキツのみである。

6 形態及び生態等の特徴

（1）形態

成虫の体長は7～10mm程度、前翅長は約14mmで、茶褐色～鉄さび色である。前翅前縁中央部に三角形～半円形の白斑があるが、白斑の形状には個体差がある。幼虫は白色で、腹部から白い糸状の毛束が広がっている。枝内に産卵された部分の表面は毛状の白色蠟物質で覆われている（写真4）。

（2）生態

本種は極めて広食性であり、多くの木本植物やキク科の草本植物に寄生する。果樹では、リンゴ、モモ、カキ、カンキツ、クリ、ブルーベリー等での発生が報告されている。成虫、幼虫とも新梢を吸汁し、寄主の枝に産卵するが、年間発生世代数など生態は不明な点が多い。

(3) 被害

集団で樹木の枝を吸汁し、その排泄物にかびが生えすす病を誘発するため、果樹では果実の外観品質を損ねる。また、成虫は直径10mm以下の細い枝を割いて産卵するため、枝が損傷し、伸長抑制や枯死により樹木を衰弱させる。

7 防除対策

(1) 本種に対して登録のある薬剤は無いため、産卵された枝の除去に努めるなど、個体数を減らす耕種的防除を行う。



写真1 カンキツの被害枝



写真2 カンキツの被害果 (すす病)
果実表面の凹凸は品種特性によるもので、本虫の被害では無い。



写真3 チュウゴクアミガサコロモの成虫



写真4 カンキツ枝の産卵痕

熊本県病害虫防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)

担当：清永

TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

病防第4号
令和6年（2024年）4月2日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

麦類赤かび病の防除対策（技術情報第1号）について（送付）

のことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

本年産の麦類の生育は平年に比べて早く、赤かび病の防除適期が例年より早まる。また、気象予報では、向こう1ヶ月は、発生に好適な気象条件が続く予想であるため、圃場をよく観察し、防除適期を逃さないようにする。

1 麦類の生育と赤かび病の発生条件について

- (1) 農産園芸研究所作物研究室（合志市）の作況調査では、令和6年産麦（11月21日播種）の生育は平年に比べて早く、出穂期は、はるしづく（二条大麦）で3日程度、シロガネコムギ（小麦）で8日程度早い（表1）。
- (2) アメダス実測値（熊本市）を用いた赤かび病多発条件出現日の判定では、4月1日時点で、3月23～29日、31日に感染に好適な条件が認められている（表2）。
- (3) 福岡管区気象台が3月28日に発表した気象予報によると、向こう1ヶ月（3月30日～4月29日）の気温は平年より高い予想のため、麦の生育は今後も早まることが予想される。また、降水量も平年並が多い予想のため、気温と併せて、本病の発生に好適な条件が続くと予想される。

表1 令和6年産（令和5年度）麦における出穂期

麦種	品種	本年	平年	平年比
大麦	はるしづく	3月23日	3月26日	3日早い
小麦	シロガネ コムギ	3月23日	3月31日	8日早い

※播種日は両品種とも11月21日

農産園芸研究所作物研究室調査

2 防除対策について

- (1) 赤かび病の薬剤散布時期は、小麦では開花を始めた時期から開花期（1穂につき数花開花をしているものが、全穂数の40～50%に達した日）までの間及びその7～10日後。二条大麦では、穂揃い期（全茎の80～90%が出穂した日）の10日後頃及びその7～10日後。
- (2) 赤かび病の防除薬剤は予防効果が主体であるため、散布時期が遅れないよう適期に2回の防除を行う。また、開花期は気温に左右されるため、今後の生育状況に注意する。なお、降雨が続き防除適期を失した場

合も、天候の合間を見計らって薬剤散布する。

(3) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釀倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

※アメダス実測値を用いた赤かび病多発条件出現日の判定結果を病害虫防除所のホームページ (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>) に掲載し、隨時更新します。

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：守田 TEL 096-248-6490

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

施設野菜における地上病害の発生状況と防除対策（技術情報第2号）について
(送付)

のことについて、下記のとおり取りまとめましたので業務の参考としてご活用ください。

記

施設野菜においては、2月以降、降雨や曇天傾向が続いているため、灰色かび病、菌核病、べと病などの地上病害が増加傾向にある。3月28日に発表された九州北部地方の1ヶ月予報によると、引き続き降水量は平年より多いまたは平年並の予想であるため、病害の予防に努める。

1 発生状況

(1) 3月の巡回調査において、以下の病害の発生が増加傾向にあり（図1～4）、4月の発生は平年比やや多～多と予想している（表1）。

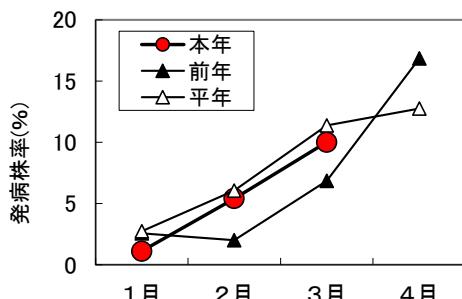


図1 トマト灰色かび病の発生推移

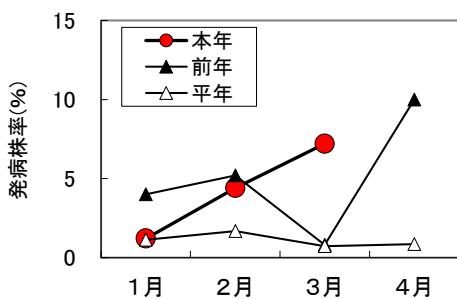


図2 ナス灰色かび病の発生推移

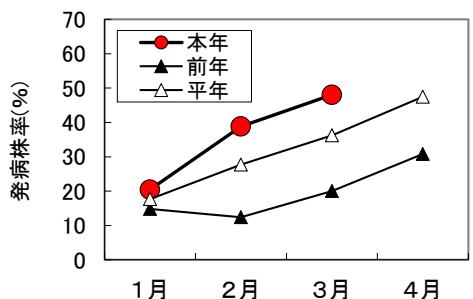


図3 ナスすすかび病の発生推移

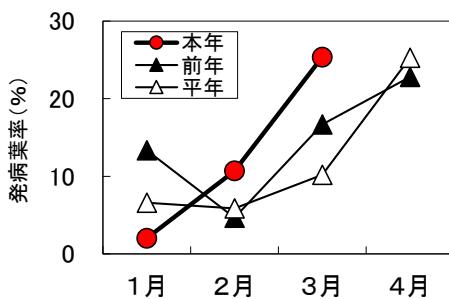


図4 キュウリべと病の発生推移

表1 3月の巡回調査結果と4月の病害発生予想

	3月調査値（平年値）	4月予報
トマト灰色かび病	発病株率 10.0% (11.4%)	やや多
ナス灰色かび病	発病株率 7.2% (0.7%)	多
ナスすすかび病	発病株率 48.0% (36.2%)	やや多
キュウリべと病	発病株率 25.3% (10.2%)	多

(2) 病害虫防除員からの報告によると、3月時点で、トマト葉かび病、ナス灰色かび病、キュウリベと病、キュウリ菌核病、スイカ菌核病、メロンつる枯病、イチゴ灰色かび病が、一部地域で平年比やや多の発生状況であった（表2）。

表2 防除員の報告による3月時点の病害発生状況（抜粋）

	熊本	宇城	上益城	玉名	鹿本	八代	球磨
冬春トマト 葉かび病	やや多	-	-	並	-	並	-
冬春ナス 灰色かび病	並	-	やや多	並	-	-	-
冬春キュウリ ベと病	-	やや多	-	-	-	-	-
冬春キュウリ 菌核病	-	やや多	-	-	-	-	-
スイカ 菌核病	やや多	-	やや多	-	並	-	-
メロン つる枯病	並	-	-	-	-	並	やや多
イチゴ 灰色かび病	-	やや多	-	並	-	並	-

- : 報告対象外

2 今後の発生予想

福岡管区気象台が3月28日に発表した九州北部地方の1ヶ月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いまたは平年並の予想であり、地上部病害の発生・拡大に好適な高温・多湿条件が続くと考えられる。

3 防除対策等

- (1) 過繁茂を避け、通風採光を良くする。降雨後は積極的に換気を図り、多湿を避ける。
- (2) 病害が多発してからの防除は困難となるため、天気予報に留意し発生初期から重点的に予防防除を行う。
- (3) 曇雨天で薬液が乾きにくい場合は、くん煙剤を選択する。
- (4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。
- (5) 発病葉、発病果や被害残さは伝染源となるので、早期に除去し、ほ場外に持ち出し処分する。また、薬害や生理障害により枯死した葉も伝染源となる恐れがあるため適正に処分する。

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：福岡、江口 TEL : 096-248-649

病防第15号
令和6年（2024年）5月7日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

麦類赤かび病の発生状況（技術情報第3号）について（送付）
のことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

麦類赤かび病の発生は平年より多い。特に小麦では、発生ほ場率、発病穂率ともに平年より非常に高く、発病程度が高い穂も散見される。
発生ほ場では適期に収穫し、収穫後のかび毒対策を徹底する。

記

1 麦類赤かび病の発生状況の調査概要（別紙）

4月30日及び5月1日に、県内の小麦26ほ場、大麦12ほ場で発病程度別に100穂を調査した。

- (1) 小麦では、発生ほ場率100.0%（平年46.6%）、発病穂率24.1%（平年1.7%）、発病度6.2（平年0.3）と、全ての項目で平年より高かった。
- (2) 大麦では、発生ほ場率50.0%（平年29.2%）、発病穂率1.8%（平年1.1%）、発病度0.3（平年0.2）と、小麦と同様に全ての項目で平年より高かった。

2 今後の管理上の留意点

赤かび病の発生は、平年より広い範囲で確認され、発病穂率及び発病度も高い。また、倒伏したほ場ではかび毒の汚染が助長されるため、多発ほ場や降雨等で倒伏したほ場では、下記のかび毒対策を徹底する。

- (1) 刈り遅れると、赤かび病菌が產生するかび毒（DON）の含有濃度が高くなる傾向があるため、適期に収穫する。
- (2) 収穫時には場を確認し、赤かび病の発生ほ場で倒伏がみられた場合は、かび毒汚染の可能性が高くなるため、可能な限り他のほ場と分けて収穫する。
- (3) 共同乾燥施設においては、荷受時に赤かび病被害粒のチェックを行い、被害粒がみられた場合は、必要に応じてその他の麦とは別に乾燥するなどの仕分けを行う。
- (4) 赤かび病被害粒は粒厚が薄く、また比重が軽い傾向があるため、粒厚選別や比重選別により被害粒除去に努める。

（参考）

- 1) 麦類の病気の一種である赤かび病は、フザリウムというかびが原因であり、かび毒であるデオキシニバレノール（Deoxynivalenol: DON）を作ります。
- 2) 平成15年産麦（大麦を含む）からは、農産物検査規格のうち食用麦の赤かび病被害粒の混入率が、これまでの1.0%から0.0%に引き下げられました。また、食品衛生法に基づき、小麦についてデオキシニバレノール（DON）を1.0mg/kgを超えて含有するものであってはならない旨の成分規格が新たに設定され、令和4年4月1日から適用されました。

熊本県病害虫防除所

（熊本県農業研究センター生産環境研究所内）

担当：守田 TEL 096-248-6490

別紙

令和6年(2024年) 麦類赤かび病の調査結果

調査日: 令和6年4月30,5月1日

小麦(生育ステージ: 乳熟期)

ほ場	地点名	発病穂率 (%)	発病程度別の穂数				発病度
			0(無)	①(軽)	②(中)	③(甚)	
1	熊本市富合町新1	35	65	28	5	2	9.2
2	" " 新2	13	87	13	0	0	2.2
3	熊本市城南町碇1	48	52	32	14	2	14.3
4	" " 碇2	23	77	23	0	0	3.8
5	玉名市北牟田1	16	84	16	0	0	2.7
6	" 北牟田2	13	87	10	2	1	3.7
7	玉名市高道1	16	84	16	0	0	2.7
8	" 高道2	7	93	7	0	0	1.2
9	山鹿市南島1	9	91	9	0	0	1.5
10	" 南島2	16	84	14	2	0	3.3
11	山鹿市鹿本町小嶋1	4	96	4	0	0	0.7
12	" 小嶋2	16	84	16	0	0	2.7
13	菊池市七城町高島1	2	98	2	0	0	0.3
14	" 高島2	11	89	11	0	0	1.8
15	菊池市今1	11	89	9	2	0	2.5
16	" 今2	11	89	11	0	0	1.8
17	大津町新1	5	95	5	0	0	0.8
18	" 新2	8	92	8	0	0	1.3
19	御船町小坂1	75	25	43	17	15	30.7
20	" 小坂2	51	49	51	0	0	8.5
21	甲佐町糸田1	38	62	38	0	0	6.3
22	" 糸田2	73	27	41	23	9	27.3
23	嘉島町上六嘉1	50	50	36	11	3	14.5
24	" 上六嘉2	6	94	6	0	0	1.0
25	氷川町若洲1	28	72	28	0	0	4.7
26	" 若洲2	42	58	32	8	2	11.3
平均値		24.1	発生ほ場率 100.0%				6.2
平年値(過去10年)		1.7	" 46.6%				0.3

大麦(生育ステージ: 黄~完熟期)

ほ場	地点名	発病穂率 (%)	発病程度別の穂数				発病度
			0(無)	①(軽)	②(中)	③(甚)	
1	山鹿市南島1	3	97	2	1	0	0.8
2	" 南島2	6	94	6	0	0	1.0
3	菊池市七城町砂田1	0	100	0	0	0	0.0
4	" 砂田2	0	100	0	0	0	0.0
5	菊池市今1	0	100	0	0	0	0.0
6	" 今2	0	100	0	0	0	0.0
7	大津町新1	3	97	3	0	0	0.5
8	" 新2	0	100	0	0	0	0.0
9	あさぎり町免田1	4	96	4	0	0	0.7
10	" 免田2	3	97	3	0	0	0.5
11	多良木町多良木1	3	97	3	0	0	0.5
12	" 多良木2	0	100	0	0	0	0.0
平均値		1.8	発生ほ場率 50.0%				0.3
平年値(過去10年)		1.1	" 29.2%				0.2

※1 1ほ場において100穂調査

※2 発病程度 ①: 発病無し ②: 穂の1/3以下が発病 ③: 穂の1/3~2/3が発病 ④: 穂の2/3以上が発病

※3 発病度 = [6 × ④ + 3 × ③ + ②] / (6 × 調査穂数) × 100

参考

過去の麦類赤かび病の調査結果

小 麦

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率(%)	備考
H16年	2.2	0.4	74.1	5/7調査
H17年	1.5	0.3	68.0	5/10・11調査
H18年	2.8	0.4	66.7	5/11調査
H19年	1.6	0.3	58.3	5/7・8調査
H20年	0.6	0.2	28.0	5/7・8調査
H21年	0.0	0.0	3.3	5/7・8調査
H22年	1.0	0.2	26.7	5/6・7調査
H23年	0.4	0.1	23.1	5/10・16調査
H24年	2.6	0.5	61.5	5/16・18調査
H25年	0.1	0.0	7.7	5/8・14調査
H26年	0.2	0.0	19.2	5/14・16調査
H28年	3.0	0.5	65.4	5/11・18調査
H30年	2.8	0.5	61.5	5/10・18調査
R1年	1.1	0.2	50.0	5/8・9調査
R2年	1.0	0.4	30.8	5/7・8・14調査
R3年	0.1	0.0	7.7	5/10・11調査
R4年	3.3	0.6	84.6	5/6・11・12調査
R5年	1.8	0.3	53.8	5/8調査
平年値(10年間)	1.7	0.3	46.6	H26～R5(H27,H29は除外)
R6年	24.1	6.2	100.0	5/1調査

大 麦

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率(%)	備考
H16年	1.1	0.2	28.6	5/7調査
H17年	0.6	0.1	36.4	5/10・11調査
H18年	1.3	0.2	50.0	5/11調査
H19年	0.4	0.1	35.7	5/7・8調査
H20年	0.1	0.0	7.1	5/7・8調査
H21年	0.0	0.0	0.0	5/7・8調査
H22年	0.0	0.0	0.0	5/6・7調査
H23年	0.2	0.0	14.3	5/10・16調査
H24年	0.9	0.1	28.6	5/16・18調査
H25年	0.1	0.0	7.1	5/16・18調査
H26年	0.0	0.0	0.0	5/14・16調査
H28年	1.3	0.2	50.0	5/11・18調査
H30年	2.6	0.4	50.0	5/10・18調査
R1年	1.0	0.2	33.3	5/8・9調査
R2年	0.5	0.1	8.3	5/7・8調査
R3年	0.0	0.0	0.0	5/10・11調査
R4年	2.0	0.3	41.7	5/6・11・12調査
R5年	1.0	0.2	50.0	5/8・15調査
平年値(10年間)	1.1	0.2	29.2	H26～R5(H27,H29は除外)
R6年	1.8	0.3	50.0	4/30、5/1調査

病防第22号
令和6年（2024年）6月20日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

オオタバコガの発生状況と防除対策（技術情報第4号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

オオタバコガ成虫の誘殺数が多い状況である。今後の気象予報を考慮すると、今後発生が早まり、各作物の被害が増加する可能性があるため、本虫の発生に十分注意して、捕殺や薬剤防除等による防除対策を行う。

1 現在の発生状況

- (1) 合志市、山都町に設置したフェロモントラップによるオオタバコガの誘殺数は、4月以降平年より多い状況が続いている（表、図1～2）。
- (2) 八代市に設置したフェロモントラップによる誘殺数は、6月第2半旬に増加している（図3）。
- (3) 阿蘇市に設置したフェロモントラップにおいては、4月上旬から5月下旬まで誘殺が確認されず、6月現在も他地域に比べ誘殺数は少なく推移している（図4）。

2 今後の発生予想

福岡管区気象台が6月13日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高い予想のため、幼虫の発育や、次世代成虫の羽化が早まり、野菜類や花き類等において平年より被害が拡大しやすいことが懸念される。

3 被害が懸念される作物

トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン、イチゴ（育苗ほ）、オクラ、アスパラガス、キャベツ、露地キク、宿根カスミソウ等

4 防除対策等

- (1) 卵塊ではなく、1個ずつ葉や花に産卵するため、卵や若齢幼虫は見つけにくいが、新しい食害痕や虫糞の早期発見に努め、幼虫を見つけ次第捕殺する。
- (2) 中老齢幼虫になると果実の中に食入するほか、薬剤の効果も劣るため、若齢幼虫を対象に薬剤防除する。
- (3) 摘心、摘花した脇芽や花蕾などは卵や若齢幼虫が寄生している可能性が高いため、ほ場外に持ち出す。
- (4) 施設栽培では目合い4mm以下の防虫ネットを展張し、成虫の侵入を抑制する。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。また、薬剤の使用時にはラベルに書いてある登録内容を確認して使用する。
- (6) 熊本県病害虫防除所のホームページに掲載しているフェロモントラップの誘殺状況（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/201915.html>）を確認し、防除の参考にする。

表 各地域のオオタバコガの誘殺状況(5月第1半旬～6月第2半旬)

市町村名(地域名)	本年値(頭)	平年値(頭)	平年比(%)
合志市(栄)	48.0	17.3	277.5
山都町(鶴ヶ田)	44.8	25.5	175.7
八代市(鏡)	10.0	17.9	55.9
阿蘇市(一の宮)	1.0	2.4	41.7

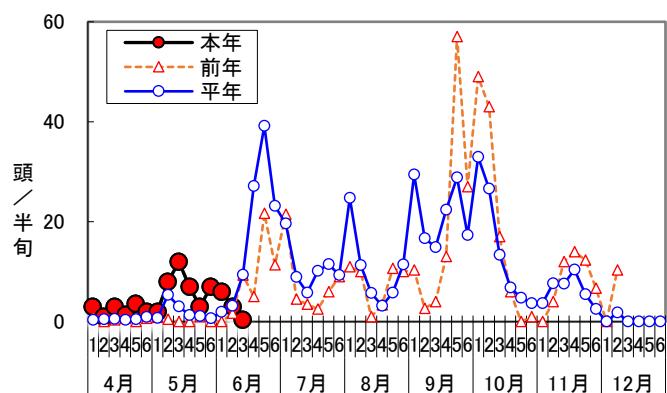


図1 合志市栄フェロモントラップ誘殺消長

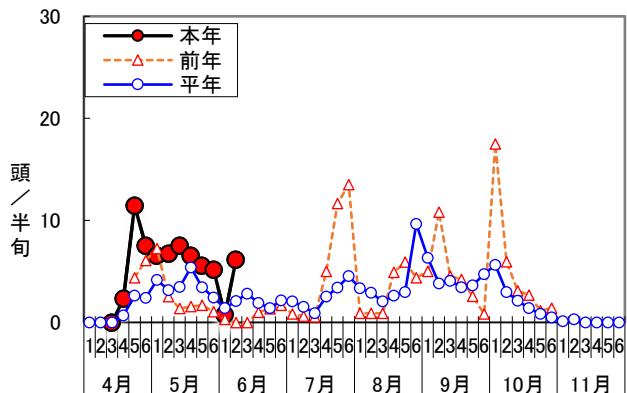


図2 山都町鶴ヶ田フェロモントラップ誘殺消長

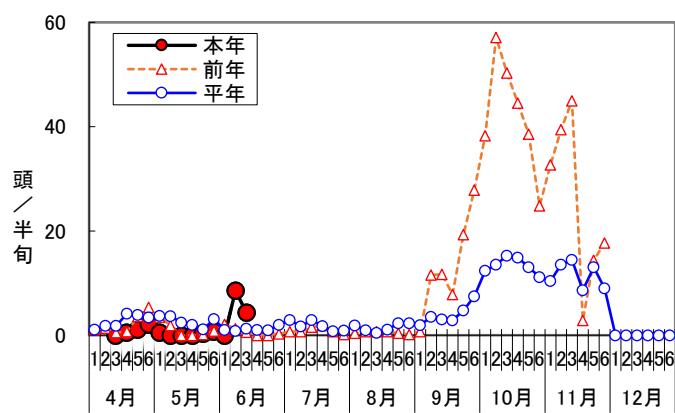


図3 八代市鏡フェロモントラップ誘殺消長

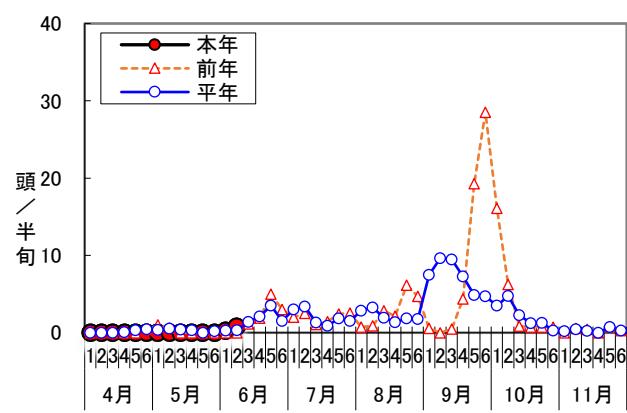


図4 阿蘇市一の宮フェロモントラップ誘殺消長



図5 オオタバコガ幼虫
(左)キク葉上の若齢幼虫、(右)老齢幼虫のトマト果実への食入



図6 オオタバコガによる食害 (左)トマト花、(右)トマト葉

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当: 福岡、肥後
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

病防第25号
令和6年（2024年）6月28日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況（技術情報第5号）について（送付）

のことについて、水稻飛来性害虫の飛来状況を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビイロウンカの初飛来が6月22日に確認された。

定着に適した生育ステージとなっている早植え水稻や育苗箱施用をしていないほ場では、今後は気温が高い予報のため、本種の増殖が速まる恐れがある。

その他の水稻海外飛来性害虫（セジロウンカ・コブノメイガ）も含め、飛来状況や防除適期については随時確認し、本田での発生状況にも注意する。

1 飛来状況

- (1) 合志市に設置した予察灯では、6月22日（平年6月17日）にトビイロウンカが初めて誘殺された。また、セジロウンカは4月6日（平年5月17日）、コブノメイガは合志市に設置したフェロモントラップで6月19日（平年6月23日）に初めて誘殺された。各虫種は、初飛来確認後も断続的に誘殺されている（表1、表2）。
- (2) 6月第1半旬から5半旬の期間において、予察灯及びネットトラップの累積誘殺数は、トビイロウンカが17頭（平年2頭）で平年比多であった。また、同期間において、セジロウンカは508頭（平年33頭）で平年比多、コブノメイガのフェロモントラップ累積誘殺数は1頭（平年53頭）で平年比少であった（表3）。

2 留意事項

- (1) 今後も梅雨明けまでは飛来すると考えられるため、飛来状況や防除適期については随時変動する。防除に当たっては、最新の情報を防除所のホームページで確認したうえ、ほ場での発生状況を注意深く観察し、適期防除に努める。

※今後の発生状況、防除適期や対策については、熊本県病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に掲載します。

表1 各機材における害虫種毎の誘殺状況（合志市）

月／日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ		コートラップ (フェロモン)
	トビイロウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	セジロウンカ	コブノメイガ
4/6	0	1	0	0	-
4月計	0	1	0	0	-
5月計	0	1	0	4	-
6/1	0	0	0	0	-
6/2	0	0			-
6/3	0	0	0	1	-
6/4	0	0			-
6/5	0	0	0	0	-
6/6	0	0	0	0	0
6/7	0	0	0	0	0
6/8	0	0	0	0	0
6/9	0	1			
6/10	0	2	0	0	0
6/11	0	2			
6/12	0	2	0	0	0
6/13	0	2	0	0	0
6/14	0	0	0	0	0
6/15	0	1			
6/16	0	0	0	25	0
6/17	0	1			
6/18	0	1	0	0	0
6/19	0	0	0	0	1
6/20	0	2	0	0	0
6/21	0	0	0	1	0
6/22	2	21	0	25	0
6/23	1	初 誘 殺			
6/24	12		291		
6/25	2	初 誘 殺	152	0	1
6/26					
6/27					
6/28					
6/29					
6/30					
6月第1 ~5半旬 計	17		480	0	28
					1

表2 過去のトビイロウンカ、セジロウンカ、コブノメイガ初飛来日との比較（合志市）

虫種	本年	過去10年 で最も早い	過去10年 で最も遅い	平年 (過去10年)
トビイロウンカ	6月22日	5月3日 (R2・多発年)	7月10日 (R3)	6月17日
セジロウンカ	4月6日	4月5日 (H27)	6月22日 (H26、R4)	5月17日
コブノメイガ	6月19日	6月8日 (R2)	7月3日 (R5)	6月23日

表3 各虫種の半旬別誘殺数（合志市）

月	半旬	トビイロウンカ		セジロウンカ		コブノメイガ	
		平年値 (過去10年)	R6	平年値 (過去10年)	R6	平年値 (過去10年)	R6
6	1	0	0	4	1	0	-
	2	1	0	2	3	1	0
	3	0	0	2	7	2	0
	4	0	0	3	4	6	0
	5	1	17	21	493	43	1
	6	3	-	36	-	10	-
合計 (6月第1～ 5半旬)		2	17	33	508	53	1

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
 担当：守田 TEL 096-248-6490

病防第27号
令和6年（2024年）7月8日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況（技術情報第6号）について（送付）

のことについて、トビイロウンカの飛来状況を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビイロウンカは6月下旬以降断続的に飛来しており、7月第1半旬には坪枯れ被害が多発した令和元年を超える誘殺が確認された。

この時期の飛来は、特に早植え水稻や育苗箱施用をしていないほ場で増殖し、被害が発生する恐れがあるため、本田での発生状況を定期的に観察し、要防除水準を超えた場合は、臨機防除を検討する。

1 飛来状況

(1) 合志市に設置した予察灯では、6月22日の初飛来から断続的に誘殺されている（表1）。6月第5半旬～7月第1半旬の誘殺数は、124頭（平年32頭）と平年比多であった（表2）。

2 防除対策

(1) 今後も梅雨明けまでは飛来すると考えられるため、最も重要な飛来時期と防除適期は隨時変動する。防除に当たっては、最新の情報を防除所のホームページで確認したうえ、ほ場での発生状況を注意深く観察し、適期防除に努める。

(2) 気象予報に基づく予測では、7月3日に飛來した成虫の次世代幼虫は7月20日以降から見え始める。本田内の発生密度を観察する際は、他のウンカ類（セジロウンカやヒメトビウンカ）も発生している時期であることから、各害虫種の見分け方を理解したうえで、払落し法（株元を叩き、水面もしくは株に沿わせた板上に落ちた虫を計数する）によって観察する。

(3) トビイロウンカの発生時期毎の要防除水準（成虫と幼虫を合わせた頭数）は、本田初期では10頭／100株、7月中旬～8月上旬では20頭／100株である。本田内の発生密度を定期的に観察し、要防除水準を超えた場合は、臨機防除を検討する。特に、トビイロウンカの定着に適した生育ステージかつ箱施薬剤の効果が薄れる時期である早植え水稻や育苗箱施用をしていないほ場では注意する。

(4) 防除適期は若齢幼虫期である。薬剤感受性が低下している薬剤の使用を避ける（令和6年（2024年）3月22日付け技術情報第13号参照、
<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/243280.pdf>）。

(5) トビイロウンカは水稻の株元近くに生息しているため、液剤や粉剤で防除する場合は薬剤が株元に到達するように十分量を丁寧に散布する。

※今後の発生状況、防除適期や対策については、熊本県病害虫防除所のホームページ
 (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>) に掲載します。

表1 予察灯におけるトビイロウンカの誘殺状況（合志市）

月／日	～6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5
誘殺数(頭)	0	2	1	12	2	0	0	1	0	0	0	2	102	2	0

表2 予察灯におけるトビイロウンカの半旬別誘殺数（合志市）

月	半旬	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	平年値 (過去10年)	R6
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	1	0
	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	1	17
	6	1	0	1	0	0	1	2	0	8	0	1	1
7	1	10	0	0	0	27	226	0	0	32	30	30	106
	2	0	0	0	4	0	2	402	2	7	1	42	
	3	14	0	34	7	0	49	119	0	2	3	23	
	4	2	0	4	0	0	12	2	0	73	0	9	
	5	1	1	3	0	0	4	7	0	2	1	2	
	6	0	1	0	0	1	2	17	0	5	0	3	

熊本県病害虫防除所 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所内) 担当：守田 TEL 096-248-6490

病防第29号
令和6年(2024年)7月12日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

トマトキバガの発生状況と防除対策（技術情報第7号）について（送付）
のことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

県内各地に設置したトマトキバガのフェロモントラップへの誘殺が過去2カ年より多い状況である。一部のミニトマト栽培ほ場では食害が確認されたことから、今後の発生に十分注意する。

1 現在の発生状況

- (1) 県内6カ所に設置したトマトキバガのフェロモントラップにおいて、成虫の誘殺が継続的に確認されている。いずれの地点も令和4年度、令和5年度の同時期より誘殺数が多い状況である（図1）。
- (2) 6月下旬に、ミニトマト1ほ場（冬春作の終期）でトマトキバガによる食害が確認された。

2 注意を要する作物

トマト、ミニトマト、ナス、バレイショ

3 防除対策等

- (1) 施設栽培では、開口部に防虫ネット（目合1mm以下）を設置し、侵入を防止する。
- (2) 被害の特徴を把握し（別添）、ほ場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。
- (3) 被害株や被害果実を発見した際は、速やかにほ場内から除去する。除去した被害株などを野外に放置すると周囲に拡散するため、土中に深く埋設するか、ビニール袋などに入れ、生きた虫が見つかなくなるまで一定期間密閉した上で適切に処分する。
- (4) 薬剤防除にあたっては、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。なお、現時点の農薬登録はトマト、ミニトマトのみであるので注意する（表1）。
- (5) 施設栽培では、栽培終了後の密閉処理を徹底する（発生ほ場での目安は1ヶ月以上）。なお、マルチ等の資材にも、蛹や成幼虫が付着している可能性があるため、使用した資材は密閉処理が終了した後に搬出する。

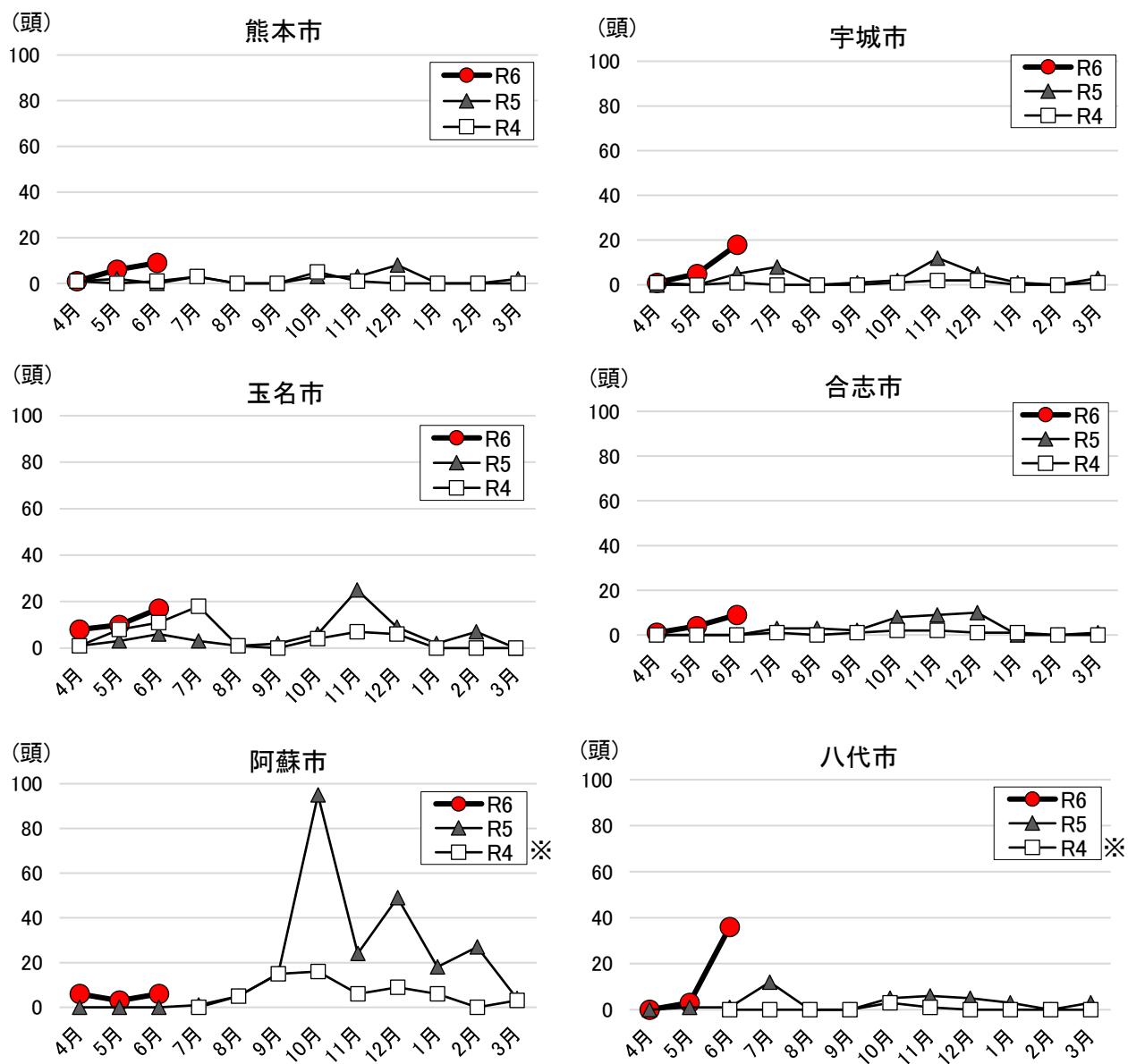


図1 各地域に設置したフェロモントラップへのトマトキバガ誘殺数(R6は暫定値)
※阿蘇市のR4は7月19日から、八代市のR4は6月15日から調査開始。
(調査の一部はイノベーション創出強化研究推進事業(JP007097)において実施した)

表1 トマトキバガに登録のある農薬(令和6年7月12日時点)

農薬の名称	登録の有無		IRAC コード※	農薬の種類	使用時期	希釈倍数 /使用量	使用 方法	使用 回数
	トマト	ミニトマト						
ディアナ SC	○	○	5	ビオパラム水和剤	収穫前日まで	2500～ 5000倍	散布	2回 以内
ラディアント SC	○	○		ビオパラム水和剤	収穫前日まで	2500～ 5000倍	散布	2回 以内
ダブルシューターSE	○	○		脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤	収穫前日まで	1000倍	散布	2回 以内
アファーム乳剤	○	○	6	エマクチン安息香 酸塩乳剤	収穫前日まで	2000倍	散布	5回 以内
アグリメック	○	×		アバメクチン乳剤	収穫前日まで	500～ 1000倍	散布	3回 以内
エスマルク DF	○	○	11A	BT水和剤	発生初期,但し 収穫前日まで	1000倍	散布	—
コテツフロアブル	○	○	13	ケルフェナピル 水和剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回 以内
トルネードエース DF	○	×	22A	インドキサカルブ 水和剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回 以内
ファイントリム DF	○	×		インドキサカルブ 水和剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回 以内
アクセルフロアブル	○	○	22B	メタルミバン 水和剤	収穫前日まで	1000倍	散布	3回 以内
ベネビア OD	○	○	28	シアントラニリプロール 水和剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回 以内
ベリマーク SC	○	○		シアントラニリプロール 水和剤	育苗期後半～ 定植当日	400株あ たり25ml	灌注	1回
プリロッソ粒剤	○	○		シアントラニリプロール 粒剤	育苗期後半～ 定植時	2g/株	株元 散布	1回
プリロッソ粒剤オメガ	○	○		シアントラニリプロール 粒剤	育苗期後半～ 定植時	2g/株	株元 散布	1回
フェニックス顆粒水和剤	○	○		フルベンジアミド 水和剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回 以内
ヨーバルフロアブル	○	○		テトラニリプロール 水和剤	収穫前日まで	2500倍	散布	3回 以内
グレーシア乳剤	○	○	30	フルキサメタド乳剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回 以内
プレオフロアブル	○	○	UN	ピリダリル水和剤	収穫前日まで	1000倍	散布	2回 以内

※ IRAC コードとは、殺虫剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のことです。
本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができます。

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当 : 江口、福岡
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

水稻海外飛来性害虫の主飛来（技術情報第8号）について（送付）

のことについて、トビイロウンカの飛来状況を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビイロウンカは6月下旬以降断続的に飛来しており、梅雨時期の飛来量は過去10年で2番目に多い。

8月の防除に重点を置く主飛来は7月3日頃であるが、その前にも大きな飛来波が確認されているため、ほ場での発生状況を観察し、適期防除に努める。

1 飛来状況

- (1) 合志市に設置した予察灯では、6月22日の初飛来から現在にかけて断続的に誘殺されている。期間内の日毎の誘殺数は、7月3日（102頭）が最多で、次いで6月24日（12頭）であった（表1）。
- (2) 6月第5半旬～7月第4半旬の誘殺数は、127頭（平年105頭）と平年比やや多であった（表2）。

2 防除対策

- (1) トビイロウンカに対しては若齢幼虫期（1～2齢）の防除が最も効果が高いため、本田内の発育ステージを観察して防除を行う。早植え水稻では、6月24日頃と7月3日頃に飛來したトビイロウンカの定着が懸念されるため、可能な限り2つの飛來の幼虫期が重なる時期に防除を行う（表3、表4）。普通期水稻では、6月24日頃は移植前もしくは箱施用剤の効果が高い移植直後であり、定着の可能性は低いと考えられるため、7月3日頃の主飛來の幼虫期に合わせて防除を行う（表3、表5）。
- (2) 今後の気象状況によって、防除適期は随時変動する。防除に当たっては、最新の情報を防除所のホームページで確認する。
- (3) 本田内の発生密度を観察する際は、他のウンカ類（セジロウンカやヒメトビウンカ）も発生している時期であることから、各害虫種の見分け方を理解したうえで、払落し法（株元を叩き、水面もしくは株に沿わせた板上に落ちた虫を計数する）によって観察する。
- (4) トビイロウンカの飛來量は地域やほ場、増殖量は品種や箱施用剤の種類によって異なる。発生時期毎の要防除水準（成虫と幼虫を合わせた頭数）は、7月中旬～8月上旬では20頭／100株、8月中旬～8月下旬では100頭／100株または収穫30日前では300頭／100株である。本田内の発生密度を定期的に観察し、要防除水準を超えた場合は（1）によらず至急防除を行う。

(5) 薬剤感受性が低下している薬剤の使用を避ける（令和6年（2024年）3月22日付け技術情報第13号参照、

<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/243280.pdf>）。

(6) トビイロウンカは水稻の株元近くに生息しているため、液剤や粉剤で防除する場合は薬剤が株元に到達するように十分量を丁寧に散布する。

※今後の発生状況、防除適期や対策については、熊本県病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に掲載します。

表1 予察灯におけるトビイロウンカの誘殺状況（合志市）

月/日	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30			
誘殺数 (頭)	0																								2	1	12	2	0	0	1	0	0
月/日	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31		
誘殺数 (頭)	0	2	102	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	-	-	-	-	-			

表2 予察灯におけるトビイロウンカの半旬別誘殺数（合志市）

月 半旬	6						7					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
H26	0	0	0	0	0	1	10	0	14	2	1	0
H27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
H28	0	0	0	0	0	1	0	0	34	4	3	0
H29	0	0	0	0	1	0	0	4	7	0	0	0
H30	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1
R1	0	0	1	0	0	1	27	2	49	12	4	2
R2	0	7	0	0	0	2	226	402	119	2	7	17
R3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
R4	0	0	0	0	0	8	0	7	2	73	2	5
R5	0	0	0	0	0	0	32	1	3	0	1	0
平年値 (H26～R5)	0	1	0	0	1	1	30	42	23	9	2	3
R6	0	0	0	0	17	1	106	0	0	3	-	-

表3 予想されるトビイロウンカの防除適期※

(1) 6月24日飛来

地点名	第2世代幼虫
熊本	8月9～19日
三角	8月10～21日
岱明	8月9～20日
鹿北	8月14～26日
菊池	8月10～21日
阿蘇乙姫	8月20～9月3日
甲佐	8月10～21日
八代	8月9～20日
水俣	8月10～21日
人吉	8月12～23日
本渡	8月10～21日

(2) 主飛來 (7月3日飛来)

地点名	第2世代幼虫
熊本	8月16～27日
三角	8月18～29日
岱明	8月16～27日
鹿北	8月20～9月1日
菊池	8月18～29日
阿蘇乙姫	8月28～9月12日
甲佐	8月19～30日
八代	8月18～29日
水俣	8月19～30日
人吉	8月19～31日
本渡	8月18～29日

※各地点のアメダスデータ平均気温（本年値及び平年値）をもとに、下記の条件による有効積算により発育ステージを予測した。7月22日までは2024年実測の平均気温、7月23日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(℃)	備 考
成虫	125	12	産卵までの期間
卵	135	11.4	孵化までの期間
幼虫	250	6.5	1歳～5歳幼虫の期間

表4 早植え水稻における防除のイメージ（地点：人吉市の場合）

防除対象	飛来日	~8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	
第2世代 幼虫	6月24日		防除適期																				
	7月3日									防除適期											2つの飛来を同時に防除可能		

表5 普通期水稻における防除のイメージ（地点：人吉市の場合）

防除対象	飛来日	~8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	
第2世代 幼虫	6月24日		※普通期水稻（箱施用あり）では定着の可能性は低い。																				
	7月3日									防除適期											防除適期		

熊本県病害虫防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)

担当：守田 TEL 096-248-6490

病防第33号
令和6年（2024年）7月31日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

果樹カメムシ類の果樹園への飛来開始時期（技術情報第9号）について
(送付)

のことについて、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導に御活用ください。

記

果樹カメムシ類がヒノキ球果から離脱し果樹園に飛来する時期は、8月中旬～9月上旬と予想され、総じて前年より早い傾向がある。

なお、ヒノキ林に近い園地や台風襲来後は、突発的に予測日より早く飛来することがあるので、今後の発生に注意し、早期発見と初期防除を心がける。

1 発生状況

- (1) 7月22日に4地点で行ったヒノキ結果枝のビーティング調査では、果樹カメムシ類の成幼虫数は平年より少なかったが、7月上旬と比べ増加していた（表1）。
- (2) 7月19日及び7月22日に採取したヒノキ球果におけるカメムシ類の口針鞘数は、全6地点の平均4.1本／果（平年4.5本／果、前年2.3本／果）と、平年並であるが、前年と比べると多かった（表2）。

※ヒノキ球果の口針鞘数が25本／果に達する時期が、果樹カメムシ類がヒノキから離脱し、果樹園に飛来する時期の目安となる。

2 飛来開始時期

- (1) 果樹園への飛来開始時期は8月中旬から9月上旬と予想された。各調査地点のヒノキからの離脱予測日は、前年より12日早い地点から15日遅い地点までばらつきはあるものの、総じて前年より早い傾向がある（表3）。
- なお、ヒノキ林に近い園地や台風襲来後は、突発的に予測日より早く飛来することがあるので、注意する必要がある。

3 防除対策

- (1) 果樹カメムシ類は、エサとなるヒノキ・スギ球果を食い尽くすと、山林から果樹園に飛来するので、離脱開始予測日（表3）と病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/201915.html>）に掲載している「ヒノキ球果の口針鞘数・寄生頭数調査」、「予察灯・フェロモントラップ誘殺数」を参考に早期発見及び初期防除に努める。

- (2) 飛来時期や量は地域や園地による差が大きく、同一園内でも局在するため、園内全体を観察する。また、山間部や山沿いの園では、発生が集中する場合もあるので、注意する。
- (3) 果樹カメムシ類は日没直後に園外から侵入し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。
- (4) 薬剤の使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。また、付近にミツバチの巣箱が設置してある園では、事前にその管理者に連絡するなど、農薬による危害防止に努める。
- (5) ピレスロイド系剤（I R A C コード：3 A）は、ミカンハダニやカイガラムシ類のリサージェンスを起こすので、カメムシ類防除後にこれらの害虫の発生に注意する。

表1 ヒノキ球果枝におけるビーティング調査結果（頭／地点）

調査年次	7月上旬	7月下旬	8月上旬
2024年(R6)	3.00	3.50	
2023年(R5)	1.00	2.75	3.50
2022年(R4)	3.30	6.50	4.30
2021年(R3)	1.00	6.50	4.30
2020年(R2)	0.25	1.50	3.00
2019年(R1)	1.50	3.00	8.50
2018年(H30)	15.00	18.00	5.00
2017年(H29)	0.50	0.50	1.00
2016年(H28)	0.25	0.25	1.00
2015年(H27)	0.00	1.00	1.00
2014年(H26)	1.25	10.50	2.75
平年値(過去10年)	2.41	5.05	3.44

- 1) ヒノキ球果が着生した枝に網をかぶせ、寄生虫をたたき落とした。
- 2) 調査地点は熊本地域1、宇城地域2、菊池地域1の4地点。
- 3) カメムシ類の寄生虫数は、1地点当たり5枝分の合計を4地点で平均した。

表2 ヒノキ球果の口針鞘数調査結果（本／果）

調査地域	調査地点	7月上旬	7月下旬	8月上旬
熊本地域	熊本市(河内)	7.4	6.4	
宇城地域	宇城市(松橋)	5.8	3.1	
	宇城市(三角)	4.3	1.5	
菊池地域	合志市(栄)	1.4	3.9	
天草地域	天草市(上島)	2.6	6.1	
	天草市(下島)	0.9	3.3	
平均値		3.7	4.1	
前年値		0.2	2.3	4.1
平年値(過去10年)		1.0	4.5	8.5

表3 果樹カメムシ類のヒノキ球果からの離脱予測日

調査地点	離脱予測日						
	本年(R6)	前年比	前年(R5)	R4	R3	R2	R1
熊本市(河内)	8月21日	7日早い	8月28日	9月11日	9月10日	9月13日	9月16日
宇城市(松橋)	9月2日	6日早い	9月8日	8月23日	9月3日	9月7日	9月3日
宇城市(三角)	9月8日	15日遅い	8月24日	8月26日	9月7日	8月31日	8月26日
合志市(栄)	8月30日	11日早い	9月10日	9月4日	9月6日	9月13日	9月9日
天草市(上島)	8月19日	12日早い	8月31日	7月26日	7月21日 [※]	9月11日	9月9日
天草市(下島)	8月29日	9日早い	9月7日	7月22日 [※]	9月12日	9月12日	9月20日
平均	8月28日	5日早い	9月2日	8月18日	8月30日	9月9日	9月8日

<表2、3の調査方法>

- 1) 調査日 : 7月19日、22日
- 2) 調査規模 : 各地点30球果(酸性フクシンで口針鞘を染色後、検鏡にて計数した)

<表3の予測離脱日>

福岡県農業総合試験場が開発した予測式により算出した。

予測式 : $Y = 54.17 - 3.776X + 0.01937X^2$

Y : 調査日から離脱日までの日数、X : ヒノキ球果1果当たり口針鞘数

Xは小数点第二位を四捨五入、Yは小数点以下切り捨て

※予測式による計算値がマイナスになった場合は離脱日までの日数を0とした。

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター生産環境研究所内)
 担当 : 清永 TEL : 096-248-6490

病防第36号
令和6年（2024年）8月13日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの発生状況（技術情報第10号）について（送付）

のことについて、早植え・普通期水稻におけるトビイロウンカの発生状況及び防除対策を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビイロウンカの本田での発生は平年より少ない状況であるが、一部の早植え水稻や無防除田では、要防除水準を超える発生が確認されている。

主飛来とは別の飛来と推測される個体の定着も確認されていることから、ほ場の発生状況を観察し、適期防除に努める。

1 発生状況

（1）早植え水稻（5月～6月上旬移植）

主飛来から推定される第一世代幼虫期（7月31日～8月1日）に実施した払い落し調査（24ほ場）の結果、成幼虫の平均寄生密度は0.6頭／10株（平年14.8頭／10株）と平年より少なく、発生ほ場率は25.0%（平年41.1%）と平年より低かった。ただし、一部のほ場では、7月中旬～8月上旬の要防除水準（2頭／10株）を超過しており、増殖率の高い短翅型雌成虫も確認された（表1）。

（2）普通期水稻（6月中旬～下旬移植）

主飛来から推定される第一世代幼虫期（7月30日～8月1日）に実施した払い落し調査（24ほ場）の結果、寄生は認められず、成幼虫の平均寄生密度（平年0.8頭／10株）は平年よりやや少なく、発生ほ場率（平年19.6%）は平年より低かった（表2）。

（3）無防除田（早植え水稻：5月16日移植、普通期水稻：6月13日移植）

合志市の無防除早植え水稻では、7月1日に長翅型成虫を初めて確認した後、8月7日には成幼虫合計で15.4頭／10株の寄生を確認した。寄生個体の発育ステージは若齢幼虫が最も多く、これらは主飛来（7月3日頃）より前に飛来した個体の第二世代幼虫の可能性がある（図1）。合志市の無防除普通期水稻では、7月30日に成幼虫合計で2.7頭／10株の寄生を確認した（図2）。

3 防除対策

（1）現時点での発生状況は平年より少ない状況である。しかし、一部の早植え水稻や無防除田では、要防除水準を超える発生や短翅型雌成虫が確認されており、主飛来（7月3日頃）より前の飛来（6月24日頃）と推測される個体の定着も確認されていることから、ほ場によって発生状況は異なる（表1・2、図1・2）。また、8月8日福岡管区気象台発表の九州北部1ヶ月予報では、向こう1ヶ月の気温は平年より高い予想であり、本種の発生に好適な条件となる。今後も引き続き発生状況に注意し、要防除水準（7月中旬～8月上旬：2頭／10株、8月中～下旬：10頭／10株、収穫30日

- 前：30頭／10株）を超えたほ場では直ちに防除を行う。
- (2) 本田防除に当たっては、ほ場における発生状況及び発育ステージを観察し、最も防除効果が高い若齢幼虫期に防除を行う。発生が認められない場合は、主飛来（7月3日頃）の後世代幼虫を対象とした適期防除に努める。今後の気象条件によって、防除適期は隨時変動するため、最新の防除適期及び発生状況については、病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に掲載している調査データを参考にする。
- (3) 薬剤感受性が低下している薬剤の使用を避ける（令和6年（2024年）3月22日付け技術情報第13号参照、<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/243280.pdf>）。
- (4) トビイロウンカは水稻の株元近くに生息しているため、液剤や粉剤で防除する場合は薬剤が株元に到達するように十分量を丁寧に散布する。
- (5) 農薬散布に当たっては、必ずラベル等で使用方法を確認し、使用基準を遵守する。また、周辺の作物やミツバチ・魚介類等の環境に影響がないよう飛散防止対策に努める。

表1 早植え水稻におけるトビイロウンカの寄生密度（頭／10株）

地点名	成虫				幼虫			計
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齢	中齢	若齢	
早植え	山鹿市鹿北1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿北2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市菊鹿1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市菊鹿2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市狩尾1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
	阿蘇市狩尾2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市的石1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	3.3	0.7
	阿蘇市的石2	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3
	南小国町赤馬場1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	2.3	0.0
	南小国町赤馬場2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南阿蘇村久木野1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0
	南阿蘇村久木野2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	2.3
	山都町南田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山都町南田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	甲佐町寒野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	甲佐町寒野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市二見町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市二見町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町大野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町大野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あさぎり町上1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あさぎり町上2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	錦町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	錦町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24ほ場の合計頭数		0.3	0.0	0.3	0.7	2.0	8.7	2.7
		1.3			13.3			14.7
24ほ場の平均		0.6 頭(平年)				14.8 頭、昨年 0.2頭)		
発生ほ場率		25.0 % (平年)				41.1 %、昨年 20.8 %)		

※7月31日～8月1日 30株の払い落し調査

※平年値は、H26～R5の平均

表2 普通期水稻におけるトビイロウンカの寄生密度（頭／10株）

地点名	成虫				幼虫			計	
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齢	中齢	若齢		
普通期	熊本市画図1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	熊本市画図2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	熊本市中無田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	熊本市中無田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	熊本市富合町木原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	熊本市富合町平原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	玉名市両迫間1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	玉名市両迫間2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	玉名市横島1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	玉名市横島2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	山鹿市鹿央町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	山鹿市鹿央町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	菊池市赤星1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	菊池市赤星2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	大津町陣内1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	大津町陣内2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	益城町福原1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	益城町福原2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	八代市鏡町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	八代市鏡町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	氷川町網道1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	氷川町網道2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	芦北町花岡1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	芦北町花岡2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
24ほ場の合計頭数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0				0.0				
24ほ場の平均	0.0 頭(平年)				0.8 頭、昨年 0.0 頭)				
発生ほ場率	0.0 % (平年)				19.6 %、昨年 4.2 %)				

※ 7月30日～8月1日 30株の払い落し調査

※平年値は、H26～R5の平均

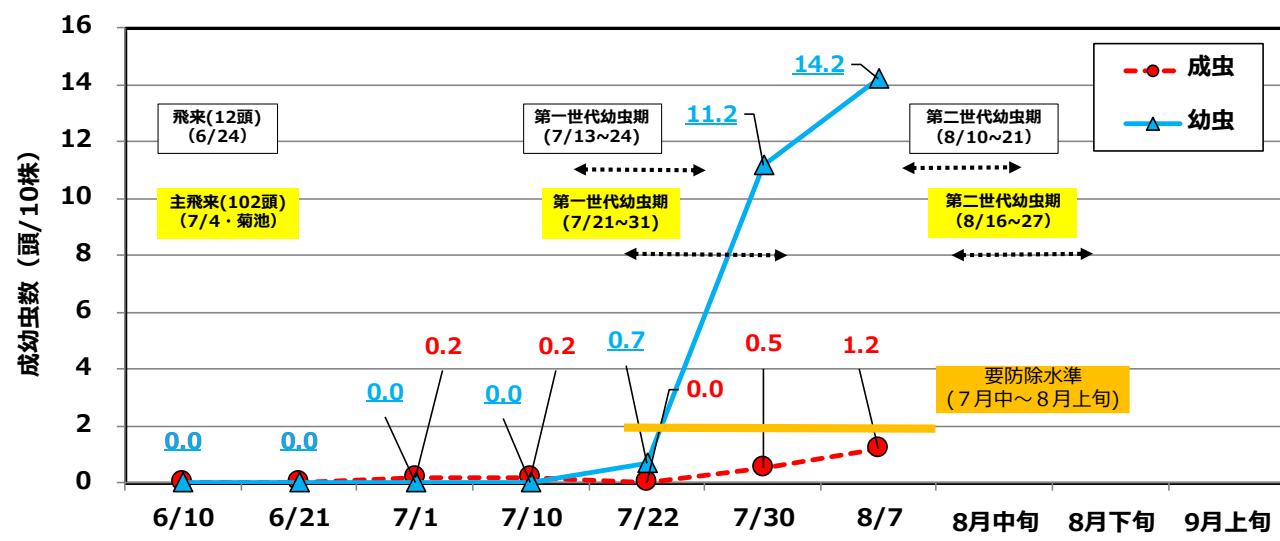


図1 無防除早植え水稻（5/16移植・合志市）におけるトビイロウンカの発生推移

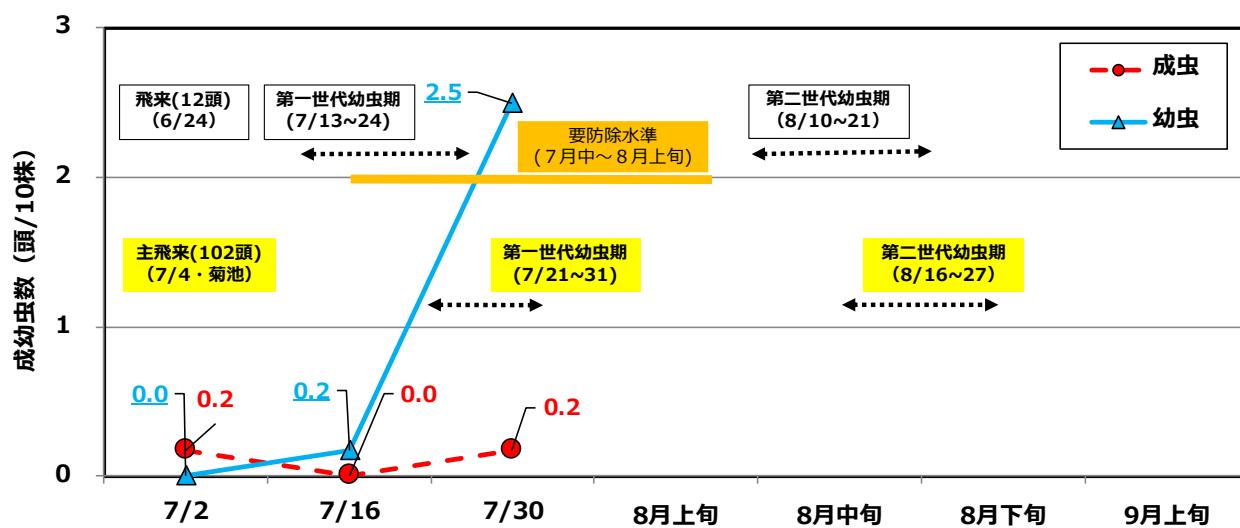


図2 無防除普通期水稻（6/13移植・合志市）におけるトビイロウンカの発生推移

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
 担当：守田 TEL 096-248-6490

病防第38号
令和6年（2024年）9月5日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス保毒状況と防除対策（技術情報
第11号）について（送付）

タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス（以下、CCYVとする）保毒状況とウリ科野菜の退緑黄化病に対する防除対策について取りまとめましたので、業務に御活用下さい。

記

野外におけるタバココナジラミの誘殺数は平年に比べてやや少ないが、CCYV保毒虫率は平年並である。生育初期にCCYVに感染すると収量・品質への影響が大きくなるため、ほ場内にタバココナジラミを「入れない」対策とともに、初期防除を徹底する。

ウリ科野菜栽培主要3地域（熊本、鹿本、菊池）で、夏秋期から栽培を開始するウリ科野菜の退緑黄化病の発生リスクを判断するため、それぞれの地域の野外に黄色粘着板を1か所ずつ設置し、タバココナジラミの誘殺数およびCCYVの保毒虫率を調査した。

1 調査結果

- (1) 8月上旬～下旬にかけて黄色粘着板(10×10cm)に誘殺されたタバココナジラミは、0.6頭/日/枚と、平年1.3頭/日/枚（過去5年の平均値、以下同様）と比較するとやや少なかった（表1）。
- (2) 8月上旬～下旬にかけて黄色粘着板に誘殺されたタバココナジラミのCCYV保毒虫率は27.3%（平年28.3%）と平年並であった（表1、図1）。ただし、設置地点によっては保毒虫率に差が見られ、最も高い地点は過去10年の中で2番目に高い水準にある（図1）。
- (3) 退緑黄化病の発生リスクの指標となる保毒虫数は0.2頭/日/枚（平年0.4頭/日/枚）と、平年比やや少であった（表1）。
- (4) 福岡管区気象台が9月5日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、気温は平年より高く推移すると予想されており、タバココナジラミの活動に好適な条件が続くと考えられる。

2 防除対策

退緑黄化病の発生リスクの指標となる保毒虫数は平年比やや少である。しかし、生育初期にCCYVに感染すると、品質の低下や収量の減少等の被害が大きくなるため、ほ場にタバココナジラミを「入れない」対策とともに初期防除の徹底が重要である。

また、今後タバココナジラミの活動に好適な気象条件が続いた場合、野外のタバココナジラミが増殖し、ハウス内へのタバココナジラミの飛び込み頻度が高まることが想定される。

以上の点に留意して、以下のようない防除対策を行う。

定植前のほ場

- (1) これから定植するほ場では、タバココナジラミを栽培ほ場に「入れない」対策を徹底する。施設のサイド開口部に目合い0.4mm防虫ネット、谷換気部に目合い1mm以下の防虫ネットを被覆する。すでに被覆しているハウスについては、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無いか点検し、必要に応じて補修する。
- (2) 育苗期後半に使用できる薬剤を定植2～3日前に処理する。
- (3) 育苗ハウスから苗を運び出す際には、移動中にタバココナジラミが寄生しないよう、運搬車等の荷台を防虫ネットや幌等で覆う。

栽培中のほ場

- (1) タバココナジラミを施設内で「増やさない」対策を徹底する。現在栽培中のほ場では、栽培終了まで、タバココナジラミの防除を継続して行う。
- (2) メロンにおいては、育苗期後半の粒剤処理に加えて、定植7日後の調合油乳剤散布、交配前の調合油乳剤と殺虫剤の混用散布を行う防除体系が有効である。薬害防止のため、高温時や薬液が乾きにくい環境での散布を避ける。他剤と混用する際は試しがけするなどして事前に薬害の有無を確認する（「[農業の新しい技術 No747（令和5年6月）メロン退緑黄化病は、調合油乳剤を利用した防除体系で防ぐ](#)」を参照）。
- (3) タバココナジラミを施設外に「出さない」対策を徹底する。栽培終了後は直ちに密閉処理を行い、ほ場内のタバココナジラミを死滅させる。露地栽培などの密閉できないほ場では、成虫に効果の高い薬剤で防除したうえで収穫残さを早急に片付ける。

共通

- (1) 施設内の発病株や周辺の野良生えは、重要な伝染源となるため適宜除去する。
- (2) ウリ科野菜の周年栽培地帯におけるメロン退緑黄化病発生リスクは、5月から12月まで高い水準で推移する（「[農業研究成果情報 No. 597\(平成 25 年 5 月\)ウリ類周年栽培地帯でのメロン退緑黄化病発生リスクの季節変動](#)」を参照）ため、今後も防除を徹底する。
- (3) 薬剤は効果があるものをローテーションで使用する（「[令和3年3月10日付技術情報第17号「タバココナジラミバイオタイプQ成虫の薬剤感受性検定の結果](#)」」を参照）。なお、アセチル化グリセリド乳剤（商品名：ベミデタッチ）は、登録変更により「メロン」への適用がなくなったため使用しない。

表1 各調査年におけるタバココナジラミの誘殺数、保毒虫率、保毒虫数

調査年	R1	R2	R3	R4	R5	R6	平年
誘殺数(頭/日/枚)	1.0	1.5	2.2	1.2	0.6	0.6	1.3
保毒虫率(%)	30.3	41.3	24.7	29.4	15.7	27.3	28.3
保毒虫数(頭/日/枚)	0.3	0.7	0.6	0.5	0.1	0.2	0.4

※1 表中の数値は3地点（熊本、鹿本、菊池）の平均値。

※2 平年値は過去5年の平均。

※3 誘殺数は、黄色粘着板を1地点あたり5枚（例年誘殺数が少ない地点は1度に10枚）、14～31日間設置して、1枚あたり1日の誘殺数を算出。

※4 保毒虫率は、黄色粘着板に誘殺されたコナジラミをRT-PCRにより検査し、保毒虫数／検定数により算出。検定数は1地域あたり原則50頭（ただし誘殺数が少ない場合は50頭を下回ることがある）。

※5 保毒虫数は、誘殺数×保毒虫率により算出。

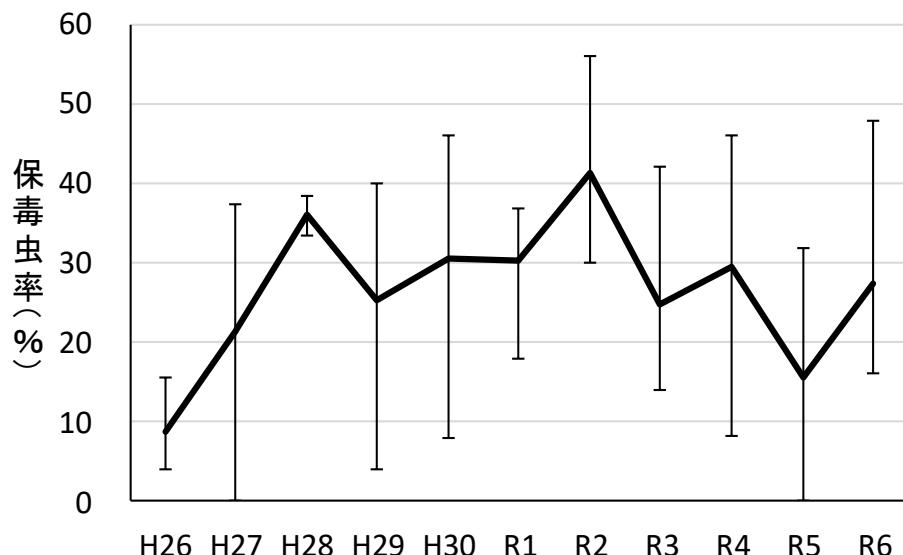


図1 黄色粘着板に誘殺されたタバココナジラミ成虫のCCYV保毒虫率の推移

グラフは3地点（熊本、鹿本、菊池）の平均値。

エラーバーは各年の3地点中の最大値、最小値を示す。

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：肥後、福岡 TEL：096-248-6490

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

ミナミアオカメムシの発生状況と大豆における防除対策（技術情報第12号）
について（送付）

のことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

ミナミアオカメムシの誘殺数が平年より多い状況である。今後、水稻の収穫後に大豆に移動し、被害が発生する可能性がある。今後の気象条件は、本虫の増殖に好適な条件が続く予報となっているため、発生に十分注意し、発生ほ場では薬剤散布による初期防除に努める。

1 現在の発生状況

合志市に設置した予察灯における7月第1半旬～9月第3半旬のミナミアオカメムシの誘殺数は、218頭（平年150.8頭）と平年より多い状況が続いている。特に、8月第4半旬から増加傾向にある（図1）。

2 今後の発生予想

水稻でカメムシ類（ミナミアオカメムシ、アオクサカメムシ等）が発生している周辺の大豆ほ場では、水稻収穫後に集中的に移動してくることが懸念される（図2）。

福岡管区気象台が9月12日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、気温は平年より高い予想のため、大豆に被害を及ぼす吸実性カメムシ類の増殖に好適な条件が続くことが懸念される。

3 防除対策等

- (1) ほ場周辺の雑草（野生寄主植物）は、結実前に除草する。
- (2) 被害が予想される場合には、子実肥大初期（開花30～40日後）に1回防除を行う。大きな被害が予想される場合には、莢伸長後期（開花20～30日後）と子実肥大中期（開花40～50日後）に2回防除を行う。2回防除してもカメムシ類の密度が高い場合は、追加で3回目の防除（2回目の10～14日後が目安）を検討する。
- (3) 虫の種類によって薬剤の効果は異なるため、防除の際には、発生している種類を確認して、効果の高い薬剤を選定する。なお、ミナミアオカメムシやアオクサカメムシに対するピレスロイド系（IRACコード：3A）の効果は劣る。
- (4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。
また、薬剤の使用時にはラベルに書いてある登録内容を確認して使用する。
- (5) ハスモンヨトウ若齢幼虫による白色化した被害葉（白変葉）が認められる場合は、同時防除を検討する。
- (6) 熊本県病害虫防除所のホームページに掲載しているカメムシ類とハスモンヨトウの誘殺状況（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/201915.html>）を確認し、防除の参考にする。

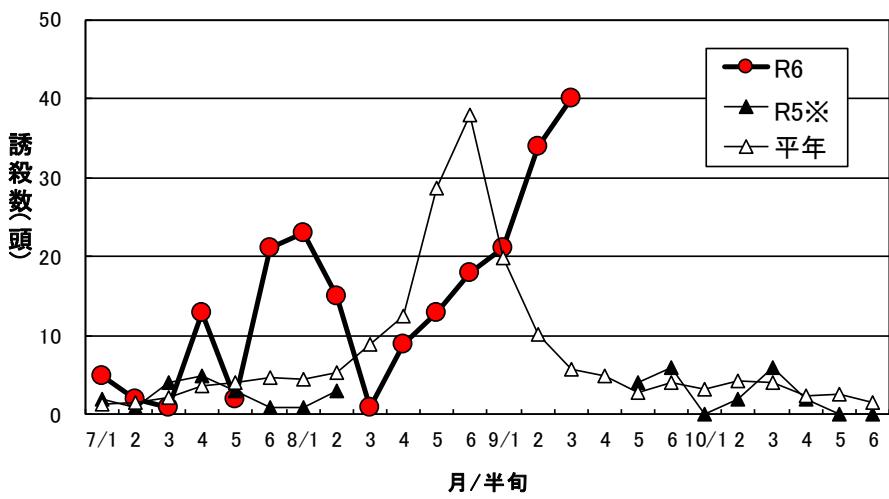


図1 合志市栄予察灯のミナミアオカメムシ誘殺消長
※R5は8月第3半旬～9月第4半旬欠測



ミナミアオカメムシ成虫※1



アオクサカメムシ成虫※1



イチモンジカメムシ成虫※2



ホソヘリカメムシ成虫※2

図2 大豆に被害を及ぼす吸実性カメムシ類
※1:水稻では斑点米の原因となる種、※2:水稻では問題とならない種

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内) 担当: 守田
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

病防第41号
令和6年(2024年)9月27日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

トマトキバガの発生状況と防除対策（技術情報第13号）について（送付）
のことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

県内各地に設置したトマトキバガのフェロモントラップへの誘殺が過去2ヵ年より多い状況が継続している。現在、夏秋トマトと冬春トマトの栽培が重なる時期であるため、各産地において施設に害虫を入れない対策・出さない対策を徹底する。

1 現在の発生状況

- (1) 県内6ヶ所に設置したトマトキバガのフェロモントラップにおいて、成虫の誘殺が4月から継続的に確認されている。いずれの地点も令和4年度、令和5年度の同時期より誘殺数が多い状況が継続している（図1）。
- (2) 現在、ほ場での発生・被害は見られないが、今年度は夏季にトマト・ミニトマト栽培ほ場で2例の食害が確認されている。
- (3) 過去2ヶ年の調査結果から、10月以降に誘殺数が増加する傾向にあることから、本年も今後さらに誘殺数が増加する可能性がある。

2 トマトキバガが寄生する作物

トマト、ミニトマト、ナス、バレイショ

3 防除対策等

- (1) 夏秋作でハウス内の発生が認められた場合、栽培終了後は速やかに株を枯死させ、1ヶ月以上かけてハウス内のトマトキバガを餓死させる。なお、マルチ等の資材にも、蛹や成幼虫が付着している可能性があるため、使用した資材はこの期間が終了した後に搬出する（別添1-1「トマトキバガの防除対策について（夏秋作用）」を参照）。
- (2) 冬春作の施設栽培では、開口部に防虫ネット（目合1mm以下）を設置し、侵入を防止する（別添1-2「トマトキバガの防除対策について（冬春作用）」を参照）。
- (3) 被害の特徴を把握し（別添2：図3～5）、ほ場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。
- (4) 被害葉や被害果実を発見した際は、速やかにほ場内から除去する。除去した被害葉などを野外に放置すると周囲に拡散するため、土中に深く埋設するか、ビニール袋などに入れ、生きた虫が見つかなくなるまで一定期間密閉した上で適切に処分する。
- (5) 薬剤防除にあたっては、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローション使用を行う。なお、現時点の農薬登録はトマト、ミニトマトのみであるので注意する（表1）。
- (6) ほ場内の発生が疑われる場合、管轄の農業普及・振興課やJA、病害虫防除所まで連絡する。
- (7) 秋期は、ハスモンヨトウやオオタバコガ等、他のチョウ目害虫の発生も増加しやすい時期である（詳細は病害虫防除所ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/258274.pdf> 参照）。それらの害虫も含め、施設へ入れない・出さない対策や、薬剤防除等を徹底する。

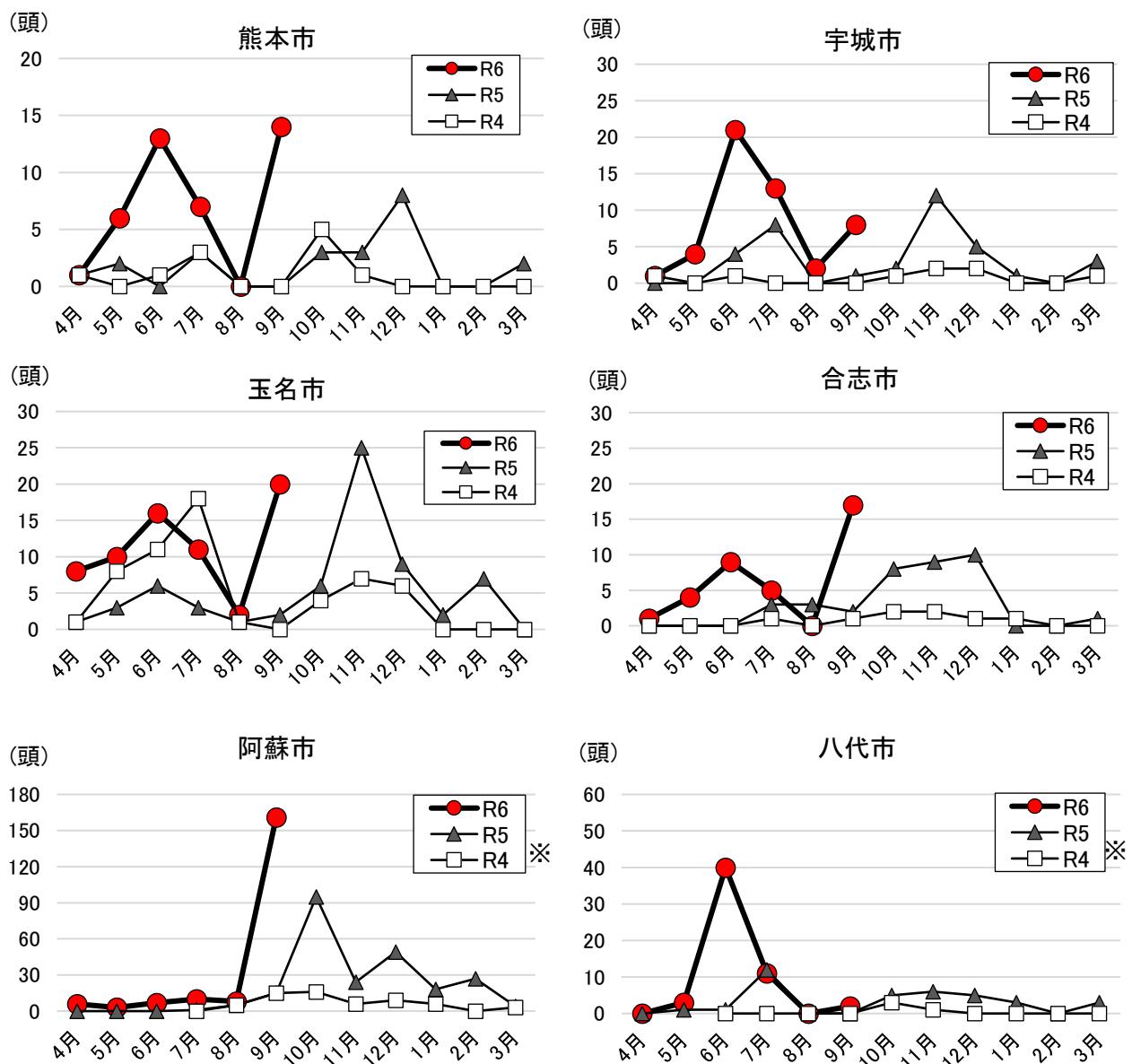


図1 各地域に設置したフェロモントラップへのトマトキバガの月別誘殺数の推移(R6の数値は9月24日時点の暫定値)
※阿蘇市のR4は7月19日から、八代市のR4は6月15日から調査開始。
(調査の一部はイノベーション創出強化研究推進事業(JP007097)において実施した)

表1 トマトキバガに登録のある農薬(令和6年9月26日時点)

農薬の名称	登録の有無		IRAC コード※	農薬の種類	使用時期	希釈倍数 /使用量	使用 方法	使用 回数
	トマト	ミニトマト						
ディアナ SC	○	○	5	スピネラム水和剤	収穫前日まで	2500～5000倍	散布	2回以内
ラディアント SC	○	○		スピネラム水和剤	収穫前日まで	2500～5000倍	散布	2回以内
ダブルシューターSE	○	○		脂肪酸グリセロ・スピノサ水和剤	収穫前日まで	1000倍	散布	2回以内
アファーム乳剤	○	○	6	エマクチン安息香酸塩乳剤	収穫前日まで	2000倍	散布	5回以内
アグリメック	○	×		アバメクチン乳剤	収穫前日まで	500～1000倍	散布	3回以内
アニキ乳剤	○	○	6	レピメクチン乳剤	収穫前日まで	1000倍	散布	3回以内
エスマルク DF	○	○	11A	BT 水和剤	発生初期,但し収穫前日まで	1000倍	散布	—
チューンアップ顆粒水和剤	○	○		BT 水和剤	発生初期,但し収穫前日まで	2000倍	散布	—
コテツフロアブル	○	○	13	クロフェナピル水和剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内
トルネードエース DF	○	×	22A	イントキサカルブ水和剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内
ファイントリム DF	○	×		イントキサカルブ水和剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内
アクセルフロアブル	○	○	22B	メタルミジン水和剤	収穫前日まで	1000倍	散布	3回以内
ベネビア OD	○	○	28	シアントリリプロール水和剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内
ベリマーク SC	○	○		シアントリリプロール水和剤	育苗期後半～定植当日	400株あたり25ml	灌注	1回
プリロッソ粒剤	○	○		シアントリリプロール粒剤	育苗期後半～定植時	2g/株	株元散布	1回
プリロッソ粒剤オメガ	○	○		シアントリリプロール粒剤	育苗期後半～定植時	2g/株	株元散布	1回
フェニックス顆粒水和剤	○	○		フルベンジアミド水和剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内
ヨーバルフロアブル	○	○		テトラニリプロール水和剤	収穫前日まで	2500倍	散布	3回以内
グレーシア乳剤	○	○	30	フルキサメタド乳剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内
プレオフロアブル	○	○	UN	ピリダリル水和剤	収穫前日まで	1000倍	散布	2回以内

※ IRAC コードとは、殺虫剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のことです。
本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができます。

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：江口、福岡
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

病防第45号

令和6年(2024年)10月15日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

タバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況と防除対策(技術情報第14号)
について(送付)

のことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考としてご活用ください。
記

9月上旬の野外のタバココナジラミの発生量は平年より少なく、トマト黄化葉巻ウイルス保毒虫率も平年より低かった。

タバココナジラミは黄化葉巻ウイルスだけでなく、近年増加しているトマト黄化ウイルスも媒介する。ウイルス病の拡大を防ぐため、入れない対策と栽培初期の防除対策を徹底する。

冬春トマト栽培の主要3地域(熊本、玉名、八代)において、栽培初期のトマト黄化葉巻ウイルス(以下、TYLCVとする)の感染リスクを評価するため、それぞれの地域の野外に黄色粘着板を設置し、タバココナジラミの発生量及び保毒虫率を調査した。

1 調査結果

- (1) 9月上旬におけるタバココナジラミの黄色粘着板の誘殺数は、熊本市で13.0頭／10日／10枚(平年17.1頭)、玉名市で16.7頭／10日／10枚(平年155.9頭)、八代市で0.0頭／10日／10枚(平年26.0頭)と3地域とも平年に比べて少なかった(表1)。
- (2) 9月上～下旬に黄色粘着板に誘殺されたタバココナジラミのTYLCV保毒虫率は、玉名市で3.3%(平年3.0%)と平年並、熊本市で1.7%(平年3.0%)、八代市で0.0%(平年7.1%)と平年に比べて低かった(表2)。
- (3) 発生リスクの指標である保毒虫数は、熊本市で0.2頭／10日／10枚(平年0.7頭)、玉名市で0.6頭／10日／10枚(平年4.4頭)、八代市で0.0頭／10日／10枚(平年1.6頭)と3地域とも平年より低かった(表3)。
- (4) 福岡管区気象台が10月10日に発表した九州北部地方1ヶ月予報によると、気温は平年より高く推移すると予想されており、タバココナジラミの活動に好適な条件が続くと考えられる。

2 防除対策

タバココナジラミは、トマト黄化葉巻ウイルスだけでなくトマト黄化ウイルスを媒介する。9月時点で野外のTYLCV保毒虫は少ないものの、今後タバココナジラミの活動に好適な気象条件が続くと考えられ、ハウス内へ侵入するとウイルス病発病株の増加が懸念される。そのため、以下の入れない対策と初期の防除対策を徹底する。

- (1) ハウスの開口部(サイド、谷部など)には目合い0.4mm以下の防虫ネットを設置する。すでに設置しているハウスについては、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間がないか点検し、必要に応じて補修する。
- (2) ハウス内に黄色粘着板を設置し、タバココナジラミの早期発見に努める。
- (3) 野外から飛び込んだタバココナジラミによるウイルス感染を防ぐため、11月頃までは成虫を対象とした薬剤防除を行う。農薬の使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を厳守する。
- (4) ハウス内の感染株はウイルスの伝染源となる。発病株を見つけ次第直ちに抜き取り、

施設外に持ち出し適切に処分する。

- (5) TYLCV抵抗性品種であっても伝染源と成り得るため、感受性品種と同様に防除を行う。
- (6) ハウス周辺及び内部の雑草は、タバココナジラミの生息・増殖場所となる。栽培期間中は定期的に除草する。
- (7) 野良生えトマトは、タバココナジラミの発生源及びウィルス病の伝染源となるので、抜き取り土中に埋める等適切に処分する。

表1 野外のタバココナジラミ成虫の誘殺数

地域	誘殺数(頭／10日／10枚)						平年値
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	本年	
熊本市	30.0	20.0	8.3	23.3	3.7	13.0	17.1
玉名市	162.0	326.7	41.7	246.7	2.6	16.7	155.9
八代市	43.0	73.3	0.0	10.0	3.7	0.0	26.0
平均値	78.3	140.0	16.7	93.3	3.4	9.90	66.3

※1 黄色粘着板(10cm×10cm)による誘殺数調査。設置期間は9月1～10日。過去5か年も同様に設置期間は9月上旬。

※2 黄色粘着板を1地点あたり3枚設置。

※3 平年値は2019年から2023年の5か年平均。

※4 玉名市の設置場所は2022年からJAたまな横島倉庫に変更。

(設置場所：2014～2018年 旧しあわせ農協、2019年～2021年 JAたまな横島イチゴ集荷所)

表2 野外のタバココナジラミ成虫のTYLCV保毒虫率

地域	保毒虫率(%)						平年値
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	本年	
熊本市	6.7 (60)	3.3 (60)	1.7 (60)	1.7 (60)	1.7 (60)	1.7 (60)	3.0
玉名市	1.7 (60)	0.0 (60)	6.7 (60)	6.7 (60)	0.0 (60)	3.3 (60)	3.0
八代市	6.7 (45)	5.0 (60)	8.3 (60)	7.7 (26)	12.0 (25)	0.0 (14)	7.9
平均値	5.0	2.8	5.6	5.3	4.6	0.8	4.7

※1 採集期間は熊本市9月1日～24日、玉名市9月1日～10日、八代市9月1日～10月1日。過去5か年の採集期間は2023年、2022年は9月上～下旬。その他は9月上～中旬（本年は9月前半の誘殺数が非常に少なかったため、採集期間を平年よりも延長した。）

※2 () 内の数値は検定数。

※3 平年値は2019年から2023年の5か年平均。

表3 野外のタバココナジラミ成虫のTYLCV保毒虫数

地域	保毒虫数(頭／10日／10枚)						平年値
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	本年	
熊本市	2.0	0.7	0.1	0.4	0.1	0.2	0.7
玉名市	2.8	0.0	2.8	16.4	0.0	0.6	4.4
八代市	2.9	3.7	0.0	0.8	0.4	0.0	1.6
平均値	2.5	1.4	1.0	5.9	0.2	0.1	2.2

※1 保毒虫数=誘殺数(表1) × 保毒虫率(表2)

※2 平年値は2019年から2023年の5か年平均。

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：福岡、肥後 TEL : 096-248-6490

病防第50号
令和6年(2024年)11月19日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

サカキブチヒメヨコバイの特徴と対策（技術情報第15号）について（送付）
のことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

県内のサカキ栽培ほ場において、サカキブチヒメヨコバイによる被害が確認された。本虫は生息条件が良ければ発生が少なくとも短期間で激しく加害するため、ほ場を観察し、発見した場合は間伐、整枝及び薬剤散布による防除に努める。

1 発生状況

令和6年(2024年)8月、県内のサカキ栽培ほ場でサカキブチヒメヨコバイによる被害が確認された。

本虫の発生は、和歌山県、高知県、佐賀県、宮崎県、鹿児島県、福岡県等で確認されている。県内では令和2年(2020年)に初めて発生が確認されており、散発的に発生していると考えられる。

2 形態及び生態、被害の特徴

(1) 形態

成虫の体長は4mm程度で、体色は茶褐色であるが雌成虫は雄と比べて体色が薄い(図1)。幼虫の体長は1~3mm程度である。

(2) 生態

和歌山県林業試験場の調査によると、幼虫期間は約3~4週間であり、越冬した個体が年間で約3~4回世代を繰り返すとされている。また、12月頃まで被害は拡大し、冬季(1~3月)には越冬のため活動を休止するが、3月以降に再び被害が拡大し始めるとしている。

生息密度は低く、単独で生息する。さらに、僅かな振動でもすぐに飛んで逃げることから発見しづらい。しかし、黄色に誘因されるため黄色粘着トラップで捕獲ができる。

(3) 被害

成幼虫とともに葉裏に生息し、葉を吸汁する。吸汁痕は白く変色し、葉表に白点が発生する(図2)。また、生息条件が良ければ1頭でも短期間で激しく葉を加害する。

新葉が柔らかい時期は、白点はほとんど見られないが、新葉が硬化する時期以降は白点被害が生じる。被害は低い位置の枝から発生し、上方の枝の葉へと拡大する。

3 防除対策等

地域や年によって発生消長が異なる点に留意し、以下の対策を実施する。

(1) 黄色粘着トラップ等を活用し、早期発見に努める。

(2) ヨコバイ類は暗く風通しの悪い環境で繁殖しやすいため、不用木の間伐や断幹、重なる枝葉や不用な枝を整理するための整枝等を行う。

(3) 薬剤防除は、幼虫期間に行うと効果が高い。黄色粘着トラップ等を活用して発生消長の把握に努める。幼虫期間は成虫の発生ピークの約3~4週間前である。

(4) 現在(令和6年11月19日時点)、サカキにおけるサカキブチヒメヨコバイを対象とする登録農薬は、ダイリーグ粒剤、スミチオン乳剤、アグロスリン乳剤の3剤

である。

(5) 農薬の剤型によって殺虫効果が発現する時期は異なるため、幼虫期間に効果が發揮されるよう注意する。



雄 体長約4mm



雌 体長約4mm

図1 サカキブチヒメヨコバイ成虫



図2 サカキの被害葉

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：守田、福岡
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

病防第57号
令和7年（2025年）2月5日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

チャバネアオカメムシの越冬量及び本年7月頃までの発生量（技術情報第16号）について（送付）

のことについて、下記のとおりとりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

本年のチャバネアオカメムシの越冬虫数は平年より少なく、本年7月頃までの発生量は、平年より少ないと予想される。

1 目的

チャバネアオカメムシの越冬量は、その年の7月頃までの発生量の指標となる4～7月の予察灯誘殺数と正の相関が認められるため（図1）、これをもとに本年4月～7月の発生量を予想し、防除対策の基礎資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査時期 令和7年（2025年）1月
- (2) 調査地点 県内16ヶ所の定点（表1）
- (3) 調査方法 各地点3m²分の落葉と腐葉土を採取し、落葉下のチャバネアオカメムシの生存虫数を計数した。

3 結果

チャバネアオカメムシの越冬虫数について、県内16地点の合計は2頭（前年46頭、平年25.0頭）と平年比少で、過去10年で2番目に少なかった。また、捕獲地点数も、16地点中2地点（前年14地点、平年6.4地点）と平年比少であった（表1）。

4 今後の発生量予想等

- (1) チャバネアオカメムシの越冬虫数及び捕獲地点数は平年比少であることから、本年7月までのチャバネアオカメムシの発生量は平年より少ないと予想される。
- (2) 果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがある。ここで示したデータには、常緑樹の樹冠内で越冬するツヤアオカメムシは含まれていないが、昨年秋季に飛来が見られた園では、チャバネアオカメムシと同様、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。
- (3) チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップの誘殺数を病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に4月以降隨時掲載する。これらの情報を参考に防除要否や防除適期を判断する。

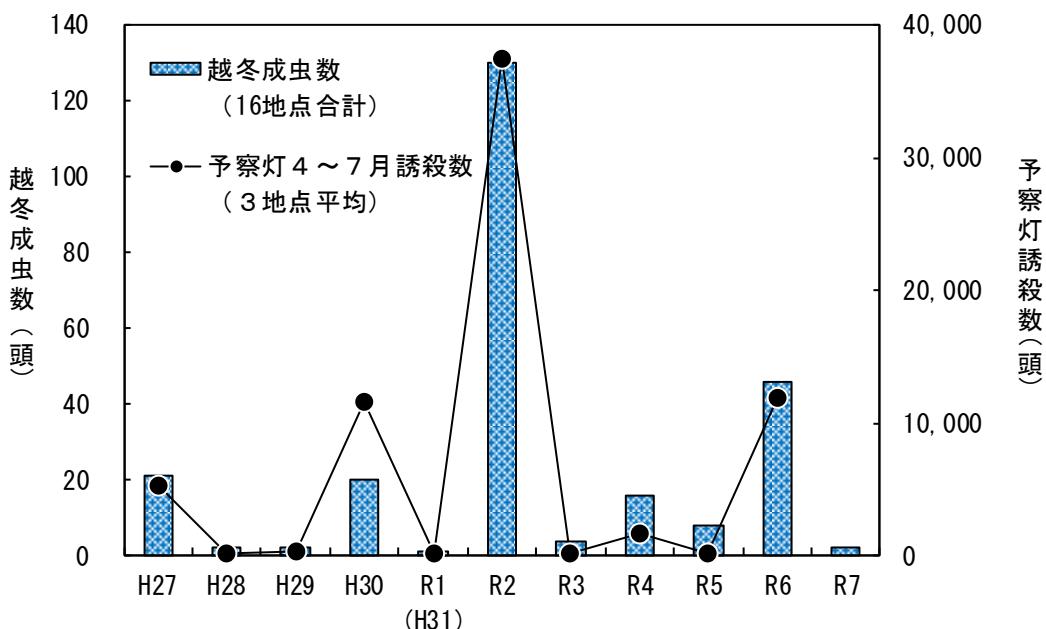


図1 チヤバネアオカメムシの越冬虫数と予察灯4～7月誘殺数の推移

- 1 「越冬虫数」は、各3m²調査した16地点の合計頭数を示す（左縦軸）。
- 2 「予察灯4月～7月誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した3台の予察灯の4月～7月までの誘殺数累計の平均値を示す（右縦軸）。

表1 チヤバネアオカメムシの越冬数（頭/3m²）

調査年 調査地点	H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	平年
熊本市河内町①	0	0	0	0	0	9	2	0	1	4	0	
熊本市河内町②	0	0	0	0	0	8	0	2	0	7	0	
熊本市植木町	2	0	0	0	0	18	1	1	3	11	0	
宇城市三角町①	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	1	
宇城市三角町②	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
宇城市不知火町	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4	0	
宇城市松橋町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
宇城市豊野町	1	0	0	3	0	1	0	0	0	1	0	
玉名市天水町	0	0	0	2	0	9	0	5	0	3	0	
山鹿市蒲生	5	1	1	3	1	22	0	1	1	4	0	
菊池市玉祥寺	2	0	0	2	0	1	1	0	0	1	1	
甲佐町西寒野	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
氷川町大野	2	1	0	0	0	7	0	1	1	1	0	
芦北町田浦	1	0	0	2	0	9	0	0	0	0	0	
天草市本渡町	5	0	0	4	0	17	0	2	0	6	0	
芥北町内田	0	0	0	3	0	27	0	0	1	1	0	
越冬数合計	21	2	2	20	1	130	4	16	8	46	2	25.0
捕獲地点数	9	2	2	8	1	12	3	7	6	14	2	6.4

1 調査時期 令和7年（2025年）1月

2 調査地点 上記県内16ヶ所の定点

3 調査方法 1地点3m²（R7年は0.5～1.5m²×2～4ヶ所、R6年までは1m²×3ヶ所）の落葉と腐葉土を採取し、生存虫数を計数した。

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：清永 TEL : 096-248-6490

病防第60号
令和7年(2025年)3月11日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの薬剤感受性検定結果（技術情報第17号）について（送付）
のことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

令和6年(2024年)に飛來したトビイロウンカのジノテフラン、エトフェンプロックス、
フィプロニル及びトリフルメゾピリムに対する感受性の低下は認められなかった。

1 目的

トビイロウンカは水稻の重要な害虫であり、近年では令和2年(2020年)に多くの飛來が確認され、早植え地域を中心に多くの地域で坪枯れが発生し問題となった。

本虫の防除には育苗箱施薬剤や本田防除剤を使用するが、一部の薬剤に対する感受性が低下している。そこで、薬剤感受性の変化の実態を把握し、効率的な防除対策を立てる資料とする。

2 試験方法

(1) 供試個体群

2024年9月に合志市の水稻ほ場から採集し、その後恒温室内(25°C、16L8D)で数世代飼育・増殖した長翅型雌成虫を検定に用いた。

(2) 供試薬剤^{注1)}

系統名 (IRACコード)	成分名	薬剤名	県内での主な使用法
ネオニコチノイド系 (4A)	ジノテフラン	スタークル/アルバリン	育苗箱施薬剤、 本田防除剤
合成ピレスロイド系 (3A)	エトフェンプロックス	トレボン	本田防除剤
フェニルピラゾール系 (2B)	フィプロニル	プリンス	育苗箱施薬剤
メソイオン系 (4E)	トリフルメゾピリム	ゼクサロン	育苗箱施薬剤

注1) 薬剤は全て製造メーカーから提供された原体を使用した。

(3) 検定方法

微量局所施用法

供試虫を炭酸ガスで麻酔し、1頭あたり $0.083\mu\text{l}$ の薬液をマイクロアプリケーターで処理し、24時間後及び48時間後の死虫(苦悶虫を含む)を計数した。1薬剤あたり5濃度を設定し、1濃度につき3反復、1反復に15頭程度を供試した。各濃度の死虫率をもとに、プロビット法を用いてLD₅₀値(半数致死量)^{注2)}を算出した。

注2) LD₅₀値(半数致死量)とは

薬剤を処理した供試虫の50%が試験期間内に死亡する薬量を体重当たりの量($\mu\text{g/g}$)であらわしたもの。薬剤の効果を示す指標として利用される。

同一薬剤では、数値が大きいほど感受性が低い(効果が低い)ことを示す。

3 結果

- (1) ジノテフランの LD₅₀ 値は、前年の数値より高かったが、直近の調査 5か年の平均値 (1.14) と同水準であり、感受性の低下は認められなかった。
- (2) エトフェンプロックス、フィプロニル及びトリフルメゾピリムの LD₅₀ 値は、いずれも前年の値より低く、直近の調査 5か年の平均値を下回っており、感受性の低下は認められなかった。

表 トビイロウンカに対する各種薬剤の LD₅₀ 値

試験 年度	採集年	採集地	LD ₅₀ (μg/g)				備考
			ジノテフラン	エトフェンプロックス	フィプロニル	トリフルメゾピリム	
	1992	熊本県 ¹⁾	-	1.10	-	-	
	2005	合志市 ²⁾	0.34	0.75	0.13	-	
	2006	合志市 ²⁾	0.10	0.38	0.06	-	
	2009	氷川町	0.44	1.30	0.97	-	
	2010	合志市	0.33	2.32	0.95	-	
	2011	合志市	0.14	3.24	0.94	-	
2013	合志市	1.17	4.87	1.02	-		
	氷川町	0.13	8.22	1.33	-		
	2015	芦北町	0.56	3.26	2.63	-	
	2017	合志市	0.77	2.60	0.67	-	
	2019	合志市	0.69	4.19	0.85	0.21	
2021	2021	合志市	1.84	6.17	1.27	0.51	
	1999	長崎県	-	-	-	0.51	トリフルメゾピリム 感受性系統
	2022	合志市	1.92	3.61	-	0.56	
	2023	合志市	0.52	3.22	0.80	0.26	
	2024	合志市	1.03	2.16	0.57	0.10	

1) S. Endo and M. Tsurumachi (2001) Journal of Pesticide Science 26(1):82–86. から引用した。

2) 松村正哉、竹内博昭、佐藤雅 (2006) 九州沖縄農業研究成果情報第 22 号 : 5. から引用した。

※「-」は未検定。

4 防除上の留意点

- (1) 本田防除は、若齢幼虫期（1～2齢）の防除が最も効果が高いため、育苗箱施用の有無に関わらず、発育ステージを確認して行う。防除適期及び発生状況については、病害虫防除所のホームページ (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>) を確認し、適期防除に努める。
- (2) 農薬散布に当たっては、必ずラベル等で使用方法を確認し、使用基準を遵守する。また、周辺の作物やミツバチ・魚介類等の環境に影響がないよう飛散防止対策に努める。

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当 : 守田
TEL : 096-248-6490

病防第62号
令和7年（2025年）3月11日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

ハスモンヨトウ幼虫の薬剤感受性検定の結果（技術情報第18号）について（送付）
のことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用下さい。

記

2024年秋に県内で発生したハスモンヨトウの中齢幼虫は、ディアナSC、アファーム乳剤、マッチ乳剤、マトリックフロアブル、トルネードエースDF、グレーシア乳剤、プレオフロアブルに対して高い感受性を示した。一方、プレバソンフロアブル5に対する感受性はやや低かった。

1 目的

ハスモンヨトウは広食性の害虫であり、発生期間が長いため薬剤による防除の機会が多い。そこで、県内2ほ場から採集したハスモンヨトウの飼育幼虫に対して薬剤感受性検定を行い、その結果を防除対策の基礎資料とする。

2 材料及び方法

（1）供試個体群

供試個体群の由来を表1に示した。各ほ場からハスモンヨトウの卵塊を採取し、人工飼料（インセクタLFS）を与えて、25°C、16L-8Dの条件で累代飼育した。検定には、4世代目の3齢幼虫を供試した。

（2）供試薬剤

供試薬剤を表2に示した。各薬剤の供試濃度は、トマトとイチゴでの登録適用内の最高濃度とした。また、供試薬液には、展着剤としてマイリノー（ポリアルキレンジリコールアルキルエーテル剤）5000倍を加用し、無処理区は展着剤のみを加えた蒸留水を用いた。

（3）検定方法

直径6cmの円形にカットしたキャベツ葉片を、所定濃度の各薬液中に30秒間浸漬して風乾後、プラスチック容器に2枚ずつ入れ、各容器に1頭ずつ幼虫を放飼した（写真1）。これを1薬剤あたり20反復行った。放飼3、5、7日後に幼虫20頭の生死を調査し、得られた死虫率からAbbottの補正式（※）を用いて補正死虫率を求めた。

※Abbottの補正式

$$\text{補正死虫率} (\%) = \{(\text{無処理生存虫率} - \text{処理生存虫率}) / \text{無処理生存虫率}\} \times 100$$

3 結果・考察

- (1) 各供試薬剤の補正死虫率を図1に示した。
- (2) ディアナSC、アファーム乳剤、マッチ乳剤、マトリックフロアブル、トルネードエースDF、グレーシア乳剤、プレオフロアブルの処理7日後の補正死虫率は、両個体群とも100%と高い効果を示した。マッチ乳剤は阿蘇個体群でやや遅効的であったが、同剤の作用特性（脱皮阻害）によるものと考えられた。
- (3) プレバソンフロアブル5の処理7日後の補正死虫率は、阿蘇個体群では89%と高かったが、八代個体群では65%とやや低かった。本剤は一定の効果が認められるものの、他の供試薬剤と比べてハスモンヨトウに対する効果がやや劣るため、他の適用害虫の発生に合わせた使用が望ましいと考えられた。

表1 供試したハスモンヨトウの採集地等

個体群名	採集年月	採集場所	採集作物
阿蘇	2024年9月	阿蘇市	トマト
八代	2024年9月	氷川町	イチゴ

表2 供試薬剤一覧

薬剤名	有効成分名・含量	IRACコード サブグループ	供試濃度	適用濃度	
				トマト※	イチゴ
ディアナSC	スピネラム 11.7%	5	2,500倍	2,500~5,000倍	2,500~5,000倍
アファーム乳剤	エマメチン安息香酸塩 1.0%	6	2,000倍	(2,000倍)	2,000倍
マッチ乳剤	ルフェヌロン 5.0%	15	3,000倍	3,000倍	3,000倍
マトリックフロアブル	クロマフェノゾド 5.0%	18	2,000倍	(1,000~2,000倍)	2,000倍
トルネードエースDF	インドキサカルブ [®] 5.0%	22A	2,000倍	2,000倍	2,000倍
プレバソンフロアブル5	クロラントラニプロール 5.0%	28	2,000倍	(2,000倍)	2,000倍
グレーシア乳剤	フルキサメタミド 10.0%	30	2,000倍	2,000倍	2,000倍
プレオフロアブル	ピリダリル 10.0%	UN	1,000倍	1,000倍	1,000倍

※()内はオオタバコガでの適用濃度



写真1 検定方法

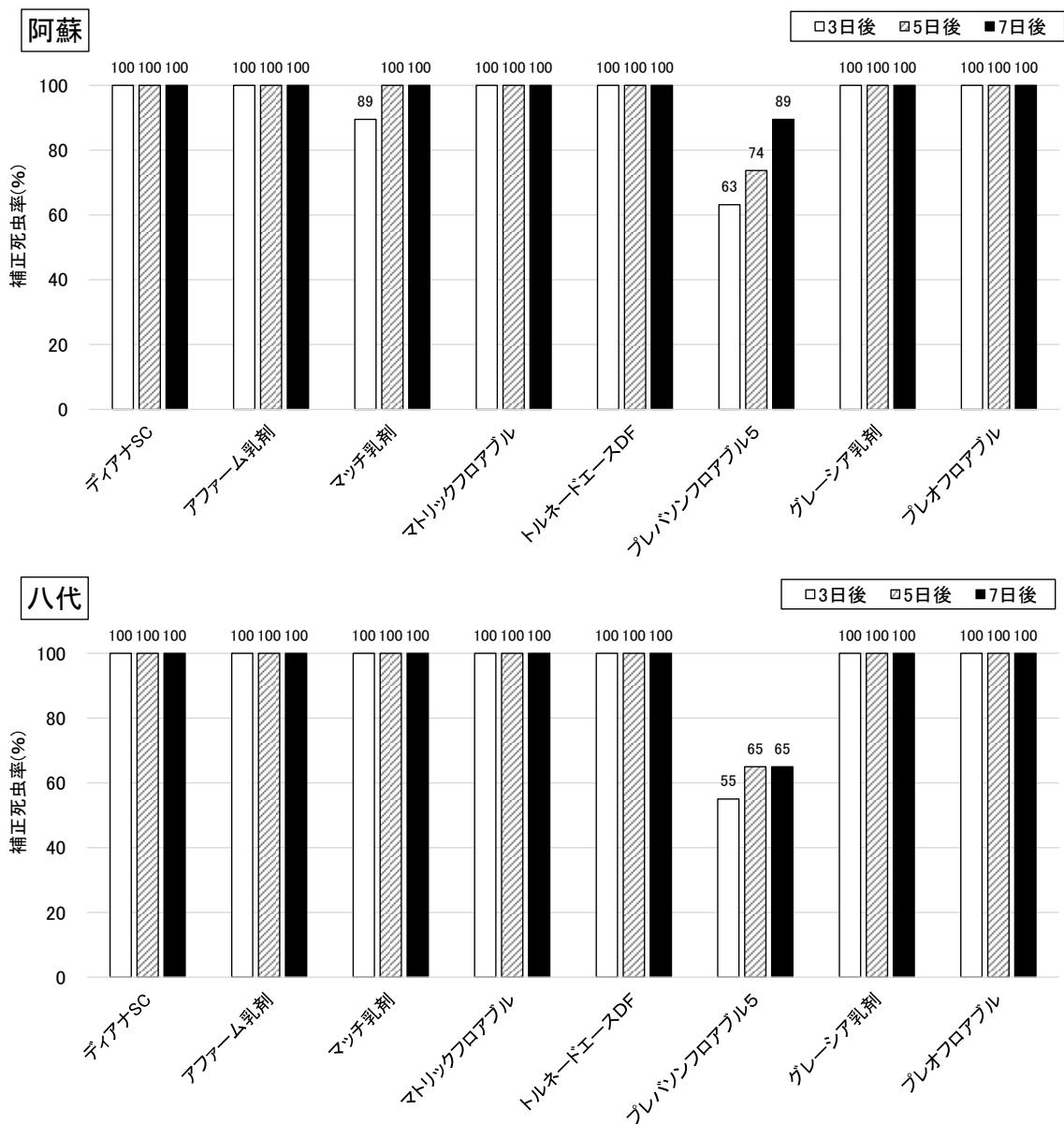


図1 各供試薬剤の補正死虫率（苦悶虫は死亡とみなした）

4 防除対策

薬剤抵抗性の発達を回避するには、薬剤防除だけに頼らず、耕種的・物理的防除法を組み合わせた総合的な防除対策を行うことが重要である。以下の点に留意して防除を行う。

- (1) ほ場を見回り、葉や果実、花蕾における新しい食害痕や卵塊の早期発見に努め、幼虫を見つけ次第捕殺する。卵塊や分散前のふ化幼虫を発見し除去できると効果的である。
- (2) 施設栽培では目合い4mm以下の防虫ネットを展張し、成虫の侵入を抑制する。なお、ハスモンヨトウは防虫ネット上にも産卵し、ふ化幼虫が侵入するため、ネット上の卵塊は見つけ次第除去する。
- (3) 摘心、摘花、摘葉した残渣には卵や若齢幼虫が寄生している可能性があるため、ほ場外に持ち出す。
- (4) 老齢幼虫になると薬剤の効果が劣るため、防除効果の高い若齢幼虫を対象に薬剤防除を行う。
- (5) 熊本県病害虫防除所のホームページには、4月～11月頃の期間、フェロモントラッ

プによる成虫の誘殺状況を隨時掲載している (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>)。ハスモンヨトウは産卵後5日程度でふ化するので、誘殺状況を確認し、防除の参考にする。

- (6) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤をローテーションして使用する。連續する世代間で同系統の薬剤使用を避けるため、十分な間隔を空ける「ブロック式ローテーション」を心掛ける(図2)。また、薬剤の使用時にはラベルに書いてある登録内容を確認し、使用回数を超過しないよう注意する。

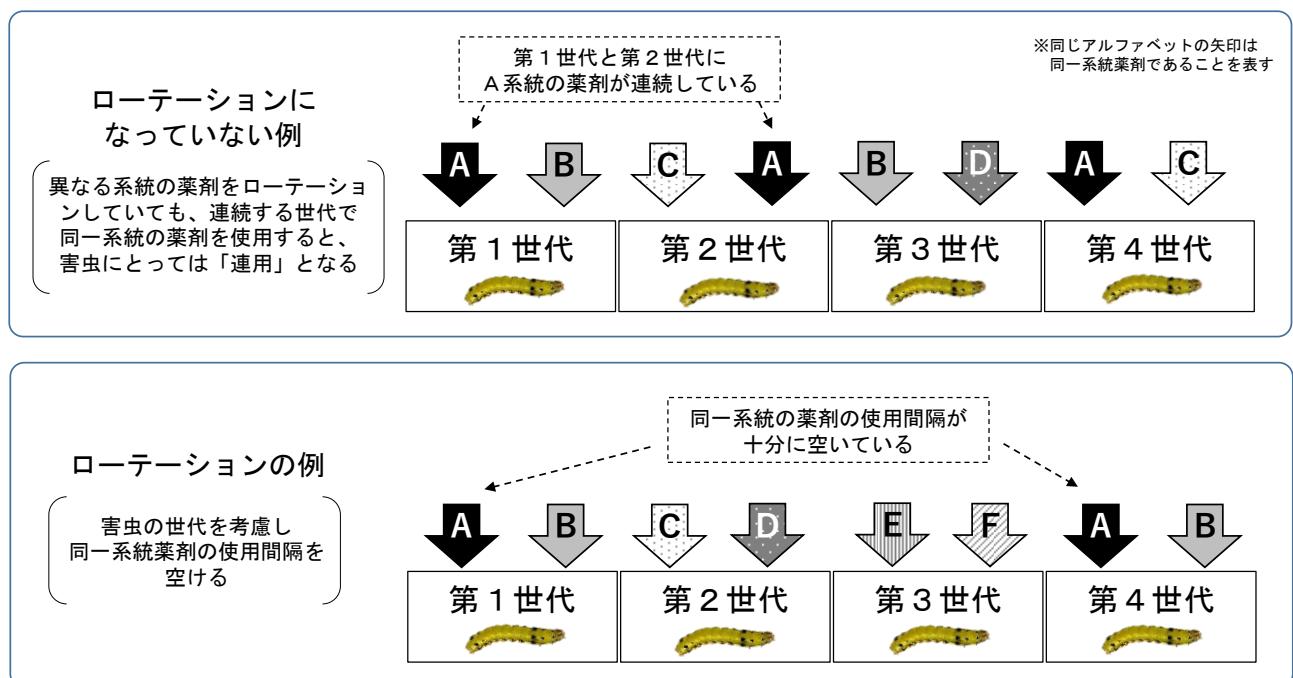


図2 ブロック式ローテーションの考え方
(<https://www.fmc-japan.com/trendinfo/irac/03> を基に作成)

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：福岡、肥後 TEL：096-248-6490

病防第65号
令和7年（2025年）3月26日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

イグサシンムシガの越冬調査結果（技術情報第19号）について（送付）

八代地域で3月24日に実施したイグサシンムシガ越冬調査の結果及び防除対策を下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考にご活用ください。

記

今年の越冬世代（幼虫+蛹）の発生密度は平年よりやや多く、発蛾最盛日は4月11日と予測される（平年より1日早い）。
防除は、粒剤では発蛾最盛日、液剤及び粉剤は発蛾最盛日の7日後を目安に7日間隔で2～3回行う。

1 調査方法

- (1) 調査時期 令和7年（2025年）3月24日
- (2) 調査地点 八代地域12ほ場（表1）
- (3) 調査方法 各地域100株の被害茎数および幼虫、蛹数を見取りで計数した。なお、蛹化率の算出には100株以上を調査した。

2 結果

- (1) 幼虫及び蛹の密度は4.7頭/10m²（平年3.0頭/10m²）と平年比やや多であった（表1、図1）。
- (2) 3月24日現在、越冬世代の蛹化率は同時期の平年並みで、発蛾最盛日は、平年より1日早い4月11日と予測された（表2）。

3 防除対策

- (1) 「長イ」を加害する第2世代幼虫の発生密度を抑えるため、4月に発生する第1世代幼虫に対する防除を徹底する。
- (2) 防除適期は粒剤が発蛾最盛日、液剤及び粉剤は発蛾最盛日7日後を目安にする。なお、気温の変動によっては羽化がばらつくので、発蛾最盛日から7日間隔で2～3回の防除を行う。
- (3) 予測される発蛾最盛日は、ほ場によって差が生じるので、ほ場内の発生状況をよく観察し、防除時期を判断する。

※今後のイグサシンムシガに関する情報（発蛾最盛日予測、予察灯データ）については、4月から病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に随時掲載する。

表1 イグサシンムシガ越冬密度と被害状況（調査日：令和7年3月24日）

No.	市町村名	地 点 名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹 数	合計	頭数／10m ² (幼虫+蛹)	茎数／株
1	氷川町	中島	100	7	2	0	2	5.6	93.4
2		鹿野	100	4	0	0	0	0.0	55.6
3		網道	100	3	0	0	0	0.0	61.6
4		両出	100	6	2	1	3	8.4	65.2
5		鏡村	100	0	0	0	0	0.0	85.6
6		北新地	100	3	0	1	1	2.8	78.6
7		古閑出	100	0	0	0	0	0.0	49.0
8	八代市	太牟田	100	4	0	0	0	0.0	43.8
9		吉王丸	100	1	1	0	1	2.8	38.0
10		松高	100	2	1	2	3	8.4	35.0
11		金剛	100	0	0	0	0	0.0	32.2
12		日奈久	100	10	4	6	10	28.0	40.4
計			1,200	40	10	10	20	4.7	56.5
平年			1,630	48	12	7	19	3.0	斜線

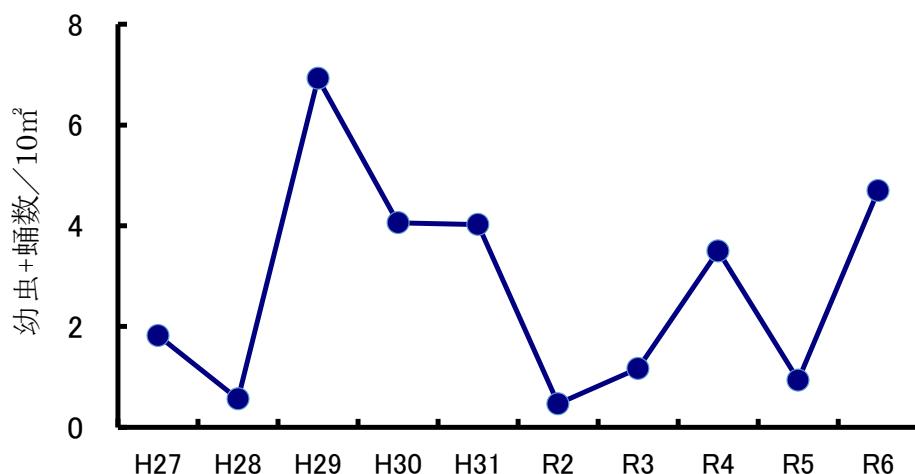
注) 栽植密度は280株/10m²とした

図1 イグサシンムシガの越冬世代幼虫+蛹密度の年次推移（八代地域）

表2 越冬世代の蛹化率および発蛾最盛日

年 次	調査日	蛹化率 (%)	発蛾最盛予測日 (実測日)
本 年	3月24日	31.7	4月11日
前 年	3月18日	25.0	4月 7日 (6日)
平 年	3月25日	37.4	4月11日 (12日)

注) 蛹化率：(蛹数 / (幼虫数+蛹数)) × 100

幼虫、蛹数は、全地点の合計（一部は場では対象100株以外で確認した数を含む。）。

予測式：調査日の蛹化率と過去10年間の「調査日の蛹化率係数（傾き）」と「調査日から発蛾最盛日までの日数係数（切片）」を用いた予測式

発蛾最盛日 = 調査日の蛹化率(%) × (-0.2985) + (27.071) - (31日 - 調査日)

実測日：乾式予察灯（地点：八代市千丁、鏡）で4月に誘殺のピークが見られた日

問い合わせ先
熊本県病害虫防除所（農業研究センター生産環境研究所内）
担当：守田 TEL: 096-248-6490

(2) 発生予報

4月予報

病防第61号

令和6年(2024年)3月27日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第1号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第1号(4月予報)

I 気象予報: 令和6年(2024年)3月21日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	10	20	70
	降 水 量	10	30	60
	日 照 時 間	50	30	20

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
麦	赤かび病	やや多	やや多	—	—	気温高(+) 降水多(+)	
茶	カンザワハダニ	やや少	やや少	やや少(−)	並(±)	気温高(+) 降水多(−)	茶業研究所 平年比やや少(−)
カキツ	ミカンハダニ	やや多	やや多	やや多(+)	並～やや少(±)	気温高(+) 降水多(−)	
ナシ	黒星病	やや多	並	—	—	降水多(+) 平年比やや少(−)	巡回調査(R5) 平年比やや少(−)
冬春トマト	灰色かび病	やや多	並	並(±)	並(±)	降水多(+) 平年比やや少(−)	
	黄化葉巻病	やや多	やや多	黄化葉巻病 並(±) コナジラミ 並(±)	やや多～ 並(+) 平年比やや少(−)	(コナジラミ) 気温高(+) 平年比やや少(−)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春ナス	灰色かび病	多	並	多(+)	やや多～ やや少(±)	降水多(+)	
	すすかび病	やや多	多	やや多(+)	並(±)	降水多(+)	
冬春 キュウリ	ベト病	多	多	多(+)	やや多(+)	降水多(+)	
ウリ科野菜	退緑黄化病 ※スイカ 退緑えぞ病	並	並	退緑黄化病 並(±) コナジラミ 並(±)	キュウリ やや多 メロン,スイカ 並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	
イチゴ	ハダニ類	多	多	多(+)	やや多～並 (±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	やや少	少	やや少(-)	やや多～並 (±)	気温高(+)	
冬春果菜類	灰色かび病 (冬春ナス、冬春トマトを除く)	並	並	キュウリ イチゴ 並(±)	キュウリ 並 イチゴ やや多～並 (±)	降水多(+)	
	タバコ コナジラミ	並	並	トマト,ナス, キュウリ 並(±)	ナス 並～やや少 トマト, キュウリ やや多 メロン,スイカ 並(±)	気温高(+)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス 並 キュウリ やや少(±)	ナス、スイカ やや多～並 キュウリ 並 (±)	気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
野菜全般	アブラムシ類	並	並	トマト,ナス, キュウリ 並 イチゴ やや多(±)	ナス,トマト, キュウリ, メロン, バレイショ 並 スイカ,イチゴ やや多～並 (±)	気温高(+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カンキツ	そうか病	やや多	巡回調査では平年比やや多 (+)。 防除員報告では平年並～少 (±)。 開花期に春葉での発生が認められる場合は、灰色かび病との同時防除を行う。 越冬病斑は伝染源となるため、できるだけ処分する。
	かいよう病	やや多	巡回調査では平年比やや多 (+)。 防除員報告では平年並 (±)。 果実への感染を防止するため、春葉の防除を行う。
ナシ	赤星病	並	前年の巡回調査では平年並 (±)。 黒星病との同時防除を行う。
冬春トマト	葉かび病	並	巡回調査は、平年比やや少 (-)。 防除員報告は、平年比やや多～やや少 (±)。 発病葉は伝染源となるので、早めに除去する。発病を確認した場合は、直ちに薬剤による防除を行う。
	すすかび病	並	巡回調査は、平年並 (±)。 防除員報告は、平年並 (±)。 発病葉は伝染源となるので、早めに除去する。発病を確認した場合は、直ちに薬剤による防除を行う。
冬春ナス	うどんこ病	並	巡回調査は、平年比やや少 (-)。 防除員報告は、平年比やや多～並 (±)。 発病葉は伝染源となるので、早めに除去する。発病を確認した場合は、直ちに薬剤による防除を行う。

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
キュウリ	うどんこ病	並	巡回調査は、平年並（±）。 防除員報告は、平年比やや少（-）。 多発後は防除が困難なので、発生初期の防除を徹底する。
メロン	ベと病	並	防除員報告は、平年並～やや少（±）。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
ウリ科野菜	つる枯病	並	防除員報告は、メロンで平年比やや多～並、スイカで平年並（±）。 かん水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。
ばれいしょ	疫病	並	防除員報告は、平年並（±）。 九州北部地方1か月予報では、気温高、降水多（+）。 平均気温が15～16℃以上で降雨が続くと発生しやすいため、天候を確認しながら予防散布に努める。

【野菜病害虫の共通対策事項】

- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

5月予報

病防第12号

令和6年(2024年)4月25日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第2号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第2号(5月予報)

I 気象予報: 令和6年(2024年)4月25日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	10	20	70
	降 水 量	30	30	40
	日 照 時 間	40	40	20

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 抱			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期水稻	葉いもち	並	並	並(±)	並～やや少 (-)	降水多 (+)	
	イネミズ ゾウムシ	並	並	並(±)	並 (±)	気温高 (+)	
麦	赤かび病	多	多	—	並(±)	気温高 (+) 降水多 (+)	多発条件 出現日(+)
イグサ	イグサ シンムシガ	やや少	並	—	やや少～並 (-)	気温高 (+)	越冬調査少 (-) 八代予察灯 平年並(±)
茶	カンザワハダニ	並	並	やや少(-)	並～やや少 (-)	気温高(+) 降水多(-)	茶業研究所 平年並(±)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	クワシロ カイガラムシ	やや少	やや少	少(−)	並(±)	気温高(+)降水多(−)	
	チャノコカクモ ンハマキ	やや少	並	並(±)	並(±)	気温高(+)降水多(−)	フェロモントラップ [®] 合志市 並 (±) 御船町 少 (−)
	チャハマキ	やや多	やや多	並(±)	並(±)	気温高(+)降水多(−)	フェロモントラップ [®] 合志市 多 (+) 御船町 多 (+)
	チャノホソガ	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+)降水多(−)	フェロモントラップ [®] 合志市 少 (−) 御船町 少 (−)
カンキツ	灰色かび病	やや多	やや多	−	−	降水多(+)	
	そうか病	やや多	並	やや多(+)	並～少(−)	降水多(+)	
	ミカンハダニ	やや多	やや多	並(±)	やや多～並 (+)	気温高(+)降水多(−)	
ナシ	黒星病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(−) 降水多(+)	
冬春トマト	黄化葉巻病	やや多	やや多	黄化葉巻病 並(±) コナジラミ 並(±)	やや多～並 (+)	(コナジラ ミ) 気温高(+)	
冬春ナス	すすかび病	多	多	多(+)	やや多～並 (+)	降水多(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 キュウリ	うどんこ病	多	多	多(+)	並(±)	降水多(+)	
	べと病	多	多	多(+)	やや多～並(+)	降水多(+)	
ウリ科野菜	退緑黄化病 ※スイカ 退緑えそ病	並	並	退緑黄化病 並(±) コナジラミ やや多(+)	キュウリ, メロン 並 スイカ 並～やや少 (±)	(コナジラ ミ) 気温高(+)	
イチゴ (親株)	ハダニ類	多	多	多(+)	並(±)	気温高(+)	
冬春果菜類	灰色かび病	やや多	やや多	トマト, ナ ス, イチゴ やや多 キュウリ 多(+)	トマト やや多～並 ナス 並～やや少 キュウリ 並 イチゴ やや多 (±)	降水多(+)	
	タバコ コナジラミ	並	並	トマト 並 ナス 多 キュウリ やや多(+)	トマト, ナス, キュウリ やや多～並 メロン, スイ カ 並(±)	気温高(+)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス やや多 キュウリ 並(±)	ナス 並～やや少 キュウリ, スイカ 並(±)	気温高(+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、
(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カンキツ	かいよう病	並	防除員報告では平年並～やや少（±）。春葉の発生が多いと、果実への感染も多くなるため、春葉の防除を徹底する。
	アブラムシ類	並	巡回調査では平年並（±）。発生量や発生時期は場所によって差が見られる。新葉の展開に伴い増加することがあるため、発生状況に注意する。
ナシ	赤星病	並	巡回調査では平年並（±）。黒星病との同時防除を行う。
	アブラムシ類	並	巡回調査では平年並（±）。発生量や発生時期は場所によって差が見られる。新葉の展開に伴い増加することがあるため、発生状況に注意する。
ウリ科野菜	つる枯病	やや多	防除員報告は、メロン、スイカで平年比やや多～並（+）。多発後は防除が困難なので、発生初期の防除を徹底する。
	菌核病	やや多	防除員報告は、メロンで平年比やや多～並、スイカで平年比多～やや多（+）。発生を認めたら被害部位を除去する。
野菜全般	ア布拉ムシ類	並	巡回調査では、トマト、ナス、キュウリ、イチゴで平年並。発生を確認したら、直ちに薬剤防除を行う。
【野菜病害虫の共通対策事項】			
<ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

6月予報

病防第19号

令和6年(2024年)5月29日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第3号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第3号(6月予報)

I 気象予報: 令和6年(2024年)5月23日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	30	30	40
	降 水 量	20	40	40
	日 照 時 間	30	40	30

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期・ 早植え水稻	葉いもち	並	並	並(±)	並(±)	降水多～並 (+)	
	イネミズ ゾウムシ	並	並	並(±)	並～やや多 (±)	気温高 (+)	
イグサ	イグサ シンムシガ	やや少	並	—	やや少(-)	気温高 (+)	八代予察灯 やや少(-)
茶	炭疽病	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並 (+)	降水多～並 (+)	
	カンザワハダニ	やや少	やや少	やや少(-)	並～やや少 (±)	気温高(+) 降水多～並 (-)	ほ場調査 茶業研究所 やや少(-)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	チャノコカクモンハマキ	やや少	やや少	やや少(−)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水多～並(−)	フェロモントラップ [®] 合志市やや少(−) 御船町 少(−)
	チャノミドリヒメヨコバイ	多	やや多	多(+)	並～やや少(±)	気温高(+) 降水多～並(−)	ほ場調査 茶業研究所 やや多(+)
	クワシロカイガラムシ	並	やや少	やや多(+)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水多～並(−)	
カンキツ	黒点病	やや多	やや多	—	並～やや少(±)	降水多～並(+)	
	そうか病	やや多	やや多	やや多(+)	並～やや少(±)	気温高(−) 降水多～並(+)	果樹研究所 多(+)
	かいよう病	やや少	やや少	やや少(−)	やや多～やや少(±)	降水多～並(+)	果樹研究所 少(−)
	ミカンハダニ	やや少	やや少	やや少(−)	やや多～やや少(±)	気温高(+) 降水多～並(−)	果樹研究所 やや多(+)
	チャノキイロアザミウマ	並	並	—	並～やや少(±)	気温高(+) 降水多～並(−)	熊本市河内町のトラップ並(±)
ナシ	黒星病	やや少	やや少	やや少(−)	並～やや少(−)	気温高(−) 降水多～並(+)	
果樹全般	果樹カメムシ類	多	多	—	多～やや多(+)	気温高(+)	宇城市、合志市、天草市の予察灯 多(+)
イチゴ育苗ほ	炭疽病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イチゴ 育苗ほ	うどんこ病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(−) 降水多～並(±)	
	ハダニ類	並	並	並(±)	やや多～並(±)	気温高(+)	
ウリ科野菜	退緑黄化病 ※スイカ 退緑えそ病	並	並	キュウリ 退緑黄化病 やや少(−) コナジラミ 少(−)	キュウリ 並 スイカ やや多～並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	
冬春果菜類	タバココナジラミ	並	並	キュウリ 少(−)	ナス, スイカ やや多～並 キュウリ 並(±)	気温高(+)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	キュウリ 並(±)	ナス, スイカ 並～やや少 キュウリ 並(±)	気温高(+)	
野菜全般	オオタバコガ	並	並	—	ナス 並～やや少 キャベツ 並(±)	気温高(+) 降水多～並(±)	フェロモン トラップ調査 合志市：多 山都町：多 阿蘇市：並 八代市：少 (±)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(−)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
茶	チャノキイロ アザミウマ	やや少	巡回調査では平年比やや少(−)。 粘着トラップ調査では合志市で少(−)。 新芽が加害されるため、萌芽～1葉期に防除する。
	チャノホソガ	やや少	巡回調査では平年並(±)。 フェロモントラップ調査では、 合志市で平年比少(−)、 御船町で平年並(±)。 ほ場を見回り発蛾最盛期から7～10日後の若齢幼虫を対象に防除を行う。

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
茶	ツマグロアオ カスミカメ	並	巡回調査では平年並（±）。 防除員報告では平年並（±）。 常発園、多発園では、萌芽期を重点に防除する。
カキ	炭疽病	並	防除員報告は平年並（±）。 降水量は平年比多～並（+）。 梅雨期は発生が多く、まん延しやすい時期であり、予防防除に努める。
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	並	防除員報告は、平年並（±）。 適切な肥培管理を行う。
	うどんこ病	並	防除員報告は、平年並（±）。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
野菜類全般	ハスモンヨトウ	並	巡回調査では、イチゴで平年並（±）。 防除員報告では、サトイモで平年比やや少、ナス、アスパラガスで平年並～やや少、イチゴで平年並（±）。 フェロモントラップ調査では八代市、山都町で平年比やや少、合志市、阿蘇市で平年比少（-）。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では防虫ネットで侵入を防ぐ。
	アブラムシ類	並	巡回調査では、キュウリ、イチゴで平年並（±）。 防除員報告では、ナス、ピーマン、キュウリ、イチゴ、サトイモ、ホウレンソウで平年並、スイカ、ダイコンで平年並～やや少、キャベツ、アスパラガスで平年比やや多～並（±）。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では防虫ネットで侵入を防ぐ。
【野菜病害虫の共通対策事項】			
<ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

7月予報

病防第24号

令和6年(2024年)6月27日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第4号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第4号(7月予報)

I 気象予報: 令和6年(2024年)6月27日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	10	10	80
	降 水 量	20	40	40
	日 照 時 間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期水稻	穂いもち	並	やや少	並(±)	並(±)	気温高(-) 降水多～並(+)	巡回調査、 防除員報告 (葉いもち)
	斑点米 カメムシ類	多	多	多(+)	やや多～並(+)	気温高(+)	巡回調査 (7月調査との比較)
早植え水稻	葉いもち	並	やや多	並(±)	並～少(±)	気温高(-) 降水多～並(+)	
	トビイロウンカ	やや多	やや多	並(±)	並(±)	気温高(+)	予察灯調査 誘殺時期 やや遅(+) 誘殺数多(+)
普通期水稻	葉いもち	並	並	並(±)	やや多～ やや少(±)	気温高(-) 降水多～並(+)	防除員報告 (苗いもち)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
普通期水稻	トビイロウンカ	並	並	—	—	気温高(+)	予察灯調査 誘殺時期 やや遅(—) 誘殺数 多(+)
茶	炭疽病	やや多	多	並(±)	並(±)	降水多～並(+)	
	カンザワハダニ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水多～並(—)	ほ場調査 茶業研究所 多(+)
	チャノミドリヒメヨコバイ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水多～並(—)	ほ場調査 茶業研究所 やや多(+)
	チャノコカクモンハマキ	やや少	並	やや少(—)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水多～並(—)	フェロモントラップ 合志市やや多 御船町やや多(+)
	クワシロカイガラムシ	並	並	やや多(+)	並(±)	気温高(+) 降水多～並(—)	
カンキツ	黒点病	並	並	並(±)	並～やや少(±)	降水多～並(+)	果樹研究所 やや少(—)
	そうか病	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～ やや少(+)	気温高(—) 降水多～並(+)	果樹研究所 多(+)
	かいよう病	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～ やや少(±)	降水多～並(+)	果樹研究所 少(—)
	ミカンハダニ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～ やや少(+)	気温高(+) 降水多～並(—)	果樹研究所 多(+)
	チャノキイロアザミウマ	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多～並(—)	熊本市河内町 のトラップ やや少(—)
ナシ	黒星病	やや少	やや少	やや少(—)	並～やや少(—)	気温高(—) 降水多～並(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
果樹全般	果樹カメムシ類	多	多	—	多～やや少 (±)	気温高(+)	宇城市、合志市、天草市の 予察灯 多(+)
夏秋トマト	灰色かび病	並	並	やや多(+)	並(±)	降水多～並 (+)	
	葉かび病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(-) 降水多～並 (+)	
	すすかび病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多～並 (+)	
	うどんこ病	やや多	並	並(±)	やや多(+)	降水多～並 (±)	
イチゴ 育苗ほ	炭疽病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+)	
	うどんこ病	やや多	やや多	やや多(+)	並(±)	気温高(-) 降水多～並 (±)	
	ハダニ類	多	多	多(+)	並(±)	気温高(+)	
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	並	並	—	並(±)	降水多～並 (+)	
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	並	並	夏秋トマト 並(±)	夏秋トマト やや多～並 (±)	気温高(+)	
夏秋 果菜類 (平坦地)	コナジラミ類	並	並	—	夏秋ナス やや多～並 夏秋キュウリ 並(±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	並	並	—	夏秋ナス, キュウリ 並(±)	気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
野菜類全般	オオタバコガ	やや多	やや多	夏秋トマト 並(±)	夏秋トマト やや多～並 夏秋ナス, 夏秋キャベ ツ, キク 並(±)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 並 阿蘇市 並 山都町 多 八代市 多 (+)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
早期水稻	セジロウンカ	やや多	巡回調査は、平年比多 (+)。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる6月1半旬～6月5半旬までの誘殺数は、平年比多 (+)。
早期・早植え水稻	紋枯病	やや多	巡回調査は、平年並 (±)。 気温は平年比高 (+)。降水量は平年比多～並 (+)。 穂ばらみ期から出穂期にかけて薬剤防除を行う。 (要防除水準：穂ばらみ期の発病株率20%)
早植え・普通期水稻	ツマグロ ヨコバイ	並	巡回調査は、平年並 (±)。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる6月1半旬～6月5半旬の誘殺数は、平年並 (±)。
	ヒメトビ ウンカ	やや多	巡回調査は、平年並 (±)。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる6月1半旬～6月5半旬の誘殺数は、平年比多 (+)。
	セジロウンカ	やや多	巡回調査は、平年並 (±)。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる6月1半旬～6月5半旬の誘殺数は、平年比多 (+)。
	コブノマイガ	並	巡回調査は、平年並 (±)。 合志市に設置したフェロモントラップによる6月1半旬～6月5半旬の誘殺数は、平年比やや少 (-)。 コブノマイガに効果のある箱施薬剤を使用していないほ場では、発生に注意する。
茶	チャノキイロ アザミウマ	並	巡回調査では平年並 (±)。 粘着トラップ調査では合志市で平年比少 (-)。 新芽が加害されるため、萌芽～1葉期に防除する。

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
茶	チャノホソガ	並	巡回調査では平年並（±）。 フェロモントラップ調査では、 合志市で平年比少（-）、御船町で平年比やや少（-）。 ほ場を見回り発蛾最盛期から7～10日後の若齢幼虫を対象に防除を行う。
	ツマグロアオ カスミカメ	やや多	巡回調査では平年比やや多（+）。 防除員報告では平年並（±）。 常発園、多発園では、萌芽期を重点に防除する。
カキ	炭疽病	並	防除員報告は平年並（±）。 降水量は平年比多～並（+）。 梅雨期は発生が多く、まん延しやすい時期であり、予防防除に努める。
夏秋ナス (平坦地)	すすかび病	並	防除員報告は、平年並（±）。 適切な肥培管理を行う。
夏秋 キュウリ (高冷地)	うどんこ病	並	防除員報告は、平年並（±）。 発生を認めたら、直ちに薬剤散布を行う。
夏秋 キャベツ	黒腐病	並	防除員報告は、平年並（±）。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
	コナガ	並	防除員報告は平年並（±）。フェロモントラップによる6月第1～4半旬の誘殺数は、阿蘇市、山都町で平年比少（-）。ジアミド系殺虫剤を使用したほ場で発生が認められた場合は、他系統の薬剤で防除する。
野菜類全般	ハスモン ヨトウ	並	巡回調査では、イチゴで平年並（±）。 防除員報告では、夏秋トマトで平年比やや多～並、夏秋ナス、イチゴ、キクで平年並、アスパラガスで平年並～やや少、サトイモで平年比やや少、ナス、アスパラガスで平年並～やや少（±）。 フェロモントラップによる6月第1～第4半旬の誘殺数は、合志市、阿蘇市、山都町、八代市で平年比やや少（-）。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では防虫ネットで侵入を防ぐ。

【野菜病害虫の共通対策事項】

- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

8月予報

病防第34号

令和6年(2024年)7月31日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第5号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第5号(8月予報)

I 気象予報: 令和6年(2024年)7月25日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	10	10	80
	降 水 量	40	30	30
	日 照 時 間	20	40	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早植え水稻	穂いもち	並	やや少	並(±)	並(±)	気温高 (-) 降水少 (-)	巡回調査、 防除員報告 (葉いもち)
	紋枯病	やや多	やや多	やや多 (+)	並(±)	気温高 (+) 降水少 (-)	
	トビイロ ウンカ	やや多	やや多	並(±)	並(±)	気温高 (+)	予察灯調査 誘殺時期 遅(+) 誘殺数 やや多(+)
	コブノメイガ	並	やや多	並(±)	並(±)	気温高 (+)	フェロモントラップ [®] 調査 少(-)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早植え水稻	斑点米 カメムシ類	やや多	並	やや多 (+)	やや多～並 (+)	気温高 (+)	予察灯調査 並(±)
普通期水稻	葉いもち	やや少	並	並(±)	並(±)	気温高 (-) 降水少 (-)	
	紋枯病	並	並	並(±)	並～やや少 (±)	気温高 (+) 降水少 (-)	
	トビイロウンカ	並	やや多	並(±)	並～やや少 (±)	気温高 (+)	予察灯調査 誘殺時期 早(-) 誘殺数 やや多(+)
	コブノメイガ	並	並	並(±)	やや多～やや少 (±)	気温高 (+)	フェロモントラップ 調査 少(-)
大豆	ハスモンヨトウ	並	並	—	並(±)	気温高(+)	フェロモントラップ 調査 合志市 並 八代市 やや多 阿蘇市 並 山都町 やや 少 (±)
茶	炭疽病	やや少	並	少(-)	やや多～並 (±)	降水少(-)	
	カンザワハダニ	並	並	やや少(-)	並(±)	気温高(+) 降水少(+)	ほ場調査 茶業研究所 やや少(-)
	チャノキイロ アザミウマ	やや少	並	やや少(-)	並(±)	気温高(+) 降水少(+)	粘着トラップ 調査 合志市 少 (-) ほ場調査 茶業研究所 少(-)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	チャノミドリ ヒメヨコバイ	やや少	並	やや少(−)	やや多～並 (±)	気温高(+)　降水少(+)	ほ場調査 茶業研究所 やや少(−)
	チャノホソガ	やや少	並	やや少(−)	並(±)	気温高(+)　降水少(+)	フェロモントラップ調査 合志市 少(−) 御船町 少(−)
	チャノコカクモ ンハマキ	並	並	少(−)	並(±)	気温高(+)　降水少(+)	フェロモントラップ調査 合志市 やや多(+)　御船町 並(±)
カンキツ	黒点病	やや少	やや少	やや少(−)	並(±)	降水少(−)	ほ場調査 果樹研究所 並(±)
	かいよう病	並	並	並(±)	並(±)	降水少(−)	ほ場調査 果樹研究所 やや少(−)
	ミカンハダニ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並 (+)	気温高(+)　降水少(+)	ほ場調査 果樹研究所 やや少(−)
	チャノキイロ アザミウマ	やや少	やや少	やや少(−)	並(±)	気温高(+)　降水少(+)	トラップ調査 熊本市河内 やや少(−)
ナシ	ハダニ類	やや少	やや少	やや少(−)	並(±)	気温高(+)　降水少(+)	
	ナシヒメ シンクイ	やや少	やや少	—	並(±)	気温高(+)　降水少(+)	フェロモントラップ調査 宇城市 並(±)
果樹全般	果樹カメムシ類	多	やや多	—	多～やや少 (+)	気温高(+)	予察灯及びフェロモントラップ調査 合志市、宇城市、天草市 多(+)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
夏秋トマト	灰色かび病	やや少	並	やや少(−)	並(±)	降水少(−)	
	葉かび病	やや少	少	少(−)	並(±)	気温高(−) 降水少(−)	
	すすかび病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水少(−)	
	うどんこ病	やや多	多	やや多(+)	やや多～並 (+)	降水少(+)	
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	やや多	やや多	夏秋トマト やや多(+)	夏秋トマト 多～並(+)	気温高(+)	
夏秋 果菜類 (平坦地)	コナジラミ類	並	並	—	夏秋ナス やや多～並 夏秋キュウリ 並(±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	並	並	—	夏秋ナス やや多～並 夏秋キュウリ 並(±)	気温高(+)	
野菜類全般	オオタバコガ	多	多	夏秋トマト 並(±)	夏秋ピーマン やや多 夏秋トマト, 夏秋ナス やや多～並 夏秋キャベ ツ, キク 並(±)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 多 阿蘇市 多 山都町やや多 八代市 多 (+)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(−)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
普通期水稻	ツマグロ ヨコバイ	やや多	巡回調査は、平年やや多（+）。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる調査では、6月第4半旬～7月第5半旬の誘殺数は平年比多（+）。
	ヒメトビ ウンカ	並	巡回調査は、平年並（±）。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる調査では、6月第4半旬～7月第5半旬の誘殺数は平年比多（+）。
	セジロウンカ	並	巡回調査は、平年比やや少（-）。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる調査では、6月第4半旬～7月第5半旬の誘殺数は平年比多（+）。
夏秋ナス (平坦地)	灰色かび病	並	防除員報告は、平年並（±）。 発生が見られたほ場では8月の防除を徹底する。
	すすかび病	並	防除員報告は、平年並（±）。 葉裏にも十分かかるように薬剤散布を行う。
イチゴ 育苗ほ	うどんこ病	並	巡回調査では発病株は確認されず（平年0.2%）、平年並（±）。 防除員報告は平年並（±）。 初期発生を認めたら直ちに薬剤散布を行う。
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	並	防除員報告は、平年並（±）。 適正な肥培管理を行う。
	うどんこ病	並	防除員報告は、平年並（±）。 発生を認めたら、直ちに薬剤散布を行う。
夏秋 キャベツ	黒腐病	並	防除員報告は、平年並（±）。 発生後の防除は困難なため、激しい風雨が予想される場合には事前に薬剤散布を行う。
野菜類全般	ハスモン ヨトウ	並	フェロモントラップの7月第1～第4半旬の誘殺数は、八代市で平年比やや多、合志市、阿蘇市で平年並、山都町で平年比やや少（±）。防除員報告は、夏秋トマトで平年比やや多、アスピラガスで平年比やや多～並、夏秋ナス、キクで平年並、イチゴ育苗ほで平年並～やや少、サトイモで平年比やや少（±）。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では防虫ネットで侵入を防ぐ。
【野菜病害虫の共通対策事項】			
<ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

9月予報

病防第37号

令和6年(2024年)9月3日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第6号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第6号(9月予報)

I 気象予報: 令和6年(2024年)8月29日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	10	10	80
	降 水 量	20	40	40
	日 照 時 間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 抱			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
普通期水稻	穂いもち	やや少	少	並(±)	並～やや少 (-)	気温高(-) 降水多～並 (+)	巡回調査、 防除員報告 (葉いもち)
	紋枯病	やや多	並	並(±)	並～少(±)	気温高(+) 降水多～並 (+)	
	トビイロウンカ	やや少	やや多	やや少(-)	並～少(±)	気温高(+)	
	斑点米 カメムシ類	やや多	やや多	並(±)	並(±)	気温高(+)	予察灯調査 (大型カメム シ) 合志市 やや多(+)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
大豆	ハスモンヨトウ	やや多	やや多	やや多(+)	並～やや少(±)	気温高(+) 降水多～並(-)	フェロモントラップ調査 合志市やや少 阿蘇市 少 八代市 並 山都町 並(±)
	カメムシ類	並	並	やや少(-)	並(±)	気温高(+)	予察灯調査 合志市 並(±)
茶	炭疽病	やや少	並	少(-)	並～やや少(±)	降水多～並(+)	
	カンザワハダニ	やや多	多	やや多(+)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水多～並(-)	ほ場調査 茶業研究所 やや少(-)
	チャノキイロアザミウマ	やや多	並	多(+)	並～やや少(±)	気温高(+) 降水多～並(-)	粘着トラップ調査 合志市 少(-) ほ場調査 茶業研究所 少(-)
	チャノミドリヒメヨコバイ	やや多	並	やや多(+)	並(±)	気温高(+) 降水多～並(-)	ほ場調査 茶業研究所 少(-)
	クワシロカイガラムシ	やや少	やや少	少(-)	並～やや少(±)	気温高(+) 降水多～並(-)	
カンキツ	黒点病	並	並	やや少(-)	やや多～並(±)	降水多～並(+)	ほ場調査 果樹研究所 並(±)
	かいよう病	並	並	並(±)	並～やや少(±)	降水多～並(+)	ほ場調査 果樹研究所 やや少(-)
	ミカンハダニ	並	並	並(±)	やや多～やや少(+)	気温高(+) 降水多～並(-)	ほ場調査 果樹研究所 やや少(-)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
カンキツ	チャノキイロ アザミウマ	並	並	並(±)	並～少(±)	気温高(+) 降水多～並(-)	トラップ調査 熊本市河内並(±)
ナシ	黒星病	やや少	並	やや少(-)	並～やや少(-)	降水多～並(+)	
	ハダニ類	やや少	やや少	やや少(-)	やや多(+)	気温高(+) 降水多～並(-)	
果樹全般	果樹カメムシ類	多	やや多	—	やや多～ やや少(±)	気温高(+)	予察灯及び フェロモン トラップ調査 合志市、天草 市多、宇城市 並(+)
夏秋トマト	灰色かび病	やや少	並	やや少(-)	並(±)	降水多～並(+)	
	葉かび病	少	やや少	少(-)	並(±)	気温高(-) 降水多～並(+)	
	すすかび病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多～並(+)	
	うどんこ病	並	少	やや少(-)	並(±)	降水多～並(-)	
イチゴ 育苗ほ	炭疽病	並	並	並(±)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水多～並(+)	
	ハダニ類	やや多	やや多	多(+)	やや多～やや少(±)	気温高(+)	
	アブラムシ類	やや多	やや多	多(+)	やや多～やや少(±)	気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	並	並	—	並(±)	気温高(—) 降水多～並(+)	
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	やや多	やや多	夏秋トマト 多(+)	夏秋トマト やや多～並(+)	気温高(+)	
夏秋 果菜類 (平坦地)	コナジラミ類	並	並	—	夏秋ナス やや多～並 夏秋キュウリ 並 秋メロン 並 (±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	並	並	—	夏秋ナス, 夏秋キュウリ 並 秋メロン 並 (±)	気温高(+)	
野菜類全般	ハスモンヨトウ	並	並	夏秋トマト, イチゴ 並 (±)	アスパラガス 多～やや多 夏秋トマト, 夏秋ナス やや多～並 イチゴ 並～やや少 サトイモ やや少 キク 並 (±)	気温高(+)	フェロモントラップ調査 合志市やや少 阿蘇市 少 山都町 並 八代市 並 (±)
	オオタバコガ	やや多	やや多	夏秋トマト 並(±)	夏秋ナス, 夏秋ピーマン やや多 夏秋トマト やや多～並 夏秋キャベツ 並 キク 並 (±)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 合志市やや少 阿蘇市 多 山都町 多 八代市 少 (±)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(−)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
大豆	べと病	並	防除員報告では平年並（±）。 湿度が高いと発生が助長されるため、降雨後、発病が拡大しないうちに防除を行う。
	葉焼病	並	防除員報告では平年並（±）。 防除が遅れると効果が低下するので、発生が確認されたら直ちに防除を行う。
茶	チャノホソガ	やや少	巡回調査では平年比少（-）。 フェロモントラップ調査は平年並～少（-） 新葉が加害されるので、開葉期と2～3葉期に防除を行う。
	チャノコカク モンハマキ	並	巡回調査では平年比多（+）。 フェロモントラップ調査は平年並～やや少（-） ほ場を見回り発蛾最盛期から7～10日後の若齢幼虫を対象に防除を行う。
カキ	炭疽病	並	防除員報告は平年並（±） 降水量は平年比多～並（+） 発病枝は園外で処分し、病原菌の密度を下げる。 発病後の防除では効果が低いので、予防散布を徹底する。
夏秋ナス (平坦地)	すすかび病	やや多	防除員報告は、平年比やや多～並（+）。 発生後の防除は困難なため、激しい風雨が予想される場合には事前に薬剤散布を行う。
夏秋 キュウリ (高冷地)	うどんこ病	並	防除員報告は、平年並（±）。 発生を認めたら、直ちに薬剤散布を行う。
イチゴ 育苗ほ	うどんこ病	並	巡回調査では発病株は確認されず（平年0.0%）、平年並（±）。 防除員報告は平年並～少（±）。 初期発生を認めたら直ちに薬剤散布を行う。
【野菜病害虫の共通対策事項】			
<ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

10月予報

病防第42号

令和6年(2024年)9月30日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第7号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第7号(10月予報)

I 気象予報: 令和6年(2024年)9月26日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	10	10	80
	降 水 量	20	40	40
	日 照 時 間	40	30	30

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 抱			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
大豆	ハスモンヨトウ	多	多	多(+)	やや多～並 (±)	気温高(+) 降水多～並 (-)	フェロモントラップ 調査 合志市 多 阿蘇市やや少 八代市 多 山都町やや少 (+)
	カメムシ類	並	並	やや少(-)	並(±)	気温高(+)	予察灯調査 合志市 ミナミアオカ メムシやや多 アオクサカメ ムシ 少 (±)
茶	カンザワハダニ	並	並	やや少(-)	やや多～並 (+)	気温高(+) 降水多～並 (-)	ほ場調査 茶業研究所 やや少(-)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
カンキツ	ミカンハダニ	並	並	並(±)	やや多～やや少(+)	気温高(+) 降水多～並(-)	ほ場調査 果樹研究所 やや少(-)
果樹全般	果樹カメムシ類	やや少	少	ヒノキ球果調査 寄生頭数 少 口針鞘数 少 (-)	並～やや少(±)	気温高(+)	予察灯調査 合志市、宇城市少、天草市多(-)
夏秋トマト	葉かび病	少	やや少	少(-)	やや多～並(+)	気温高(-) 降水多～並(+)	
	すすかび病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多～並(+)	
	灰色かび病	少	やや少	少(-)	並(±)	降水多～並(+)	
冬春トマト	黄化葉巻病	並	並	黄化葉巻病 並 コナジラミ やや少 (±)	並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	
イチゴ	炭疽病	並	並	並(±)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水多～並(+)	
	ハダニ類	並	並	少(-)	並(±)	気温高(+) 降水多～並(-)	
ウリ科野菜	退緑黄化病	並	やや多	-	(退緑黄化病) キュウリ やや多～並 メロン並～少 (コナジラミ) キュウリ やや多～並 メロン並 (±)	(コナジラミ) 気温高(+)	CCYV保毒虫率 (熊本、鹿本、菊池) 並(±)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 果菜類	コナジラミ類	並	並	冬春トマト やや少(−)	冬春トマト, メロン並 夏秋ナス, キュウリ やや多～並 (±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	並	並	—	夏秋ナス 並～やや少 キュウリ 並(±)	気温高(+)	
野菜類全般	ハスモンヨトウ	多	多	夏秋トマト 冬春トマト イチゴ 並 (±)	アスパラガス やや多 夏秋トマト, 冬春トマト, 夏秋ナス やや多～並 イチゴ 並 サトイモ やや少 キク 並 (+)	気温高(+)	フェロモントラップ調査 合志市 多 阿蘇市やや少 山都町やや少 八代市 多 (+)
	オオタバコガ	多	多	夏秋トマト 冬春トマト 並(±)	夏秋ピーマン, 冬キャベツ やや多 夏秋トマト, 冬春トマト, 夏秋ナス やや多～並 夏秋キャベツ, キク 並 (+)	気温高(+)	フェロモントラップ調査 合志市 多 阿蘇市 並 山都町 多 八代市 多 (+)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(−)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査では、平年並(±)。 防除員報告では、平年並(±)。 防除については、3 防除のポイント等の「イチゴにおける定植後の炭疽病及びうどんこ病の防除対策」を参照する。
秋メロン	べと病	並	防除員報告は、平年並(±)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤散布を行い、薬液が葉裏によく付着するよう丁寧に行う。

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査では、冬春トマト、イチゴで平年並（±）。防除員報告では、トマト、キュウリ、メロン、イチゴで平年並、夏秋ナスで平年並～やや少（±）。ウイルスを媒介するので、防虫ネット等では場内への侵入を防ぐ。
【野菜病害虫の共通対策事項】			
<ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

11月予報

病防第46号

令和6年(2024年)10月28日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第8号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第8号(11月予報)

I 気象予報: 令和6年(2024年)10月24日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	10	80
	降水量	10	40	50
	日照時間	40	40	20

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	カンザワハダニ	並	並	並(±)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水多(-)	ほ場調査 茶業研究所 やや少(-)
カンキツ	ミカンハダニ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水多(-)	ほ場調査 果樹研究所 多(+)
冬春トマト	黄化葉巻病	並	並	黄化葉巻病 やや少 コナジラミ やや多(±)	やや多～並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	TYLCV 保毒虫率 並～やや低い(-)
	すすかび病	やや少	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多(+)	
冬春ナス	すすかび病	並	並	並(±)	並～やや少(±)	降水多(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
ウリ科野菜	退緑黄化病	並	やや多	—	(退緑黄化病) キュウリ やや多～並 メロン やや多～やや少 (コナジラミ) キュウリ, メロン やや多～並 (+)	(コナジラミ) 気温高(+)	メロンにおける コナジラミ発生 状況 やや少(—)
ウリ科・ ナス科野菜	コナジラミ類	多	多	冬春トマト, 冬春ナス やや多(+)	冬春トマト, 冬春ナス, キュウリ, メロン やや多～並 (+)	気温高(+)	
	アザミウマ類	やや多	並	冬春ナス 多(+)	冬春トマト, キュウリ, メロン 並 冬春ナス 並～やや少 (±)	気温高(+)	
イチゴ	ハダニ類	並	並	少(—)	並～やや少 (±)	気温高(+)	
野菜類全般	ハスモンヨトウ	多	多	冬春トマト 冬春ナス イチゴ 並 (±)	冬キャベツ やや多 冬春トマト, 冬春ナス, イチゴ やや多～並 サトイモ やや少 (+)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 並 阿蘇市 並 山都町 多 八代市 多 (+)
	オオタバコガ	多	多	冬春トマト 冬春ナス 並(±)	夏秋ピーマン やや多 冬春ナス やや多～並 冬春トマト, 並 冬キャベツ やや少 (±)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 多 阿蘇市 多 山都町 多 八代市 多 (+)

*予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、
(±) は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作 物	病 害 虫 名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春トマト	葉かび病	並	巡回調査は、平年並(±)。 防除員報告は、平年並(±)。 発病葉は伝染源となるので、早めに除去する。発病を確認した場合は、直ちに薬剤による防除を行う。
冬春トマト 冬春ナス	灰色かび病	並	巡回調査ではトマト・ナスで平年並(±)。防除員報告はトマトで平年並、ナスで平年並～やや少(±)。 除去した病葉や果実は直ちにほ場の外へ持ち出す。
秋メロン	べと病	並	防除員報告は、平年並(±)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤散布を行い、薬液が葉裏によく付着するよう丁寧に行う。
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査では、平年並(±)。 防除員報告では、平年並～やや少(±)。 開花期までの防除に重点を置く。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査では、冬春トマトで平年並、イチゴで平年比多(+)。 防除員報告では、トマト、キュウリ、メロン、イチゴで平年並(±)。 ウイルスを媒介するので、防虫ネット等でほ場内への侵入を防ぐ。
【野菜病害虫の共通対策事項】			
<ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

12月予報

病防第51号

令和6年(2024年)11月29日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第9号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第9号(12月予報)

I 気象予報: 令和6年(2024年)11月28日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	40	30	30
	降水量	40	40	20
	日照時間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
カンキツ	ミカンハダニ	並	並	—	並(±)	気温低(−) 降水並～少(+)	
冬春トマト	黄化葉巻病	並	並	黄化葉巻病 並 コナジラミ やや多 (±)	やや多～並 (±)	(コナジラミ) 気温低(−)	
	灰色かび病	やや少	並	並(±)	並(±)	降水並～少 (−)	
	葉かび病	並	並	並(±)	並(±)	降水並～少 (−)	
	すすかび病	並	やや多	並(±)	並(±)	降水並～少 (−)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春ナス	灰色かび病	並	並	並(±)	並～やや少(±)	降水並～少(-)	
	すすかび病	並	並	並(±)	並～やや少(±)	降水並～少(-)	
冬春 キュウリ	うどんこ病	並	並	やや少(-)	並(±)	降水並～少(-)	
	退緑黄化病	並	やや多	並(±)	並(±)	(コナジラミ) 気温低(-)	
イチゴ	ハダニ類	やや少	少	少(-)	並～やや少(±)	気温低(-)	
	アザミウマ類	並	やや多	やや多(+)	並～やや少(±)	気温低(-)	
冬春果菜類	コナジラミ類	やや多	やや多	冬春トマト やや多 冬春キュウリ 並 冬春ナス やや少(±)	冬春トマト, 冬春ナス やや多～並 キュウリ 多～並 (+)	冬春トマト, 冬春ナス やや多～並 キュウリ 多～並 (+)	気温低(-)
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	冬春ナス, 冬春キュウリ 並 (±)	冬春トマト, 冬春ナス, キュウリ 並 (±)	冬春トマト, 冬春ナス, キュウリ 並 (±)	気温低(-)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春トマト	疫病	並	巡回調査では発病株は確認されず（平年0.0%）、平年並（±）。防除員報告は、平年並（±）。発病果・発病葉は伝染源となるので、早めに除去し、処分する。
冬春ナス	うどんこ病	並	巡回調査では発病株は確認されず（平年1.3%）、平年並（±）。防除員報告は平年並～やや少（±）。発病葉は伝染源となるので、早めに除去し、処分する。
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査では発病株は確認されず（平年0.0%）、平年並（±）。防除員報告では、平年並（±）。開花期までの防除に重点を置く。
レタス	菌核病	並	防除員報告では、平年並～やや少（±）。予防が基本となるため、被覆前に薬剤散布を行う。
【野菜病害虫の共通対策事項】			
<ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

1月予報

病防第52号

令和6年(2024年)12月25日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第10号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第10号(1月予報)

I 気象予報: 令和6年(2024年)12月19日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	50	40	10
	降 水 量	50	30	20
	日 照 時 間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春トマト	黄化葉巻病	並	並	黄化葉巻病 やや少 コナジラミ 並 (±)	やや多～並 (+)	(コナジラミ) 気温低(-)	
冬春ナス	すすかび病	やや少	やや少	やや少(-)	並(±)	降水少(-)	
冬春キュウリ	うどんこ病	少	少	少(-)	並(±)	降水少(+)	
	退緑黄化病	やや少	並	やや少(-)	並(±)	(コナジラミ) 気温低(-)	
イチゴ	ハダニ類	少	少	少(-)	並～やや少 (±)	気温低(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イチゴ	アザミウマ類	やや少	並	少(−)	やや多～並 (±)	気温低(−)	
	アブラムシ類	並	やや多	やや多(+)	やや多～並 (±)	気温低(−)	
冬春果菜類	灰色かび病	やや少	やや少	冬春トマト やや少 冬春ナス, 冬春キュウリ , イチゴ 並 (±)	冬春トマト 並～やや少 冬春ナス, 冬春キュウリ , イチゴ 並 (±)	降水少(−)	
	コナジラミ類	並	並	冬春トマト, 冬春キュウリ 並 冬春ナス やや少 (±)	冬春トマト, 冬春キュウリ やや多～並 冬春ナス やや多～やや 少 (+)	気温低(−)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	冬春ナス, 冬春キュウリ 並 (±)	冬春トマト, 冬春キュウリ 並 冬春ナス 並～やや少 (±)	気温低(−)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(−)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春トマト	葉かび病	並	巡回調査では発病株は確認されず（平年0.1%）、平年並（±）。防除員報告では、平年並（±）。発病葉は伝染源となるので、早めに除去し、処分する。
	すすかび病	やや少	巡回調査では発病株は確認されず（平年2.0%）、平年比やや少（-）。防除員報告では、平年並（±）。発病葉は伝染源となるので、早めに除去し、処分する。
	うどんこ病	やや少	巡回調査では発病株は確認されず（平年1.4%）、平年比やや少（-）。防除員報告では、平年並（±）。多発後は防除が困難なので、発生初期の防除を徹底する。
冬春ナス	うどんこ病	やや少	巡回調査では発病株は確認されず（平年2.7%）、平年比やや少（-）。防除員報告では、平年並～やや少（±）。発病葉は伝染源となるので、早めに除去し、処分する。
冬春キュウリ	べと病	並	巡回調査では発病葉率2.3%（平年6.9%）と平年比やや少（-）。防除員報告では、平年比やや多～並（±）。肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査では発病株は確認されず（平年0.0%）、平年並（±）。防除員報告では、平年並（±）。多発後は防除が困難となるので、初期防除を徹底する。
レタス	菌核病	並	防除員報告では、平年並～少（±）。発病株は伝染源となるので、早めに除去し処分する。
	灰色かび病	並	防除員報告では、平年並～少（±）。発病株は伝染源となるので、早めに除去し処分する。
【野菜病害虫の共通対策事項】			
<ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

2月予報

病防第55号

令和7年(2025年)1月27日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第11号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第11号(2月予報)

I 気象予報: 令和7年(2025年)1月23日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	40	30	30
	降 水 量	30	30	40
	日 照 時 間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春トマト	黄化葉巻病	やや多	やや多	黄化葉巻病 やや多 コナジラミ 並 (+)	やや多～並 (+)	(コナジラミ) 気温低(-)	
冬春ナス	すすかび病	やや少	やや少	やや少(-)	並～やや少 (±)	降水多(+)	
冬春キュウリ	うどんこ病	並	並	やや少(-)	やや多～並 (+)	降水多(-)	
	べと病	並	並	並(±)	並(±)	降水多(+)	
	退緑黄化病	並	やや多	並(±)	やや多～並 (+)	(コナジラミ) 気温低(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イチゴ	ハダニ類	やや少	少	少(−)	やや多～並(±)	気温低(−)	
	アザミウマ類	少	やや少	少(−)	やや多～並(±)	気温低(−)	
冬春果菜類	灰色かび病	並	並	冬春キュウリ やや多 イチゴ 並 冬春トマト, 冬春ナス やや少 (±)	冬春キュウリ, イチゴ 並 冬春トマト, 冬春ナス 並～やや少 (±)	降水多(+)	
	コナジラミ類	並	並	冬春トマト, 冬春ナス, 冬春キュウリ 並 (±)	冬春キュウリ, 冬春ナス, スイカ, メロン 並 冬春トマト 並～やや少 (±)	気温低(−)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	冬春ナス やや多 冬春キュウリ 並 (±)	冬春ナス やや多～並 冬春トマト, 冬春キュウリ, スイカ, メロン 並(±)	気温低(−)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(−)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春トマト	疫病	並	巡回調査では、発病株は確認されず(平年0.0%)、平年並(±)。防除員報告では平年並～少(±)。発病後は防除が困難なので、予防に重点を置く。前年に発生が多かったほ場では、定期的に薬剤散布を行う。
	葉かび病	並	巡回調査では、発病株は確認されず(平年1.1%)、平年並(±)。防除員報告では平年並(±)。発病葉は伝染源となるので、早めに除去し、処分する。
	すすかび病	やや少	巡回調査では、発病株は確認されず(平年1.4%)、平年比やや少(−)。防除員報告では平年並(±)。発病葉は伝染源となるので、早めに除去し、処分する。

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
メロン	べと病	並	防除員報告では平年並（±）。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
	つる枯病	並	防除員報告では平年並（±）。 株元付近に発生が多いので、出来るだけ乾燥状態に保つ。
スイカ	つる枯病	並	防除員報告では平年並（±）。 株元付近に発生が多いので、出来るだけ乾燥状態に保つ。
	菌核病	並	防除員報告では平年並（±）。 過度の灌水を避け、施設内の過湿防止に努める。 開花期から予防防除に努める。
レタス	菌核病	並	防除員報告では平年並～少（±）。 発病株は伝染源となるので、早めに除去し処分する。
	灰色かび病	並	防除員報告では平年並～少（±）。 発病株は伝染源となるので、早めに除去し処分する。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査では、イチゴで平年比やや多、トマト、ナス、キュウリで平年並（±）。 防除員報告では、イチゴで平年比やや多～並、トマト、キュウリ、メロンで平年並、ナスで平年並～やや少（±）。 ウイルスを媒介するので、防虫ネット等で場内への侵入を防ぐ。
【野菜病害虫の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

3月予報

病防第58号

令和7年(2025年)2月27日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和6年度(2024年度)発生予報第12号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和6年度(2024年度)病害虫発生予報第12号(3月予報)

I 気象予報: 令和7年(2025年)2月27日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	20	40	40
	降 水 量	40	30	30
	日 照 時 間	30	40	30

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	カンザワハダニ	やや少	並	少(-)	並～少 (±)	気温高～並 (+) 降水少(+)	
カンキツ	そうか病	やや多	やや多	多(+)	並(±)	降水少(-)	
	かいよう病	並	やや少	並(±)	並(±)	降水少(-)	
	ミカンハダニ	やや少	やや少	やや少(-)	並(±)	気温高～並 (+) 降水少(+)	
冬春トマト	黄化葉巻病	多	多	黄化葉巻病 やや多(+) コナジラミ 並(±)	黄化葉巻病 やや多～並 コナジラミ やや多～並 (+)	(コナジラミ) 気温高～並 (+)	
冬春ナス	すすかび病	やや少	やや少	やや少(-)	並～やや少 (±)	降水少(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春キュウリ	うどんこ病	並	並	やや少(−)	やや多～並(+)	降水少(+)	
	べと病	並	並	並(±)	並(±)	降水少(−)	
ウリ科野菜	冬春キュウリ・メロン退緑黄化病 スイカ退緑えそ病	やや多	やや多	(冬春キュウリ) 退緑黄化病 並(±) コナジラミ やや少(−)	退緑黄化病 冬春キュウリ やや多 メロン, スイカ 並 コナジラミ 冬春キュウリ, メロン 並 スイカ 並～やや少 (±)	(コナジラミ) 気温高～並(+)	
イチゴ	ハダニ類	やや少	少	少(−)	並(±)	気温高～並(+)	
	アザミウマ類	やや少	並	やや少(−)	並(±)	気温高～並(+)	
	アブラムシ類	やや多	並	やや多(+)	やや多～並(±)	気温高～並(+)	
冬春果菜類	灰色かび病	並	並	冬春キュウリ, イチゴ 並 冬春トマト, 冬春ナス やや少 (±)	冬春キュウリ, イチゴ 並 冬春トマト, 冬春ナス 並～やや少 (±)	降水少(−)	
	コナジラミ類	並	並	冬春トマト 並 冬春ナス, 冬春キュウリ やや少 (−)	冬春トマト やや多～並 冬春キュウリ, 冬春ナス, メロン 並 スイカ 並～やや少 (±)	気温高～並(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春果菜類	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	冬春ナス やや多～並 冬春トマト, 冬春キュウリ, メロン 並 スイカ 並～やや少 (±)	冬春ナス やや多～並 冬春トマト, 冬春キュウリ, メロン 並 スイカ 並～やや少 (±)	気温高～並 (+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

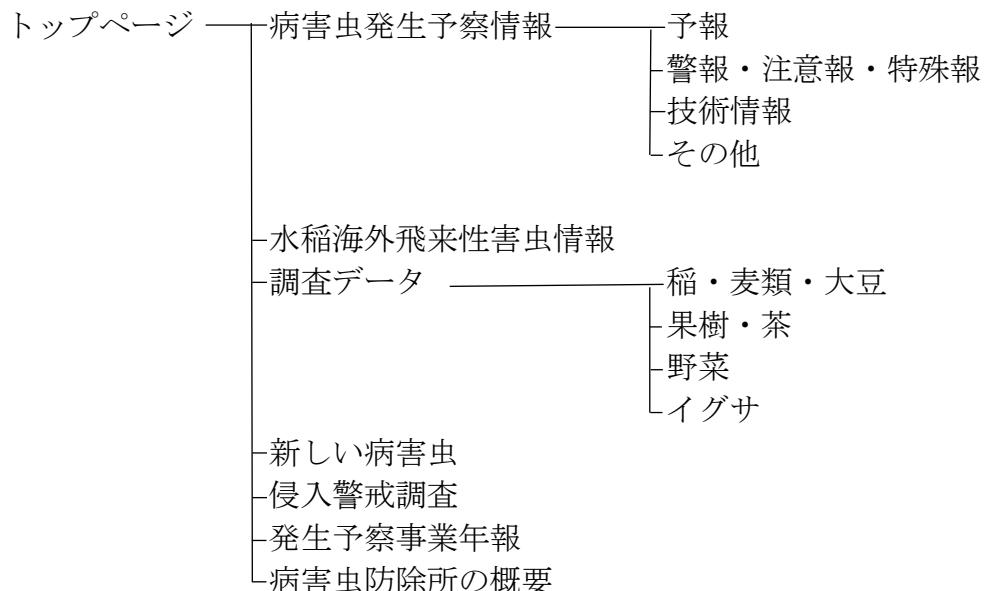
III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春トマト	疫病	並	巡回調査では、発病株は確認されず(平年0.7%)、平年並(±)。防除員報告では平年比やや多～並(±)。発病後は防除が困難なので、予防に重点を置く。前年に発生が多かったほ場では、定期的に薬剤散布を行う。
	葉かび病	並	巡回調査では、発病株は確認されず(平年2.0%)、平年並(±)。防除員報告では平年並(±)。発病葉は伝染源となるので、早めに除去し、処分する。
	すすかび病	並	巡回調査では、発病株は確認されず(平年1.2%)、平年並(±)。防除員報告では平年並(±)。発病葉は伝染源となるので、早めに除去し、処分する。
ウリ科野菜	つる枯病	並	防除員報告ではメロン、スイカで平年並(±)。株元付近に発生が多いので、出来るだけ乾燥状態に保つ。
野菜類全般 (イチゴ除く)	アブラムシ類	並	巡回調査では、トマト、ナス、キュウリで寄生葉は確認されず(平年トマト0.0%、ナス0.0%、キュウリ0.0%)、平年並(±)。防除員報告ではトマト、ナス、キュウリ、メロン、スイカ、ダイコン、レタス、ハクサイ、ホウレンソウで平年並(±)。
【野菜病害虫の共通対策事項】			
<ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

(3) ホームページ掲載内容

ホームページアドレス : <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>
Eメールアドレス : byougaityuboujyo@pref.kumamoto.lg.jp

・掲載内容



調査データ掲載内容

掲載期間	掲載内容
4月～10月	セジロウカ・トビイロウカ・ヒメヒロウカ・ツマグロヨコバエの誘殺状況（予察灯、ネットトラップ）、コブノメイガ誘殺状況（フェロモントラップ）、仔いもち病発生予測（BLASTAM）
4月～10月	チャバネオカムシ・ツヤオカムシ誘殺状況（予察灯、フェロモントラップ）、チャココクモンハマキ・チャハマキ・チャノホリガ誘殺状況（フェロモントラップ）、チャキイロアザミウマ（黄色粘着板）、ナシヒメシクイ誘殺状況
4月～10月	ハスモノヨトウ・コナガ・オタバコガの誘殺状況（フェロモントラップ）
4月～7月	イグサシムシガ越冬調査、イグサシムシガの誘殺状況（予察灯）、イグサシムシガ発蛾最盛期予測
4月～5月	麦類赤かび病多発条件出現日予測
4月～10月	大豆カムムシ類予察灯誘殺数
7月～9月	ヒノキ球果口針鞘数調査
5月～9月	チャキイロアザミウマの発生ピーク予測、クシロカイガラムシふ化予測

3 侵入調査事業

(1) ミバエ類侵入調査

1) 調査方法：ミバエ類を対象としたフェロモン剤による誘引トラップを設置し、毎月 2 回
誘引捕獲された昆虫を調査する。

2) 結果：令和 6 年 7 月 22 日津奈木町でミカンコミバエ種群 1 頭が確認された。

① 対象害虫名：ミカンコミバエ種群

市町村名	No.	誘殺数(頭)／調査回数(回)									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3月
熊本市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/3	0/2	0/3	0/2
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2
	3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2
宇城市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2
	3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2
	4	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2
御船町	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2
合志市	1	0/3	0/2	0/3	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/4	0/3
玉名市	1	0/2	0/2	0/2	0/4	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/4	0/3	0/4	0/2	0/3	0/2
山鹿市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2
阿蘇市	1	0/5	0/4	0/4	0/3	0/6	0/3	0/4	0/4	0/3	0/2
八代市	1	0/2	0/2	0/2	0/4	0/4	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2
芦北町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2
	3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3
津奈木町	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/5	0/4	0/2	0/2	0/3	0/2
	2	0/2	0/2	0/2	1/3	0/5	0/4	0/2	0/2	0/3	0/2
水俣市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/5	0/3	0/3	0/2	0/3	0/2
あさぎり町	1	0/3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2
天草市	1	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2
	2	0/3	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2
	3	0/3	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2
	4	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	-	0/2
	5	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2
	6	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2
上天草市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	-	0/2
苓北町	1	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2
合計 29 地点		0/68	0/61	0/62	1/81	0/90	0/73	0/68	0/60	0/67	0/60
		1/690									

②対象害虫名：ウリミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)／調査回数(回)										
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3月	合計
熊本市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/3	0/2	0/3	0/2	0/24
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
	3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/22
宇城市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/22
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/23
	3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
	4	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
御船町	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
合志市	1	0/3	0/2	0/3	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/4	0/3	0/28
玉名市	1	0/2	0/2	0/2	0/4	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/24
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/4	0/3	0/4	0/2	0/3	0/2	0/26
山鹿市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
阿蘇市	1	0/5	0/4	0/4	0/3	0/6	0/3	0/4	0/4	0/3	0/2	0/38
八代市	1	0/2	0/2	0/2	0/4	0/4	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/27
芦北町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/23
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/22
	3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/24
あさぎり町	1	0/3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/25
天草市	1	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
	2	0/3	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2	0/22
	3	0/3	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2	0/22
合計 21 地点		0/51	0/44	0/45	0/61	0/63	0/49	0/51	0/44	0/58	0/44	0/510

③対象害虫名：クインスランドミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)／調査回数(回)										
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3月	合計
熊本市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/3	0/2	0/3	0/2	0/24
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
	3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/22
宇城市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/22
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/23
	3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
	4	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
御船町	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
合志市	1	0/3	0/2	0/3	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/4	0/3	0/28
玉名市	1	0/2	0/2	0/2	0/4	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/24
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/4	0/3	0/4	0/2	0/3	0/2	0/26
山鹿市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
阿蘇市	1	0/5	0/4	0/4	0/3	0/6	0/3	0/4	0/4	0/3	0/2	0/38
八代市	1	0/2	0/2	0/2	0/4	0/4	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/27
芦北町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/23
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/22
	3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/24
あさぎり町	1	0/3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/25
天草市	1	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/23
	2	0/3	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2	0/22
	3	0/3	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2	0/22
合計 21 地点		0/51	0/44	0/45	0/61	0/63	0/49	0/51	0/44	0/58	0/44	0/510

④対象害虫：チチュウカイミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)／調査回数(回)											合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3月		
熊本市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/3	0/2	-	0/2	0/21	
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	-	0/2	0/20	
宇城市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	-	0/2	0/19	
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	-	0/2	0/20	
御船町	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	-	0/2	0/20	
合志市	1	0/3	0/2	0/3	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	-	0/3	0/24	
玉名市	1	0/2	0/2	0/2	0/4	0/3	0/2	0/2	0/2	-	0/2	0/21	
山鹿市	1	0/2	0/2	0/2	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	-	0/2	0/20	
阿蘇市	1	0/5	0/4	0/4	0/3	0/6	0/3	0/4	0/4	-	0/2	0/35	
八代市	1	0/2	0/2	0/2	0/4	0/4	0/2	0/4	0/2	-	0/2	0/24	
芦北町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	-	0/2	0/20	
あさぎり町	1	0/3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	-	0/2	0/22	
天草市	1	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	-	0/2	0/20	
	2	0/3	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2	0/22	
	3	0/3	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	-	0/2	0/22	
合計 15 地点		0/38	0/32	0/33	0/47	0/44	0/36	0/37	0/32	-	0/31	0/330	

(2) アリモドキゾウムシ侵入調査

合成性フェロモンによる誘殺結果

市町村名	誘殺数							計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
大津町1	0	0	0	0	0	0	0	0
大津町2	0	0	0	0	0	0	0	0
合志市	0	0	0	0	0	0	0	0
菊陽町	0	0	0	0	0	0	0	0
西原村	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) トマトキバガ侵入調査

- 1) 調査時期：令和6年4月～令和7年3月
- 2) 調査地：熊本市、宇城市、玉名市、合志市、阿蘇市、八代市
- 3) 調査方法：フェロモントラップ調査（7～14日間隔）
- 4) 調査結果：いずれの調査地点においても断続的に誘殺が確認された。

市町村 名	誘殺数													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
玉名市	8	10	16	11	2	20	180	346	75	3	2	16	689	
熊本市	1	6	13	7	0	14	258	545	33	1	0	10	888	
宇城市	1	4	21	13	2	8	289	504	31	5	1	17	896	
八代市	0	3	40	11	0	2	171	305	17	0	1	7	557	
阿蘇市	6	3	7	10	8	151	564	434	128	19	0	26	1356	
合志市	1	4	9	5	0	17	197	504	48	7	1	17	810	

(4) *Meloidogyne enterolobii* 侵入調査

- 1) 対象作物：トマト
- 2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
—	—	八代市4	無

(5) *Columnea latent viroid* 侵入調査

- 1) 対象作物：トマト
- 2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
—	—	八代市4	無

(6) *Pepper chat fruit viroid* 侵入調査

- 1) 対象作物：トマト
- 2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
—	—	八代市4	無

(7) トマト退緑萎縮ウイロイド侵入調査

1) 対象作物 : トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
一	一	八代市4	無

(8) *Tomato apical stunt viroid* 侵入調査

1) 対象作物 : トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
一	一	八代市4	無

(9) *Pepino mosaic virus* 侵入調査

1) 対象作物 : トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
一	一	八代市4	無

(10) *Tomato brown rugose fruit virus* 侵入調査

1) 対象作物 : トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
一	一	八代市4	無

(11) *Tomato mottle mosaic virus* 侵入調査

1) 対象作物 : トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
一	一	八代市4	無

(12) Tomato leaf curl New Delhi virus侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
一	一	八代市4	無

(13) バナナネモグリセンチュウ侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
一	一	八代市4	無

(14) コロンビアネコブセンチュウ侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
一	一	八代市4	無

(15) ジャガイモやせいもウイロイド侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日	トマト	12月20日
玉名市1	無	八代市1	無	合志市1	無
玉名市2	無	八代市2	無	一	一
玉名市3	無	八代市3	無	一	一
一	一	八代市4	無	一	一

(16) コロラドハムシ侵入調査

1) 対象作物：ばれいしょ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	4月9日
八代市1	無
八代市2	無

(17) ジャガイモシストセンチュウ侵入調査

1) 対象作物：ばれいしょ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	4月9日
八代市1	無
八代市2	無

(18) ジャガイモシロシストセンチュウ侵入調査

1) 対象作物：ばれいしょ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	4月9日
八代市1	無
八代市2	無

(19) ジャガイモがんしゅ病侵入調査

1) 対象作物：ばれいしょ

2) 調査結果 (発病の有無)

調査時期	4月9日	5月10日
八代市1	無	無
八代市2	無	無

(20) *Thecaphora solani* 侵入調査

1) 対象作物：ばれいしょ

2) 調査結果 (発病の有無)

調査時期	4月9日	5月10日
八代市1	無	無
八代市2	無	無

(21) 火傷病菌侵入調査

1) 対象作物：なし

2) 調査結果 (発病の有無)

調査時期	4月12日	5月15日
宇城市1	無	無
宇城市2	無	無

(22) カンキツネモグリセンチュウ侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	12月18日	トマト	12月19日
玉名市1	無	八代市1	無
玉名市2	無	八代市2	無
玉名市3	無	八代市3	無
一	一	八代市4	無

(23) カンキツグリーニング侵入調査

1) 対象作物：かんきつ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	5月 15日～17日
熊本市1	無
玉名市1	無
宇城市1	無
宇城市2	無
宇城市3	無
芦北町1	無
芦北町2	無

(24) *Spiroplasma citri* 侵入調査

1) 対象作物：かんきつ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	8月 19日～22日				
熊本市1	無	宇城市1	無	芦北町1	無
熊本市2	無	宇城市2	無	芦北町2	無
熊本市3	無	宇城市3	無	芦北町3	無
熊本市4	無	宇城市4	無	芦北町4	無
玉名市1	無	宇城市5	無	芦北町5	無
玉名市2	無	宇城市6	無	芦北町6	無
玉名市3	無	宇城市7	無	—	—
玉名市4	無	宇城市8	無	—	—

(25) *Xylella fastidiosa* 侵入調査

1) 対象作物：かんきつ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	8月 19日～22日				
熊本市1	無	宇城市1	無	芦北町1	無
熊本市2	無	宇城市2	無	芦北町2	無
熊本市3	無	宇城市3	無	芦北町3	無
熊本市4	無	宇城市4	無	芦北町4	無
玉名市1	無	宇城市5	無	芦北町5	無
玉名市2	無	宇城市6	無	芦北町6	無
玉名市3	無	宇城市7	無	—	—
玉名市4	無	宇城市8	無	—	—

(26) イネミイラ穂病菌等その他国内未発生のイネの病害虫侵入調査

1) 対象作物 : 水稻

2) 調査結果

(発生の有無)

早期	7月12日	早植え	8月14日～26日		
上天草市1	無	阿蘇市1	無	錦町1	無
上天草市2	無	阿蘇市2	無	錦町2	無
天草市1	無	阿蘇市3	無	あさぎり町1	無
天草市2	無	阿蘇市4	無	あさぎり町2	無
天草市3	無	山都町1	無	—	—
天草市4	無	山都町2	無	—	—

(発生の有無)

普通期	8月15日～22日				
熊本市1	無	山鹿市1	無	氷川町1	無
熊本市2	無	山鹿市2	無	氷川町2	無
熊本市3	無	菊池市1	無	芦北町1	無
熊本市4	無	菊池市2	無	芦北町2	無
熊本市5	無	大津町1	無	—	—
熊本市6	無	大津町2	無	—	—
玉名市1	無	益城町1	無	—	—
玉名市2	無	益城町2	無	—	—

(27) ヘシアンバエ侵入調査

1) 対象作物 : 小麦

2) 調査結果

(発生の有無)

調査時期	4月10日
大津町1	無
大津町2	無

(28) *Ramularia collo-cygni* 侵入調査

1) 対象作物 : 小麦

2) 調査結果

(発生の有無)

調査時期	4月10日
大津町1	無
大津町2	無

(29) スイカ果実汚斑細菌病侵入調査

1) 対象作物 : メロン、スイカ

2) 調査結果 (発病の有無)

メロン	10月15日	メロン	10月15日
熊本市1	無	山鹿市1	無
熊本市2	無	山鹿市2	無
熊本市3	無	山鹿市3	無
熊本市4	無	山鹿市4	無
熊本市5	無	山鹿市5	無
一	一	山鹿市6	無

(発病の有無)

スイカ	2月3日	スイカ	1月31日
益城町1	無	山鹿市1	無
益城町2	無	山鹿市2	無
益城町3	無	山鹿市3	無
益城町4	無	山鹿市4	無
益城町5	無	山鹿市5	無
一	一	山鹿市6	無

(30) インゲンマメ萎ちよう細菌病菌侵入調査

1) 対象作物 : 大豆

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	8月15日
大津町1	無
大津町2	無

(31) ウメ輪紋ウイルス侵入調査

1) 対象作物 : モモ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	5月7日
宇城市1	無

第3 その他

1 病害虫診断

2 気象概要

3 試験成績書

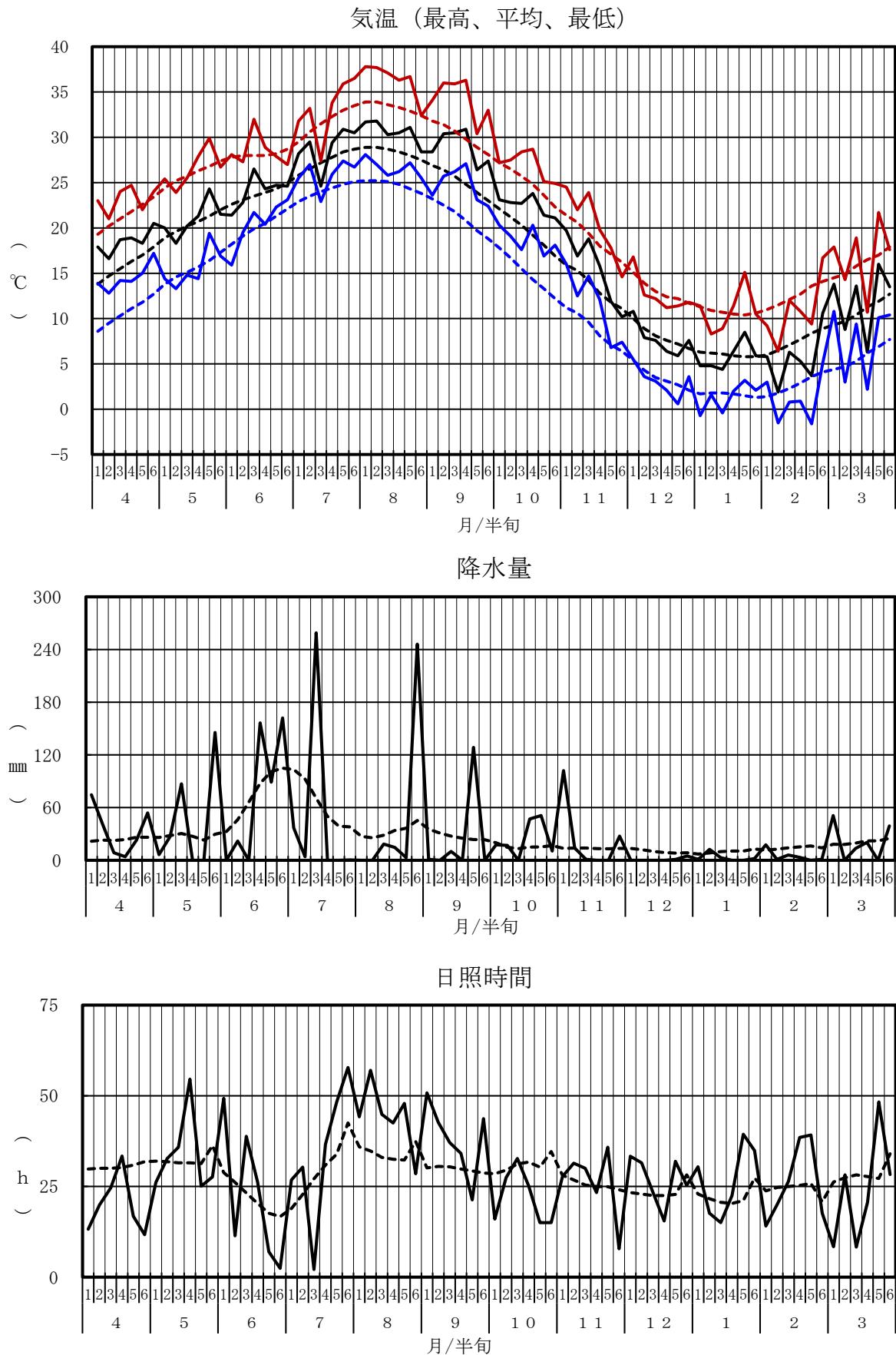
1 病害虫診断

No.	受付月日	作物名	症状	診断方法等	診断結果
1	4/3	トルコギキョウ	葉の退緑斑	PCR	ウイルス病ではない
2	4/8	イネ	苗の徒長	検鏡、分離	ばか苗病
3	4/11	イチゴ	実の黒変	分離	炭疽病ではない
4	4/11	オオムギ	葉の黄化	PCR	黄葉病の可能性がある
5	4/11	ニラ	葉の湾曲、株元の異常	検鏡	フシダニ科のダニ
6	4/17	キウイフルーツ	樹液流出・枝枯死	PCR	かいよう病ではない
7	4/25	ショウガ	根茎の変色、陥没	分離	ショウガ紅色根茎腐敗病
8	5/10	アリウム	ほ場全面枯死	分離	糸状菌病の可能性がある
9	6/7	ナス	下葉に黒斑点	検鏡、イムノ、接種、分離	不明
10	6/12	メロン	株元のコブ、株の萎れ	糸状菌分離	コブの原因は不明、萎れの原因是糸状菌
11	5/30	カンキツ	葉の黄化・変形、樹勢低下	イムノ	SDV 陰性
12	6/11	カンショ	茎の枯死、根茎の黒変	LAMP	基腐病ではない
13	6/21	シクラメン	葉に輪紋、株の弱り	PCR	TSWV, CSNV 陽性
14	6/21	カンショ	定植後苗の枯れ	検鏡、LAMP	基腐病ではない
15	7/16	イネ	株の徒長、枯死	検鏡	ばか苗病
16	7/16	イネ	苗の徒長	分離	ばか苗病
17	8/7	キュウリ	葉のちぢれ、奇形果	PCR、接種	MYSV 陽性、KGMMV 陰性
18	8/15	アスター	茎枯れ	検鏡、分離、PCR	土壌病害ではない
19	9/12	ダリア	苗立枯れ	検鏡	不明
20	9/25	カンショ	つるの割れ、塊茎腐敗	LAMP	<i>F. oxysporum</i> による腐敗
21	9/26	カンショ	葉枯れ	検鏡	ヒルガオハモグリガ
22	10/2	カンショ	つるの割れ、褐変	検鏡、LAMP	サツマイモ基腐病
23	10/21	トルコギキョウ	頂端葉の黄化	イムノ、PCR、接種	ウイルス病の可能性は低い
24	10/22	キュウリ	葉のモザイク症状	イムノ、PCR、接種	P R S V の可能性はある
25	11/18	トマト	葉の黄化	PCR	黄化病
26	10/30	カンショ	株元の黒変、塊茎腐敗	検鏡、LAMP	サツマイモ基腐病
27	11/7	スイカ	生長点の縮れ、奇形モザイク症状	PCR、接種、検鏡	ホコリダニによる縮れ葉
28	11/13	ナス	葉脈の黄化、褐変、変形	検鏡	フタテンミドリヒメヨコバイ

No.	受付月日	作物名	症状	診断方法等	診断結果
29	11/15	カンショ	塊茎腐敗	検鏡、LAMP	サツマイモ基腐病
30	12/12	モモ	枝のいぼ状隆起	検鏡	モモいぼ皮病
31	12/12	カンショ	塊茎腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
32	1/9	カンショ	塊茎腐敗	LAMP. 分離	基腐病ではない
33	1/9	カンショ	塊茎の維管束褐変、軟化	分離、接種	細菌による軟化
34	1/8	小ギク	輪紋状の褐変	検鏡、分離、接種	キク炭疽病、黒斑病
35	1/20	カンショ	塊茎腐敗	LAMP、分離	サツマイモ基腐病
36	1/22	トマト	葉の黄化	PCR	ToCV
37	2/25	スイカ	地際、茎部の褐変、穂木の萎え	検鏡、分離、接種	不明
38	3/2	カンショ	貯蔵イモの食害	検鏡、LAMP	ハスモンヨトウ
39	3/17	ニガウリ	新葉の黄化、生育遅延	PCR、接種	CCYV 隆性
40	3/17	ニガウリ	生長点付近の葉の萎縮	PCR、接種	ウイルス病ではない
41	3/17	ニガウリ	葉の斑点症状	PCR、接種	ウイルス病ではない
42	3/17	パプリカ	根腐れ	検鏡、分離	立枯病、黒点根腐病
43	3/31	トマト	葉枯れ、根の黒変	検鏡、分離	根腐病

2 気象概要

熊本市の気温、降水量、日照時間の推移 (実線: 本年、点線: 年平均)



病害虫発生予察情報サービス

病害虫防除に役立つ情報を提供しています。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>

熊本県病害虫防除所

(農業研究センター 生産環境研究所内)

〒861-1113 熊本県合志市栄3801
TEL: 096(248)6490~91
FAX: 096(248)6493

発行者: 熊本県
所属: 病害虫防除所
発行年度: 令和7年度
(2025年度)